



# 成果発表カタログ

2026年3月24日



NEDO Challenge

# GENIAC PRIZEとは

生成AIの社会実装を目的に  
経済産業省とNEDOが立ち上げたプロジェクトです。  
生成AIによる解決が望まれるテーマに即した  
具体的なニーズに基づく生成AIサービスを  
開発・実証・応募いただき、審査を経て、  
成果に応じた懸賞金を授与するものです。

今回、各テーマから多くの応募が寄せられ、  
様々なプロダクトやユースケースが集まりましたので、  
本カタログにてご共有します。

## 領域 01

### 国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発

テーマⅠ カスタマーサポートの生産性向上      テーマⅡ 製造業の暗黙知形式知化

- ▶ 領域概要 製造業の暗黙知の形式知化/カスタマーサポートの生産性向上に資する国産基盤モデル等を活用したAIエージェントの開発、実証
- ▶ 懸賞金 1位: 5,000万円/2位: 4,000万円/3位: 3,000万円 他

## 領域 02

### 官公庁等における審査業務等の効率化

- ▶ 領域概要 官公庁の共通ニーズである審査業務(特許審査業務をモデルとする)効率化に資する生成AI開発
- ▶ 懸賞金 1位: 1億円/2位: 7,000万円/3位: 3,000万円 他

## 領域 03

### 生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及び リスク低減技術の開発

- ▶ 領域概要 生成AIの安全性に関わるリスクの特定と当該リスク低減技術の開発
- ▶ 懸賞金 1位: 7,000万円/2位: 5,000万円/3位: 3,000万円 他

# 全体目次

領域 01	国産基盤モデル等を活用した 社会課題解決AIエージェント開発	テーマⅠ 製造業の暗黙知形式知化	p.3
		テーマⅡ カスタマーサポートの生産性向上	p.70
領域 02	官公庁等における審査業務等の効率化		p.134
領域 03	生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及び リスク低減技術の開発		p.170

※各テーマ/領域名を押すと該当箇所に飛ぶことができます。

※本カタログでの記載内容は応募者の提案サマリを元にしており、各社の記載内容について保証するものではありません。詳細は、各応募者にお問い合わせください。

※全領域において、掲載取り下げを希望する応募者については伏せております。また、領域03については、希望者のみカタログに記載しております。



領域  
01

## 国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発

### I . 製造業の暗黙知の形式知化

# 目次

社名	ページ
ダイキン工業株式会社/Fairy Devices株式会社	5,6
三菱重工業株式会社/株式会社Algomatic	7,8
NanoFrontier株式会社	9,10
株式会社チトセロボティクス	11,12
川崎重工業株式会社/株式会社NTTデータ	13,14
株式会社MotorAI	15,16
株式会社AIST Solutions/ストックマーク株式会社	17,18
株式会社バイオメティクスシンパシズ/インジェンタ株式会社	19,20
株式会社オージーエヌ/株式会社令和AI	21
株式会社黒野金属/NousLagus株式会社	22
株式会社寺島研磨工業/富士通株式会社	23
栗山縫製株式会社/Axelidea株式会社	24
ノリタケ株式会社	25
松本工業株式会社/株式会社デンソー九州	26
有限会社中村海産/株式会社ENOSTECH	27
有限会社モメンタムファクトリー・Orii/株式会社LIGHTz	28
アイルレット株式会社/株式会社Breveridge	29
株式会社ANGEWORK	30
株式会社一芯/合同会社SYMthink	31
H2L株式会社/株式会社川淵機械技術研究所	32
株式会社荏原製作所/元気株式会社/株式会社MONONOKE	33
荏原製作所/アットピーク株式会社/Sparticle株式会社	34
株式会社エムニ/株式会社明電舎	35
株式会社エムニ/株式会社ダイセル	36
大矢伝動精機株式会社/アルム株式会社	37
オムロン株式会社/国立大学法人東京大学	38
片山工業株式会社/Shisa株式会社	39
CTCテクノロジー株式会社/株式会社グーテンベルク	40
ジヤトコ株式会社/Blavus AI合同会社	41

社名	ページ
シャボン玉石けん株式会社	42
株式会社ジョリーグッド/新エフエイコム株式会社	43
株式会社シンワ/株式会社LiberaForm	44
有限会社ゼムケンサービス/アイム電機工業株式会社/学校法人早稲田大学大学院	45
ダイキン工業株式会社/株式会社スキルアップNeXt/株式会社KICONIA WORKS	46
ダイハツ工業株式会社	47
高砂電気工業株式会社/株式会社リハベルクラフト	48
東海旅客鉄道株式会社	49
株式会社トコシエ	50
TOPPAN株式会社/株式会社JDSC	51
株式会社戸畑製作所/株式会社ミラリンク	52
トヨタ自動車株式会社	53
日新技研株式会社/CADIC株式会社	54
日本ガイシ株式会社/ストックマーク株式会社	55
ノザキ製菓株式会社/AWL株式会社	56
パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社/富士通株式会社	57
日立GEベルバニュークリアエナジー株式会社/株式会社日立製作所	58
株式会社広島/株式会社WAIOS/01フィラメント株式会社	59
ブリヂストンBRM株式会社/株式会社リョーワ/早稲田大学	60
本田技研工業株式会社	61
株式会社マツダE&T/株式会社ビーライズ	62
株式会社丸山製作所/M-Innovations株式会社/株式会社リョーワ	63
三島光産株式会社/FPTジャパンホールディングス株式会社	64
MISERU株式会社/株式会社リョーワ/伸和コントロールズ株式会社	65
三菱電機株式会社	66
メルコジャパン株式会社/株式会社GROWTH JAPAN TECHNOLOGIES	67
養父織物/京なかGOZAN	68
学校法人早稲田大学/株式会社高田工業所	69

ダイキン工業株式会社、Fairy Devices株式会社



# 熟練者の代わりに作業者を支援するAIエージェントの開発

## 会社概要

**【ユーザー企業】ダイキン工業株式会社**

グローバルに事業展開する空調リーディングカンパニー。海外にも生産拠点を構え、170か国以上へ進出。

**【開発企業】Fairy Devices (フェアリーデバイス) 株式会社**

首掛け型ウェアラブルデバイス「THINKLET®」と音声AI技術で、日本の産業現場のDXに取り組んでいる。

問い合わせ先

<https://fairydevices.jp/contact>



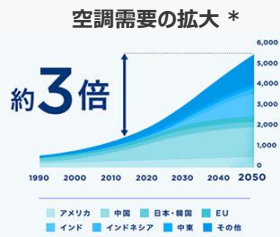
## 背景・課題

### 1.【背景】グローバル需要の増加

地球温暖化や新興国の経済成長に伴い、空調機器の需要は2050年までに現状の約3倍に増加する見込み。この需要に対応するためには、機器の修理や点検を担うサービスエンジニアも、大幅な人員増強が必要になる。

### 2.【課題】暗黙知の喪失と作業負荷の高い現場

労働力不足の深刻化によって、現場での技術継承が困難となり、現場の「暗黙知」が失われるリスクに直面している。現在、3000時間以上の作業動画を蓄積することで暗黙知をデジタル化し、教育等への有効活用を進めている。しかし、現場の作業負荷が高く、活用は難航している。



空調需要の拡大 \* エンジニアのグローバルニーズ急増



\*2018年比IEA (国際エネルギー機関), Global air conditioner stock, 1990-2050, IEA, Paris

## 提案内容

### 空調機器メンテナンス作業の抜け漏れチェックを行うAIエージェント

- 実証結果: 熟練者に代わってAIが、特定の点検作業を支援するというユースケースを実現し、現場でPoCを実施。現場作業との高い親和性と抜け漏れチェックの速度に優位性を示した。実験で検知精度91%、環境要因に影響を受ける現場でのPoCでは検知精度76%を達成。
- 本格導入に向けた取組: Vision Language Model (VLM) のファインチューニングによる空調サービス作業全般を対象とするAIエージェントの開発、及び検知精度の改善。



首掛け型ウェアラブルデバイス

作業者はTHINKLET®を装着し、作業を行う



データ

- 3000時間以上蓄積された作業動画を、現場の用途に適した教師データとして活用



モデル

- 特定の作業のみを対象とする「個別モデル」と、空調作業全般の作業を解析できる「基盤モデル」を開発
- 基盤モデルは、事前学習モデルとVLMの両方を研究開発



アプリ

- THINKLET®から転送される作業映像から、AIが作業の抜け漏れをチェックし、結果をユーザーのスマートフォンにSMS送信



ダイキン工業株式会社、Fairy Devices株式会社



# 熟練者の代わりに作業者を支援するAIエージェントの開発

## 実証成果

### 1. 背景・目的

熟練者の代わりに作業者を支援するAIエージェントを開発することで、労働力不足の状況下でも技術継承を行う

### 2. ユースケースの実現

特定のケース（制御基板の点検作業）においては、「AIエージェントが熟練者の代わりに作業の抜け漏れをチェックする」というユースケースを実現することができた

### 3. ユーザーの評価

【ユースケース設計】順序を問わず、実施された作業を判定できるため、作業者への負担が少ない。フィードバックのタイミングも問題ないため、現場作業としては受入れ可である

【速度】リアルタイム性としては申し分なく、作業完了ボタンを押した後、すぐに通知が届いた

【精度】研修施設でのテスト利用では検知精度91%、環境要因（照度など）に影響を受ける現場では検知精度76%を達成

【現場定着率】ユースケースを増やし、現場作業者にとっての付加価値を持つアプリケーションがあると現場定着率の向上につながる

### 4. 本格導入に向けた課題・改善点

【精度】検知精度を現状の76%から90%まで改善する

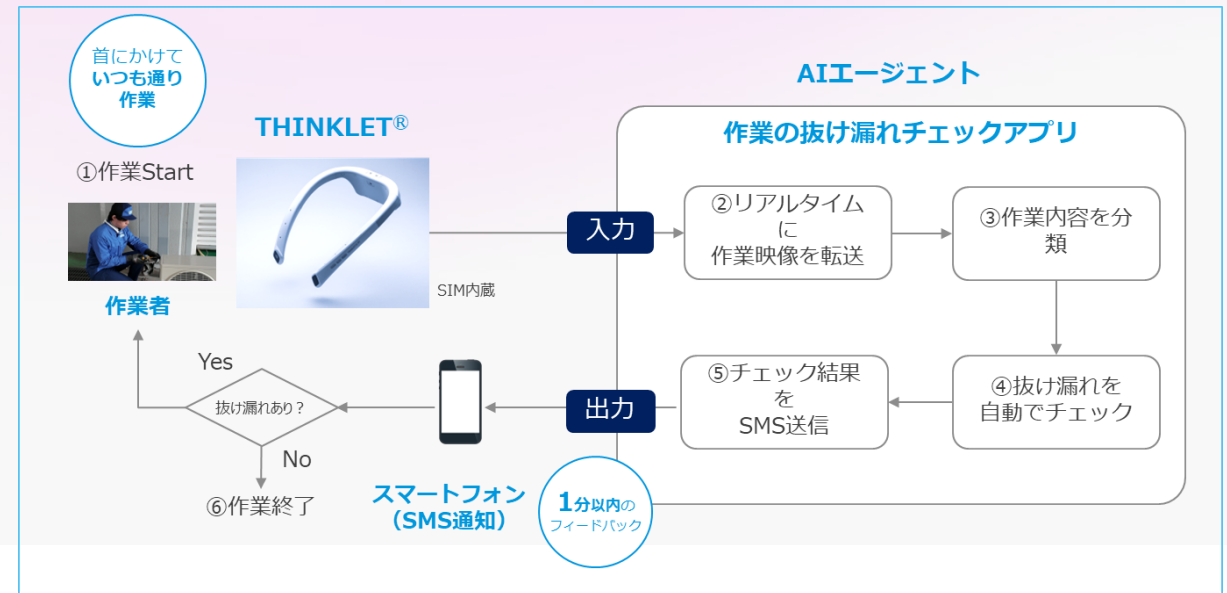
【現場定着率】特定の作業の抜け漏れチェックだけでなく、多様なユースケースに対応した音声ガイドダンスという付加価値をつける

ことで、現場定着率と作業の正確性を高める

【汎用性】個別モデルの開発では開発工数が大きくなるため、空調作業全般を認識可能な「基盤モデル/VLM」の開発を進める

### 5. インパクト

現場支援のためにバックオフィスに構えている熟練者の問い合わせ対応にかかる件数を40%削減し、繁忙期の業務負荷を軽減する効果（Phase2としてユースケース増強と、検知精度90%を達成後の想定値）



三菱重工業株式会社/株式会社Algomatic



# Tig溶接の技術伝承

## 会社概要

三菱重工業: 多種多様な製品を扱っている総合機械メーカー

Algomatic: 最新の生成AI技術を通じて、業務に変革を起こすことをミッションに掲げるスタートアップ

問い合わせ先

<https://algomatic.jp/>

yuki.nanri@algomatic.jp

## 背景・課題

### 背景

- 熟練の技術を持った職人の高齢化、定年退職に伴う、**技術伝承は社会課題**
- 社会インフラを担う企業**として、持続的なサービス提供には不可避のテーマ

### 課題

- これまでも、動画撮影やインタビュー、マニュアル作成等に取り組んできたが、“職人技”がゆえに、**一律の方法で形式知化することが難しい**
- とはいえ、多種多様な技術があるなか、膨大リソースを投下して、**個別対応することは現実的でない**という状況

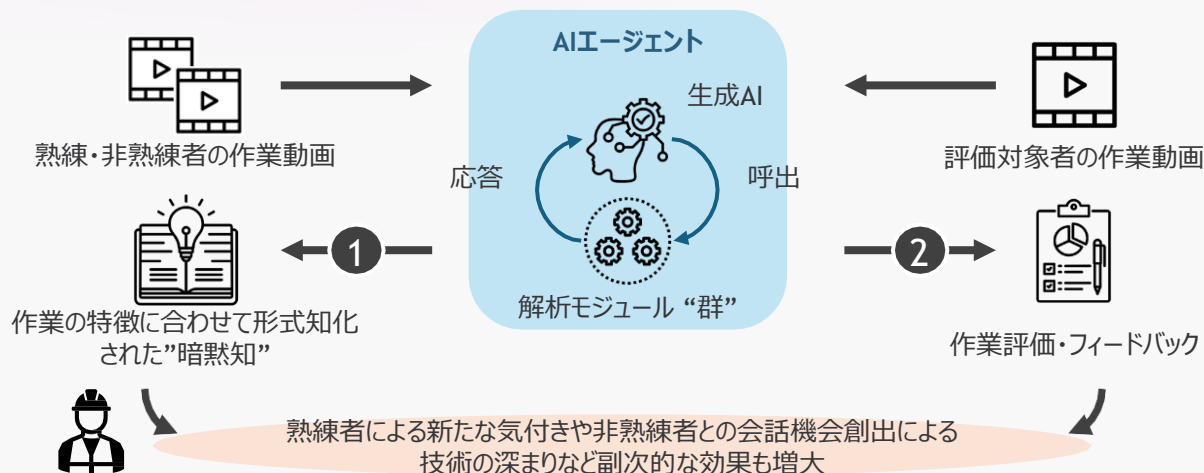
⇒汎用性と特殊性を兼ね備える必要

## 提案内容

AIエージェントによる技術伝承の仕組化 ~ユーザーは動画のアップロードのみ、“特殊”な作業を“汎用的”手法で解決~

**機能①: どんな作業動画でも暗黙知を最適な形で形式知化**

**機能②: 形式知化された暗黙知をもとに自身の作業を評価・フィードバック**



三菱重工業株式会社/株式会社Algomatic



## Tig溶接の技術伝承

### 実証成果

#### 実証成果・インパクト

- ◆社内
  - 属人化された技術伝承からの脱却に向けて、**事業の継続に向けた基盤整備が進捗**
  - 人材育成期間を**約30%短縮することに貢献**の見込み
- ◆業界や他企業
  - 汎用的な構成のため地域・業界を問わず広く展開可能  
→ **世界市場規模: 約55.6兆円**
  - かつ、企業独自の技術に対しても解析モジュールの追加開発により対応可能

#### 課題・改善点

- ◆社内
  - **事例の拡大**
    - Tig溶接に限らない作業に対しても拡大
  - **後処理の簡素化**
    - もっともらしい嘘の排除や確度に応じた表現の使い分け等
    - AIが生成した文章の点検に要する工数、手間の削減
  - **ユーザー側の割り切り文化醸成**
    - 100点の回答をAIに求めないというユーザー側の共通認識の醸成

NanoFrontier株式会社



# LLMを活用した実験自動化

## 会社概要

東北大学発スタートアップとして2025年4月に設立。東北大学で30年以上にわたり蓄積されてきた独自のナノ粒子技術を基盤に、幅広い機能性ナノ材料の研究開発・社会実装に取り組む大学発スタートアップです。  
 同社は、PFASによる水環境汚染の迅速検知、レアメタルに依存しない長時間蓄電池材料、データセンターの省エネルギー化を実現する高熱伝導ナノ流体など、環境・エネルギー・情報インフラ分野における重要な社会課題の解決を目指しています。さらに、AI、シミュレーション、ロボティクスを活用した研究開発の自動化・高度化により、試行錯誤型の実験プロセスを効率化し、開発期間とコストを大幅に削減します。研究成果を量産・実装フェーズまで一貫してつなぐことで、企業や自治体との連携を通じた実用展開を加速し、実装性と経済性を両立した先端材料を国内外へ展開することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

問い合わせ先

<https://nanofrontier.jp/>

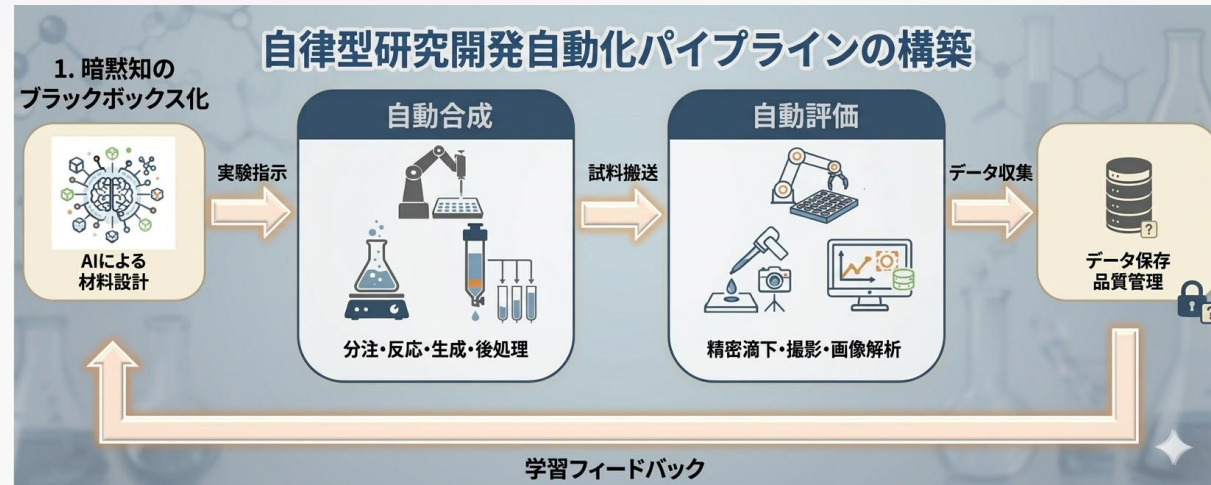
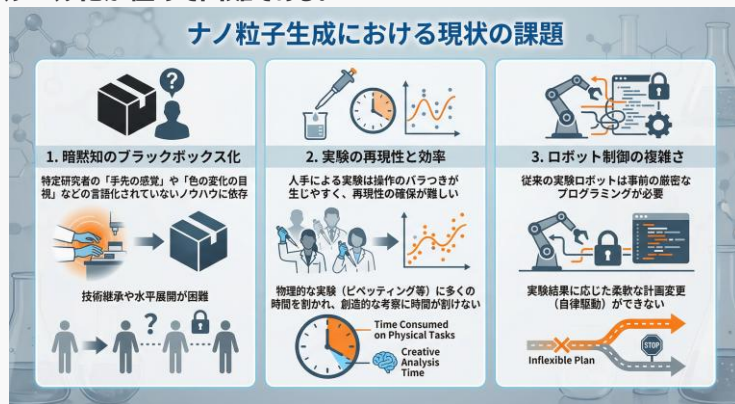
[corp@nanofrontier.jp](mailto:corp@nanofrontier.jp)

## 背景・課題

機能性ナノ材料は環境・医療・エネルギー分野で重要な役割を持つ一方で、合成プロセスは温度・攪拌・投入タイミングなど多数の条件に左右されるため、成功は熟練研究者の「勘・コツ」といった暗黙知に依存している。  
 また人手による実験では実施できる試行回数に限界があり、探索速度が制約され、さらに既存の実験ロボットは固定手順の実行に留まり、実験結果に応じた柔軟な条件変更ができず、材料探索の効率化や研究開発のスケール化が極めて困難である。

## 提案内容

本提案では、ナノ粒子生成プロセスを対象に、LLM・シミュレーション・ロボティクスを統合したAIエージェントを開発し、材料設計、ナノ粒子の自動合成、測定装置を用いた自動評価、データ蓄積・学習フィードバックまでを一体化した自律型研究開発自動化パイプラインを構築する。  
 これにより、ナノ粒子生成における熟練研究者の暗黙知をデータとして蓄積・学習しながら実験条件を継続的に最適化し、スタートアップ企業のような少人数体制でも材料探索の速度と再現性を大幅に向上させることが可能となる。



NanoFrontier株式会社



3位



地域賞

# LLMを活用した実験自動化

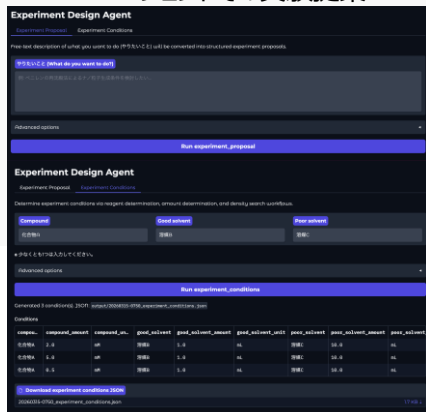
## 実証成果

AI・シミュレーション・ロボティクス統合により実験回数を拡張し、ソフトウェアエンジニアだけで材料開発を推進可能に  
熟練研究者いらずの自律型ナノ材料開発を実現

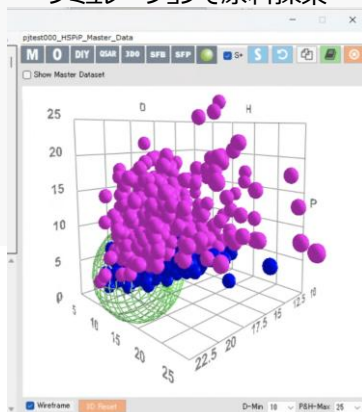
ナノ粒子生成条件を自動提案するAIエージェントを開発・デプロイし、**材料設計、実験、評価、データ蓄積、学習までを一体化した研究開発自動化パイプラインを確立**した。具体的には、化合物・溶媒・濃度などの入力からAIが実験条件を生成し、シミュレーションによる原料探索、スマートグラスを用いた実験操作の自動記録、ロボットアームによるナノ粒子の採取・評価（粒径解析）を連携させることで、従来は**熟練研究者の「勘・コツ」に依存していたナノ粒子生成の暗黙知を再現**した。

その結果、化学の専門知識を持たないソフトウェアエンジニアでも研究開発実験を実行可能となり、**材料開発プロセスの属人性を大幅に低減**した。さらに、AIによる条件探索と実験自動化により、1日あたりの実験回数を従来の1~2件から10件規模へ拡張（約10倍）し、**材料探索の速度と再現性を大幅に向上**させた。これにより、創業直後のスタートアップ企業で研究開発2名程度の少人数体制でも、ナノ粒子材料の開発プロジェクトを約10件同時に推進できる体制を実現した。

AIエージェントでの実験提案



シミュレーションで原料探索



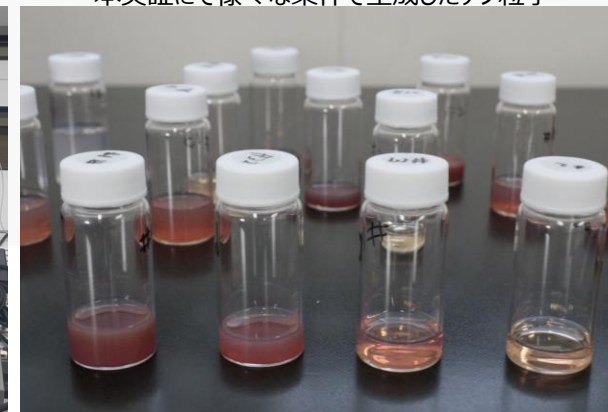
スマートグラスで自動記録



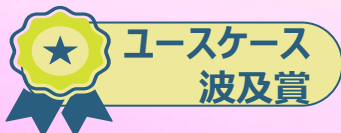
ロボットアームでの材料の自動評価



本実証にて様々な条件で生成したナノ粒子



株式会社チトセロボティクス



# 国産AIを用いた、現場に寄り添う産業用ロボットオーケストレーション

## 会社概要

株式会社チトセロボティクスは、産業用ロボットアームを活用した自動化システムの開発・製作と、生産現場への導入を行う企業です。特に、カメラによる画像認識に基づいてロボットを制御する「ビジュアルフィードバック制御技術」を強みとしており、ロボットが対象を認識し、自律的に動作することで、従来は人手に頼っていた工程の省力化・省人化を実現しています。当社のロボットシステムは、深刻な人手不足や人件費の上昇に悩む生産現場で、特に力を発揮します。現場で活かせるソフトウェア開発に加え、ロボット工学の基礎研究や、AI技術を活用した新しい自動化システムの研究開発にも積極的に取り組んでいます。

問い合わせ先

<https://chitose-robotics.com/>

[sales@chitose-robotics.com](mailto:sales@chitose-robotics.com)

## 背景・課題

### 【背景】ロボット業界の技術者不足

従来の産業用ロボットは、あらかじめ設定された動作（教示動作）を繰り返す機械であり、その動作設定はシステムインテグレータと呼ばれる専門技術者が担ってきました。しかし、専門技術者の高齢化と担い手不足により、ロボット業界は市場の自動化ニーズに十分応えられていません。

さらに、現場における作業変更のサイクルが短期化していることで、自動化コストの上昇や立ち上げ期間の長期化が生じ、現場負担は一層大きくなっています。そのため、生産現場では、その場ですぐに柔軟に運用できるロボットシステムが強く求められています。

### 【課題】暗黙知のスパイラル

自動化のためにロボットへ動作を指示する作業を「教示」といいます。教示の品質は技術者個人の経験や技能に大きく依存しており、「技」として暗黙知化し、横展開が進まない状況にあります。

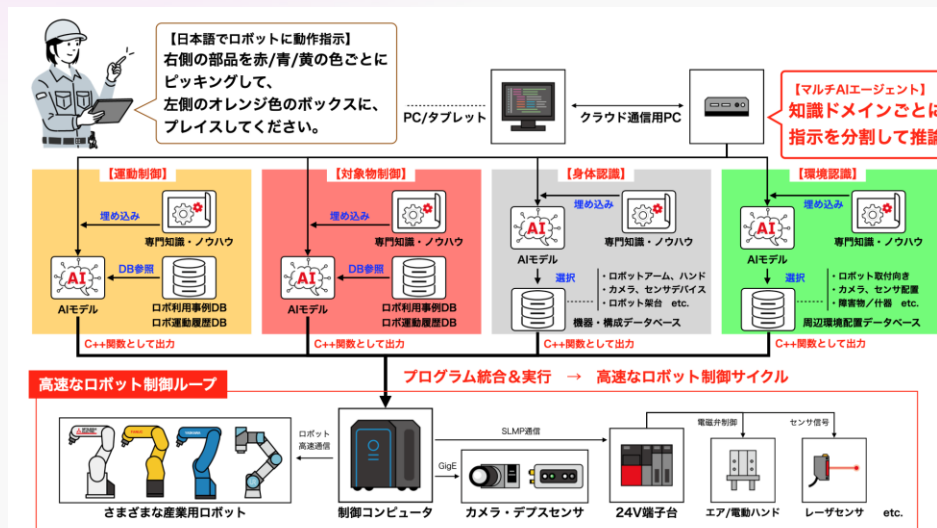
また、ロボットの不具合は現場でしか再現できない場合が多く、調整作業が非効率になりやすいうえ、情報共有も困難です。さらに、運用中に作業内容の変更が必要になると、その都度個別対応を重ねることになり、暗黙知化が加速します。知見が属人化し、共有・継承が難しくなる「暗黙知のスパイラル」が、業界全体の大きな課題となっています。

## 提案内容

ロボット運用ノウハウのない一般ユーザが自然言語で産業用ロボットに作業を指示できる、国産AIを活用したエージェントシステムを開発しました。ロボット業界においてシステムインテグレーション（教示作業）を圧倒的に簡単にすることで、豊富な国内の自動化ニーズに対応できるようになることを目的としています。



ロボット実機システム (↑)  
開発したAIエージェント構造 (→)



株式会社チトセロボティクス



# 国産AIを用いた、現場に寄り添う産業用ロボットオーケストレーション

## 実証成果

### 【実証成果の評価】

当社は、「日本語で、プログラミング不要でロボットシステムを構築・運用できる」機能を実現するため、本システムを企画しました。

プロトタイプ開発と複数の実証・評価試験を通じて、当社への本格導入と定着を進める方針を決定しています。

国産AIと国産産業用ロボットの効率的な運用により、人手不足の解消と、ロボット業界の暗黙知の継承を進め、持続可能なロボット市場の創出に貢献していきたいと考えています。

### 【生産性向上インパクト、ロボット業界・他企業へのインパクト】

当社のロボット自動化システム構築業務において、本システムは、教示作業の自動化と現場調整の負担軽減により大きな生産性向上を実現しました。従来32時間かかっていた作業を1時間に短縮できるほか、生産現場の担当者とロボットを見ながら調整・検討できるため、技術者工数や営業対応工数が削減され、1案件あたり平均230万円のコスト削減が可能になります。

ロボット業界共通の課題である教示作業や営業対応の負担を解消することで、業界全体の生産性向上に貢献していきます。



**ロボット作例1:**  
板金パーツの移載作業用  
ロボットでの活用  
複雑な形状の板金パーツを認識し、自動でピック位置を決定しプレイス



**ロボット作例2:**  
バイオ領域での試料計量  
ロボットでの活用  
慎重な動作が必要となる粉体の計量



**ロボット作例3:**  
食品パッケージのピッキング  
ロボットでの活用  
形状が一樣ではないパッケージを、移動するコンベアからピッキング

### 【市場展開】

本AIエージェントシステムは、現段階ではプロトタイプとして、対象物のピック&プレイス動作を対象に実証試験を行ってきました。今後は、国産AIとロボットシステムが対応できる作業を拡大し、生産現場における人手代替の範囲を広げることで、より幅広い労働生産性向上に貢献していきます。具体的には、以下の2領域への対応を進めます。

第一に、コンベアやマシニングセンタなどの既設機械と連携し、部材の出し入れを行う機器間連携への対応です(右[1])。生産現場ごとに異なる設備仕様をAIエージェントが解釈し、個別調整用プログラムを生成して、ロボットアプリケーションとして出力する機能の実装を目指します。

第二に、ライン組立作業やセル生産方式など、複数の部品や資材を組み合わせる製品を組み立てる工程への対応です(右[2])。家電、自動車、食品などの最終組立工程では、今なお多くの人手が必要です。これに対応するため、より複雑な工程を生成できるAIエージェントと、その手順の妥当性を確認するオブザーバーAIの開発を進めます。

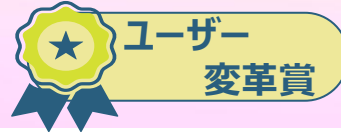
### [1]コンベア連携・加工機連携機能の拡張版AIエージェント



### [2]ライン組み立て・セル生産方式への拡張版AIエージェント



川崎重工業株式会社、株式会社NTTデータ



## 熟練者知見を次世代へ継承する暗黙知伝承システム — 振動設計の高度判断をAIエージェントで形式知化 —

### 会社概要

#### 川崎重工業株式会社

- 船舶・鉄道車両・航空機・モーターサイクル・ガスタービン・油圧機器・産業用ロボットなどを手がける、陸・海・空に事業を展開する総合重工業メーカー

#### 株式会社NTTデータ

- 官公庁・金融・産業分野を中心にシステム開発をはじめとするITサービスを提供する、日本国内最大級のIT企業

### 問い合わせ先

- 川崎重工業:  
<https://www.khi.co.jp/corporate/contacts/>  
 NTTデータ:  
<https://www.nttdata.com/jp/ja/trends/data-insight/2025/1205/>

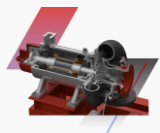
### 背景・課題

#### 業界背景・課題

製造業全体では熟練者の退職が進む中、若手が「高度な判断が必要な知見」へ十分にアクセスできず、技術伝承の難しさや判断の属人化が顕在化している。特に受注設計生産型的设计現場では、案件ごとに仕様が異なるため、知見を体系化しづらく、生産性や品質にばらつきが生じやすい。

#### 川崎重工業の課題

空力機械設計では、判断プロセスや観点が十分に文書化されておらず、熟練者依存が高い。空力機械製品は、単体機器からプラントまで多岐にわたり(例：MAGターボ)、条件も案件ごとに異なるため、過去知見の参照や再利用が困難な状況となっている。その結果、特に振動設計において、判断根拠を体系的に蓄積・活用する仕組みがなく、継続的な改善が阻まれている。したがって、暗黙知を整理し再利用可能とする仕組みが必要であった。



参考：曝気用単段ターボブロワ「MAGターボ」

### 提案内容

#### 課題解決方法

本提案では「①熟練者の暗黙知を抽出するインタビューエージェント (IA)」、「②知見を体系的に蓄積する文書ストア」、「③若手が業務質問をすると、熟練者知見を根拠付きで即時提示できるチューターエージェント (TA)」の3機能を連携させ、暗黙知を抽出・構造化・活用する「暗黙知伝承システム」を構築した。特にIAでは、社内文書などの業務知見を踏まえた上でインタビューを行うなど、熟練者の重要な判断観点を聞き出せるような工夫を施した。

#### 実証成果

実証の結果、IAによって既存文書にはない新たな熟練者知見を取り出すことに成功。また、若手が必要な情報や熟練者の判断根拠にすぐアクセスできるようになり、誰でも同じ手順や観点で業務判断できる仕組みが機能することを確認。これにより、判断内容のばらつきが減り、品質が安定する効果に加え、熟練者による若手への指導や個別対応の負担が軽減される可能性も示された。本システムの利用を通して、現場から「抽出した熟練者の暗黙知を即時に参照できた」「業務導入に期待できる」といった肯定的なフィードバックが寄せられた。

暗黙知伝承システム利用イメージ		アイコン	アイコン説明
熟練者	IA	アプリ	ブラウザアクセス可能なアプリとして以下を構築 ・インタビューエージェント (IA) ・チューターエージェント (TA)
	文書ストア	モデル	IA・TAの全AIエージェントにてtsuzumi 2を使用
		データ	IA入力 : 設計業務文書など TA参照文書 : 設計評価レポート+IA出力 TA入力質問 : 若手〜熟練者レベルの設計業務に関する質問複数件

川崎重工業株式会社、株式会社NTTデータ



## 熟練者知見を次世代へ継承する暗黙知伝承システム — 振動設計の高度判断をAIエージェントで形式知化 —

### 実証成果

#### 1. 評価1回あたりの工数削減

実証により、**約45%の工数削減**見込み

- 熟練者工数： 8時間 ⇒ 0.5時間
- 若手工数： 16時間 ⇒ 12時間



#### 2. 川崎重工業グループ全体への波及効果

グループ全体で**約90万時間削減**見込み



#### 3. 業界・他企業への波及

川崎重工業だけでなく**製造業界全体での技術伝承加速**に貢献

- 暗黙知を抽出・構造化し、即時活用する仕組みは、高度な判断を要する業務全般に展開可能
- 本取り組みは、tsuzumi 2を実務レベルで活用した国内製造業におけるAI活用モデルの先事例となる



#### 1. 熟練者(IA)

IAが**“判断プロセス・採否基準の形式知化”**を実現

- 「社内知見・一般知見を元に質問してくれるため、回答しやすい」
- 「知見を整理したドキュメントとしてまとめてくれるのがありがたい」



#### 2. 若手(TA)

若手が**“熟練者の知見に即時参照”**を実現

- 「必要な業務判断根拠や過去事例をすぐ参照できるのが嬉しい」
- 「回答内容が参考になり、業務理解が深まった」



#### 3. 熟練者(TA)

熟練者が**“TA導入による現場改善”**を期待

- 「過去事例やノウハウを基に回答できているのが良い」
- 「回答根拠がわかりやすく、対策案として根拠を持てるのが良い」



株式会社MotorAI



持続実装賞



地域賞

# 設計エージェントを搭載した自律型モータ設計システム

## 株式会社MotorAI

### 会社概要

- モータ関連企業向けに「1つのライセンスで設計者10人分」の生産性を実現する設計エージェントを提供
- 設計理論と社内ナレッジを参照し、アイデアのCAD図面化から商用解析ソフトでの検証まで一気通貫で自動実行
- 国内トップ企業3社との技術実証に加え、導入にあたってのセキュリティ・知財課題も解決済み

問い合わせ先

<https://motorai.jp/>

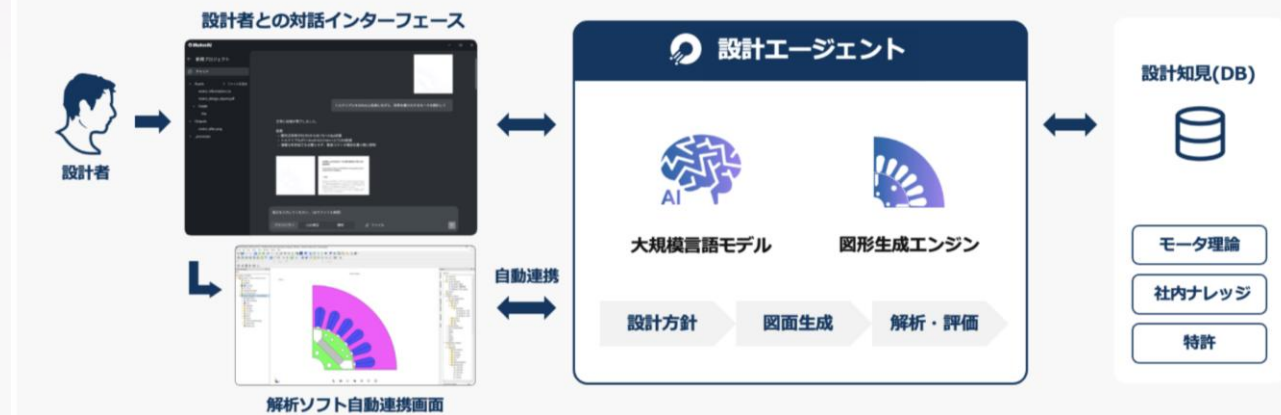
[contact@motorai.jp](mailto:contact@motorai.jp)

### 背景・課題

- モータ市場は電動化の進展により拡大を続ける一方、専用設計ニーズの高まりに伴い、設計の複雑性が増加
- モータの設計開発は製造制約に強く依存するが、設計・製造に関する知見は現場に偏在。設計期間が長期化する傾向
- 短期間でも専用設計ニーズに対応するため、設計・製造双方の知見を資産化し、継続活用できるシステムが不可欠

### 提案内容

- モータ設計を自律的に進める「設計エージェント」を提案
- 対話ログからナレッジを抽出する機能により、設計をしているだけで、自然かつ継続的に暗黙知を形式知化



大幅な設計時間の短縮/限られたリソースで品質の高い設計/ノウハウや設計データの資産化を実現

株式会社MotorAI



持続実装賞

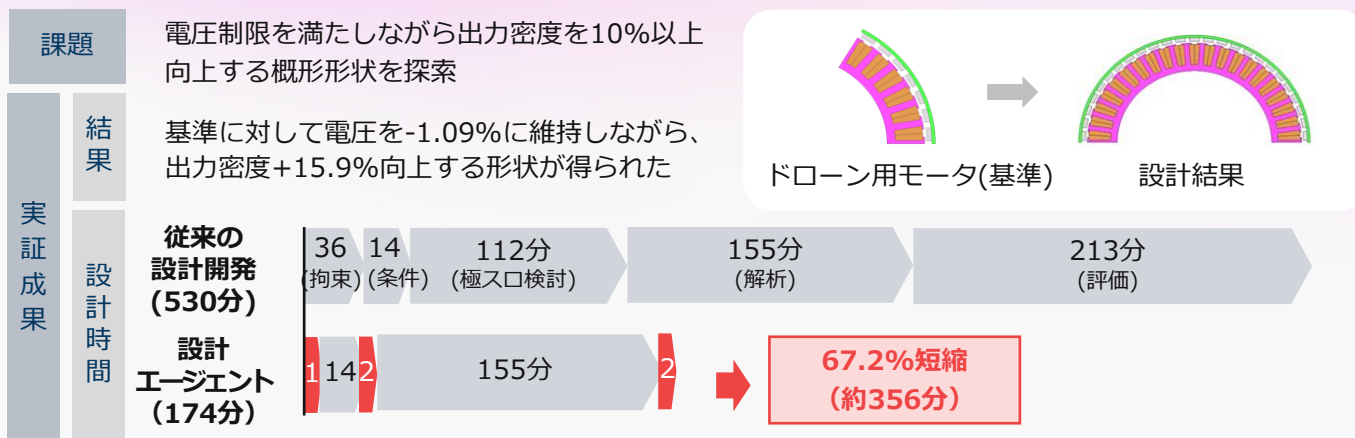


地域賞

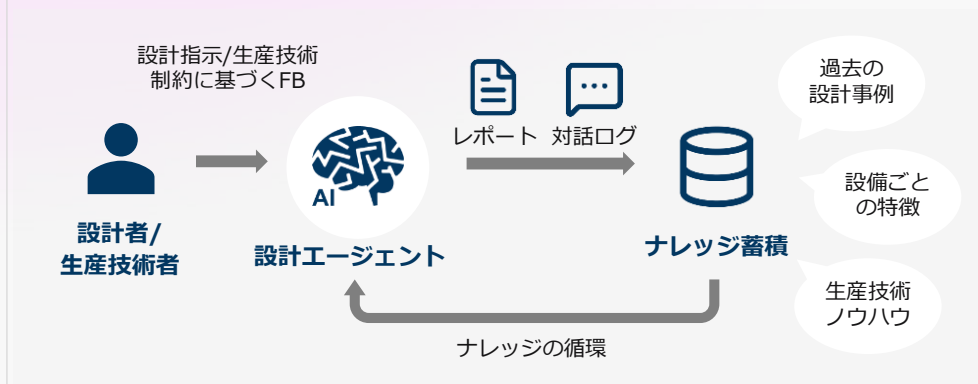
# 設計エージェントを搭載した自律型モータ設計システム

## 実証成果

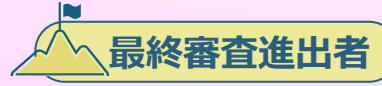
トヨタ自動車、ダイキン工業、三菱重工業などと技術実証を実施。  
 設計要求を満足しながら、設計期間を31.2~67.2%短縮  
 →AIが24時間稼働できることを念頭に置くと、**設計エージェントの生産性は人間の約10倍**に相当



設計エージェントが設計開発データと製造工程の知見を統合  
 両領域の知識が相互に反映される設計・開発プロセスを実現



株式会社AIST Solutions/ストックマーク株式会社



## オープンイノベーション特化型「ビジネスと技術を橋渡すAI “Bibbidi (ビビディ)”」

### 会社概要

株式会社AIST Solutionsは、産業技術総合研究所を中心とした“アカデミア”と“企業ニーズ”を繋ぐ産学連携のマッチングを実施している。年間2600件の技術相談対応と60名以上のビジネスと技術を橋渡すコーディネータを擁し、業界トップの実績をもつ。今回は国産LLM開発事業者であるストックマークとAIエージェントを開発。産学連携を活用するユーザー企業と共に、PoCを実施する。

問い合わせ先

<https://www.aist-solutions.co.jp/media/bibidi/>

[bibbidi\\_support-ml@aist-solutions.co.jp](mailto:bibbidi_support-ml@aist-solutions.co.jp)

### 背景・課題

製造業におけるオープンイノベーションへの投資は他国に比べて低く、新事業創出や事業変革が進みにくい構造的な課題がある。アカデミアには、課題を解決する技術はあるものの、それを活かせるのは「**技術とビジネス双方を理解する専門家**」のみ。非専門家が関与できず、**技術活用**の機会が限定的・小規模に留まってきた。

企業	アカデミア
<p>探索方法・プロセスを持たない</p>	<p>情報発信がバラバラ (組織・分野・媒体ごと) 情報がAI Readyでない</p>
<p>一部の技術専門家だけが実施</p>	<p>ビジネス向け用語や価値の説明がない</p>

### 提案内容

技術探索の“暗黙知”を、誰もが使えるプロセスへ 産業界・アカデミア横断で活用可能に

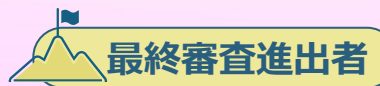
①適切なマッチングのための分析・プロセス

②ビジネスワードからでも適切に技術探索

③複数の情報源の集約 AllJapan検索



株式会社AIST Solutions/ストックマーク株式会社

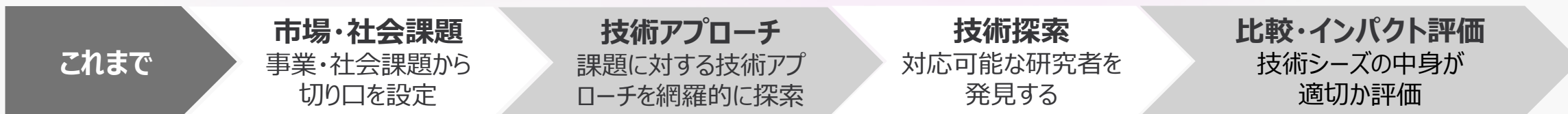


# オープンイノベーション特化型「ビジネスと技術を橋渡しするAI “Bibbidi (ビビディ)”」

## 実証成果

技術専門家のみが実施していた探索プロセスが、企画・新規事業担当などの非専門家でも実行可能に。単なる効率化にとどまらず、探索の試行回数を増やしながらか、意思決定の質とスピードを同時に向上させる効果が実証された。

### 産学連携のマッチングのための探索プロセス



**Bibbidi** 分析・探索・レポート

POC協力の8社を含む  
**50社以上利活用**  
※1月から一般受付開始

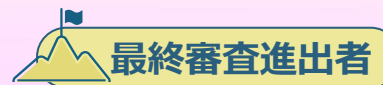
アカデミアとのデータ連携  
**20機関と調整中**

通常調査期間に数週間を費やすところ...

↓  
**Bibbidiなら**  
**最短2時間に短縮 &**  
**異分野技術との新たな出会いを創出**

- ✓ワンボタンで熟練の分析を再現
- ✓幅広いアイデア出し
- ✓技術アプローチを網羅的に提示
- ✓研究者を高精度かつ網羅的に提示
- ✓論文、特許、リリース、展示パネル等複数の情報源を参照可能

株式会社バイオメテックスシンパシズ/インジェンタ株式会社



# 「失敗データ」を資産に変える創薬研究AIエージェント

## 会社概要

**ユーザー：株式会社バイオメテックスシンパシズ**  
再生医療・細胞加工分野のパイオニア。間葉系幹細胞 (MSC) 等を用いた高度な再生医療技術と、それに伴う膨大な実験・研究データを保有。

**開発：インジェンタ株式会社**  
スタンフォード大学、東京大学、慶應義塾大学との共同研究実績を持つAIスタートアップ。医療・創薬に特化した国産 LLM構築と、複雑な因果を解明する Graph AI技術に強み。

問い合わせ先

<https://www.ingenta.ai/ja>

[info@ingenta.ai](mailto:info@ingenta.ai)

## 背景・課題

### 背景:

創薬・再生医療分野では論文が急増し、人力による網羅的な調査は限界。

加えて、現場の「研究データ」や「失敗事例」などの貴重な一次情報は個人管理に埋もれ、組織として活用できず、貴重な知見が日々失われている。

### 課題:

熟練者独自の判断基準 (暗黙知) が継承されず、そもそもの重複実験や確度の低い仮説検証によるロスが多発。

また機密性の高い未発表データは海外製AIに送信ができず、セキュアな環境での高度な知識活用の検討が急務である。

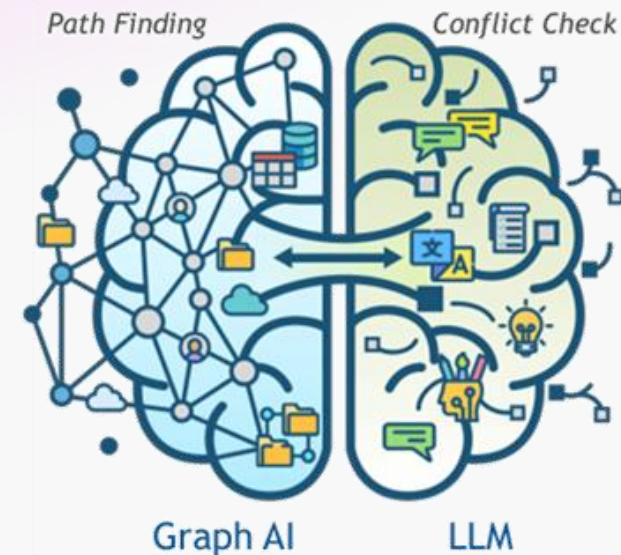
## 提案内容

### 解決策:

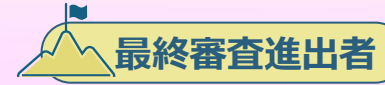
医療特化の国産LLMに、論理的な思考回路である「Graph AI推論エンジン」を統合した自律協調型エージェントを開発。

### 技術的革新性 (Graph AI × Neuro-Symbolic):

- **構造的推論**：単純検索ではなく、Graph AIが「A→B→C」という隠れた因果関係や、過去の失敗実験との構造的な類似性を数学的に計算・発見。
- **論理的制御**：LLMの「創造性」とGraph AIの「論理性」を融合し、ハルシネーション (嘘) を排除した「根拠付き仮説」を自律生成。



株式会社バイオメテックスシンパシズ/インジェンタ株式会社



# 「失敗データ」を資産に変える創薬研究AIエージェント

## 実証成果

### ①現場で起きていたこと

再生医療R&Dでは、論文だけでなく社内の実験記録・失敗報告まで見ないと、**過去に別チームが失敗した条件**を再び試してしまう。

特にMSC培養条件検討では、ドナー差、継代数、播種密度、培地条件などの組合せが複雑で、「**一見よさそうだが再現しない条件**」の見極めが熟練者依存になっていた。

### ②AIエージェントが変えたこと

論文、社内実験記録、失敗報告、内部技術資料を統合し、Graph AIが**過去失敗との構造的類似性**を判定。

研究者が新しい実験案を立てると、AIが類似する失敗事例、再現性が低い条件候補及びより確度の高い代替条件を根拠付きで提示する。

単なる検索ではなく、「**次に避けるべき失敗**」を実験前に示せる。

### ③具体例（公開論文ベースの代表ケース）

MSC長期培養にFGF-2を用いる場合、条件次第で老化リスクが逆転する。

- **汎用AI**：前提条件を区別できず、「老化を抑制する」と「老化リスクが高まる」を誤用してしまう
- **本システム**：「低濃度・短期では抑制効果あり。高継代で効果が減衰、老化促進に転じるリスクあり」と条件別に提示。加えて、社内記録から同条件での類似失敗を検出し、再現性の低い条件を事前に除外。

### ④研究現場の変化

#### BEFORE

- 仮説立案まで約**3週間/件**
- 論文検索、過去記録の確認、ベテラン相談を繰り返す
- 失敗データが個人管理に埋もれ、重複実験が起きやすい
- 研究者は探索と整理に時間を取られる



#### AFTER

- 仮説立案まで約**3日/件**
- AIが失敗類似パターンと代替条件を提示
- 若手でも熟練者の判断観点にアクセス可能
- 研究者は検索ではなく判断と実験に集中

## 実証で確認できた成果

- 正答率：**92.96%**（GPT-4.1単体比 +17.58pt）
- 調査・仮説立案工数を**80%以上削減**

- MSC培養歴10年超のシニア研究者より、「経験豊富なパートナーと議論しているようだ。自分が見落としていた角度からの提示もあった」との評価
- **失敗回避の判断基準を、属人化させず組織内で再現可能な形で共有する仕組みを構築中**

株式会社オージーエヌ、株式会社令和AI



地域賞

# PLC制御プログラム生成AI

## 会社概要

オージーエヌ：産業用生産設備の機械設計・電気制御設計・製作の受託  
 令和AI：AIソリューション製品開発・販売、AIコンサルティング、AI受託開発

問い合わせ先

<https://www.ogncorp.com/contact/>

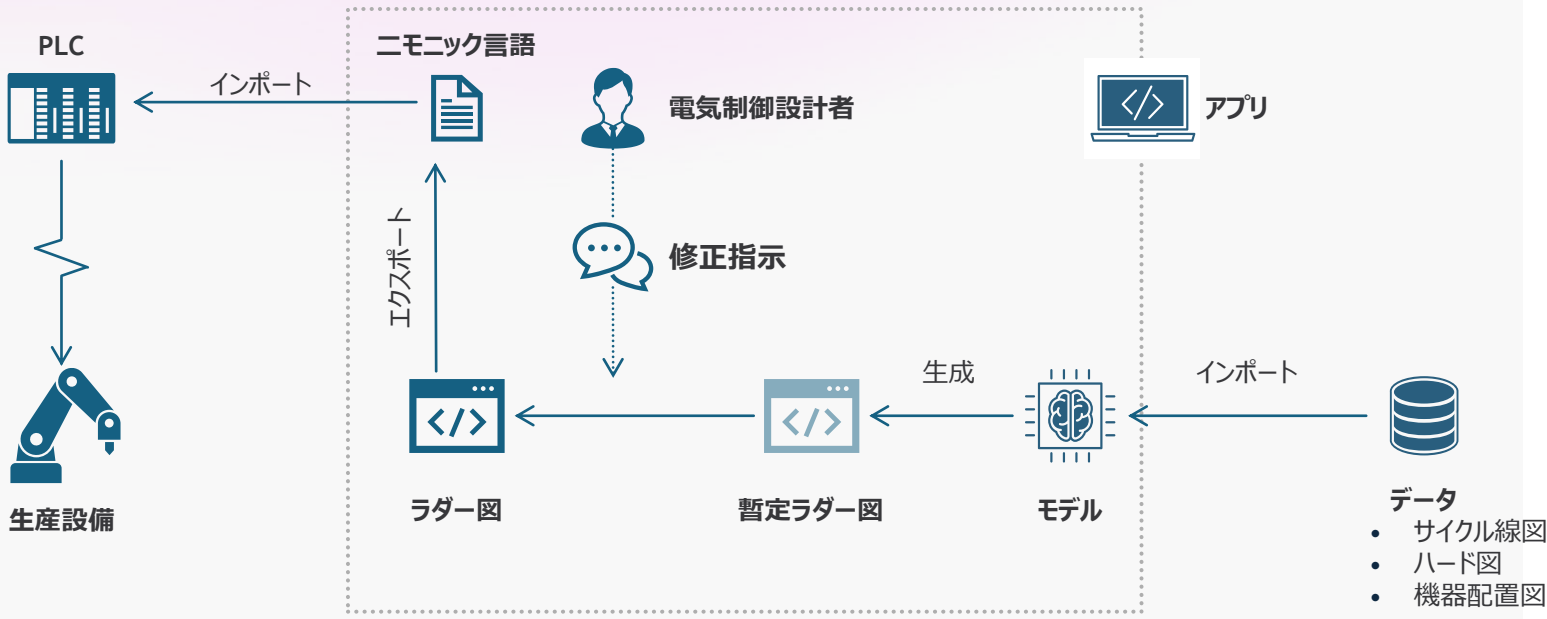
s-utano@ogncorp.com

## 背景・課題

製造業において、PLCの制御プログラム設計に対応できる人材の不足は深刻な課題となっている。

特に、ラダー図の設計においては、生産設備に関する専門的知識や過去の設計ノウハウが暗黙知として属人化されやすく、デジタル活用による技術継承・設計業務の効率化・自動化が急務とされている。

## 提案内容



## 株式会社黒野金属×NousLagus株式会社



# 鑄造AI

### 会社概要

**株式会社黒野金属:** 金型設計から鑄造、機械加工、組立、検査、出荷までを一貫して行う「トータル・システム」を提供する金属加工企業  
**NousLagus株式会社:** AI・DXコンサルティング事業を展開。ソリューションを発注する際に必要な社内ヒアリング・提案依頼書作成をAIがサポートするサービス「キクメモ」の開発

問い合わせ先

<https://lp.kikumemo.nouslagus.com/about>

[info@nouslagus.com](mailto:info@nouslagus.com)

### 背景・課題

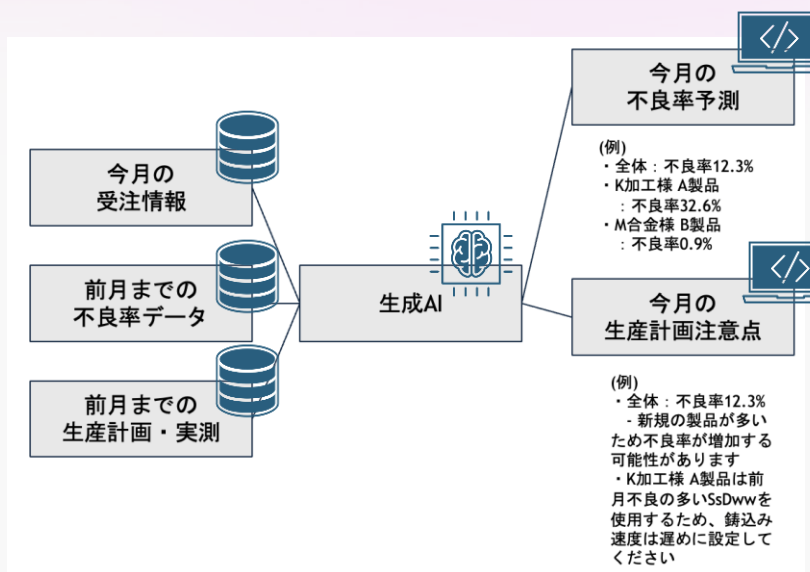
#### 【背景】

鑄造産業は職人の経験に頼った生産管理となっている。受発注システムはAccessを使用しており、サポート終了していることに気づかないまま使用している中小企業が多い。受注や発注のデータも活用し連携を行うことで、生産工程全体の効率化を図ることが求められている。

#### 【課題】

過去の不良率データが千種記されているものの、不良率と生産工程の情報がつながっていない。そのため、生産段階でどのような点に気をつければ良いか計画が立てられず、作業者の注意もできていない状況である。Accessを脱却した受発注システムの連携から不良率の予測まで実施が必要

### 提案内容



【システム】不良率の検知を行います。  
 <input> 不良率データ、受注データ、生産計画  
 <output> 不良率予測、朝礼文章  
 (生産工程の注意点)

#### 【効果】

- ・ 不良率予測精度 **87.6%**
- ・ 不良率の低減
- ・ 定量指標の社員への提示
- ・ 安定した生産計画の実現
- ・ 不良率現象によるコスト削減
- ・ 粗利明確化による攻めの製造業/営業の実現
- ・ 受発注業務の業務改善

株式会社寺島研磨工業 × 富士通株式会社



# 父と子で磨く “Made in Japan”

## 会社概要

- 創業30周年を迎える富山県の**鋸刃製造メーカー**
- 新品刃の**製造**・切れ味を復活させる**再研磨**事業をグローバルに展開
- 大手にはマネできない、**職人による個別カスタムメイド**が売り

自動車産業を支える  
金属切断用チップソー



北陸地場を支える  
木材切断バンドソー



問い合わせ先



## 背景・課題

### 当社の経営戦略

主流：量産品 × 使い捨て (汎用性・コスト重視)  
当社：個別品 × 再研磨 (ニーズ・性能重視)

困りごと① 顧客に伝わらない  
カタログ等の比較表に載らない価値 (ニッチ) が当社の強み



困りごと② 技能者が育たない  
一人前になるまでに5~10年必要な技能職種

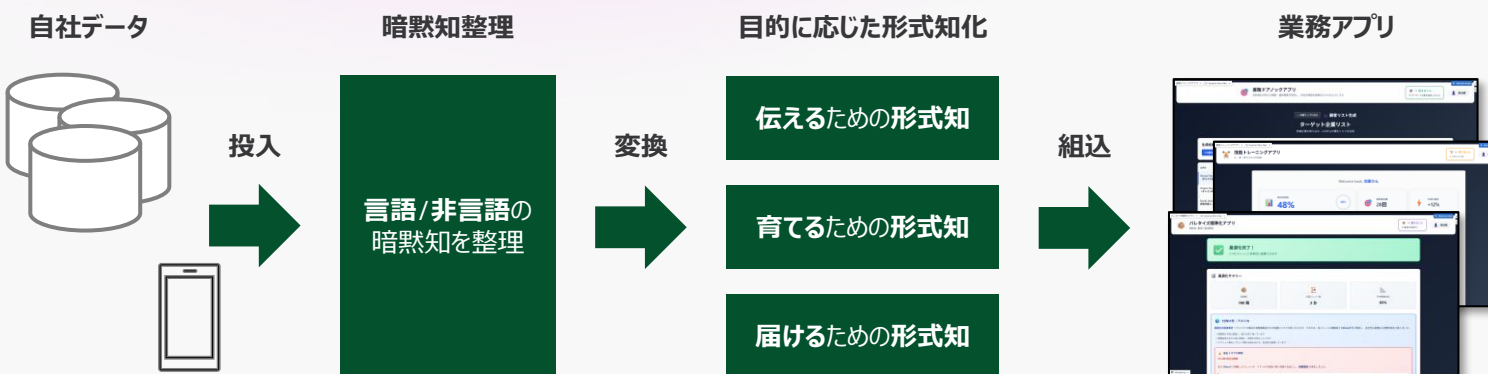


困りごと③ 出荷が安定しない  
品目特性や混載制約に沿ったパレタイズが必要



## 提案内容

事業継続に必要不可欠な伝える×育てる×届けるを支援するAIエージェントを構想



暗黙知を活用し当社のビジネスに更なる磨きをかける

栗山縫製株式会社・Axelidea株式会社



地域賞

# KATA-LYST AI: 日本の製造業を再興する、技能伝承プラットフォーム

## 会社概要

大阪府東大阪市に本社を置く1958年創業の栗山縫製株式会社は、独自教育と治具開発を強みに、高品質な婦人服・紳士服をはじめ多様な素材に対応する縫製工場です。約190名の体制で異業種との製品開発にも取り組み、顧客の理念を尊重した高付加価値な製品を提供しております。また、廃材を活用したアップサイクルにも積極的に取り組み、地球環境への貢献できるよう努めております。

問い合わせ先

<https://axelidea.com/>

info@axelidea.com

## 背景・課題

熟練技術者の高齢化と後継者不足は、もはや猶予のない国家的課題となっています。このままでは、世界に誇る日本の「ものづくり」の魂とも言える「匠の技（暗黙知）」が、永遠に失われかねません。

従来のAIやロボットは、規格化された大量生産には長けているものの、布のような不定形物や、個体差のある対象物を扱う、繊細で複雑な物理作業の自動化には成功していません。この「物理世界の壁」が、製造業における真のDXを阻む最大の障壁となっています。

## 提案内容

本プロジェクトでは、AIエージェント「KATA-LYST AI」を開発し、日本の製造業が直面するこれらの課題を解決します。KATA-LYST AIは、業界の壁を超えて「匠の技」をデジタル資産化し、蒸留・翻訳・再利用可能にする、「技能伝承プラットフォーム」です。



1. **技能蒸留 (KATA-Extractor):** 視覚データと、大学と共同研究の触覚センサーデータにより、熟練者の暗黙知を物理法則レベルで抽出・蒸留しデジタル化します。
2. **技能翻訳 (KATA-Translator):** デジタル化された技能の本質を技能を蒸留し、縫製業の「布を正確に縫製する技術」を、例えば医療分野の「外科手術における縫合技術」といった異分野への応用を可能にします。
3. **技能支援 (KATA-Guidance):** 「技能翻訳」機能により、異分野向けに変換された技能モデルや、初心者向けに最適化された作業手順を技能学習に活用します。

リタケ株式会社



地域賞

# B2Bデザイン制作プロセスを革新する統合型AIアプリケーションの開発

## 会社概要

1904年の創立以来、リタケはセラミックスの技術をさまざまに応用・発展させながら、事業を拡大・成長させてきました。現在、私たちは、4つの事業を通じて、半導体・電子部品などのエレクトロニクス分野をはじめとする先端技術産業から、自動車・鉄鋼などの基幹産業や食卓に至るまで、幅広い分野に製品や技術を提供しています。

問い合わせ先



✉ kaiatsu\_b9700@noritake.com

## 背景・課題

リタケは創立から120年にわたり、洋食器製造を通じて独自の美意識と品質、そして「**リタケらしさ**」を追求し、ブランド価値を高めてきました。こうしたブランドを形づくるデザインは、熟練デザイナーの技術や感性、すなわち**暗黙知**によって支えられています。特に、B2Bの食器デザイン制作は、営業による顧客要望のヒアリング、デザイナーによる初期デザイン案作成、そして顧客への提案とデザインのブラッシュアップを繰り返すというプロセスが一般的です。中でも**初期デザイン案の作成は、個人の経験に基づく暗黙知への依存度が高い**ため負荷が大きく、制作に多くの時間を要します。さらに、提案したデザインが顧客のイメージと合致しない場合には、**デザイン案作成の段階からやり直し**が必要となることもあり、**リードタイムが長期化**するという課題を抱えています。加えて、こうした暗黙知を若手デザイナーへ継承することも大きな課題となっています。これは**デザインや装飾を扱う製造業全般に共通する問題**であり、伝統工芸分野では過去の装飾パターンをAIで再現する研究が進められています。**暗黙知に依存したプロセスの効率化と技術継承を両立し、持続可能なデザイン開発体制の構築**が求められています。

## 提案内容

- **内容：デザイン暗黙知を形式知化し、商談～デザイン制作を支援するAIアプリケーション (Sprinkle) を開発**  
数千枚のデザイナーアーカイブでAIをファインチューニングし、歴代デザイナーが築き上げた「リタケらしさ」を形式知として構築。国産LLMと連携し、日本語テキストから**リタケテイストを持つ多彩なデザイン案**を瞬時に生成。
- **効果：商談～提案プロセスの高速化と技術継承の支援**
  - 高品質なデザイン案を多数生成 → デザイナーの**創造性を拡張** & **初期デザイン案作成時間短縮**
  - 商談段階でデザインイメージの共有が可能 → 顧客との**認識のズレ**を初期段階で**解消し、手戻り削減**
  - AIが「リタケらしさ」を学習し、誰もが活用できる形式知として構築 → **次世代への技術継承**を支える基盤に
- **B2Bデザイン制作プロセス 人とAIの共創ワークフロー** ※Sprinkleは発想を支援し、最終デザインはデザイナーが制作



松本工業株式会社・株式会社デンソー九州



# 自動車用ヘッドレストのAI自律生産ラインの提案

## 会社概要

松本工業とデンソー九州は、ともに北九州市に本社を置く自動車部品メーカーである。松本工業は生産設備の内製力を持ち、部品製造から設備のFA化まで柔軟に対応できる強みを有する。デンソー九州は、空調や燃料噴射など車両の基幹部品を、高い品質要求に応える技術で量産する企業であり、両社はこれらの強みを掛け合わせて共創に取り組む。

問い合わせ先



## 背景・課題

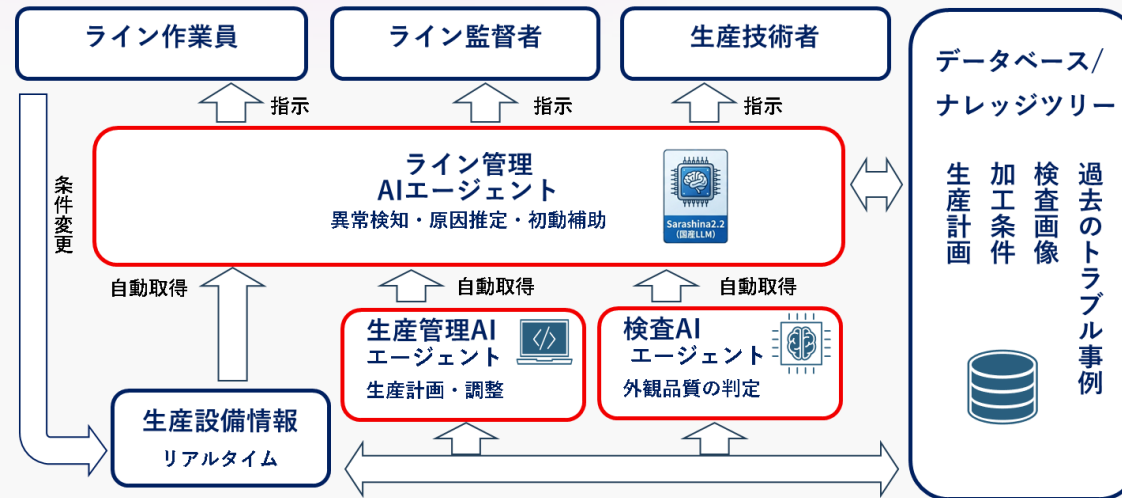
日本の製造業は、熟練者の技能と高い品質管理力によって競争力を維持してきたが、近年は人材不足と技能継承の停滞が深刻化している。

自動車用ヘッドレストの製造においては、発泡・加工・組立・検査といった各工程で、熟練者による判断や異常予兆の察知に依存する場面が多く、こうした属人的運用が生産安定性の課題となっている。さらに、工程ごとにデータが分散し、異常要因を体系的に把握しにくい状況が続いている。

これらの技能の形式知化と人への依存度低減は、両社のみならず、幅広い製造業に共通する重要な課題であると考えている。

## 提案内容

本提案では、ヘッドレスト製造工程において熟練者が担ってきた外観品質の判断、生産管理者の頭の中にある複雑な制約条件、技術者・監督者が異常の兆候を読み取る感覚や、初動対応の判断といった暗黙知を形式知化してAIエージェントによる判断・提案へと置き換え、生産ラインの自律化を実現することを目指す。



有限会社中村海産 / 株式会社ENOSTECH



# 食品加工業特化の生産管理/経営分析 AIエージェント HAIFF

## 会社概要

ユーザーである有限会社中村海産は大正10年創業、富山県氷見市を拠点にみりん干し等の製造・販売を手がけ、全国のスーパーや生協に出荷を行い、従業員数十名を雇用する地域密着型企业です。開発を担当する株式会社ENOSTECHは、AIエージェント実装力に強みを持つ開発会社です。

問い合わせ先



## 背景・課題

**社会課題:**  
**労働力不足と技術継承の危機:**  
 多くの水産加工会社が従業者確保に困難を感じており、「後継者の育成」が喫緊の課題です。

**中村海産の課題:**  
**「社長の暗黙知」への依存:**  
 商品毎の原料使用量、目まぐるしく変わる受注状況 など、複雑な変数を考慮した生産計画作成ノウハウは「社長の頭の中 (及び 複雑なExcel) 」にしかなく、属人化していました。

**多忙な中での経営判断の遅れ:**  
 「今日の製造が本当に儲かっているのか (損益分岐点) 」がキチンと見えないまま稼働していました。

## 提案内容



有限会社モメンタムファクトリー・Orii/株式会社LIGHTz



# 高岡銅器の着色技術をヒアリング + 作業記録 + 生成AIで体系化 勘所を教材化・保存し、伝統技法の再現性と新しい色表現の創出を目指す

## 会社概要

モメンタムファクトリー・Oriiは、昭和25年に折井着色所として創業し、富山県高岡市にて伝統工芸・高岡銅器の着色（発色）を行う企業です。薄い銅板への発色を可能にした独自の技術により、クラフト商品や建材の分野にも進出を果たしています。

問い合わせ先

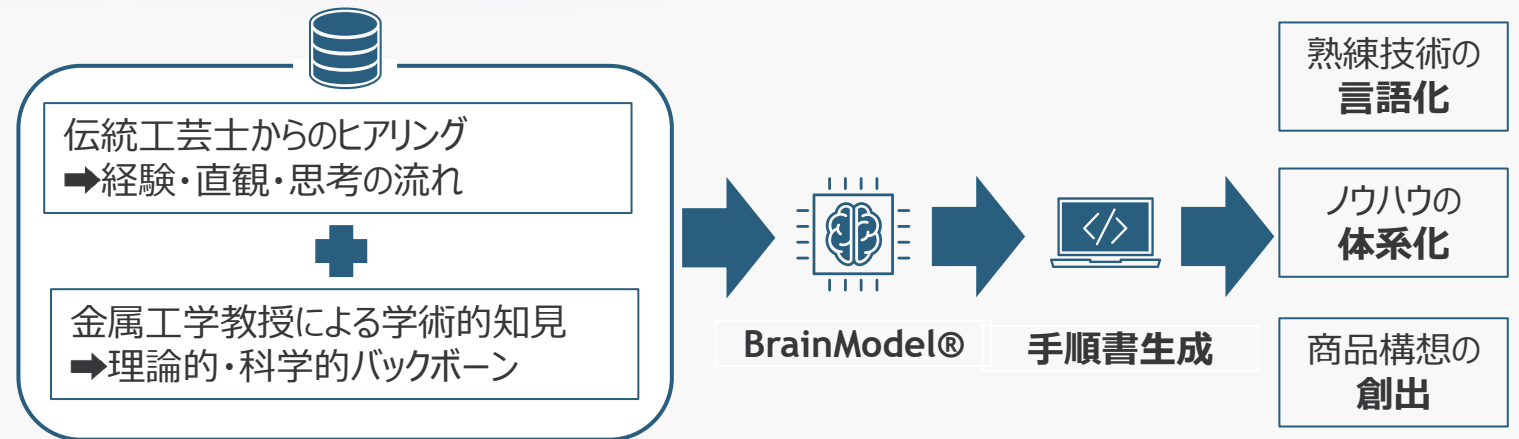


## 背景・課題

400年の歴史を持つ高岡銅器は、技術継承が課題となっています。熟練の工芸士からの技術継承は主に口頭と「見て学ぶ」ことによるもので、将来的な継承を視野に入れた際には、ノウハウの体系的な整理や「勘所」の言語化に取り組む必要がありました。今回当社が取り組んだAIエージェントによる技術の教材化・言語化は、高岡銅器全体に共通する課題へのソリューションになるとともに、他の伝統工芸においても展開できるものと考えています。

## 提案内容

OpenAIを基盤に国内LLMでファインチューニングした「BrainModel」に、伝統工芸士からのヒアリング内容・業務データ・関連技術、理論等を追加学習。手順書を生成し、着色の勘所となる点を言語化します。技術の言語化・ノウハウの体系整理による技術継承に加え、新商品開発のアイデア創出への寄与にも活用できます。



アイレット株式会社/株式会社Breveridge

# 少量多品種製造への生成AI活用

## 会社概要

アイレットは、大きく分けて「クラウド導入・運用」「システム開発」「デザイン」の3つの柱で事業を構成。これらを組み合わせて顧客のDX（デジタルトランスフォーメーション）を支援。自社の強みとしては、AWSパートナーネットワークにおいて最上位である「AWS プレミアティアサービスパートナー」の認定を保有している上、インフラ・開発・デザインの「ワンストップ」提供が可能。

問い合わせ先



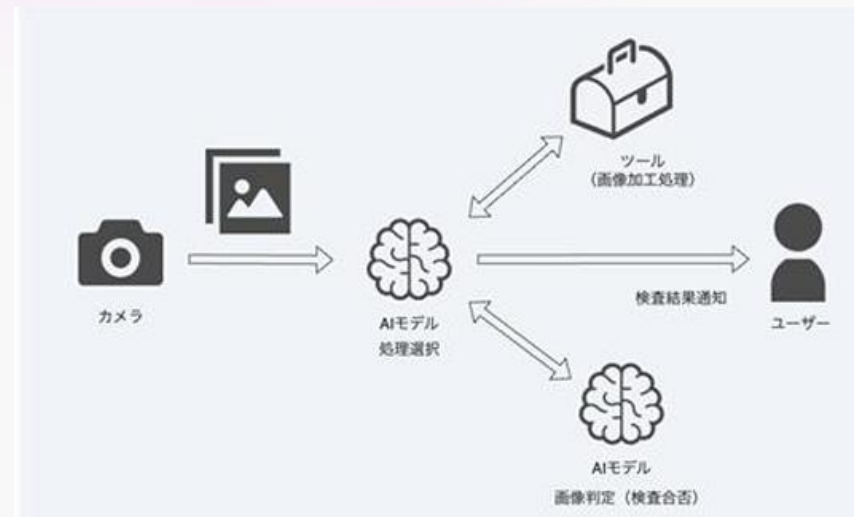
## 背景・課題

Braveridge糸島工場では樹脂部品の成形、プリント基板の実装を外部に委託しており、これを自社で加工し製品を組みあげている。

外部委託した部品の受入れ検査と加工後の外観検査等業務の改善と精度向上を目指したい。

## 提案内容

製造している製品は少量多品種であり、検査の自動化が困難なため、作業員が経験に基づいて目視による受け入れ検査を行っているが、今回生成AIによる画像検知を活用した検査の自動化を図るとともにノウハウの形式知化を行い、省力化と品質向上を図る。



## 株式会社ANGEWORK

# Mistrace (ミストレース)

### 会社概要

株式会社ANGEWORKは、AI・3D・点群・xRなど最先端技術の研究開発 (R&D) を専門とするエンジニアリング企業である。ドローン点群AIや手術支援ARなど多分野で、製造・農業・医療の暗黙知を見える化する成果を達成。点群×AIを基盤に、国産モデルを含むAI連携・プロンプト設計・ファインチューニングを組み合わせて、暗黙知継承の社会基盤構築を目指す。

問い合わせ先



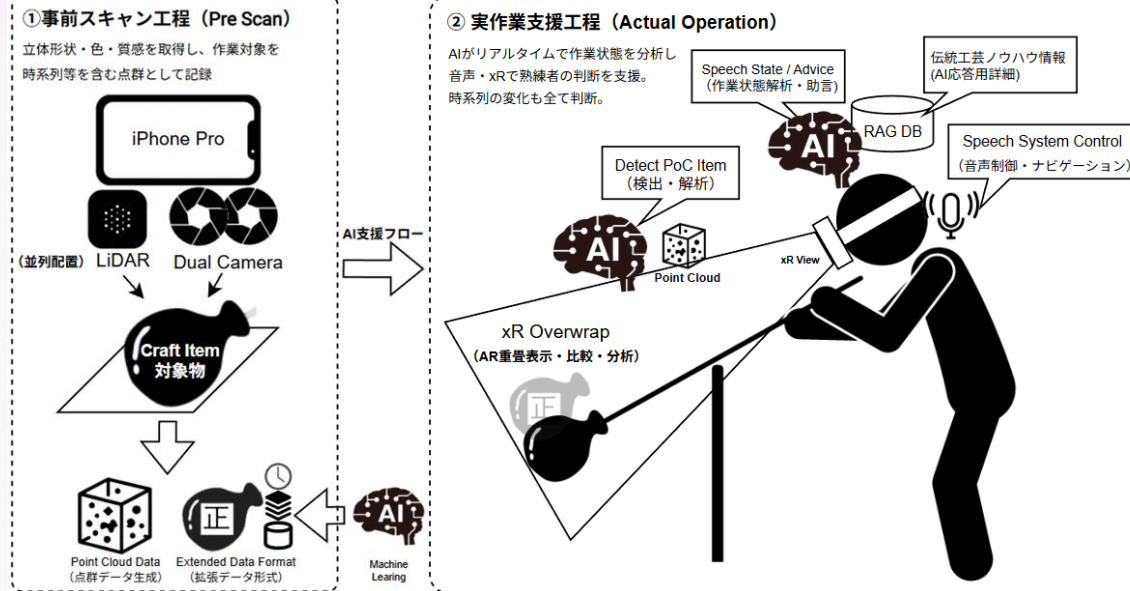
### 背景・課題

弊社は、熟練者の判断に依存する作業を対象に点群技術の研究開発を行ってきた。植物の間引きにおいて、点群AIによる判断支援を開発し、経験知のデータ化および実証を通じて暗黙知視覚化の実用に成功した。

本提案では、工芸分野等における暗黙知の可視化手法として、立体形状や色変化を高精度に取得可能なLiDAR (点群) とAI連携の有効性に着目した。

暗黙知の共有・視覚化・継承にはLLM等AIの補助が不可欠である一方、高コストモデル依存と開発コストが普及の障壁となっている。そのため、日本語親和性と低コスト運用を両立した暗黙知可視化基盤が必要と考える。

### 提案内容



- 属人化から見える化へ
- 新人教育の体系化
- 暗黙知を形式知へ
- 気づきによる効率化
- 工芸デジタル資産化

## 株式会社一芯×合同会社SYMthink

# Skillline/SYMloop構造

### 会社概要

- ・株式会社一芯：環境防止技術・脱臭装置のトップメーカー。環境省ETV事業（ISO14034に相当）にて、大気汚染分野で日本初の実証を取得するなど、現場発・研究開発型の組織として、日本の環境保全インフラ維持の一翼を担っている。従業員10名。
- ・合同会社SYMthink：株式会社一芯の内製チームからのスピナウト。1名+複数のLLMによる開発体制を敷く。

問い合わせ先

<https://symthink.jp/>

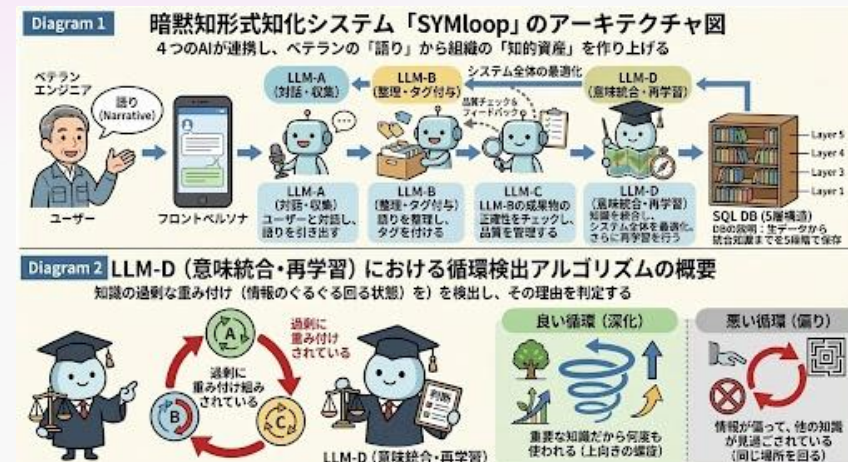
[info@SYMthink.jp](mailto:info@SYMthink.jp)

### 背景・課題

- ・競争力の源泉は、1970年代から第一線で研究開発し続けてきている創業者会長の経験と知識に負うところが大きい。
- ・これまで、定期的に勉強会や、出張同行、飲みにケーションなどで定期的・継続的に知識・技術継承をしようとしてきているが、その全てを伝えるのは難しい。
- ・究極的には、大自然を相手にしている業界なので、同じ条件のことが起こるとも限らず、伝えきること限られる。
- ・00年代に業界最大手二社が倒産したこともあり、業界として組織的な知の断絶が起きている。

### 提案内容

- ・従来、どちらかというオフの場で語られてきた、経験談、失敗談が素直に残され、受け継がれるようにしよう。
- ・更に、従来捨てられてきた、愚痴、不満などにも大きな価値があることを認めよう。
- ・成功談などのほかに、上記のような「記録されず、語られてしか来なかった」ものについて、共通するものを残し、タグ付けし、再構成することで、結果的に暗黙知が明示化し、形式知に再構築するシステムを作ろう。
- ・単一のLLM-AIの能力によらず、どのLLM-AIでも構築しうるシステムが望ましい。
- ・実装後3か月で新規プロジェクト3件の創出。



## H2L株式会社/株式会社川渕機械技術研究所

# 筋変位と力加減の差を可視化と言語化する 暗黙知技能のデジタル資産形成と技能継承AIエージェント

### 会社概要

H2Lは、世界唯一の筋変位センサや電気刺激アクチュエータを基盤に、力加減や姿勢などの固有感覚を日常的に扱えるBodySharing技術を研究開発している。技能を含む身体情報の体験共有を軸に研究開発と事業化を進める企業である。

問い合わせ先



✉ info@h2l.jp

### 背景・課題

- ① 従来の技能伝承では、姿勢や動作といった視覚情報に限られ、**筋肉の変位と力加減といった暗黙知は継承が困難**であった。
- ② 熟練者が退職すると技能が保存されず伝承が難しい。



### 提案内容

本提案では、H2Lの筋変位センサにより**技能の筋肉の変位と力加減を計測してデジタル資産化**し、作業映像と統合して熟練者と初学者の暗黙知の技能差を可視化する。**国産生成AIを用いて暗黙知の技能差を自律的に分析し言語化**することで、暗黙知技能のデジタル資産化と同時に技能継承を実現



ロボット製造時の製造工程「穴あけ作業」の技能伝承の様子

株式会社荏原製作所 / 元気株式会社 / 株式会社MONONOKE

# 工場メタバース×AIエージェントナレッジ基盤

## 会社概要

創業以来の主力製品であるポンプ事業を起点として培ってきた流体制御等のコア技術をベースに、送風機やコンプレッサタービンといった風水力機械の製造に加え、半導体や電子部品の製造に必要な真空ポンプやCMP装置といった幅広い領域で、世界中の暮らしや産業に必要な製品やサービスを提供し続けています。

問い合わせ先



## 背景・課題

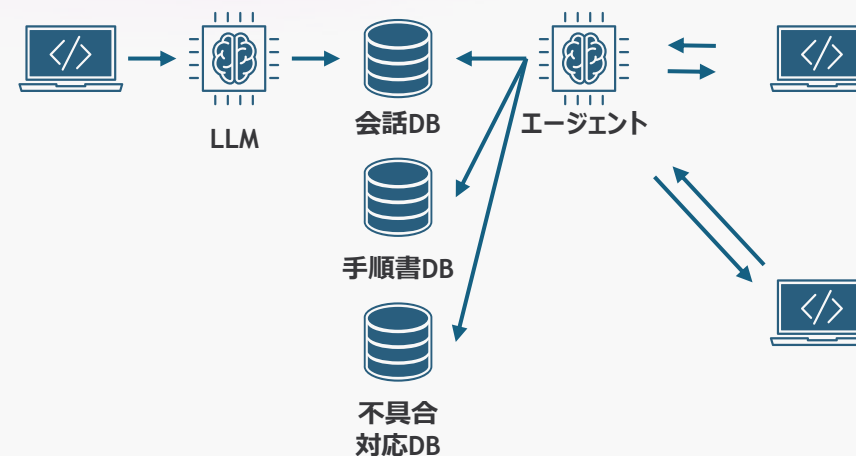
生成AIの登場により様々な領域でナレッジの活用が進んでいます。ところが、製造現場のナレッジ活用に着目してみると、そもそも生成AIに入力するための過去の記録やナレッジが蓄積されておらず、生成AIの恩恵を十分に受けられない現状が散見されます。製造現場のナレッジには、『形式知化が難しい暗黙知』と『形式知化可能だが、記録が不十分なため形式知化されていない暗黙知』があると考えます。本取り組みでは後者にフォーカスし、形式知を蓄積してAIで活用できる仕組みを構築することを課題としました。

## 提案内容

工場メタバースとAIエージェントを組み合わせたコミュニケーション基盤『Beyond Link』を構築しました。コミュニケーション活性化機能（会話補助機能、多言語同時翻訳）とナレッジ活用機能（会話のナレッジ化、ナレッジ活用補助機能）を組み合わせ、メタバース上での会話を起点としたナレッジ蓄積・活用スキームを実証しました。



コミュニケーション基盤



コミュニケーション基盤



ナレッジ活用基盤

荏原製作所 / アットピーク株式会社 / Sparticle株式会社

# 技術暗黙知の形式知化と業務プロセス革新

## 会社概要

荏原製作所は、100年以上にわたる伝統と5つのカンパニーの幅広い製品群で、世界の課題解決に挑む製造業です。現場には熟達技術者による「暗黙知」が深く蓄積されており、その高度な技と知恵が製品のひとつひとつに注ぎ込まれています。歴史ある技術力と人の経験知を掛け合わせることで、揺るぎない信頼と品質を社会に届け続けています。

問い合わせ先

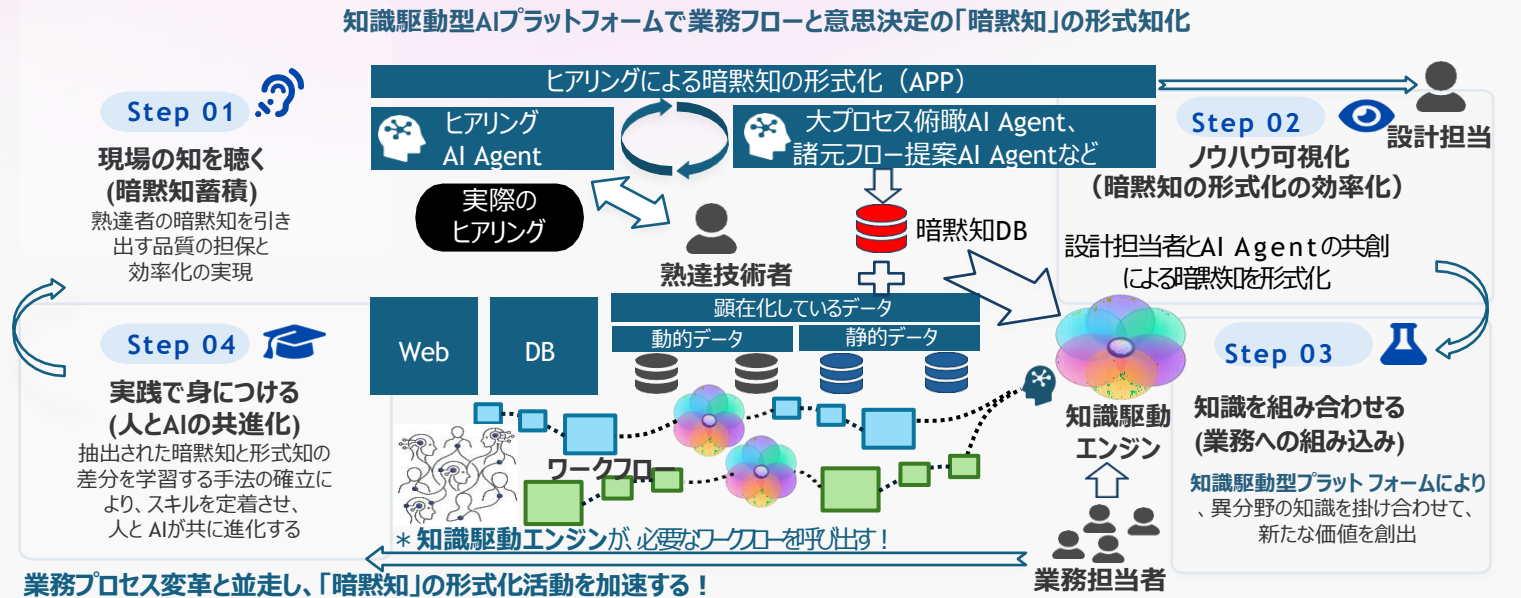


## 背景・課題

熟達技術者の減少と、技術伝承の断絶 (2025 年の崖) が深刻化。個人の経験に依存しない、持続可能な知識継承システムの構築が急務。一般的な知識継承システムは以下のような課題がある。

- **暗黙知の表出化**  
人手で暗黙知抽出に取り組んでいるが、ヒアリング者のスキルに依存し品質保証が困難。作業も膨大。
- **形式知の可視化**  
形式知はプロセスを介して連結するが、プロセス自体が属人化。断片的な知識しか整理できない。
- **形式知の共同化**  
多分野の知識が散在しており、複雑な業務フローと知識も結びつかず、知識を共通運用する場が必要。
- **形式知化の自律循環**  
抽出された知識が過去形になり、システムが自律的に新たな知識を抽出できない、ユーザーも成長停滞。

## 提案内容



## 株式会社エムニ/株式会社明電舎

# AIエージェントを利用した、電気機器の不具合対応に関する熟練工の暗黙知の言語化プロジェクト

### 会社概要

#### 自社の事業概要や強み等について記載ください

弊社は電力インフラ、社会システム、産業電子モビリティ、フィールドエンジニアリングなど多岐にわたる製品・サービスを国内外に提供する重電機器メーカーである。発電・送配電設備や水処理システム、高効率モーター、EV向け部品、ICTソリューションなどを手がけ、社会インフラの安定・デジタル化に寄与している。加えて、明電舎はIoTやICT技術を活用した生産・保守の高度化を進めています。設備の遠隔監視・故障予兆検知サービスや自動化された生産管理システムの導入により、省人化・効率化を図り、デジタル化と自律的な生産体制を目指している。

#### 問い合わせ先



### 背景・課題

提案に至った背景、課題をご記載ください(設計など) を記載ください

#### 背景

本提案の対象は、当社が納入した電気設備における不具合対応業務である。設備は顧客ごとに一品一様であり、発生時には待機当番者が過去図面や顧客ヒアリングを基に原因特定を行っている。その結果、熟練工の経験に依存した属人的対応となり、若手を中心に業務負担と作業時間の増大を招いている。さらに熟練工の退職に伴う技術喪失は、誤った対応による社会インフラへの重大な影響を招きかねない。こうした構造課題を解決するため、熟練工の暗黙知を形式知化し、不具合対応を高度化・再現可能とするAIエージェントの開発に着手した。

#### 課題

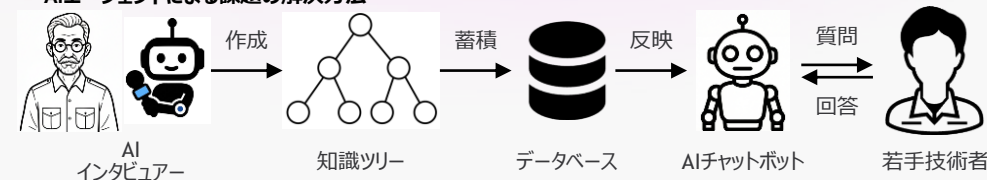
不具合対応業務における本質的な課題は、異常要因特定が熟練工の経験と判断に強く依存している点にある。過去の不具合事象や対応結果は記録されているものの、「なぜその要因に至ったのか」「どの情報を重視して判断したのか」といった熟練工の思考過程は暗黙知のみであり、若手が再現的に活用できていない。その結果、対応品質とスピードは個人差に左右され、熟練工不在時の対応リスクも高い。今後の人員構成の変化を見据えると、熟練工の判断基準を形式知として抽出・共有し、属人性から脱却する仕組みの構築が急務である。

### 提案内容

AIエージェントを使った課題の解決方法や実証結果をご記載ください

※アイコン等を用いて可能な限り視覚的に表現ください：ファインチューニング、プロンプト設計など) を記載ください

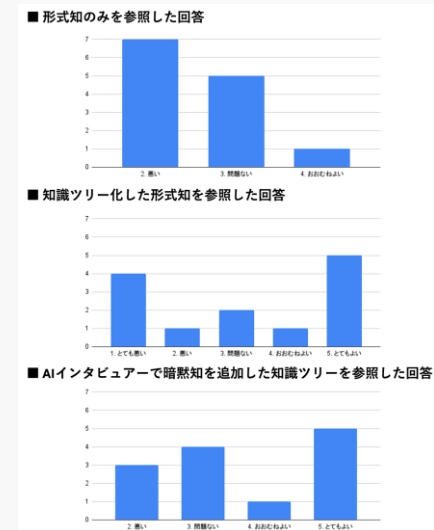
#### AIエージェントによる課題の解決方法



本提案では、AIインタビューとAIチャットボットからなるAIエージェントにより課題解決を図る。AIインタビューは、スキーマに基づく深掘り質問と知識ツリーの構築を通じて、熟練工の経験則や判断の背景を体系的に形式知化する。さらに、形式知と暗黙知を統合したチャットボットを活用し、不具合対応時に必要な熟練工の知識を若手技術者がいつでもどこでも獲得できる環境を実現し、業務負担軽減を実現する。

#### 得られた実証結果

本実証では、不具合対応に関する形式知を知識ツリーとして再構成し、AIインタビューにより熟練エンジニアの暗黙知を追加することで、回答品質の向上を検証した。その結果、回答評価において「おおむね良い」「とても良い」に該当する高評価回答数は1件から6件へ増加した。これにより、ベテランの暗黙知を形式知化し、属人性の高い不具合対応業務における知識継承と判断品質向上の実現可能性を実証できたと考える。



# 大矢伝動精機株式会社/アルム株式会社

## キーパーツ切削加工における職人の工程設計・数値制御プログラムの脳内思考法のAI化

### 会社概要

これまでの商社ビジネスを超えた新たな連携や取組の提供を通じて次世代製造業のあるべき姿の実現に挑戦中！  
世界最先端の技術を活用して次世代DXファクトリーを実現する製造アーキテクト。

【概要】

省人化システム/部品、金属加工品、機械工具、鋼材を扱うものづくり業界の専門商社としての強みを活かし、製造業のあるべき未来（共創型事業）に挑戦中。400社以上が強みで連携する（一社）ものづくりパートナーズ設立、生産設備課題ワンストップ対応、品質測定受託、共同受注営業支援、切削スマートファクトリー共同開発等。

問い合わせ先

<https://www.ods-co.jp/>

oyadendou@ods-co.jp

### 背景・課題

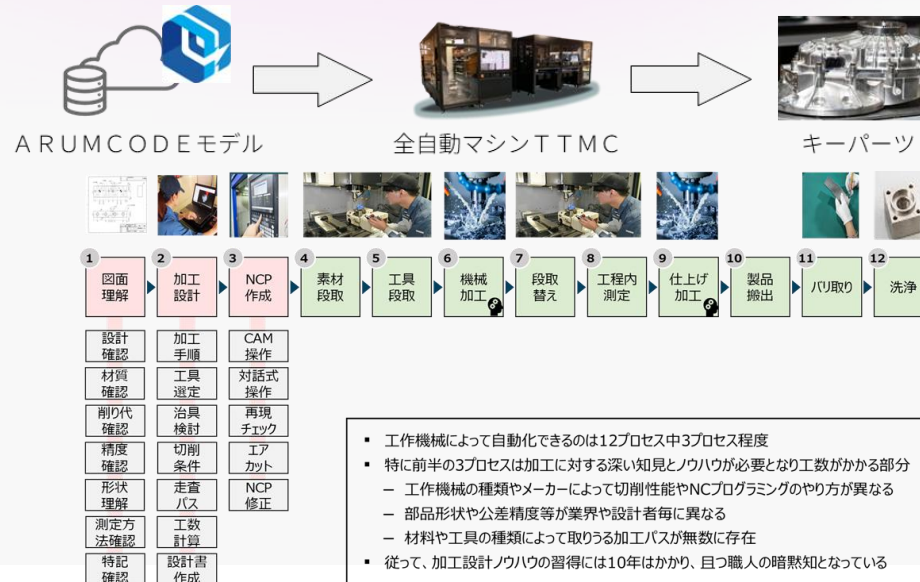
- キーパーツ（プロタイピング・補給品など）の重要性  
自動車、スマートフォン、PC、宇宙航空機、ドローン、新幹線、半導体など製品自体にも金属・樹脂・セラミックなどキーパーツは組み込まれているが、それらを生産する自動化ライン、工作機械、ロボットシステムなどにもキーパーツは組み込まれている。その供給が停滞することは、日本国の競争力低下と共に、各産業の売上・利益に直結する死活問題となる。

- キーパーツ製造に関する課題  
上記キーパーツの重要性があるにも関わらず、その製造工程は工程設計・プログラミングから精度調整まで、あくまでヒト依存の状態である。また、それに準じてビジネスモデルも旧態依然としており、米国の生産性（一人当たりの年間売上高）に対して、実に日本企業は3分の1程度となっている。また、キーパーツ製造に関する決定的なソリューション製品が存在しないことも日本の生産性・DX・自動化の問題を大きくしている。財務に紐づくDX・自動化を提案できるメーカーがいけない状況で、部品メーカーはあくまで自社努力をすしつかないのが日本の現状である。

- キーパーツ製造の自動化の課題を抱える規模  
プロトタイピング・補給品向けのキーパーツを製造する企業は、全加工企業の9.5%を占めている。日本で2.2万社、世界で1,000万社が同様の課題を抱えており、解決が見えていない状況である。

### 提案内容

製造AIとそれを搭載した全自動マシンTTMCを導入することで...① マシン+AIでの新たなビジネスモデルを構築する。② 生産性（一人当たりの年間売上高）を6倍にする。③ 実用的な自動化・DXソリューションを確立する。



## 株式会社エムニ/株式会社ダイセル

# AIエージェントシステムを用いたトラブル検討に関する熟練工の暗黙知の形式知化プロジェクト

### 会社概要

#### 自社の事業概要や強み等について記載ください

弊社は化学メーカーであり、セルロース、有機合成、合成樹脂、火工品などをコア技術として化学製品・高機能材料・精密火工品システムを世界で製造・販売している。液晶表示用酢酸セルロースや自動車用エアバッグインフレータなど、多様な製品群を展開し、「健康」「安全・安心」「便利・快適」「環境」の領域で社会貢献を目指している。また弊社の強みとして、ダイセル式生産革新及び統合生産システムを基盤に、工場全体の運営・運転の最適化を進めており、現場データと過去ノウハウを統合して最適な運転条件を導出し、生産性向上やコスト削減、予防的な設備対応などを実現して競争力を高めている。

問い合わせ先



### 背景・課題

#### 提案に至った背景、課題をご記載ください

##### ・ 背景

弊社では、化学プラントの安定運転を維持するため、変調発生時の原因調査と再発防止策を「トラブル検討シート」として整理・蓄積している。本シートは、当該トラブルを経験していない第三者が見ても誤解なく理解できる水準での記述が求められる。従来は熟練工が作成してきたが、高齢化に伴い、現在は若手エンジニアが作成を担い、熟練工は記述方法の指導やレビューを行う体制へ移行している。統合生産システムを持続的に運用していくためには、正確で再利用可能なトラブル検討シートの継続的な蓄積が必要不可欠である。

##### ・ 課題

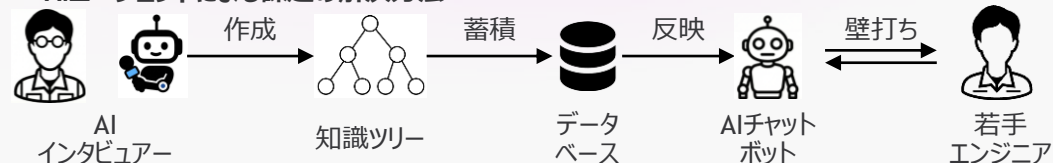
現行のマニュアル整備やレビュー中心の指導では、熟練工が求める水準に若手が到達できていない。その要因は、記述方法の背景にある熟練工の経験則や「なぜその書き方が必要か」という意図が十分に伝わっていない点にある。また、変調事象が毎回異なるため、若手が記述の勘所を汎化して身につけることが難しい。加えて、熟練工への質問には心理的・時間的な制約があり、十分な対話機会を確保できていない。したがって、熟練工の暗黙知を効率的に抽出・共有する仕組みが求められている。

### 提案内容

#### AIエージェントを使った課題の解決方法や実証結果をご記載ください

※アイコン等を用いて可能な限り視覚的に表現ください:

##### ・ AIエージェントによる課題の解決方法

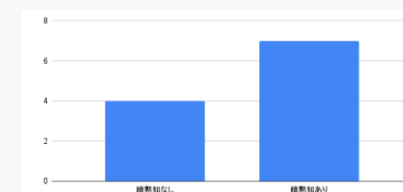


本提案では、AIインタビュアーとAIチャットボットからなるAIエージェントにより課題解決を図る。AIインタビュアーは、スキーマに基づく深掘り質問と知識ツリーの構築を通じて、熟練工の経験則や判断背景を体系的に形式知化する。さらに、形式知と暗黙知を統合したチャットボットを活用し、若手が壁打ちしながらトラブル検討シートを作成・改善することで、品質向上と育成加速、熟練工の負担軽減を同時に実現する。

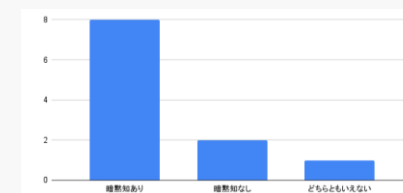
##### ・ 得られた実証結果

実証の結果、右図に示す通り本AIエージェントで抽出した暗黙知を参照することで、熟練工の考え方に近い添削結果を11件中7件で再現でき、若手に有用なコメントも8件で高評価を得た。さらに60代の熟練工でも直感的に利用でき、判断背景やリスク認識を含む暗黙知を抽出・根拠付きで若手に提示できる教育支援ユースケースの有効性を実証できた。

##### ・ 熟練工との意図の近さ



##### ・ 若手エンジニアにとっての有用性



オムロン株式会社/国立大学法人東京大学

# ソリューションAI “MELD”

## 会社概要

センサー・制御機器の豊富なラインアップで現場センシング&コントロールを網羅しています。さらに、自社工場に根差したモノづくり知と鉄道事業などの多業種で培ったデータマネジメント力を掛け合わせることで、現場の機器レベルから経営管理まで“すぐ効く”データソリューションを実装することが出来ます。

問い合わせ先



## 背景・課題

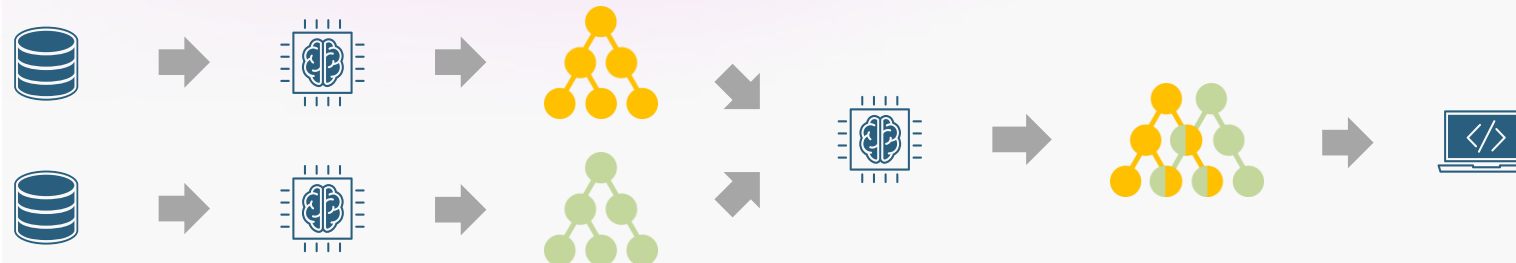
近年では、製造業の工場において製造アウトソーシングが進展し、現場の属人化・サイロ化による部門間の分断はより一層厳しさを増しています。

結果として、「現場で何が起きているかわからない」状態が進行し、ベテラン技術者の退職と共に、貴重な暗黙知が日々失われています。

この知識の断絶は、製造部門と生産技術部門、さらには設計部門間の壁となり、「モノづくりをより良くする」という共通目標の達成を阻害する根本的な大きな課題となっています。

## 提案内容

「実践知」を因果関係で構造化する独自の MELD エージェントワークフローが分散した暗黙知を統合して形式知化を進め、組織間の分断を解消します



部門間の連携



技術伝承



新製品開発

## 片山工業株式会社/Shisa株式会社

# Junto

### 会社概要

シリコンバレーの先端技術と日本市場への深い洞察を融合し、日本語処理において最高水準の性能を誇るLLM「Shisa」シリーズを開発しています。高品質な合成データを用いた独自のファインチューニング技術を強みとし、高性能かつ商用利用可能なモデルをオープンソースで提供することで、実用的なAIインフラの構築に貢献しています。

問い合わせ先



### 背景・課題

日本は、労働力人口の高齢化という重大な課題に直面しており、その影響は製造業において特に顕著です。2025年までに、92万人以上の製造業従事者が65歳以上となり、数十年にわたり培われてきた暗黙知や専門技術が失われる危機に瀕しています。家族経営で数世代にわたり事業を継承し、日本、米国、メキシコに拠点を置く自動車部品OEMである片山工業もまた、この大きな潮流の中で、特に以下の2つの課題に直面しています：

1. 熟練技術者の退職に伴う、専門的な製造ノウハウの継承問題
2. 多大な投資や努力にもかかわらず、不十分な翻訳システムに起因する、異文化間のコミュニケーションと知識の共有の課題

### 提案内容

当社は「Junto」という、リアルタイムに動作するエージェント型の翻訳・知識獲得ツールを提案します。グローバル企業である片山工業には、世界中の製造パートナーと円滑にコミュニケーションできる環境が必要です。しかし、製造に精通した通訳者の確保は困難であり、通訳を介したコミュニケーションは遅く、ストレスが大きく、コストも高く、現場の第一線で働く従業員には実用的ではありません。エージェント型システムであるJuntoは、片山工業の従業員がリアルタイムかつ迅速に、都合のよいタイミングで、しかも人間の通訳を雇用する場合と比べて最小限のコストで、グローバルにコミュニケーションできる環境を提供します。さらにJuntoは、単なる翻訳にとどまりません。会話の中で共有される片山工業の暗黙知を記録し、形式知化することで、リアルタイムに検索・参照可能な知識データベースを構築します。これにより、社内の誰もが活用できる共有知として蓄積されます。

CTCテクノロジー株式会社/株式会社グーテンベルク

# フィラメント提案AIエージェント

## 会社概要

株式会社グーテンベルクは、東京都大田区に本社を構える2021年設立の3Dプリンター開発企業です。国産FFF方式の高速・高精度3Dプリンター「G-ZERO」シリーズの開発・製造・販売を主軸に、設計支援や金属加工などのサービスを展開しています。設計者と加工者との架け橋となり、モノづくりの民主的な変革を目指しています。

問い合わせ先



## 背景・課題

### 背景

- 低炭素化やサプライチェーン等、既存加工方式の課題が顕在化
- 品質・強度不足による3Dプリンター普及の停滞

### 課題

- 高速かつ高品質を実現する次世代技術開発が必要
- ベテラン技術者が開発に専念できていない現状

## 提案内容

材料選定の属人化を解消し、開発時間・品質・教育の底上げをする



ジヤトコ株式会社, Blavus AI合同会社

# なぜなぜ分析サポートAI

## 会社概要

会社名: ジヤトコ株式会社  
 事業内容: 自動車用変速機、電動パワートレインおよび部品の開発・製造・販売  
 強み: 最先端のパワートレインを、開発～調達～生産の一気通貫で実現。グローバル等質の品質基盤。

問い合わせ先



## 背景・課題

自社を含め、製造現場では再発防止や課題解決の際に「なぜなぜ分析」という手法を用いて根本原因の究明をすることが定着している。一方で、論理的に「なぜ」を深ぼることは、経験やセンスが必要であり、分析品質のばらつき、教育不可の増大など生産性の改善点が多くある。

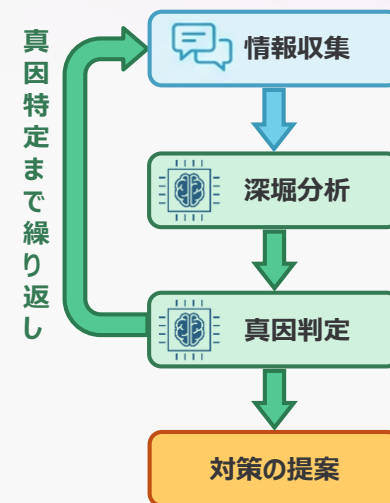
よくあるなぜなぜ分析の課題:

- なぜなぜがループしてしまう、
- 分析が浅い等が原因で真因に正しくたどり着けない、
- 時間がなく落としどころを選ぶ、
- 指導に時間がかかる、
- 海外拠点において、現地メンバーに正しくなぜなぜ分析を実行することに苦労する

## 提案内容

### なぜなぜ分析サポートAIで製造現場の分析の質と効率を向上!

ユーザーの入力情報を元にLLMが分析を行い、要因の深堀に必要な情報はチャット形式で質問&回答を繰り返す。真因の追求が完了すると推奨対策を提案する。



AI: 「質問生成」「仮説提示」  
 人間: 「本質的な判断、意思決定」「現状調査」

G G G  
 “現場” “現物” “現実”



5現主義  
 +  
 “GenAI”

なぜなぜ分析AIが橋渡し



アプリ

G G  
 “原理” “原則”



## シャボン玉石けん株式会社

# 「SSS-Navigator (Shabon-SECI-Swallow): 暗黙知循環システム」

### 会社概要

製造現場にしかない「暗黙知」を、野中郁次郎氏の知識創造理論 (SECIモデル) に基づき、デジタル空間で循環・増幅させるシステムです。元釜炊き職人が開発したAIが、単なるテキスト処理ではなく、OJTの対話や過去のリスクデータなどを統合し、組織の知的資産を自律的に生成します。

問い合わせ先



### 背景・課題

#### 【シャボン玉石けんの釜炊きの強み】

- 五感で品質を左右する伝統製法 → 高いブランド価値

#### 【構造的課題】

- 判断基準の多くが暗黙知であり属人化
- 一人一釜作業文化のため技能習得に10年必要
- ※ナレッジやエラー共有が少ない
- ベテラン、若手ともに正解を知らない
- 「今のところ」滞りなく物が作れている

#### 【社会的背景】

- 製造現場では、熟練者の判断が「感覚」「経験」として言語化されないまま失われている
- 汎用LLMは安全性・一般性を優先し、現場文脈 (Ba) を保持した知識変換が困難

### 提案内容

#### Phase 1

「SECIサイクル」暗黙知を形式知化し、知識ベースへ登録 最終的に内製化 (知識の活用・質問対応)

#### Phase 2

「知識の深化」クロスリファレンスで新たな暗黙知の種を発見  
フィードバックサイクル構造 両フェーズが循環し、知識が螺旋的に深化・拡大



## 株式会社ジョリーグッド/新エフエイコム株式会社

# 製造業の熟練技術を次世代に繋ぐ「暗黙知の形式知化AIエージェント」の開発・実証

### 会社概要

株式会社ジョリーグッド

- 医療教育VRとヘルスケアVRと360度AI解析のリーディングカンパニー
- 600本超の360度VRコンテンツライブラリー保有
- 200機関以上への導入実績
- 日米特許で保護された360度映像解析AI「VRCHEL」とAMILモデルを核心技術に有する

問い合わせ先



### 背景・課題

- 製造業における「人手不足」と「熟練技術者の引退」により、無意識の判断や視線といった「暗黙知」が失われつつある
- 従来のOJTやマニュアルではこの暗黙知の継承が不可能
- 技術継承の断絶が深刻な課題となっている

### 提案内容

- 暗黙知の自動抽出
  - VRCHEL AIが熟練工の360度映像（視線、行動、音声）を解析し、無意識の暗黙知を自動で自然言語化（形式知化）
- 教材の自動生成
  - 形式知データに基づき、AIエージェントがショート動画型教材「リールチェック」の構成案・台本を自動生成
- 個別最適化学習
  - 学習者の習熟度データに基づき、AMILモデルを適用して個別最適化された教材を提示

株式会社シンワ/株式会社LiberaForm

# 金属焼付塗装AI見積もり

## 会社概要

当社は福岡で“重耐塩塗装”や“耐塩塗装”、“耐酸塗装”など機能性塗装を得意とする“金属焼付塗装業”を営んでおります。  
 「溶剤系塗装」、「静電粉体塗装」にて以下の様な塗装サービスを行なっています。

- 金属焼付塗装: 受配電盤 (キュービクル、制御盤・自立盤...)、機械カバー類、架台、鉄道車輛部品、医療器械部、土木金物
- 出張塗装 : お客様先工場内での塗装作業請負

問い合わせ先



## 背景・課題

金属焼付塗装は多種多様な金属部品に対して行われ、その形状やサイズも様々です。  
 見積もり作業においては、経験豊富な技能者の判断や経験則が必要不可欠であり、とりわけお客様から提供されるラフスケッチや図面から部品の表面積を正確に算出する工程は難易度が高いとされています。  
 こうした技能者の暗黙知をAIエージェントの活用によって形式知化し、自動化・均一化を図るとともに、将来的な技能継承にもつなげたいと考えています。

## 提案内容

- 【AIエージェントを活用した課題解決方法について】
- 画像解析技術とマルチモーダル対応LLM（大規模言語モデル）を組み合わせることで実現します。
  - 図面等の画像をAIが解析し、対象物の特定・表面積の計測を行います。
  - 過去の見積もり情報をRAG（検索拡張生成）データとして登録・活用することで見積もり精度向上を狙います。
  - 計測値を基に塗装費用を自動算出し、その根拠や結果を言語生成AIによって自然言語で提示します。
  - ユーザーはチャット形式で内容の確認・微調整を行い最終的に見積もりを確定させます。ファインチューニング、プロンプト設計などを記載ください



有限会社ゼムケンサービス/アイム電機工業株式会社/学校法人早稲田大学大学院

## 自律型製造現場AIエージェント『CoCREA-Works』による技能伝承DXの実現 ～アイム電機工業株式会社における一品受注生産型製造業の暗黙知資産化～

### 会社概要

**開発者:** 有限会社ゼムケンサービス **事業内容:** 建設DXソリューション開発、現場記録・ナレッジ共有システム提供  
**強み:** 建設業界で培った作業を止めずに操作可能な「現場目線」のUI/UX設計力、映像による暗黙知記録技術、多様な人材が活躍できるダイバーシティ経営の実践 **実績ツール:** 現場記録ツール「PomPon」、ナレッジ共有システム「CoCREA」  
**実証パートナー:** アイム電機工業株式会社  
**事業内容:** 国内首位の防爆水中ポンプメーカー。1976年からの香港拠点や30カ国の実績に加え、2024年の米国設立を機に、海外売上比率40%を目指してグローバル展開を加速中。一品受注生産とIoT技術を有し、技能伝承の実証フィールドも提供する。

問い合わせ先



### 背景・課題

日本の製造業、特に「一品受注生産型」の現場は、四つの構造的課題に直面しています。

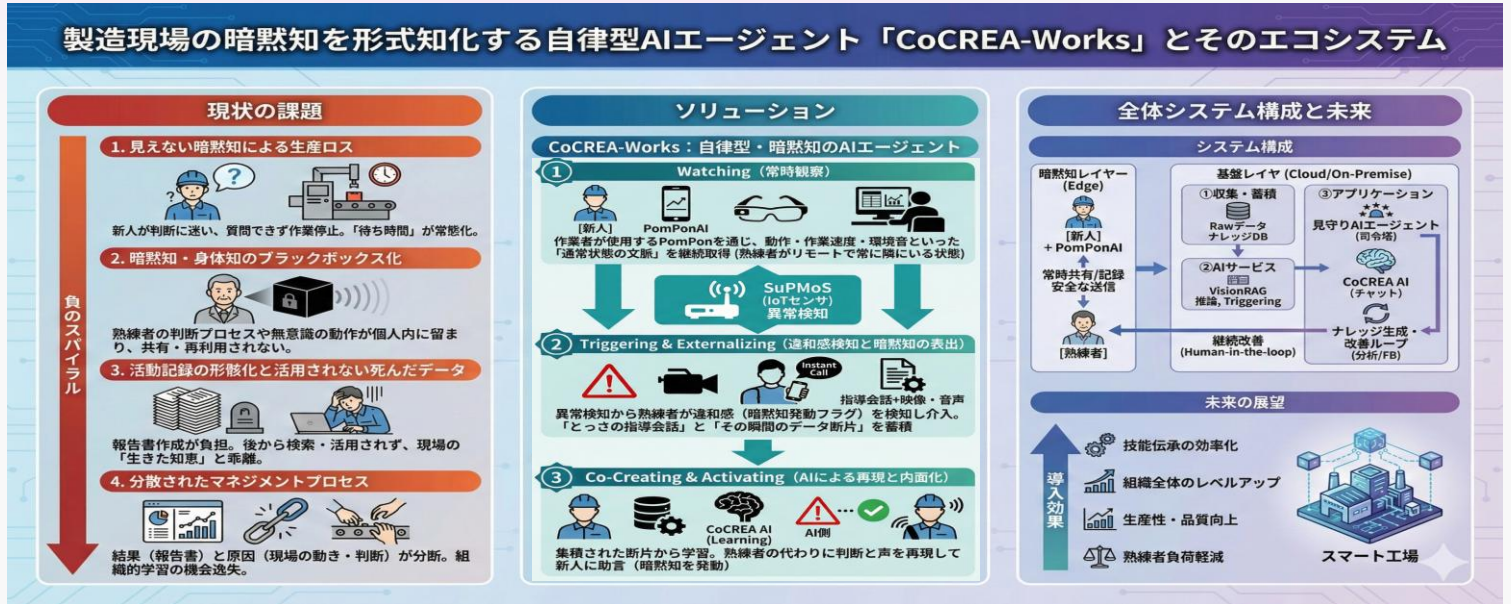
**第一に、「製造現場の属人化」です。**多品種少量生産は、図面に明記されない熟練技能者の経験と勘、すなわち「暗黙知」に支えられています。2025年問題は、製品の製造もこれから発生する維持管理修繕を目前に控え、これまでの技能が失われる「技能伝承の断絶」が深刻な経営リスクとなっています。

**第二に、「暗黙知のブラックボックス化」です。**特に、品質を左右する感覚的判断や無意識の動作、すなわち「身体知」は言語化が困難なため個人内に留まり、組織の資産になっていません。これが、製造プロセスそのものの技能伝承（プロセスDX）が断たれている根本原因です。

**第三に、「人材不足と多能工化の必要性」です。**熟練技能者の減少と若手人材の確保難により、特定の作業員に負荷が集中しています。他部署の作業員が迅速に加勢できる「多能工化」が求められますが、従来の「背中を見て覚える」式のOJT手法では、新人が質問できない「見えない知識の壁」が、今日の多様な人材構成や業務の複雑化に対応できないOJTの限界を示しています。

**第四に、「活用されない是正処置」です。**再発防止に関するKPIデータは、報告書として保管されるのみで、現場でリアルタイムに参照できる「生きたナレッジ」として活用されていません。結果として、過去の失敗から学ぶ機会が失われています。

### 提案内容



## ダイキン工業株式会社 / 株式会社スキルアップNeXt / 株式会社KICONIA WORKS

# 人が眠る間に購買予測して最適な取引先の提案まで行う「購買AI エージェント」

### 会社概要

- 空調事業と化学事業 (フッ素化学) を柱とするグローバルメーカー
- 空調リーディングカンパニーとして世界 No.1 のシェアを持ち、住宅用から産業用まで幅広い製品を提供
- 世界 170 か国以上に製品・サービスを展開し、130か所以上のグローバル生産拠点を有する
- サステナブルな社会の実現のために、環境と空気の新たな価値を追求する『空気で答えを出す会社』

問い合わせ先



### 背景・課題

間接材の購買時は各部署の購買担当者の判断に委ねられているが、本来であれば購買部署にて推奨取引先を設定する等、サプライヤーマネジメント・カテゴリーマネジメントを強化したい。ただ、購買部署の人員不足もあり、膨大な商品がある中で人の手による統制が取れない。

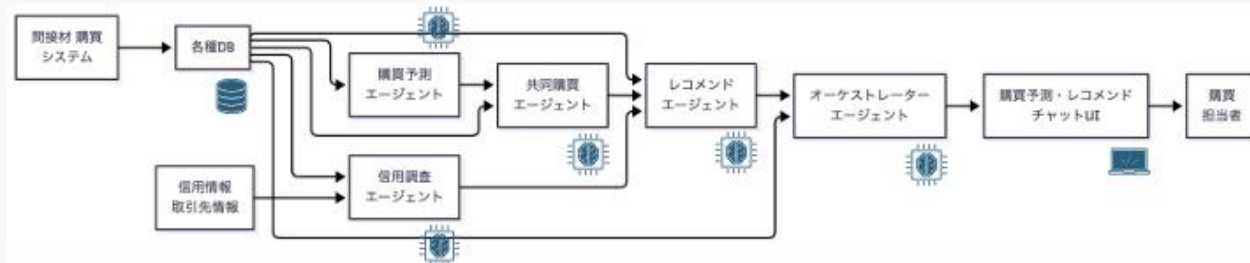
#### <現状の購買担当者が抱えている課題>

- ① 根拠が散在し、勘と前例頼み
- ② 部門ごとのバラバラ発注
- ③ 共同購買の機会損失
- ④ 条件・与信チェック不足
- ⑤ 発注業務の工数負荷が大きい

上記課題を解決するために、間接材購買の高度化・標準化に継続的に取り組む総務部間接材購買グループ (購買部署) が本プロジェクトを推進中。

### 提案内容

- 夜間に**購買システムの発注履歴情報**を基に購入が必要そうな間接材を予測し、部署を横断しての共同購最適な取引先のレコメンド、信用調査を行う「**購買AI エージェント**」を提案
- **購買予測エージェント**と**共同購買エージェント**が、購買タイミング予測と、同一拠点内の需要を自動マッチングし、共同購買候補と必要数量を算出、会社全体でのまとめ購買余地を可視化
- **レコメンドエージェント**が、価格や実績を踏まえた推奨取引先と理由を提示
- **信用調査エージェント**が取引先の信用スコアとコメントを自動付与し、与信評価を可視化
- 各エージェントの結果を**オーケストレーター**が一枚の「**間接材購買提案カード**」に統合し**発注を提案**
- **購買担当者は朝に承認・指示するだけで適正な購買判断ができる**
- **現行業務との違い：タイミング** | 都度調査ではなく夜間に自動で準備完了、**対象業務範囲** | 共同購買 取引先レコメンド 信用調査まで一気通貫、**出力形式** | 間接材購買提案カードに購買判断の情報を統合
- **注記:** 現段階では、レコメンドエージェントの実証実験が進行中で、それ以外のエージェントについては、今後の実証実験としてデモと詳細を記載する



## ダイハツ工業株式会社

# ワンチーム開発が実現した現場発RAGによる保全DX

### 会社概要

ダイハツは、1907年の創業以来、「お客様に寄り添い、暮らしを豊かにする」ことを目指し、環境に優しく、お求めやすい価格と使いやすいスモールカーで人々の暮らしを支えてまいりました。

現在は、トヨタ自動車株式会社グループの一員として、良品廉価なモノづくりを国内・海外で展開しています。

問い合わせ先



### 背景・課題

良品廉価を維持するため、下記の課題への対応が必要となっています。

#### ①保全人員の減少

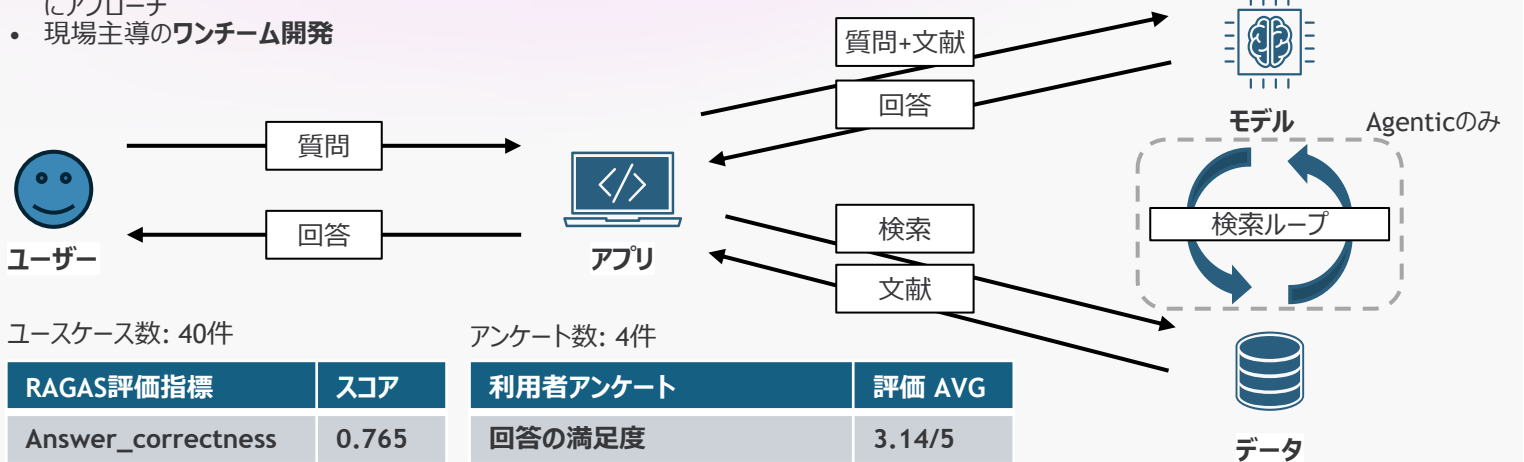
- 少子化や労働人口減少により、保全人員が減少し一人あたりの業務量が増加しています。そのため、将来的な仕事の質の低下が懸念されています。

#### ②ベテラン不在による人材育成の困難

- ベテラン社員の定年退職などにより、相談相手が不在となり若手人材の育成が一層困難になることが懸念されます。

### 提案内容

- RAG/Agentic RAGシステムによる社内文献の調査/集約により修理方法の調査や再発防止方策の組立をサポートして課題にアプローチ
- 現場主導のワンチーム開発



ユースケース数: 40件

アンケート数: 4件

RAGAS評価指標	スコア	利用者アンケート	評価 AVG
Answer_correctness	0.765	回答の満足度	3.14/5
Faithfulness	0.702	習得しやすさ	3.79/5
Context_precision	0.706	操作性	4/5

RAGAS・アンケートともに高い評価であり高精度なシステムを実現している (Agentic RAGは開発中のためRAGで評価を実施)

## 高砂電気工業株式会社/株式会社リベルクラフト

# 生成AIを活用した製品選定・技術対応ノウハウ承継基盤構想

### 会社概要

1959年の創業以来「流体制御の課題解決カンパニー」として、ソレノイドバルブやポンプなどの設計・製造・販売を中心に、流体制御におけるトータルコンサルティングに取り組んでいる。世界50か国以上に10,000機種超のカスタム製品を提供しており、社内では平均して1日あたり2機種の新たな図面を作成。「カスタマイゼーション（個別設計）・ミニチュアライゼーション（小型化）・インテグレーション（統合化）」が強み。

問い合わせ先

<https://takasago-elec.co.jp/contact/>

[info@takasago-elec.co.jp](mailto:info@takasago-elec.co.jp)

### 背景・課題

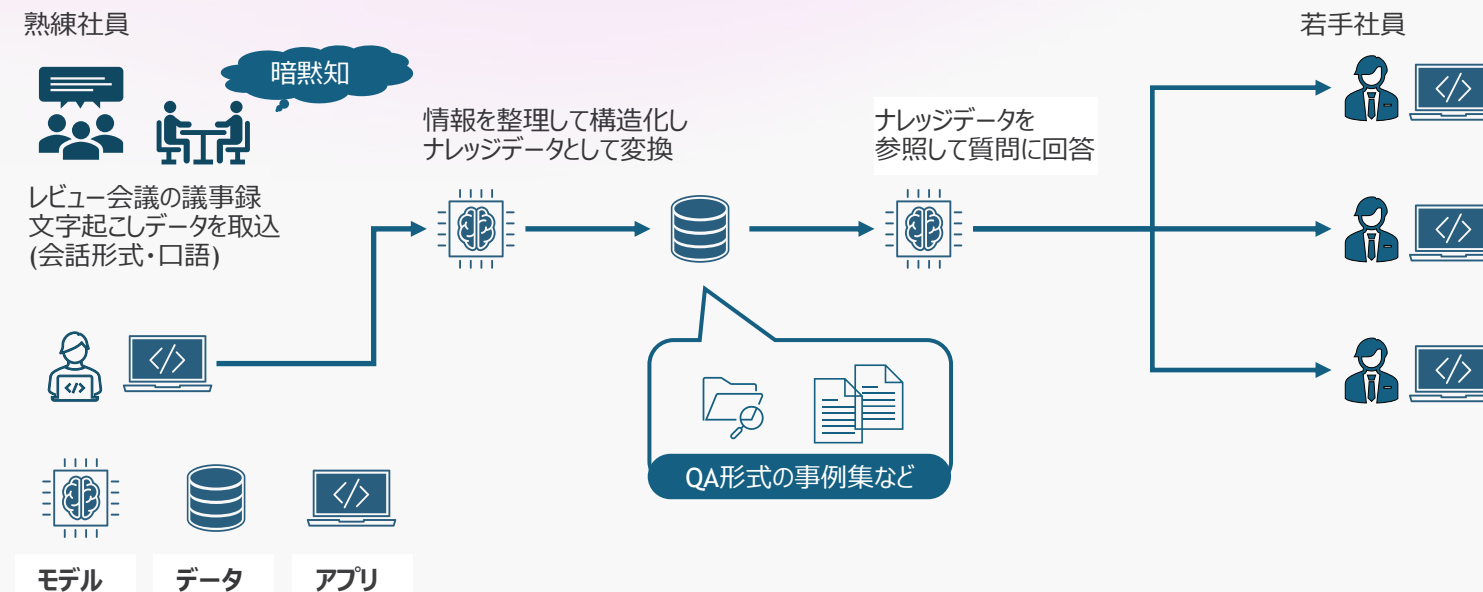
新たな事業分野への本格参入や海外市場拡大を狙う中で、顧客から寄せられる技術的な相談や問合せに対し、迅速かつ的確にソリューションを提示できる人材が不足している。

質の高い提案を行うには、製品ラインナップやカスタマイズのパターン、顧客の業界の特長や過去の事例など、多岐にわたる知識・経験が必要となるが、これらは各熟練社員の個人スキルに依存しており、組織的な蓄積・共有が進んでいない。経験の浅い社員は、案件ごとに製品選定やカスタマイズ内容を熟練社員に個別に相談し、レビュー会議等を通じて知見を引き出している。

知識がある熟練の営業担当者や設計・開発者の暗黙知をデータベース化することで、個人に依存していた熟練者の経験や勘を組織全体で共有し、経験の浅い若手社員でも豊富なナレッジをもとにした提案が可能となる仕組みを構築する。

一般的なナレッジベースのサービスでは既存文書やFAQの整理・検索結果の提示に留まってしまうことが多く、上記を実現するためには状況に応じた推論や対話生成を行うよう設計されたAIエージェントが必要。また、議事録などの未整理データを自動要約・構造化し、ナレッジとして活用する一連のワークフローを実装することで、暗黙知を形式知化することを実現する。

### 提案内容



## 東海旅客鉄道株式会社

# 「リニRAGローカル」

### 会社概要

東京～大阪間を結ぶ日本の大動脈である東海道新幹線、名古屋・静岡地区の都市圏輸送を中心とした在来線、及びグループ事業を運営。また超電導リニアによる中央新幹線計画、高速鉄道システムの海外展開を進める。

問い合わせ先



ryouji.kouno@jr-central.co.jp

### 背景・課題

鉄道車両に関する設計業務では、長年の経験に基づき行う判断や設計上の勘所が、暗黙知として属人化している。そのため安全性や信頼性を重視する鉄道分野において、後継者への設計根拠や判断基準の共有不足が品質低下を招き、安全を脅かす可能性がある。大量退職かつ労働人口減少が進む時代において、熟練者の暗黙知の形式知化は急務である。

しかしながら、クラウド前提の生成AIエージェントは、セキュリティリスクやコストのハードルもあり、導入に向けた検討等に時間を要している。

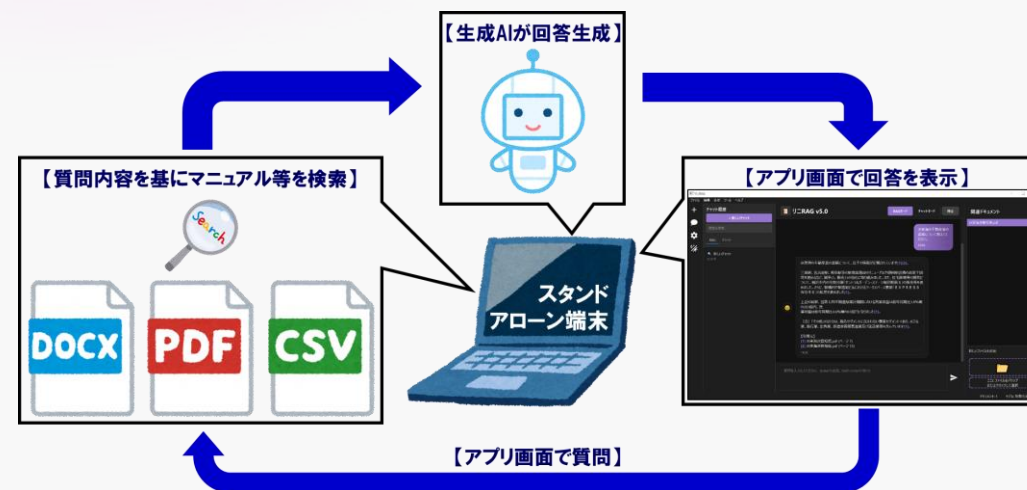
### 提案内容

量子化した大規模言語モデルを活用したアーキテクチャにより、GPU非搭載8GBメモリの一般的なPCで動作する完全ローカル型AIエージェントシステムである「リニRAGローカル」を開発。①情報漏洩リスク“ゼロ”、②利用料“ゼロ”、③ネットワーク依存からの“解放”、④ユーザーに配慮したインターフェースによる使いやすさ、が特徴。

RAGの民主化を実現

- ・ 専門知識
- ・ 構築コスト
- ・ 運用コスト

全て不要! 完全ローカルでコストゼロ



## 株式会社トコシエ

# 暗黙知継承型設計支援AIエージェント

### 会社概要

株式会社トコシエは、AIを活用して3D設計から製造までを自動化する「Modeling Professional AI」を開発しています。独自のIntent-Graph技術により、自然言語から3D設計データを生成し、AIが**製造条件**や**品質判断**まで支援します。AI・CAD・3Dプリンタを一体化した開発力を強みとし、ものづくりの生産性と創造性の両立を目指しています。

問い合わせ先



### 背景・課題

日本の製造業では、設計条件設定や造形パラメータ調整、品質判断などが熟練者の経験や勘に依存しており、技能継承が難しくなっています。技術者の高齢化や人材不足が進む中、**属人化による生産性低下**が課題です。

当社は、これらの暗黙知をAIで形式知化し、誰もが熟練者同等の設計判断を行える環境を実現することで、製造現場の**効率化と技能伝承**の両立を目指します。

### 提案内容

当社は、設計ログ・造形条件・品質データなど、熟練者の判断が反映された情報を国産基盤モデルに学習させ、最適な設計条件や造形パラメータを自然言語で提案する**AIエージェント**を開発しました。これにより、属人的だった判断基準を形式知として再現し、誰でも熟練者同等の設計判断が可能になります。

〈実証結果〉



AIが設計条件を自動提案し、モデリング工数を最大**50%削減**



設計～造形条件の連携を自動化し、試作リードタイムを**30%短縮**



造形条件の最適化により不良発生を抑制し、歩留まりを**20%以上改善**



熟練者の判断基準をAIが再現し、非熟練者でも**高品質設計**が可能

## TOPPAN株式会社/株式会社JDSC

# 営業支援アプリとエージェントAIの融合による、暗黙知の形式知化とDX・SXの実現

### 会社概要

TOPPANでは「包む技術で世界を変える」のビジョンのもと、長年にわたり印刷や素材の技術や知見を活かし、食品・飲料・日用品・医薬品など、製造業の幅広い領域へパッケージソリューションを提供している。近年、製造業では品質・安全性に加え、サステナビリティ・トランスフォーメーション (SX) への取り組みが不可欠となっている。とりわけパッケージ分野では、環境配慮素材の採用やリサイクル適性の向上といった、より高度な対応が求められている。この潮流の中で、当社は“DX & SX”をキーコンセプトに、世界規模で社会課題を解決するリーディングカンパニーとして持続可能な社会の実現を目指している。

問い合わせ先



### 背景・課題

TOPPAN株式会社は、長年培った印刷技術と素材加工の知見を基盤に、多様なパッケージソリューションを提供している。昨今、製造業には品質・安全性に加え、SX (サステナビリティ・トランスフォーメーション) への貢献が強く求められ、環境配慮やリサイクル適性への対応など、パッケージ要件はかつてないほど高度化・複雑化している。

一方で、業界全体が深刻な『熟練工不足』と『技術継承の危機』に直面しており、高度な判断業務を特定のベテラン社員に依存する体制は、もはや限界を迎えつつある。

既存の社内システムでは、最終的な『正解 (製造仕様) 』の蓄積は徹底されているものの、そこに至る『試行錯誤』や『判断ロジック』といったプロセス情報やナレッジは担当者の中に『暗黙知』として留まったままである。これらは定型化が難しく、従来のデータベース仕様では捕捉しきれなかった領域といえる。

そこで本提案では、営業支援アプリとAgentic AI (エージェントAI) やLLMを融合し、担当者への能動的なヒアリングやシステム間連携を通じて、これらの『製造の文脈情報』を形式知化する新たな枠組みを構築する。

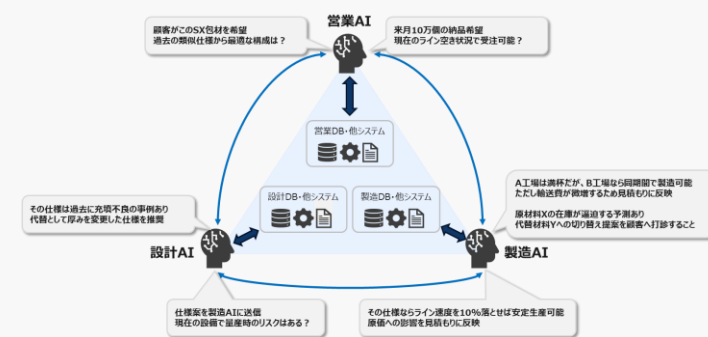
### 提案内容

まずは営業担当者へのインタビューから、現場のニーズと課題を確認。特に従来システムでは不可能だった課題の解決に、エージェントAIと業務アプリの融合で取り組む。

第1ステップとして、社内文書やEU包装規制 (PPWR) 等を参照し、社員の調査業務を支援する『Agentic AIアシスタント』を開発。サステナブルマテリアル展でのデモ展示を通じ、その有用性を実証する。

次なるステップとして、本提案では、この技術ならびにエージェントAI技術をさらに推し進め、営業支援アプリと融合させる。営業現場の『暗黙知』を形式知として資産化し、業務効率化とタスク自動化を推進することで、顧客ニーズへの即応性と提案品質の飛躍的な向上を実現する。

将来的には、設計AI・製造AIとも連携した高度なオーケストレーションシステムを目指し、DXとSXの両輪で新たな価値創出に貢献する全社的な仕組みを確立する。



## 株式会社戸畑製作所/株式会社ミラリンク

# 図面構造化エージェント

### 会社概要

#### 戸畑製作所

産業機械部品の鋳造・加工。膨大な図面と熟練技能を保有し、実証フィールド提供・要件定義を主導。

#### ミラリンク

製造業向けAI開発。独自RAG技術により、図面・文書を自動構造化し、検索・活用できるシステムを提供。

問い合わせ先



### 背景・課題

#### 「技術資産の死蔵」と「活用への壁」

#### 膨大な蓄積

現場には画像データのまま、数万枚規模の図面が眠っている。

#### 既存AIの限界

「複雑なレイアウト」「多様なフォーマット」が壁となり、OCRでは読取不能。

#### 手作業の限界

人力でのデータ化はコスト・時間がかかりすぎ、事実上不可能。

### 提案内容

#### AIエージェントで「構造」を自律的に読み解き資産化を実現

AIエージェントで図面の「構造」と「テキスト間の意味的つながり」を自律的に解釈。人間のようにレイアウトの法則性を読み解き、不規則な記載や手書き文字に対しても、自ら最適な読み取り戦略を判断して統一データ構造へ再構成する。

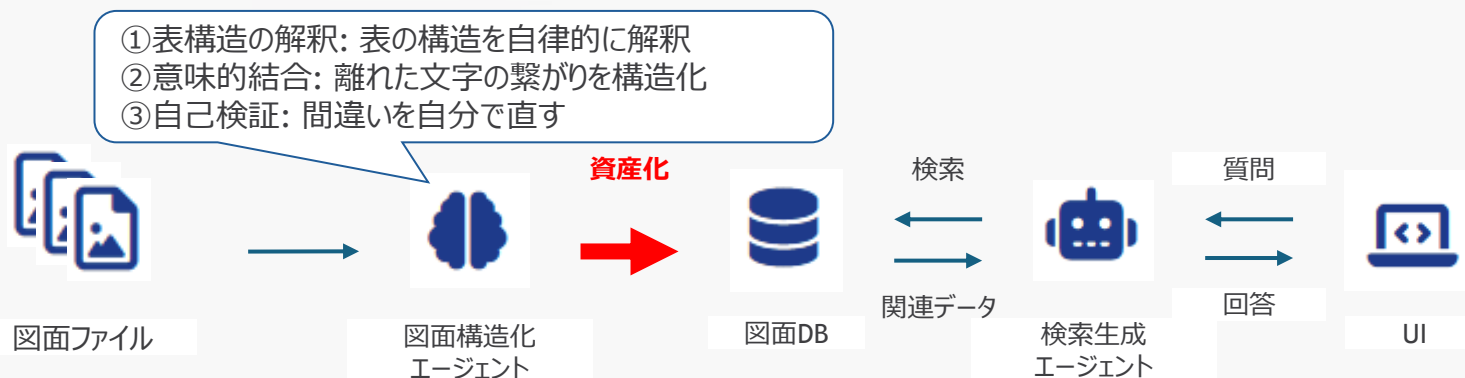


図. 図面の自動構造化技術の位置づけ

## トヨタ自動車株式会社

# MBSE×AIエージェント

### 会社概要

世界最大級の自動車メーカー  
トヨタ生産方式を強みに世界中に生産・販売拠点を持ち、地域ニーズに合わせた車種を展開  
低炭素化社会の実現や次世代技術にも積極投資

問い合わせ先



### 背景・課題

#### MBSEの導入と課題

複雑化するモビリティ・システム開発で設計品質を確保すべくMBSEを導入しています



しかし、MBSEの運用は設計者の負担が大きくできる人が限られるという課題があります

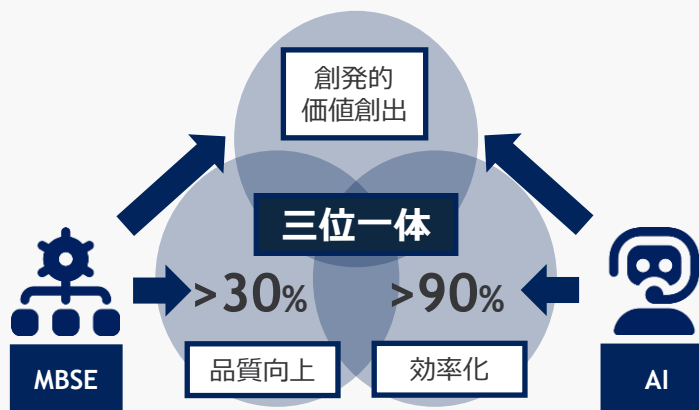


### 提案内容

#### MBSE×AIエージェント

MBSEとAIエージェントを統合することで、従来の課題を克服し、恩恵のみを最大化する、革新的ソリューションを完全内製しました

効率化、品質向上、創発的価値創出の「三位一体」を実現し、製造業の競争力を向上します



日新技研株式会社/CADIC株式会社

# 次世代に繋ぎたい「伝承」を発展させるコトづくり

## 会社概要

ありとあらゆる業界に、オーダーメイドによる産業プラント用の送風機、集塵・空気輸送装置、環境装置などの設計・製造・施工で貢献しています。

【公共インフラ】【エネルギー産業】【素材産業】【食品産業】【紙・フィルム】【輸送機】など

問い合わせ先



info@osaka-nissin.co.jp

## 背景・課題

当社はもうすぐ創業60周年を迎える「手づくりのモノづくり企業」であり、長年にわたり培ってきた経験と技術を基盤に発展してきました。今後も事業を継続・発展させるためには、これまで積み重ねてきたノウハウを有効に活用し、次世代へ確実に継承していく為以下の課題が顕在化していました。

1. 属人的な知識の偏在
2. 知識伝承の断絶
3. 記録の活用不足
4. 解決策の必要性

## 提案内容

ノウハウ活用の必要性 → 属人的な知識の偏在

↓ \*人から人

人材教育に膨大な時間・断絶

↓ \*人から人

記録はあるが活用できない

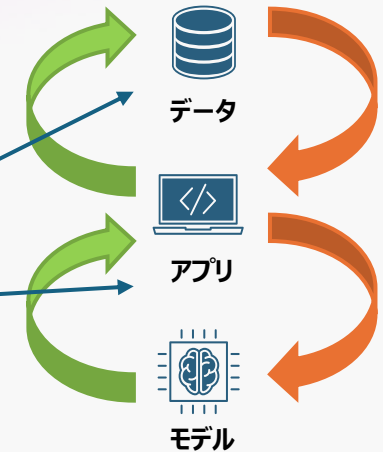
↓ \*属人的

組織全体で知識の共有が停滞 → 品質・効率・継承に影響

↓ \*見える化 + 検索システムで「脱・属人化」

データの登録は、pdf, 静止画, 動画, WebURL, MSアプリ, DXF図面データ等

解決策が急務 → → → AI検索システム構築へ



日本ガイシ株式会社/ストックマーク株式会社

# 特許分析を用いた新規事業探索AIエージェント

## 会社概要

日本ガイシは独自のセラミック技術でカーボンニュートラルとデジタル社会に貢献することを目指し、モビリティ、エネルギー、IoT、産業などのビジネス領域で活動しています。独自のセラミック技術を生かした製品やサービスの提供を通じて、地球環境への負荷低減、スマート社会への貢献、電力の安定供給など、より快適な社会の発展に向けて新たな価値創造に挑戦しています。

問い合わせ先



## 背景・課題

背景:  
中長期的な収益の柱となる新たな事業創出が課題

課題:  
これまでの事業探索は属人的であり、担当者によりアプローチが異なることから、成果にばらつき

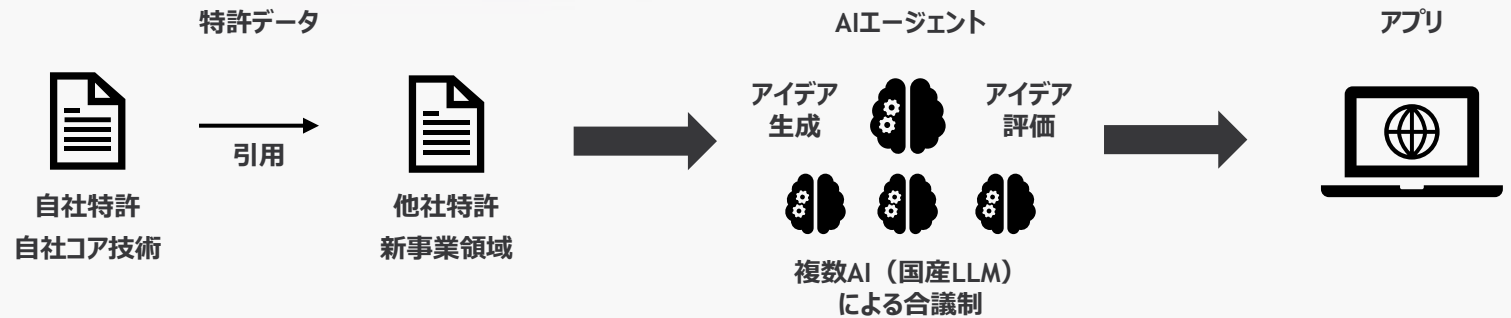


事業探索に関わる暗黙知を形式知化し体系的な手法を確立

## 提案内容

特許分析を用いた新規事業探索手法であるミラー法※をベースに複数AIを組み合わせ、アイデア生成から評価までの一連プロセスを自動化

①有望事業案の生成、②スクリーニング工数の削減、③事業探索の属人性排除を実証



※ 自社特許を引用する非競合企業に着目し、自社のコア技術を活かせる新事業領域を見つける手法

## ノザキ製菓株式会社、AWL株式会社

# 「エッジ実装の伴走型AIエージェントで匠の技を素早く安全に形式知化」

### 会社概要

ノザキ製菓株式会社：主にチューインガム、チョコレート等をOEM/ODMで製造。安全・安心を第一に、多様化する顧客ニーズに応える柔軟な生産体制が強み。AWL株式会社：「エッジAIの社会実装」をミッションに、低コスト・プライバシー保護・リアルタイム性を実現するエッジAI技術を開発。「AWL Engine」をコア技術とする。

問い合わせ先



### 背景・課題

#### <環境課題>

- 熟練技術者の高齢化と若年層の大幅減少により、技術継承が困難。品質を支える「勘と経験（暗黙知）」への依存が限界に達し、継承が経営課題。

#### <AIシステムの課題>

- 特定の工程に対して外部にAIシステム作成を依頼しコスト削減・不良率削減は達成可能だが、他工程への展開には高コストと長期間が必要で、全社的改革が難しい。
- 工場の硬直化したAIでのオートメーション化は現場の自由度と主体性を奪い中小企業のフレキシブルな生産体制に合わない。
- クラウド主体の場合、熟練作業者ノウハウの工場外流出リスクがある。

### 提案内容

#### 現場が抱える2つの大きな課題



熟練者の「勘と経験」が消える  
技術の継承が経営課題に



従来のAIは高コストで硬直的  
工場外への情報流出リスクも

#### 解決策：エッジ実装の伴走型AIエージェントで匠（熟練者）の技を素早く安全に形式知化



①見る：匠の視点をAIが獲得  
カメラとセンサーで状況を把握



②判断する：暗黙知をルール化  
AIと対話し人がルール（形式知）を承認



③知らせる：若手を的確にナビ  
作成したルールで最適プロセス通知

#### AIシステム構成図



データを工場から外に出さない  
エッジ実装で社内ノウハウを保護

現場作業者はAIを育てるトレーナー、現場改善のインベータへ

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社/富士通株式会社

# SCM強靱化エージェント

会社概要

売上高※  
**10,486**  
億円

インフラを支える「電気設備」の領域において企画～保守まで一貫通貫に事業を展開

施設用 屋外用 住宅用 マンション ビル 創蓄連携 配線器具 エネファーム ガスメータ用デバイス 燃料電池



問い合わせ先

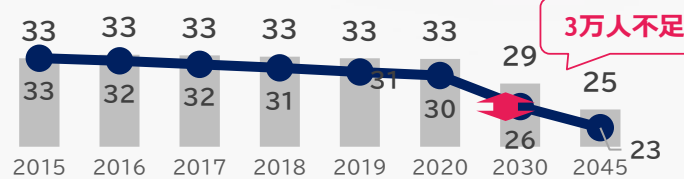


## 背景・課題

労働力のひっ迫

- 電気工事士不足、調達作業者の高齢化

【電気工事士数の需要変化】(万人)



災害の激甚化

- 台風、地震等自然災害、地政学リスク、工場火災等

供給ボトルネック要因の多様化

- 海上物流のひっ迫と運用コストの上昇
- 半導体不足の長期化、原材料の高騰等

## 提案内容

ヒトとAIエージェントの協調を中核に据え、意思決定を迅速化

データとAIエージェントを活用し、現場・経営が一体となった意思決定へ

世界中の災害情報を連携

- 発生後15分以内にインパクト推定

SCM復旧を自動化

- AIエージェントによる自動対応
- ヒトが判断すべき作業のみ提示

AIエージェントの更なる活用

- 不明点や指示は対話形式で
- 関連データと業務を理解し回答
- AIエージェントがAIエージェントを育成



日立GEベルバニュークリアエナジー 株式会社/株式会社 日立製作所

# 暗黙知活用システムLogiQuest

## 会社概要

日立GEベルバニュークリアエナジーは、原子力事業に資するため、日立製作所と米国GEベルバ社 (旧ゼネラル・エレクトリック社) により2007年に設立されました。従業員数は約1,500名で、発電用軽水型原子炉施設、高速炉施設、原子燃料サイクル関連施設などの設計・製造・販売・据付・保守を一貫して手掛けています。長年の原子力事業での豊富な実績を持つ両社の技術と経験を受け継ぎ、信頼性の高いモノづくりとサービスを提供しながら、環境に配慮した原子力事業の発展に取り組んでいます。

問い合わせ先

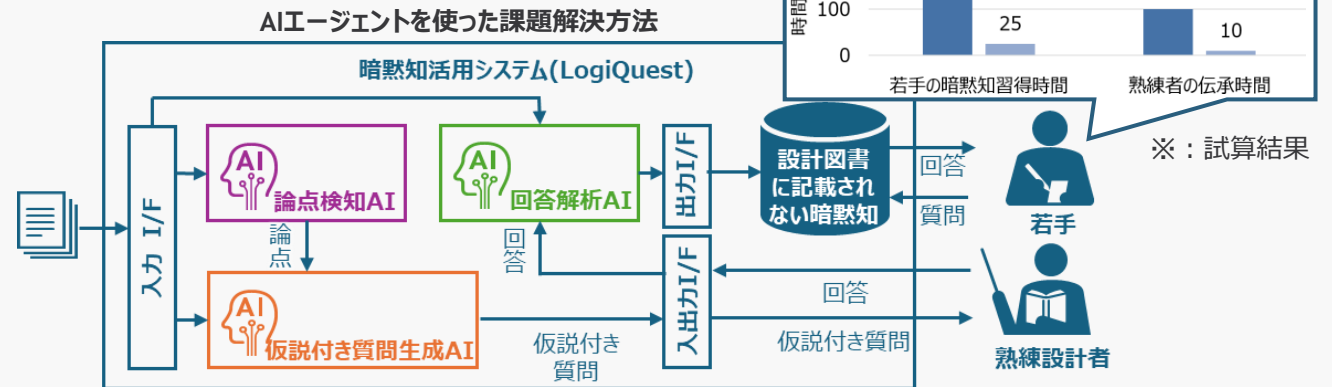


## 背景・課題

原子力プラント設計では、今後10年以内に多くの熟練設計者が退職を迎える見込みであり、安全性に直結する重要な暗黙知の喪失は、事業継続に深刻な影響を及ぼす重大な経営リスクとなっています。特に原子力発電所は、計画段階から廃炉にいたるまで60年以上に及ぶ長期プロジェクトであるため、暗黙知の継承は極めて重要です。一方、2011年の福島事故以降、15年以上にわたり新規建設が停止していることから、従来OJTなどで受け継がれてきた技術が失われつつある現状があります。このため、建設経験を持つ熟練者が保有する暗黙知の体系的な抽出と継承が急務であり、AIを活用したデジタル化による知識の構造化・共有、さらに設計支援への応用が不可欠となっています。

## 提案内容

熟練設計者に仮説付き質問をすることで、設計図書に記載されない熟練設計者の設計に関する暗黙知を引き出し、若手も利用可能とする暗黙知活用システムです。本システムで効率的に伝承を行い、若手と熟練者の伝承時間を削減することが可能となります。



株式会社広島 / 株式会社WAIOS / 01フィラメント株式会社

「既存のビジネスチャットにアドオンし、日常会話から暗黙知を自動抽出し、形式知化と生産性を底上げする仕組み」

会社概要

創業51年の特注設備メーカー。流体装置の要件定義～試運転まで一貫対応し、熟練工の暗黙知を多く保有。WAIOSは、ビジネスチャットに常駐するAIエージェントとして、会話から暗黙知を抽出・構造化。プロンプト設計、RAG、必要に応じたファインチューニングにより、企業固有の判断基準を再現する。

問い合わせ先



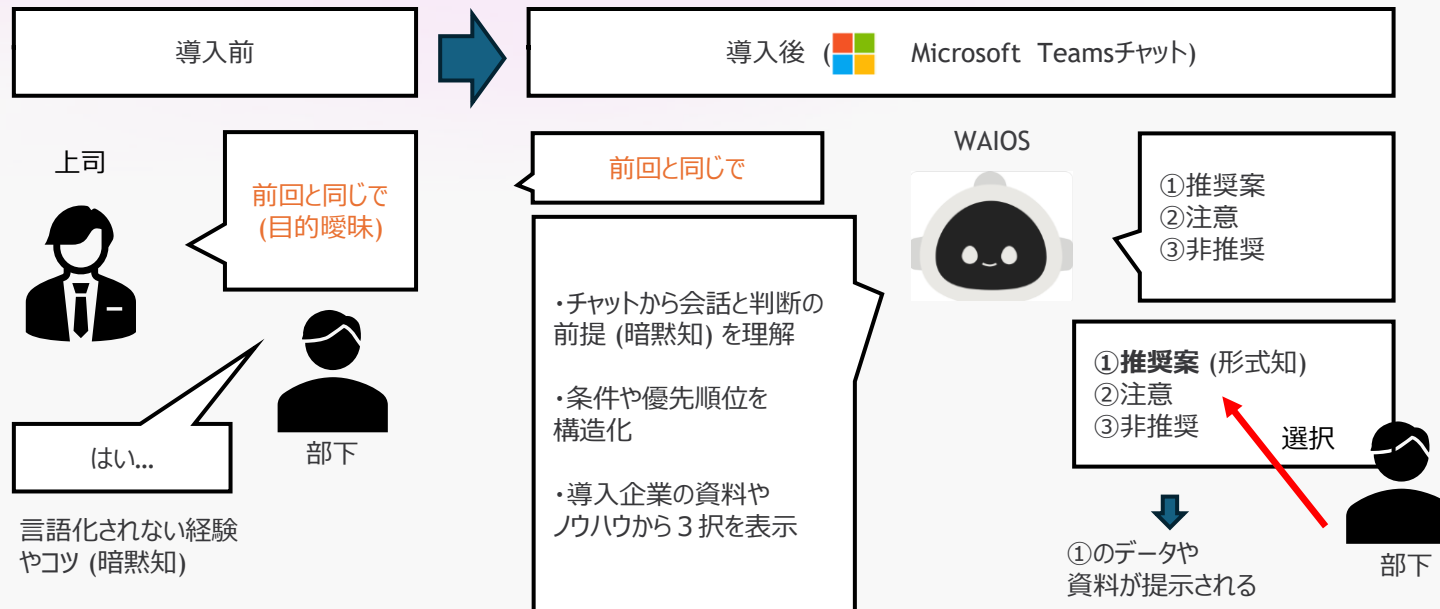
背景・課題

当社では、仕様決定・設計・トラブル復旧などの基幹業務が熟練工の暗黙知に依存し、若手が再現できないことが課題です。

暗黙知は言語化されず属人化が進行し、判断の不一致や手戻りが発生、通常労働の約25%が失われています。若手は優先順位を判断できず育成が停滞し、未継承による心理的不安も増加しています。

原因は価値ある判断基準や要点が日常会話に埋もれ形式知化されない点にあります。

提案内容



ブリヂストンBRM株式会社 / 株式会社リョーワ / 早稲田大学

# 多様な人材が継続的に活躍できるものづくり現場の実現

## 会社概要

(株)ブリヂストン100%出資の子会社で、使用済みタイヤ(以下台タイヤ)の回収・リファービッシュ、製品タイヤ配送を行っている。下記の強みをもち約50%のシェアを保有する。強み: ①業界唯一台タイヤの回収～配送までをほぼ自社便にて行い、SCをコントロール。②全国に5工場、9拠点を保有し、迅速なサービスを提供。③(株)ブリヂストンの設計・製造技術・QA技術を基盤に製造し、圧倒的な品質を有す。

問い合わせ先



## 背景・課題

今後予測される大幅な労働力不足の中、従業員数約400名の当社では、将来的な労働力確保が極めて困難になると見込んでいる。特に、タイヤ回収や製造工程では手作業や重量物を扱う作業が多く、夜勤も伴うことから、現場人材の確保・維持は一層厳しい状況にある。この課題に対応するためには、高齢者や女性、障害者など多様な人材の活用が不可欠である。その実現には、製造現場の多様な業務を人材特性に応じて適切かつ効率的に割り当てるとともに、業務の優先度や改善点を数値化し、継続的に最適化する仕組みの構築が求められている。

## 提案内容

### 【解決方法】

エルゴノミクス評価に基づき、作業ごとの身体負荷・安全性・必要スキルを定量化し、作業者特性と照合するAIエージェントを開発した。AIは作業と人材の適合度を可視化し、管理者に最適な作業配置案を提示することで、現場判断を補完した。

### 【検証結果】

実証により、作業割り当て検討時間は約30%削減され、高齢作業者の身体負荷は平均10%低減した。作業ミスやヒヤリハットも減少し、配置判断の標準化が進んだ。現場からは、判断根拠が明確になり、経験に依存しない運営が可能になったとの評価を得た。

### 【効果】

本AIエージェントにより、現場運営はデータ駆動型へ転換し、多様な人材が安全かつ継続的に活躍できる仕組みの有効性を確認した。

身体情報入力



最適な仕事提案



アプリ

サーチエージェント



生成エージェント



モデル

解析エージェント



JSON



エルゴノミクスデータ

## 本田技研工業株式会社

# 生成AI習熟支援

### 会社概要

二輪車・四輪車・パワープロダクツ (発電機、船外機、農機具など) を中心に、モビリティを軸とした多様な事業をグローバルに展開する総合モビリティメーカーです。  
近年は電動化、知能化、エネルギー、ロボティクスなど新領域にも取り組んでいます。

問い合わせ先



### 背景・課題

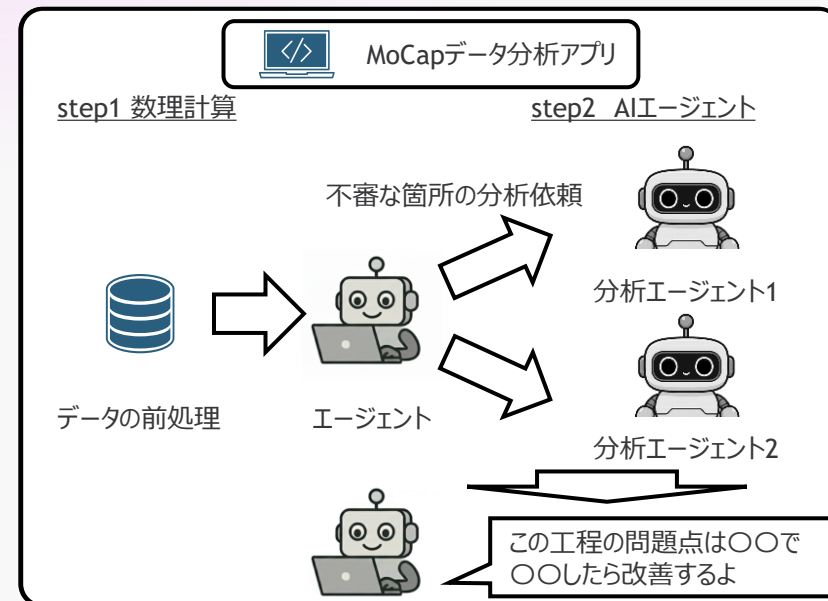
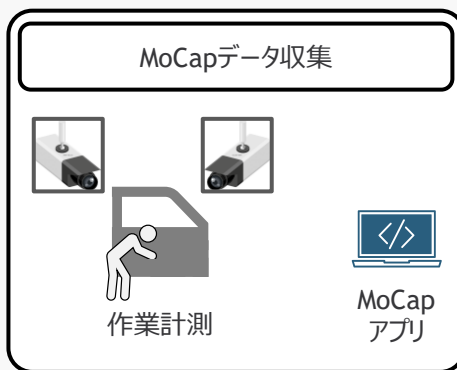
熟練者の指導や判断といった「暗黙知」に依存してきた製造現場では、ベテランの減少や非正規比率の増加により技能伝承が困難化

これにより作業ミスや品質起因の生産ラインの不稼働が増え、生産効率と信頼性が低下している。

上記課題解決に向けて、現場作業の定量的評価を目的にモーションキャプチャ (MoCap) を導入したが、データの複雑さから活用が難しく、効果的な技能継承や訓練効率化に至っていない。

### 提案内容

MoCapデータ機器から収集したデータをAIエージェントに解析させて、初心者に対して改善提案をする



株式会社マツダE&T/株式会社ビーライズ

# 品質の属人化を解消するAIアシスタント

## 会社概要

マツダE&Tは、マツダ100%子会社として自動車の開発設計・実験・解析に加え、福祉車両・カスタマイズ車の企画・開発・製造を担う技術系企業です。多様なカスタマイズ車両に強みを持ち、企画から生産まで一貫対応できる体制と、マツダで培った高度な技術と現場力による高品質で柔軟なものづくりが特徴です。

問い合わせ先

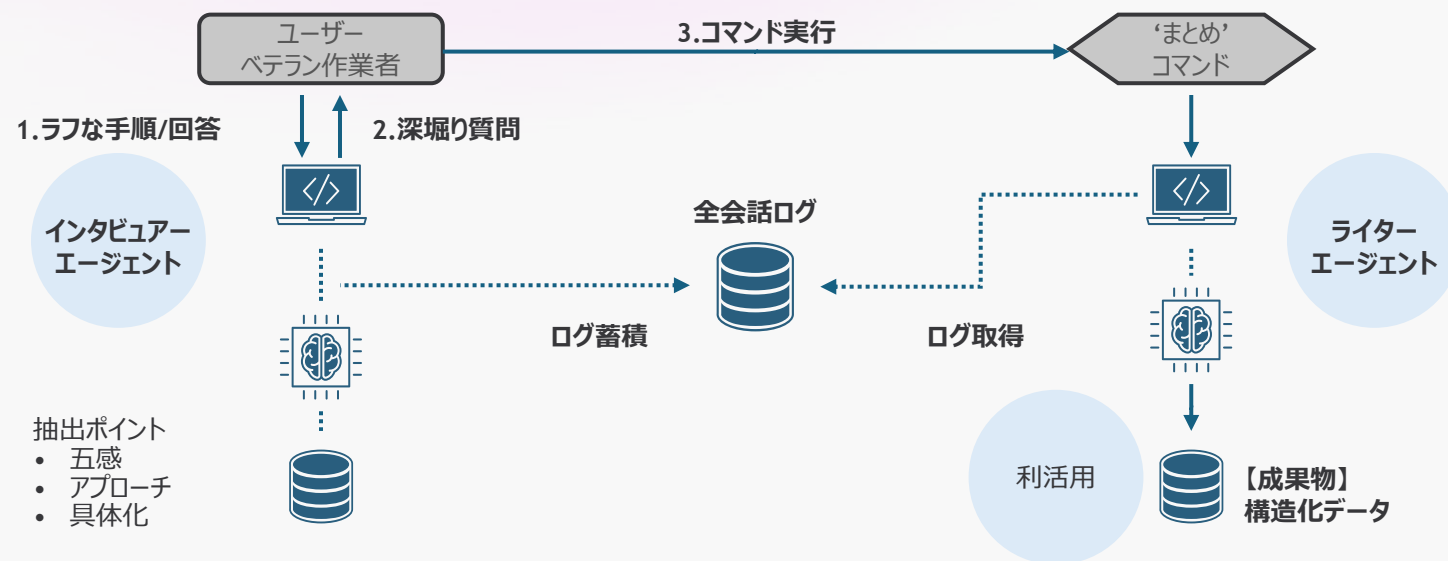


## 背景・課題

車いす移動車（ベース車を架装した福祉車両）において、リアゲート周辺部品の組付けや仕上げ作業では、見栄え、隙干渉、閉まり感の調整をベテラン作業者が勘と経験で行っています。どの部位を操作すればどこに影響するかといった知識は暗黙知として個人に蓄積され、標準化や教育が難しい状態です。そのため、作業効率の向上や品質の安定化、教育コストの削減を実現するには、暗黙知を形式知化し、誰でも同じ手順で作業できる仕組みが必要である。

## 提案内容

製造現場の「暗黙知」を対話で引き出し、自動で「形式知化」する「壁打ちAI」



株式会社丸山製作所 / M-Innovations株式会社 / 株式会社リョーフ

# 中堅中小企業からはじめるリバースイノベーション

## 会社概要

農業用機械、環境衛生用機械、消防機械、工業用機械、洗浄用機械等の製造・販売  
売上412億円/年、東証スタンダード上場

問い合わせ先



## 背景・課題

知識・ノウハウ等の暗黙知の形式知化は、当社においても課題であり、その解決策としてAIの活用を検討した。

しかし、現在、提供されているAIサービスは、無償版は情報漏洩等のリスクが伴い、セキュリティが担保された有償版は全社的導入には高額であることが確認された。

一方で、オープンソース化は、AIの領域にも広がり、無償で活用可能なAIモデルが多数公開されてきている。

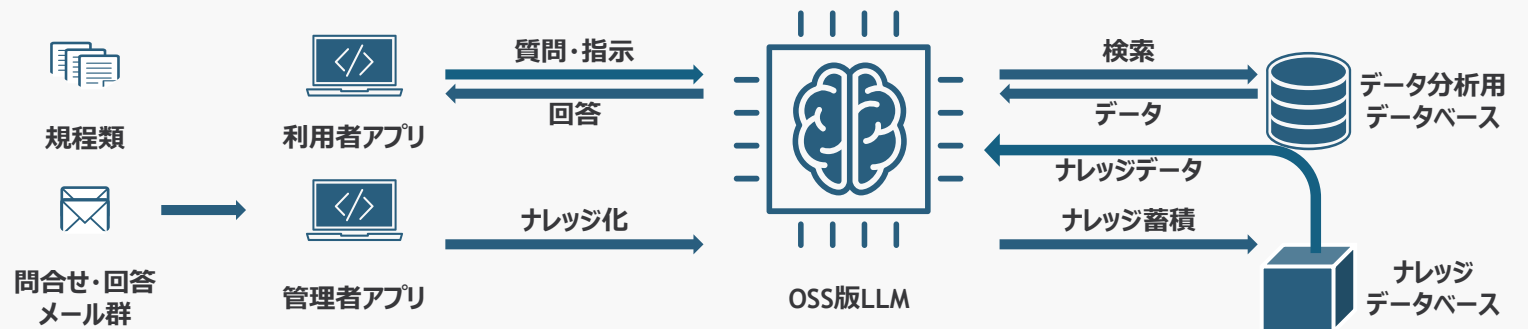
これらを活用し、安価で安全なAI活用環境が構築できないかと考えた。

実現できれば、同様の問題に悩む中堅・中小企業のAI活用のモデルとなり、ソリューションの提供が出来ると考えた。

## 提案内容

中堅中小企業のAI活用における3大課題 (セキュリティ、ハルシネーション、コスト) を解決するAIエージェントを構築する。

- 国産/海外のOSS版LLMを活用したライセンスフリーの構成
- 社内クローズ環境での構築により、情報漏洩リスクに対応
- 特許技術の活用によるハルシネーション抑制機能の実装
- 中小企業の少ない要員工数で暗黙知を形式知化する以下の3つのエージェントを作成
  - ①スタッフ系問合せ: メール情報等のナレッジ化により、組織横断的な回答を生成
  - ②在庫分析: 在庫の過不足に対するAIのレコメンドにより、状況認識・共有を促進
  - ③入金突合: 売上実績・入金データの自動比較でチェック時間が数分に短縮



三島光産株式会社/FPTジャパンホールディングス株式会社

# AI Mentorによる技能習熟加速

## 会社概要

弊社は、製鉄・化学・自動車といった基幹産業において、工程請負、自社製品、エンジニアリングという三つの事業を柱に、従業員一人ひとりが主体的に成長できる環境を整備し、経営理念である「いきいきとたくしく わたしたち自身のために そして、社会のために」を体現する企業風土のもと、働きやすさと挑戦の両立を目指している。

問い合わせ先



## 背景・課題

### (1) 技能習熟にかかる期間

(戦力化までにかかる期間) が長く、OJTのためのコストが収益を圧迫している

### (2) 新規採用者の教育や現場力

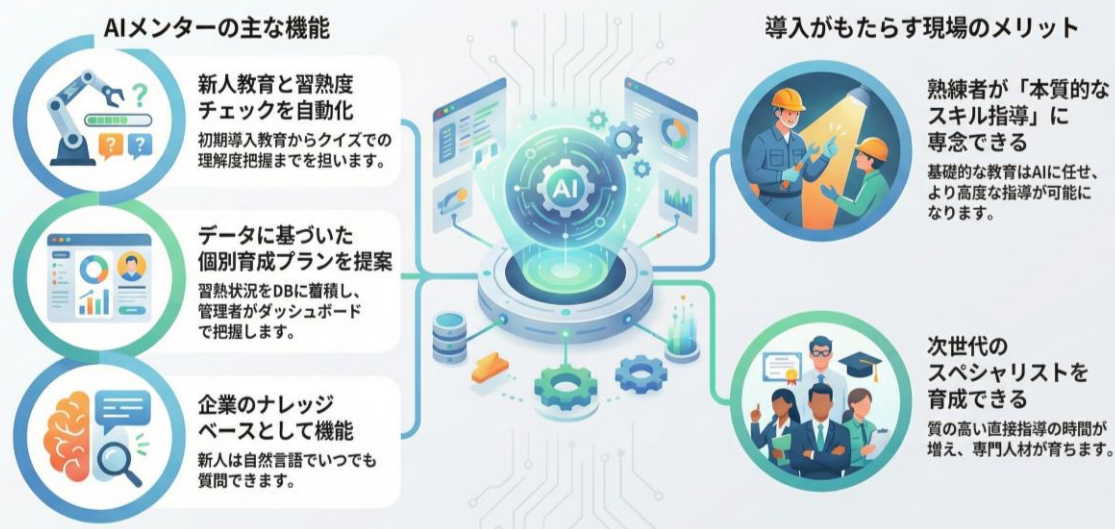
担保が属人頼みになっており、コーチアの教育負荷が高く、本質的な指導に時間を割くことができない

### (3) 人材採用の間口が狭い。

(日本人且つ男性が殆ど) 多言語対応できていない

## 提案内容

### AIメンターが製造業の新人教育を変える



MiSERU株式会社/株式会社リョーワ/伸和コントロールズ株式会社

# “人の塩梅”による生産計画策定業務をAIエージェントへ転換

## 会社概要

IT戦略/BPRを軸にデジタル化/DX推進/IT管理などユーザー企業の会社運営に関わるさまざまな業務課題を解決するマルチアドバイザー

問い合わせ先



## 背景・課題

現在、製造業を取り巻く環境は急速に変化しており、従来の生産計画策定手法では対応が難しくなっています。

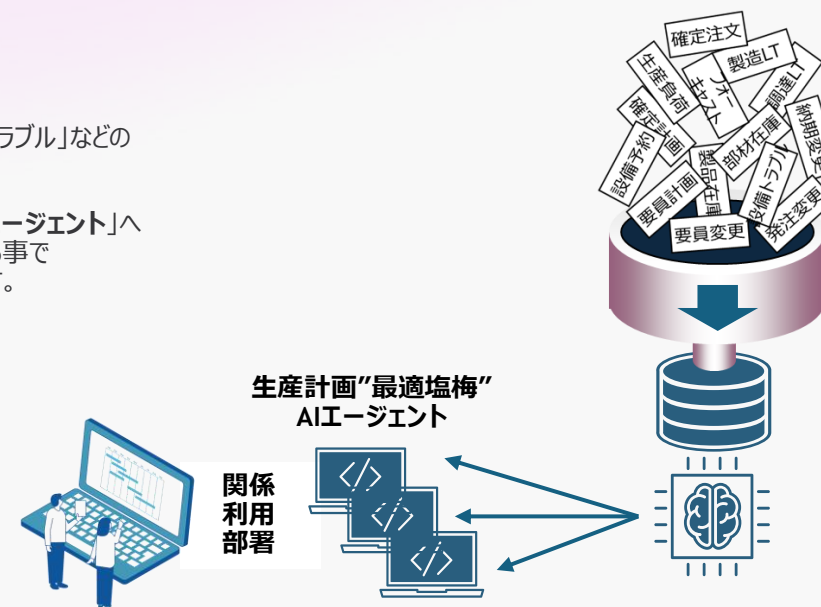
- 計画の精度と迅速性に関する課題**  
 急な注文・設計変更、現場の制約(設備・人員)を計画に迅速に反映できず、手戻りや納期遅延が発生している。
  - 部門間の情報連携の非効率**  
 営業、設計、調達、製造の間で情報共有が遅く、欠品や過剰在庫、個別調整による**計画担当者の負荷増大**を招いている。
- 市場の**多品種少量・短納期化**に対応し、**競争力を維持**するため、**属人化しがちな生産計画業務の非効率性と経験依存**からの脱却が急務です。

## 提案内容

“人の塩梅”による生産計画策定業務を生成AIへ転換。

暗黙知の対象としては「フォーキャスト」「確定注文」「製造LT」「調達LT」「部材・製品在庫」「生産負荷」「要員配置計画」。さらに「納期変更」「発注数量変更」「要員配置変更」「設備トラブル」などのさまざまな要素情報を組み合わせて生産計画が策定される。

これら刻々と変化する要素情報を「**生産計画”最適塩梅”AIエージェント**」へ取り込み、対話形式によって生産計画情報を得られる様にする事で生産計画の策定スピードと正確性を得られる環境を提供します。



## 三菱電機株式会社

# 止まらない工場を実現! トラブル解決・再発防止AIエージェント

### 会社概要

- 当社は、総合電機メーカーとして、あらゆる産業領域のHWからSWまでを百年近くお客様へご提供
- 製造×デジタルの両利き: FA機器/制御/運用までOT/ITを一気通貫で保有。
  - 現場データ/ノウハウから、先進研究・開発能力を持ちPoC止まりにせず、製品/ソリューション化・保守まで責任を負える事業体 (研究所×事業体×現場)

問い合わせ先

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/support/>



### 背景・課題

- ライン複雑化×データ爆発: 多ベンダ設備・多工程で、人手の横断照合は限界。
- ①設備の停止原因特定に時間がかかり復旧できない
- 人材構造の転換: 熟練保全員の退職加速、**属人知の継承リスク増大**。今後20年で157万人の減少。
- ②設備が多岐にわたりベテランの判断基準が暗黙知で、引き継ぎ・再利用・再発防止が困難

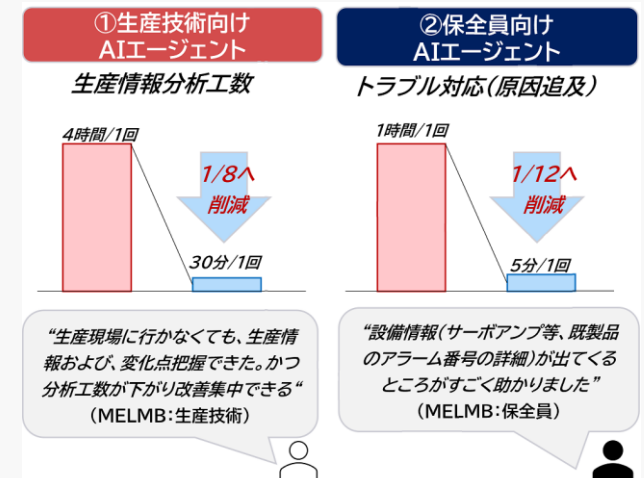
### 提案内容

- 止まらない工場を実現! トラブル解決・再発防止AIエージェント:
  - ①生産技術向けAIエージェント: 設備のデータを自動ドリルダウンし、因果候補・アクションを指示。
  - ②保全課向けAIエージェント: トラブル票・手順書・報告書・メーカー資料を横断検索し、類似事例・アクションを指示。

#### 顧客のペイン

- 生産が今後し続けられない
  - ①設備の停止原因特定に時間がかかり復旧できない
  - ②設備が多岐にわたりベテランの判断基準が暗黙知で、引き継ぎ・再利用・再発防止が困難

#### 実証成果:



メルコジャパン株式会社 / 株式会社GROWTH JAPAN TECHNOLOGIES

# 高天井工場での猛暑対策をAI屋根散水で最大の効果を狙う!

## 会社概要

メルコジャパンが叶える、グローバルなものづくりで1962年の創業以来一貫した技術集団として、地域・社会に貢献し続けています。

1. ステンレス (SUS304) 厚板材 5,000tを常時保有での切断、販売
2. 大型真空チャンバーの一貫製造
3. 半導体装置部品、躯体製造

問い合わせ先



## 背景・課題

弊社工場は12~15mの天井高さが必要で、工場内でトレーラーへの積み込みなども有る為に空調設備を整える事が困難な環境下にあります。

近年の夏季の気温が40度前後の日が続き、従業員の安全や熱中症対策として積極的に休憩を取る様に促している事も含め、生産性低下による外注展開や納期遅延など大きな経営課題となっている。

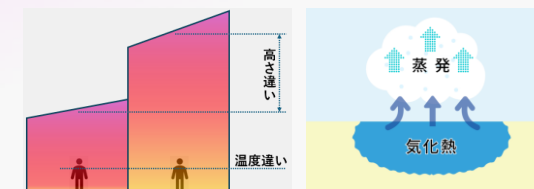
## 提案内容

タイマー制御による散水での課題

- ①温度、湿度で気化(蒸発)時間が異なる。
- ②工場環境により作業着付近での暑さ指数が異なる。
- ③工場環境により散水効果の時間が異なる。

AIエージェントを使い解決

- ①天気予報より屋根上温度のモデル構築で気化時間の確定。
- ②機械工場、仕上げ工場などの作業着付近の暑さ指数が異なる環境の平準化。
- ③屋根散水開始から作業着付近での温度変化までの時間差の形式知化。



AIで最適を実現!

養父織物/京なかGOZAN

# 伝統と先端技術の融合

会社概要

京都府京丹後市で西陣織を製織するメーカー。「波箴 (なみおさ)」など西陣織の高度な伝統技術を持つ一方、全社員参加のIT・生成AIワークショップや「女性の活躍推進に関する取り組みが優良な企業を厚生労働省が認定する制度「えるぼし (3段階目)」認定など、組織的なデジタル人材育成や働きやすい環境づくりに注力しています。本事業では、熟練職人の「暗黙知」を生成AIで形式知化し、伝統産業の持続可能なDXモデル構築を目指します。

問い合わせ先



背景・課題

背景

西陣織産地では熟練職人の高齢化と後継者不足が深刻化しており、技術継承の断絶が危惧されています。また旧来型の生産体制による低い労働生産性が若年層の雇用や賃上げを阻む構造的な課題となっています。

課題

**「暗黙知」の言語化:** 複数台の産業用カメラ (識別系AI) でキズの「発見」は自動化できても、その後の「原因特定」や「復旧処置」は熟練職人の経験 (暗黙知) に依存したままです。この「プロセス」が言語化されていないため技術継承が進まず、現場の生産性を阻む最大のボトルネックとなっています。

**若手参入の壁:** 多品種少量生産ゆえに業務が複雑でマニュアルも整備されていないため、未経験者が仕事を覚えるのに長い年月を要し若手の定着を難しくしています。

提案内容

「熟練の技」を生成AIと共有し、若手が即戦力化する自律型工場の構築

【検出】産業用カメラによる「きっかけ」作り

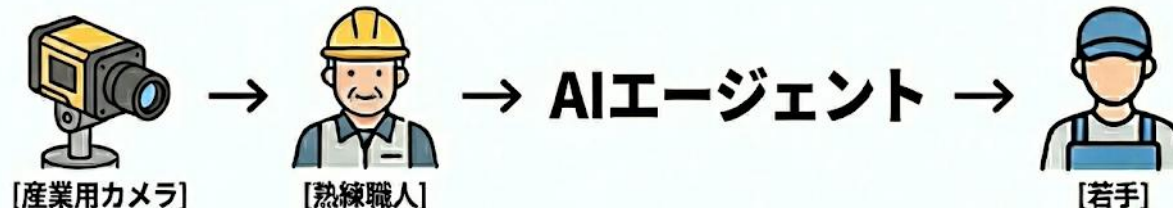
旧式織機に産業用カメラを後付けし、キズ検知と同時に機械を「自動停止」。物理的なロスを防ぎ、人が対応すべきタイミングを創出します。

【対策】生成AIによる「暗黙知の形式知化」

停止後の「原因特定」や「復旧処置」といった熟練職人のノウハウ (暗黙知) を生成AIが学習・言語化 (曖昧な表現を数値化など)。若手社員に対処法をナビゲートし、同時に業務フローを標準化 (マニュアル化) します。

【育成】データに基づく人材育成

蓄積されたトラブル対応データを教材として活用し、経験の浅い若手の早期習熟と、予防保全への意識変革を実現します。



学校法人早稲田大学大学/株式会社高田工業所

# RAG-SECIモデルによる製造業改善暗黙知の組織知化

## 会社概要

2003年北九州市に開設された大学院。情報アーキテクチャ、生産システム、集積システムの3分野を教育研究対象としており、産官学連携と主にアジア圏でのグローバル化に強みをもつ。開設当初から、情報通信技術とものづくりの融合を目指しており、第4次産業革命、DX (デジタル・トランスフォーメーション) に関連した多くの実績をもつ。

問い合わせ先

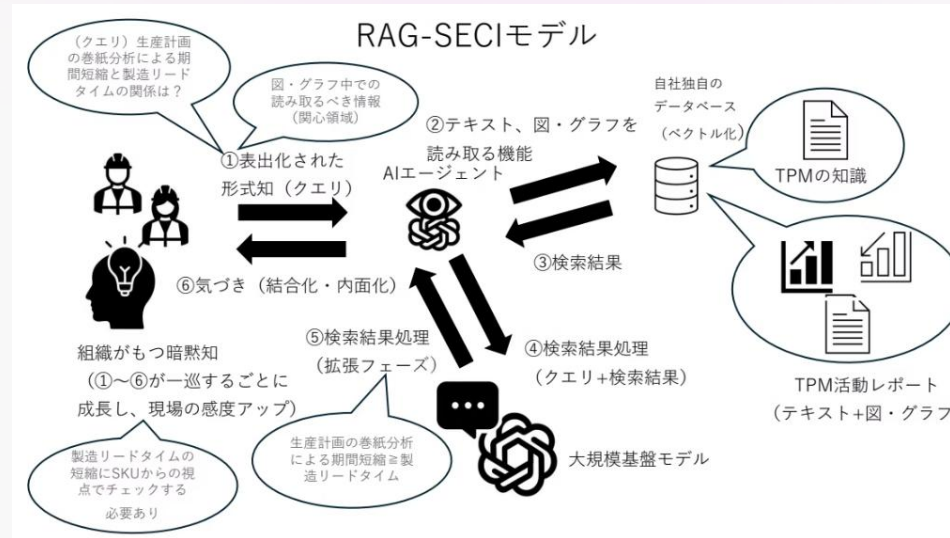


## 背景・課題

日本の製造業の優れたPQCDSMEすなわち「生産性」「品質」「コスト」「納期」「安全」「やる気」「環境」を支えてきたひとつの方法論として、TPM (Total Productive Management) があり、日本国内だけでなく世界中の製造業がこの考え方を取り入れています。その特徴は、経営層、管理層、現場層とが一体となって改善に取り組むことにより、人を変え、永続的な改善を重ねていく点にあります。ところで、TPM活動が効果的に行われているかという視点から審査を行う「TPM審査員」と呼ばれる人達があります。TPM審査員は、8つの視点からまとめられた活動レポートを詳細にチェックし、データのもつ意味を理解することにより、現状の問題点や、つぎに取り組むべき課題について示唆を与えます。これにより、ほとんどの場合、KPI (Key Performance Indicator) の値はより良好なものとなります。つまり、この示唆のもととなる専門知識は一種の暗黙知を含んでおり、これを企業内で蓄え、利用することができれば、日本の製造業にとって大きな力となります。そこで本提案では、この暗黙知を、人工知能技術RAGと、知識創造モデルとして知られるSECIモデルを融合することにより、組織的暗黙知をスパイラル的に成長させる枠組みの開発・検証に取り組めます。

## 提案内容

AIエージェントの新技术、すなわち図やグラフの中で注目すべき「関心領域」を読み取る機能を実装し、組織における知識創造のプロセスであるSECIモデルと、優れた検索を実現するRAGを組み合わせています。



**80%**  
現在の正答率  
AIエージェントの回答精度

**90%**  
目標達成度  
組織知化の実現を目指して

協力企業:  
株式会社 高田工業所



領域  
01

国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発

Ⅱ．カスタマーサポートの生産性向上

# 目次

社名	ページ
株式会社未来都/newmo株式会社	72,73
東洋船舶株式会社/株式会社JDSC	74,75
一般財団法人在宅がん療養財団/株式会社シャルクス	76,77
アイフル株式会社/FunnelSphere合同会社	78,79
日本航空株式会社/Gen-AX株式会社	80,81
株式会社JTB/カラクリ株式会社	82,83
東急株式会社/株式会社Nextremer	84,85
株式会社ノーザ/ウィナーソフト株式会社/株式会社エーアイ	86,87
学校法人アルコット学園	88
株式会社MITSUHIRO/大熊町・大熊インキュベーションセンター	89
株式会社OneAI/Fukuoka Growth Next	90
株式会社イワタ/株式会社Gns	91
株式会社社会津ゼナールホールディングス/株式会社 Aisometry	92
株式会社 悠心/新潟県工業技術総合研究所	93
京なかGOZAN	94
Qsol株式会社	95
国立大学法人九州大学大学院/株式会社ONIXION	96
アイレット株式会社	97
アイレット株式会社/KDDI株式会社	98
株式会社アクト・ノード	99
Azabu Insights ストラテジック・コンサルティング (ASMC株式会社)	100
株式会社アックス/東京エレクトロン九州株式会社	101
artience株式会社/ストックマーク株式会社	102
株式会社アングム	103
A I A 株式会社	104
SBI R3 Japan株式会社/株式会社インフォメーション・ディベロプメント	105
一般社団法人可視経営協会/株式会社システム科学	106
北見工業大学	107
株式会社熊本計算センター	108

社名	ページ
サンデン・リテールシステム株式会社/vottia株式会社	109
有限会社GIPI	110
パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社/株式会社CAC identity/Nishika株式会社	111
一般財団法人製造科学技術センター/株式会社H A C A R U S	112
SALES ROBOTICS株式会社/株式会社ギャラクシーズ/株式会社スカイエージネクスト	113
ダイヤモンドヘッド株式会社	114
公益財団法人大阪産業局/takeforest株式会社	115
データナリティクスラボ株式会社	116
株式会社TENTIAL/カラクリ株式会社	117
東京ガス株式会社/東京ガスカスタマーサポート株式会社、東京ガス株式会社エネルギー事業革新部	118
東京都立産業技術大学院大学/株式会社キャリアボット	119
株式会社日本AIコンサルティング	120
日本トータルテレマーケティング株式会社/Standard AI株式会社	121
パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社/エス・アンド・アイ株式会社/パーソルエスアンドアイ株式会社	122
株式会社白寿生科学研究所/loYou株式会社/海風診療所	123
株式会社パソナ X-TECH Dotank事業/国立大学法人 北海道大学	124
行政書士眞野法務事務所・富邦通商株式会社・euroDAO Japan/euroDAO	125
富邦通商株式会社・euroDAO Japan/euroDAO	126
芙蓉アウトソーシング&コンサルティング株式会社	127
フロントラインワークス株式会社/ラフ株式会社	128
株式会社ベルシステム24/株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ	129
ホームサブ株式会社/vottia株式会社	130
一般社団法人まちはチームだ/株式会社リョウワ	131
医療法人社団 四つ輪会/株式会社Quixotiks	132
株式会社ローカルワークス/nocall 株式会社	133

株式会社未来都/newmo株式会社



# タクシー配車業務のAI音声対応

## 会社概要

モビリティスタートアップであるnewmo（開発者）は、M&Aを通じて大阪のタクシー会社4社をグループに迎え、車両数約1,000台、従業員1,500人以上のタクシー事業を運営している。newmoは開発者が多数在籍する強みを活かし、タクシー事業運営におけるアナログ作業を、現場に入り深い業務理解をしたうえで、AI等を活用した自社開発ツールに置き換えることで、業務効率の改善や売上規模の拡大を目指している。

問い合わせ先

- 📄 • <https://newmo.me/>
- ✉️ • [pp@newmo.me](mailto:pp@newmo.me)

## 背景・課題

newmoグループの大阪のタクシー会社「未来都」の配車室には、1日に数百件規模の配車依頼の電話が集中するが、人手不足により約3割の着信をオペレーターが受電できず、利用者の移動機会が損なわれるとともに、事業上の機会損失が生じていた。

この課題に対応するため、配車依頼の一次対応をAI音声で行うAI配車エージェント「maido」を自社開発し、現場に導入した。その結果、受電率は100%に改善し、AIによる対応完結率も5割近くに達するなど、業務効率とサービス提供の両面で大きな改善が確認された。

一方で、AI音声対応後に通話が切断されるケースが約3割発生するなど、新たな課題も顕在化しており、利用者が違和感なく対話を継続できる音声品質の向上が次の改善テーマとなっている。

## 提案内容

タクシー配車業務における電話一次対応を担うAI配車エージェント「maido」を対象に、音声体験品質の向上が利用者の受容性に与える影響を検証する。  
 具体的には、思考・対話ロジックは既存構成を維持したまま、顧客接点となる音声合成部分に国産基盤モデル（VoiceCore）を適用し、従来音声との比較検証を行う。  
 検証はブラインドテストおよびアンケートを通じて実施し、音声の自然さや話し出しやすさといった体験品質について定量・定性の両面から評価する。これにより、通話体験の受容性向上という観点から、電話を起点とする業務における国産AI音声モデルの実用性と今後の適用可能性を検証することを目指す。



株式会社未来都/newmo株式会社



# タクシー配車業務のAI音声対応

## 実証成果

**AIが月間約1.6万件を受電、移動機会の損失を大幅削減  
人は細やかなサービスに集中。AIは「不安な存在」から「メンバーの一員」へ**

- AI導入による配車業務の飛躍的改善：** AI電話配車エージェント「maido」の導入により、従来約30%発生していた電話の取り逃がしをゼロにし、受電率100%を達成した。月間16,408件の着信を受け止め、着信全体の45.5%をAIのみで配車完結させることに成功（※2025年11月時点）し、移動機会の損失を大幅に削減した。
- 配車センターの意識変革と顧客体験の向上：** 導入前は大口顧客を優先せざるを得ず、新規や個人の電話を取り逃がしていたが、AIが一次対応を担うことで、すべての着信への対応が可能となったうえ、オペレーターは人にしかできない複雑な対応や、細やかなサービスに集中できるようになった。お客様からも、「確実に電話をとってくれる」という声に加え、目の不自由な方からも「音声操作のみで完結するため大変助かる」と感謝の声が寄せられている。また、当初「AIに代替されるのでは」と不安を抱えていた現場スタッフが「AIが配車しやすいようデータを整理しよう」と自発的に動くなど、AIをチームの一員として受け入れる大きな意識変革が起きている。
- 国産基盤モデル適用による体験品質の向上：** 機械的な音声による通話途中での切断を防ぐため、音声合成部分に国産基盤モデル（VoiceCore）を適用した比較検証を実施。ブラインドテストの結果、日本語特有の抑揚や「人間らしさ」が向上し、「話し出しやすさ」の支持率が既存海外モデルの約1.7倍となるなど、対話の受容性が大きく向上することを実証した。

## 【今後の展開】

- 実運用に向けた継続的な評価と検討：** 今回検証した国産音声モデルについては、漢字の読み間違い等の精度向上に加え、セルフホスティングが必要となることによる高い運用負荷や保守コストが課題となっている。フルマネージドサービス等と比較し、運用負荷に見合う品質優位性を維持できるかを慎重に評価した上で、本格的な利用（全台導入）については検討していく。
- 社会実装の拡大とオープンな知見共有：** 現在は大阪エリアでのみ実用化されているが、今後はnewmoグループ内の別エリア（首都圏・沖縄等）への横展開を検討する。また、将来的には同業他社へのシステム展開も視野に入れる。さらに、日々の大規模な本番運用を通じて得られた実践的な技術ノウハウは、技術ブログ等を通じて積極的に発信し、モビリティ業界全体のDX推進と社会課題解決に貢献していく。

「maido」導入後の成果



※2025年11月時点

## 配車センターの変化

BEFORE

- ホテルやイベントなど大口のお客様を優先
- 個人や新規のお客様に対応することができない

AFTER

- 人しかできない判断やサービスに集中
- お客様から「確実に電話をとってくれる」「ずっと続けてほしい」と感謝の声

東洋船舶株式会社/株式会社JDSC



# 「船主支援のAI番頭。メールと社内文書を資産に変える!」

## 会社概要

東洋船舶は、三井物産株式会社の100%子会社として設立された、船舶関連ビジネスの総合サービス企業です。海運業界における多様なニーズに応えるべく、用船仲介、中古船売買仲介、船用機器の販売、技術コンサルティング、船主機能代行や船舶投資ファンドなど、幅広いサービスを提供しています。当社の強みは、三井物産グループの一員としての安定した経営基盤と、世界132拠点に広がるグローバルネットワークであり、国際的な顧客との信頼関係を築きながら、幅広い海運関連サービスを展開しています。また、用船運航仲介、中古船売買仲介では業界トップクラスの実績を誇り、長年にわたる船用機器の販売経験や、新造船建造に関する技術支援の実績を通じて、専門性と技術力を兼ね備えた企業としての地位を確立しています。

問い合わせ先



## 背景・課題

海事産業は深刻な人材不足に直面しており、極端な属人化と知見継承の困難さの2点が業界全体の持続可能性を脅かす最大の構造的課題となっています。船舶を保有・運用する船主はこの課題の影響を最も強く受けている当事者であり、すでに深刻な影響が顕在化し始めています。船主は日々、運航管理、コンプライアンス遵守（国際条約・法令・環境規制）、技術トラブル対応、備船契約・保険・財務を含むステークホルダー調整において高度かつ幅広い意思決定を迫られるため、属人化とナレッジ枯渇のダメージが直撃しやすい立場にあります。その結果、以下の課題が現実の問題として表面化しています。

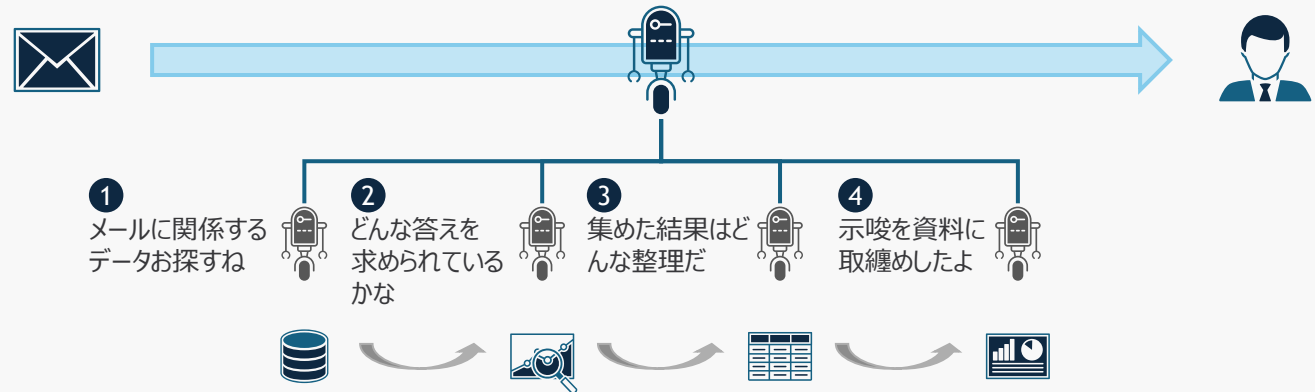
- 意思決定の遅延と品質低下
- ヒューマンエラーや法令違反リスクの増大
- 若手育成の停滞による人材不足の悪循環
- 収益悪化・国際競争力の低下

以上が、海事産業、特に船主が現在抱えている客観的な背景と課題の本質であり、早急かつ抜本的な対策が不可欠な状況です。

## 提案内容

船主の属人化と知見継承不足の課題を解決するため、LLMとRAGを活用した情報抽出ツールAI番頭により船主の老若男女誰もが従来書庫やDBの奥底にあった情報・知識を手にも信頼ある判断をできるよう提案します。このツールは、メールなどの非構造化データから情報を検索・要約・集約し、エージェント機能により情報収集から分析・判断までを自律的に実行します。既存のメールシステムと連携し、抽出結果を関係者に自動共有することで、業務効率と意思決定の質を向上させ、属人化を解消し業務を平準化します。

実証方法としては、実際の海事産業の現場でプロトタイプを導入し、情報抽出の精度、業務効率の改善度、意思決定の迅速性を定量的に評価します。さらに、ユーザーからのフィードバックを収集し、システムの最適化を図ることで、実用性と効果を検証します。



東洋船舶株式会社/株式会社JDSC



# 「船主支援のAI番頭。メールと社内文書を資産に変える!」

## 実証成果

「判断前の準備が10分で完了!」実際の船主業務での実証結果 (2024年10月より稼働)

### ① 定量成果

	Before	→	After (AI番頭)
情報検索	30分/件	→	<b>3分/件</b>
判断前準備	60分/件	→	<b>10分/件</b>
抽出精度	属人的	→	<b>95%</b>
業務効率	—	→	<b>54時間削減/人・月</b>

速くなったのではなく、  
『判断前の準備工程を短縮』

### ② 品質判断

具体的事例:

- メールに記録されていた先人の判断を、判断軸ごとに整理し、再利用可能な知見として呼び起こした。
- 新規契約に際し、過去の複数の傭船契約書を横断比較し、差分を抽出。より良い契約Wordingの作成が可能になった。

判断力をAIに任せず、  
『判断前の準備に特化』

### ③ 汎用性

- 業務フローを変えずに既存文書、メールを活用
- 「判断の軸で束ねる設計」
- 複数の文書が存在する業務全般への応用可能

海事で鍛えた判断基準の基盤は、  
『業界を超えて標準化』

一般財団法人在宅がん療養財団/株式会社シャルクス



# がん療養相談支援AI「ランタン」: あなたは一人ではありません

## 会社概要

家でのがんの療養は情報戦である。だが、夜道に迷ったような不安と孤独から、「何を」「誰に」相談していいかわからない場合がとても多い。当財団はそんな人のために、治療とケアの最新の選択肢を相談でき、信頼できる専門家につながるために設立された。治療とケアの現場の専門家とアカデミアの研究者と、クラウドと生成AIの先端情報技術者が一緒になって、一般人も当事者も専門家も活用するがん情報コンテンツを構築している。そしてカスタマーたるがん当事者がアクセラレーターになり、開発者と共に、カスタマーサポートの信頼性向上と生産性向上をコーディネートし、世界に類を見ない「人をつなぐ」、がん療養相談支援AIの利用を推進している。

問い合わせ先

<https://jhocc.jp/>

[contact@jhocc.jp](mailto:contact@jhocc.jp)

## 背景・課題

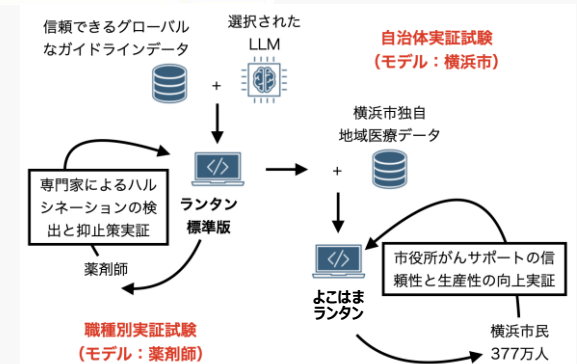
- 当事者の課題** がん患者の療養の場が、病院中心から在宅・地域に移り、当事者が自ら情報を探し、意思決定する機会が増加している。しかし、がんの診断、治療、ケアに関わる情報は、専門性が高く分散しているので、「何を」「誰に」相談していいかわからない状況がある。
- 医療提供者の課題** 医療・介護・行政の現場では、専門性が高く正確性が求められる情報を、限られた人員で個別対応せざるを得ず、カスタマーサポート業務が属人化・非効率化しやすい。
- 情報技術の進歩** マスコミやウェブの情報は宣伝まがいのものが氾濫し、何を信じていいかわからない状況がある。生成AIにより情報探索の構造化が進んできたが、ウェブ検索が入ると誤情報が紛れ込む。
- ユーザーのためらい** 医療とケアは法的に資格要件があり、社会的に間違いに厳しい制約がある。専門職や行政などのがん情報提供事業者は、ハルシネーションのある生成AIの利用にためらいがある。その間に、ビッグテックのAIモード検索が急激に普及し市場を席巻している。

## 提案内容

- がん当事者の足元を照らす** 21世紀のゲノム解読とともに、がんのメカニズムが解き明かされつつあり、治療とケアが急速に進歩している。家で療養中の当事者と全ての支援者に、その選択肢を示すAIエージェント「ランタン」を提供する。
- 人を繋げるAIエージェント** がん医療・支援という高い専門性と公共性を持つ領域において、正確性を担保しながらカスタマーサポートの生産性を向上させるため、当事者と専門家をつなげることを目指すAIエージェントを開発する。
- 多職種の利用推進** 一般人と専門家、職種ごとの用語・知識体系の違いが医療における誤情報の元になる。モデルとして多数の薬剤師の実証で、薬品名ハルシネーションのメカニズムを推定し抑止する方法を開発した。多職種ユーザーによる利用推進と性能向上が車の両輪となる。
- 地域住民に活かす** がんの治療とケアの選択肢を実現するには居住地で専門家とつながる必要がある。377万市民のための横浜ランタンを横浜市と9月に連携協定を結び3ヶ月で一般提供を始めた。公的セクターの市町村を財団との連携でアクセラレーターに変える。



がん当事者がコンセプトをコーディネートし、アクセラレーターを担う。(ビデオを含め広報素材は当事者が作成)



一般財団法人在宅がん療養財団/株式会社シャルクス



# がん療養相談支援AI「ランタン」: あなたは一人ではありません

## 実証成果

### ① 薬剤師検証と精度向上

薬剤師529名による検証、ハルシネーション発生の原因となっていた薬の商品名に対応、**重大な誤情報を抑制**

#### 薬剤師プロジェクトの実証結果

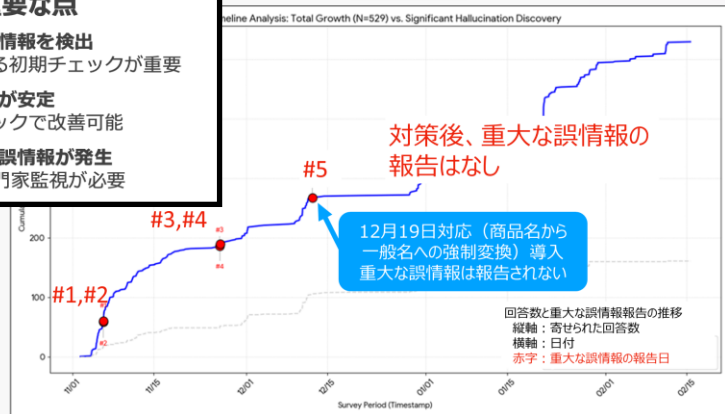
##### ▶ 薬剤師使用性調査

529名の薬剤師が参加  
重大な誤情報の指摘は5件 (0.95%)  
→専門家による検出

##### ▶ 発見された重要な点

- ① 初期段階で誤情報を検出  
→専門家による初期チェックが重要
- ② 修正後は精度が安定  
→フィードバックで改善可能
- ③ 特定条件では誤情報が発生  
→継続的な専門家監視が必要

◇職種別の実証試験で、現場で使える「ランタン」として、情報精度を向上している



### ② 横浜市と連携「よこはまランタン」実装

専門家監修の信頼性の高い情報を背景とする「ランタン」に、自治体が持つ固有の地域情報を加えた「よこはまランタン」を公開。377万人の市民に向け、ワンストップで必要な情報へのアクセスを可能にした。

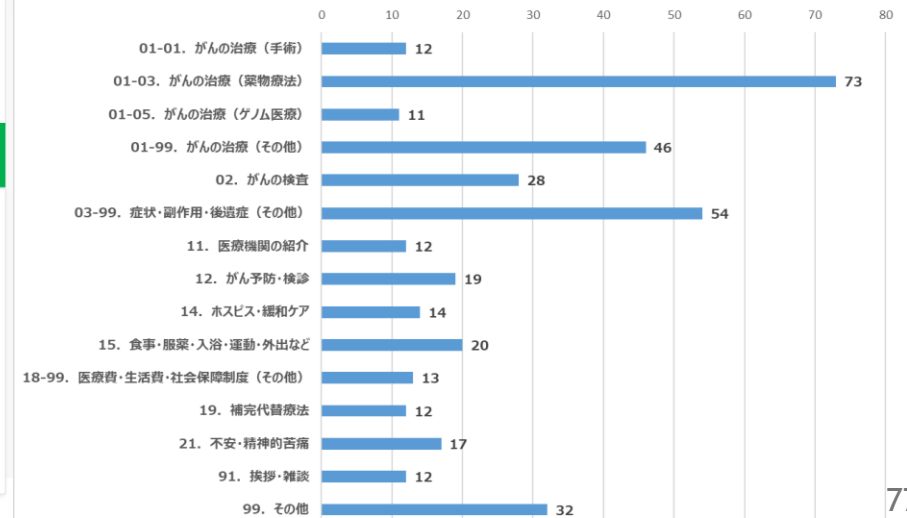
◇高頻度の利用を示しており、薬物療法や副作用、生活上の疑問など、潜在的な相談ニーズを顕在化させ、即時対応を可能にすることで、初期相談やトリアージ機能としてがん相談支援センターを補完していく。今後も医療期間・自治体連携を進めることで、支援の質向上への貢献が期待される。



基本性能 + 地域情報 = 「自治体版ランタン」  
住民が地域のがん情報にワンストップでアクセス

- #### 地域情報 / 自治体固有
- 地域の医療機関・相談窓口  
がん診療連携拠点病院等・がん相談支援センター、地区別のがん検診医療機関
  - 使える助成制度  
ウィッグ・アピアランスケア・カウンセリング費用・妊よう性温存治療
  - 特定のがん種・世代への支援  
小児・AYA世代、乳がん、すい臓がんなど専門的支援
  - 仕事との両立支援  
治療しながら働き続けるための相談窓口・企業向け助成金

よこはまランタン：相談件数と分類 (2026/3/1-18 450件)



対話型がん相談サービス「ランタン」: <https://lantern-ai.jhocc.jp/>  
「よこはまランタン」: <https://yokohama.jhocc.jp/>

アイフル株式会社/FunnelSphere合同会社



AIエージェント賞

# AIエージェントによる法人審査

## 会社概要

**アイフル株式会社**：消費者金融を中心に事業者向け融資や信用保証、クレジットカード事業など幅広い金融サービスを展開する独立系総合ファイナンス企業です。IT部門を自社で持ち、データ分析やシステム開発を内製化することで、顧客体験を重視したサービス改善や新規事業のスピーディな展開をしています。多様な金融ニーズに応える総合力と技術基盤を武器に、金融×ITの両面から急成長中です。タイヤインドネシアへの進出など海外事業にも注力しており、人々が手軽に金融サービスへアクセスできる世界の実現を目指します。

**FunnelSphere合同会社**：数理最適化 × 機械学習 × 生成AI テクノロジーで現実のビジネス課題を解決する。

問い合わせ先



## 背景・課題

### <法人融資審査の背景>

現在、法人融資審査においては、与信モデル※によるリスク評価は存在するものの、最終的な判断は、審査担当者によるヒアリングや書類確認といった人手作業に大きく依存している。その結果、審査開始から融資決定までに平均約6日を要している。

### <審査フローの課題>

現行の審査プロセスには、以下の構造的な課題が存在する。

- ・審査書類のデジタル化および情報入力の手作業中心であり、時間と工数がかかる
- ・追加ヒアリングや追加書類提出依頼が段階的に発生し、審査フローが停滞しやすい
- ・審査基準や判断プロセスが担当者に依存しており、評価結果にばらつきが生じる

※財務データなどの企業情報を入力し、統計手法や機械学習手法などで返済能力を予測するモデル

## 提案内容

### <提案内容：AIエージェントによる審査フローの改善>

本提案では、これらの課題を踏まえ、法人融資審査における属人性・情報分断・書類処理負荷を解消するため、AIエージェントによる審査プロセスの自動化を実現する。

- (1) AIチャットによる申込情報の収集
  - ・書類提出およびヒアリングを対話形式で支援
  - ・担当者の初期対応工数を削減（実質ゼロ化）
- (2) OCRによる財務諸表等の自動読取
  - ・処理時間・作業負荷を削減
- (3) RAG活用による追加ヒアリング・追加書類徴求の自動化
  - ・審査マニュアルを参照し、確認事項・必要書類を自動判定
- (4) AIによるリスク評価・審査レポート自動生成
  - ・リスク要因を整理・可視化
  - ・最終判断を支援する審査レポートを自動生成

アイフル株式会社/FunnelSphere合同会社



AIエージェント賞

# AIエージェントによる法人審査

## 実証成果

### <実証成果>

- (1) AIチャットによる申込情報の収集
  - ・追加ヒアリング・書類徴求：即時対応
  - ・審査期間：平均約6日 → 24時間以内（約80%以上短縮）
  - ・初期対応工数：実質ゼロ化
- (2) OCRによる財務諸表等の自動読取
  - ・処理速度：40ページ/1分
  - ・読取精度：95%以上
- (3) RAG活用による追加ヒアリング・追加書類徴求の自動化
  - ・追加ヒアリング・書類徴求：複数分岐を自動判定・自動処理
  - ・追加確認事項による審査フローの停滞を防止
- (4) AIによるリスク評価・審査レポート生成
  - ・リスク要因を自動整理
  - ・審査レポート作成工数を削減

従来

今後



日本航空株式会社、Gen-AX株式会社



## AIオペレータの安全性とおもてなし品質を担保し、コンタクトセンターを価値創造のエンジンにする

### 会社概要

JALグループ： 「関係・つながり」の創出を通じて、人々の心がより豊かに、前向きに動き出すきっかけを作っている。  
 Gen-AX: 生成AI×業務設計で、データ整備からAIオペレータ実装・運用まで一気通貫。現場実装力と高度なAI活用力が強い。

問い合わせ先

<https://www.gen-ax.co.jp/contact/>



### 背景・課題

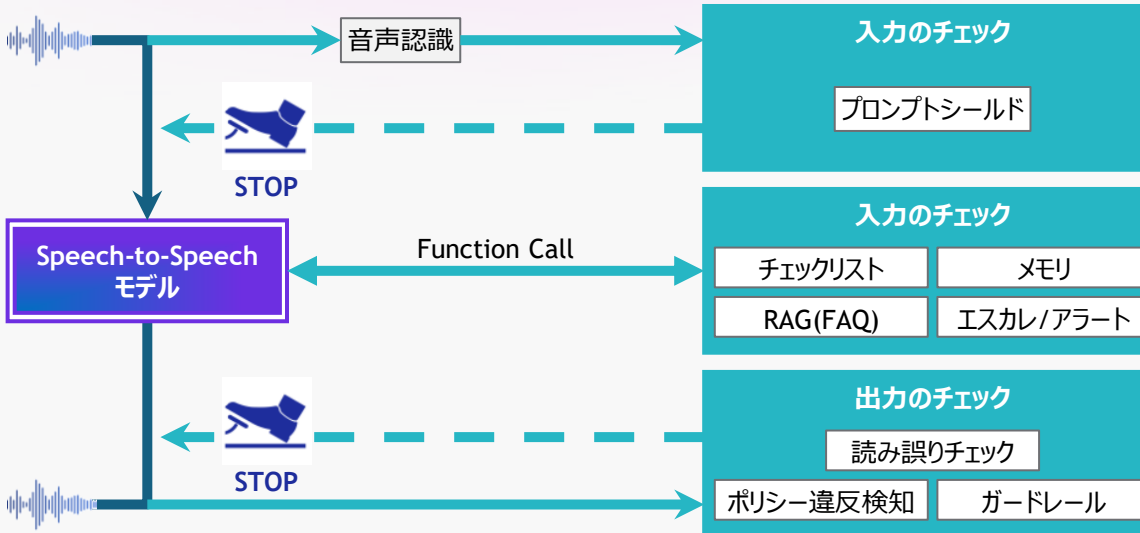
**背景:** 「安全・正確・おもてなし」を支える最前線でありながら、コールセンタは人海戦術とナレッジ分散により、品質・工数が共にまもなく限界に

**ゴール:** AIオペレータと暗黙知の形式知化により、「定型業務の窓口」を、「価値創造とサービス標準化を牽引するプラットフォーム」に進化させる

**解くべき課題:** 業務・ナレッジ/データ基盤・安全・正確性/ガバナンスを「AI前提」に作り替え、JALらしい安全性とおもてなし品質を保ったままAIシフト推進する

### 提案内容

適切な制御の元のSTSモデルでの自然な音声出力と精度の高いFAQの活用による高度な業務遂行を可能とし、更に、自動評価を通じた自律的進化も図る



- 音声エンコード・ブリッジ (特徴変換)・LLM・音声デコードといった音声処理を一つのモデルで完結。遅延が減り会話の“間”がより自然になるだけでなく、イントネーションや感情まで文脈として理解可能に
- FAQ等の参照情報に対し、AI時代のデータ品質特性をKPIで自動評価。その上で、進化的アルゴリズムによりプロンプトの自動改善を行い、サービス内容の自律的進化を達成する

日本航空株式会社、Gen-AX株式会社



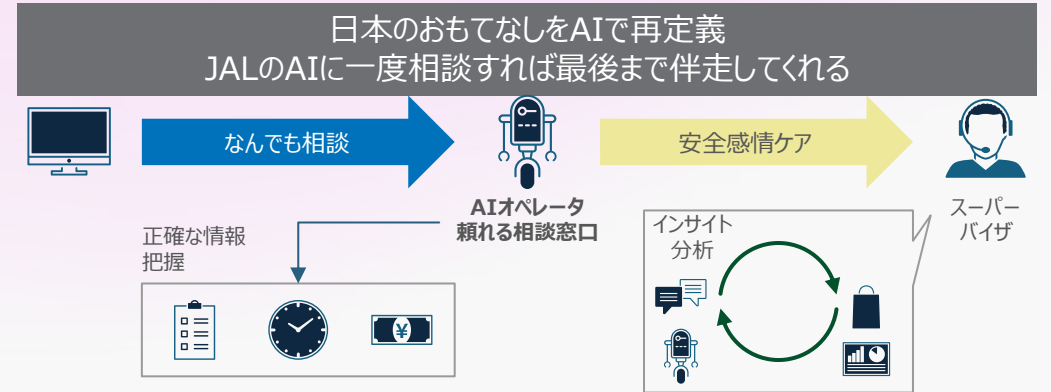
## AIオペレータの安全性とおもてなし品質を担保し、コンタクトセンターを価値創造のエンジンにする

### 実証成果

#### デモで示した実装内容

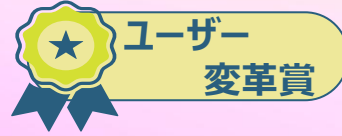
	<b>振り分け</b>	AIが質問意図を分析し、ヒアリング項目を特定
	<b>ヒアリング</b>	自然言語で語られる要望/意図を正確に把握
	<b>案内</b>	FAQ対応や予約/変更などの規定処理を、意図・個人属性に沿って実行
	<b>判断</b>	規約解釈や例外処理も標準化ルールに沿って対応
	<b>エスカレーション</b>	感情ケアや安全性に影響する案件は人へ引き継ぎ
	<b>分析/改善/標準化</b>	対応ログの分析によりFAQ・運用を継続改善

#### 人間オペレーター含めた品質担保・継続改善



- 自律型AIオペレーターが問合せ者の意図を汲み、わかりやすく正確な回答を常時提供
- 人間による対応が必要な場合は会話履歴や意図を引き継いで人間に転送
- 履歴データを安全に蓄積・活用し、AIエージェントやサービス品質の向上を実現

株式会社JTB/カラクリ株式会社



# 問合せ返信対応AIエージェント

## 会社概要

JTBグループは「交流創造事業」を事業ドメインとし、旅行をはじめ観光地開発、ビジネスソリューション、広告、保険代理、国際会議運営など多岐にわたる事業を展開している。個人から法人、地域社会まで、あらゆる顧客の潜在的なニーズに応え、最適な「交流」の機会と新たな価値を創造できる点を強みとしている。

問い合わせ先



## 背景・課題

### JTBのカスタマーサポートを取り巻く状況

- ①近年の自然災害の頻発（台風、地震、豪雨など）  
→ 交通インフラの大規模混乱による問い合わせ急増
  - ②労働人口の減少による人材確保難  
→ オペレーターの負荷増大や顧客満足度低下のリスク  
→ 従来の人海戦術による運用の存続に懸念
- 現在でも、ピーク時にはご相談に十分に応じきれない場面が発生しており、新しいカスタマーサポート体制の構築が必要。

### 喫緊の課題

特に、Web予約者からのメッセージボックスを介した問い合わせが増加し、交通インフラ混乱時には業務がひっ迫・回答までの遅延が課題となっており、効率化が求められていた。

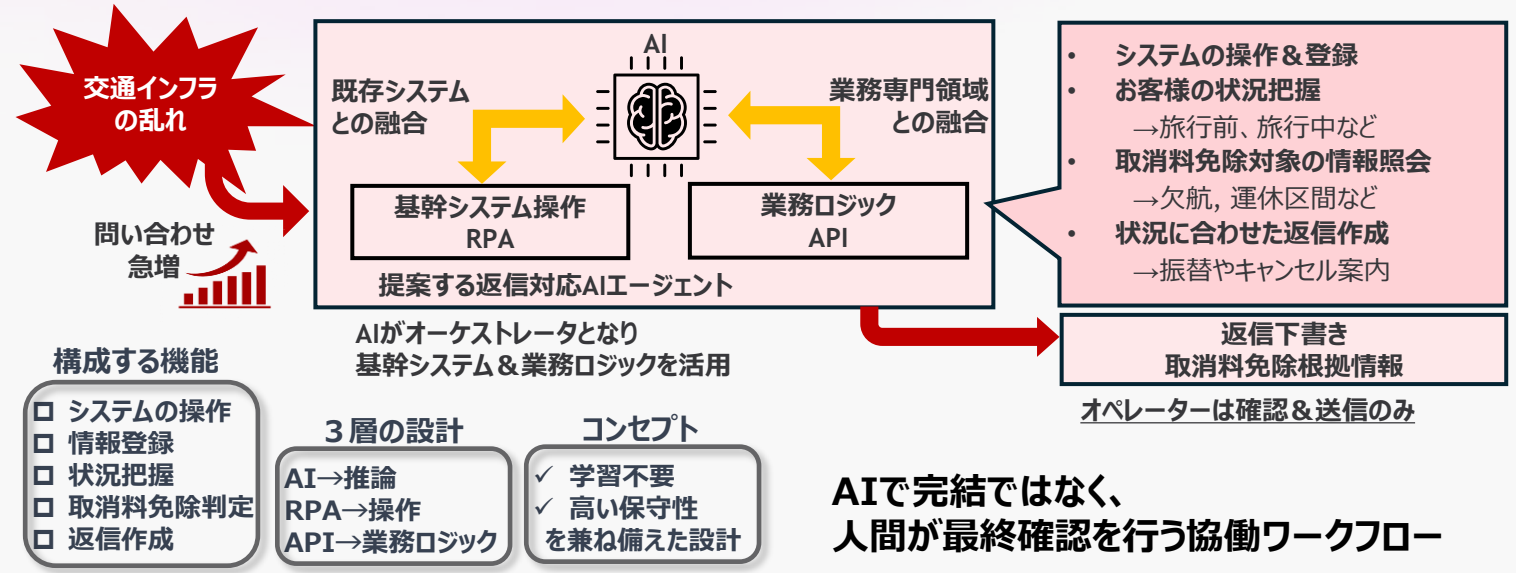
### 目的

交通インフラ混乱時等の返信対応をスコープとして、AIエージェントによる生産性向上を目指す。

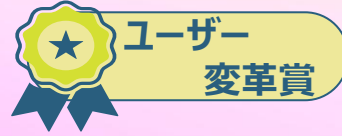
※本システムは現在開発中のため、現在のお客様対応には使用しておりません。

## 提案内容

### Web予約者向けメッセージボックスの返信対応AIエージェント



株式会社JTB/カラクリ株式会社



# 問合せ返信対応AIエージェント

## 実証成果

### 使用データセット

2024年8/29-30の実際の過去データにより検証  
(個人情報等はダミー化)

#### データセットの詳細

- 台風10号により、広範囲に運休、欠航が発生したデータ
- 二日間で計2648件の問い合わせ
- 現場の負担が非常に高く、回答遅延が発生した2日
- AIエージェントで改善したいモデルケース

#### 評価方法

本データを連携した基幹システムのダミー環境で、AIエージェントの品質を検証。「処理時間」「返信（下書き）」「取消料免除判定の証拠情報」の3つの情報をもとに評価を実施。

生産性	返信文の精度	ハルシネーション
Before 24件/日	お客様の問い合わせ・予約情報から、適切な回答テンプレートの選定精度	電話番号、URL、便名、列車名などの具体情報で評価したハルシネーション発生率
After <b>101件/日</b>	<b>正解率 98.5%</b>	<b>1946件中 0件</b> <small>*具体情報のない返信文は除外</small>

モデルケースでの試算：1500件/日の問い合わせがくるピーク日を想定

従来：1,140件 滞留

従来：76万円

**提案：当日中に全件回答**

**提案：6万円(70万円削減)**

\*15人体制を想定

\*当日中の全件処理にかかるコスト

## 東急株式会社/株式会社Nextremer



# AIミナライGuide

### 会社概要

**東急株式会社:** 鉄道・不動産を中核に、生活サービスやホテル・リゾートを組み合わせた総合生活サービス事業を展開。多数のリアルアセットを保有し、都市・沿線における社会課題の解決を通じてエリア価値の向上に取り組む。近年はインバウンド急増を背景に、ホテルや観光施設など人手依存度の高い領域において、テクノロジーを活用した生産性向上を推進している。

**株式会社Nextremer:** 2012年創業、100社700プロジェクト以上の支援実績を持つAI企業。最適なモデルを構築する「AIソリューション」から、高品質な教師データを作成する「データアノテーション」まで幅広く提供。現場での実践に基づく確かな技術力と多様なツールを活用し、企業のDX推進を強力にサポートする。

問い合わせ先



### 背景・課題

#### ■ 本提案における「CS (カスタマーサポート)」の範囲

- 本提案では、Webやコールセンターでの非対面対応とは区別し、「観光案内所の窓口における対面接客業務」をCSの対象範囲と定義する。

#### 1. インバウンド需要の急増による対応限界

- インバウンドは過去最高水準で増加し、渋谷エリアでは観光案内需要が急拡大している。
- 一方、対面接客の約70%は道案内等の定型質問で占められ、「おもてなし」に十分な時間を割けない。

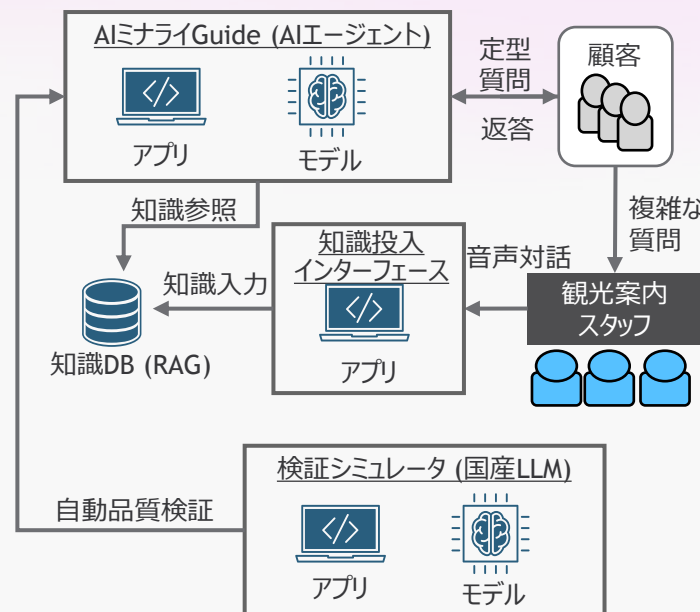
#### 2. 人材不足と属人化による案内品質のばらつき

- 全国の外国人観光案内所の約4割が「人材確保・教育」を課題としている。
- アルバイト中心の雇用環境の中でナレッジが属人化しやすく、案内品質のばらつきや運営の継続性に課題がある。

#### 3. 観光情報の分散による価値提供への妨げ

- 観光情報はWEBや紙媒体に散在し、情報収集が非効率で、インバウンドにとっても情報過多な状態である。
- 結果として観光体験価値向上の機会を逃し、オーバーツーリズムの一因ともなっている。

### 提案内容



#### ■ 解決アプローチ: AIと人の役割分担による運営最適化

- 一次対応の代替:** 従来の対面接客をAIが受託・完結し、窓口混雑を緩和。
- リソースの再配置:** AIの初期対応により、スタッフが「おもてなし」等の付加価値業務に注力できる体制を実現。

#### ■ 技術的特長: 国内基盤モデルによる品質管理と成長

- 国産LLMによる自動品質検証:** 日本語の機微に強い国産LLMで数千通りの対話シミュレーションを実行。コストを抑えつつ案内の正確性を担保。
- 現場主導のナレッジ管理:** スタッフがDBを更新できる環境を整備。現場の暗黙知をデジタル資産化し、自律的な改善サイクルを確立。

#### ■ 実証成果 (定量指標)

- 生産性:** 定型質問の対応工数を22.4%削減 (月間19.7時間・スタッフ約2.6日分の余力を創出。)
- 品質:** 回答の正答率94.8%、不満発生率0.3%を記録。
- 資産:** 現場ノウハウを342個の知識データとしてデジタル化。

東急株式会社/株式会社Nextremer



# AIミナライGuide

## 実証成果

【検証結果】高精度な多言語案内による「生産性向上」の実現

AIによる解決件数  
**663件 (有効回答率 84.8%)**

- ノイズを除く有効質問に対し、正確な情報を提供し解決した「有効回答数」は663件に達した。従来のFAQボットでは対応困難な「曖昧な質問」も適切に意図を汲み取り、全体で84.8%の解決率を記録。有人窓口へ向かうはずの件数をデジタル上で完結させた点が、「対応工数の削減」に直結している。なお、解決件数663件のうち、案内所への誘導を除きAI上で完全自己完結した数は591件（自己完結率 75.6%）であり、次項の工数削減の算出根拠には、より保守的な評価としてこの「自己完結数」を採用している。

顧客体験 (CX) の向上

- 有人窓口の混雑時でも、AIが待機時間ゼロ（回答開始 3.27秒）で即応。さらに、回答後の不満やマイナス評価が発生した割合 0.3%を記録し、語学スキルに依存しない均質かつストレスフリーな情報提供を実現した。

【インパクト】投資制約の打破と機会損失の最小化

「労働集約型モデルからの脱却」とスケラビリティの確保

- 来訪者数が増えても、スタッフを比例して増やす必要がない「拡張性ある対応基盤」を確立。収益性の観点から増員が困難な中、期間中で「スタッフ約2.6日分 ※」に相当する業務量を代替し、固定費を抑制したまま需要増に耐えうる持続可能な経営構造への転換を実現した。

「役割分担」による「時間的余白（おもてなし時間）」の創出

- AI活用によって創出された「約19.7時間 ※」の余力を観光体験価値の提供へ充てることができた。本検証中も建築家がデザインしたトイレが見たい、オリジナルICカードを探している、お土産を紛失したといったインパウンドの多種多様な問い合わせに丁寧に対応できたことを確認した。  
※ 算出根拠：自己完結数 591件 × 有人対応想定 2分 ÷ 約19.7時間の業務リソースを創出（7.5時間稼働のスタッフ 約2.6日分に相当）

【組織成果】「暗黙知の資産化」と現場完結型サイクルの確立

【資産化】ナレッジ可視化と「生きたマニュアル」の構築

本検証では、342個の知識データを登録し、約900の対話データが蓄積された。個人の記憶や紙媒体に散在していた「暗黙知」をAIへ集約・デジタル資産化することで、情報の属人化を根本から解消。スタッフ全員が同じ水準で案内できる「生きたマニュアル」が構築されたことで、新人育成の効率化と案内品質の標準化を実現した。

ログ活用による「未学習ナレッジ」の自動検知と補完

- 有効回答率 84.8%に対し、その不足分である 15.2%の「知識データの欠落」を真の改善対象として特定した。本格導入では、この不足領域を自動検知して学習案を提示する機能を実装。運用を継続するだけで知識が網羅されていく「自律的な成長サイクル」を確立し、さらなる案内精度の向上を実現する。

情報の「鮮度維持」と「重複排除」によるDB最適化

- 長期運用では、情報の陳腐化（期限切れ）や、追加に伴う「データの重複・分散」が検索ノイズの原因となる。これに対し、終了イベント等の「削除アラート」に加え、ベクトル類似度が高い情報を検知しつつに集約する「自動統合（マージ）」機能を実装する。データ量が增大しても情報の鮮度と純度を保ち、回答精度の劣化を恒久的に防ぐ。

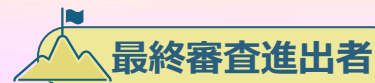
【モデルケース】労働集約型サービス業におけるDXの標準化

他拠点・他業種への横展開：本システムはRAG基盤とプロンプトの型化により、高い再現性を持つ。AIエンジニアによる初期チューニングは必要となるが、基本的にはデータを入れ替えるだけで、他の観光案内所や自治体窓口へ展開可能なフレームワークである。

AIエンジニア不在でも持続可能な運用モデル

- 「テクノロジーは活用したいが、AIエンジニアの常駐は難しい」という観光業共通の環境に対し、本モデルは、業界全体の生産性向上に寄与する汎用的な解決策となる。事実、本検証期間中、渋谷駅を含む2件の導入相談があり、観光案内現場における共通課題に対するソリューションとして早期から波及の兆しが確認できた。

株式会社ノーザ、ウィナーソフト株式会社、株式会社エーアイ



## 接客対応向けスマート名札AIソリューション

～「現場の会話」を企業の資産に変える。国産基盤モデルが実現する、次世代カスタマーサポート革命～

### 会社概要

**株式会社ノーザ**：歯科クリニック向け歯科用レセプトコンピュータおよび透析業務支援システムの開発・販売等を行っています。

**ウィナーソフト株式会社**：AIソリューション・業務系システムの開発・運用を手掛けるITソリューション企業です。

**株式会社エーアイ**：AI音声関連技術およびデジタルマーケティングソリューションを開発・提供しています。

問い合わせ先

<https://www.winnersoft.co.jp/contact/client/>

wns-info@winnersoft.co.jp

### 背景・課題

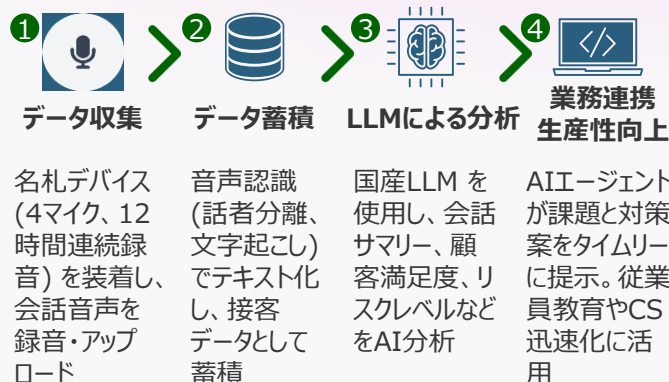
ノーザ社の営業マン（従業員）が歯科クリニック（お客様）向けの販売・カスタマーサポートを行う現場では、

- **お客様との会話・要望の記録が残らない**  
接客の現場でどのようなコミュニケーションが行われているか共有しにくい
- **スキルが属人化する**  
優秀な従業員のスキルやノウハウが蓄積されにくい
- **カスタマーサポートの対応に時間を要する**  
お客様からの要望や問い合わせに迅速な対応ができず、機会損失につながっているといった課題があります。

すなわち、お客様との会話を収集・解析・共有し、カスタマーサポートの質と効率を持続的に向上させる有効な方法が求められています。

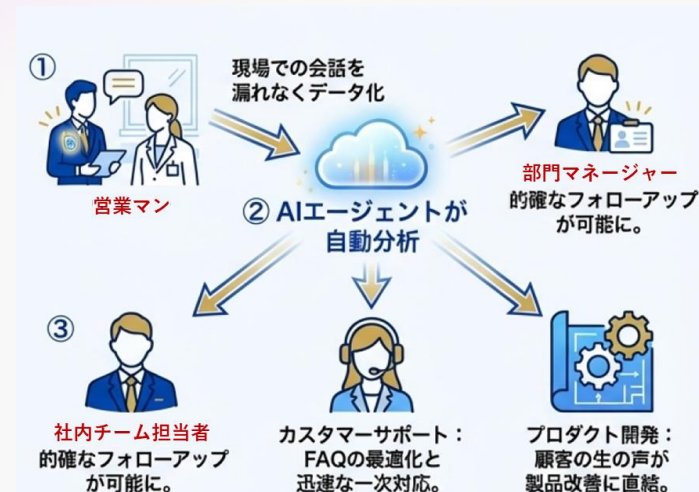
### 提案内容

名札デバイスと国産基盤モデルを組み合わせ、会話の記録・AI分析・共有を通じて、対応ノウハウの可視化、業務効率化、現場変革を実現

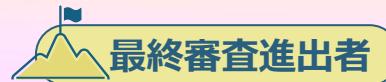


#### 【波及効果】

本提案は、対面接客を行う販売サービス業、自動車業、建築業、不動産販売業など、DX化が困難な業界への「成功事例」を提供します。



株式会社ノーザ、ウィナーソフト株式会社、株式会社エーアイ



# 接客対応向けスマート名札AIソリューション

## ～「現場の会話」を企業の資産に変える。国産基盤モデルが実現する、次世代カスタマーサポート革命～

### 実証成果

営業マンにスマート名札デバイスを装着するだけで、タイムリーにAIエージェントと情報連携し、迅速なカスタマーサポートを実現。

#### 実証内容



スマート名札デバイス

20g | 4マイク搭載 | 12時間連続録音



装着負担が小さく、既存業務フローを大きく変えず導入可能

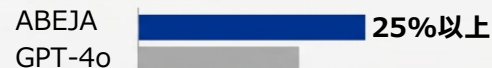


#### 定量的成果



##### 技術的優位性

国産LLM (ABEJA) が、日本語接客文脈の実用性において海外モデル (GPT-4o) を25%以上上回る性能を実証



##### 頑健性

RAGによる精度向上と、音声認識エラーの耐性を実証



##### 即応性

お客様ニーズの正確な把握とタイムリーな共有により、カスタマーサポートの対応スピードアップ (1週間から1～2日に短縮) と回答精度向上を実現

#### 提供価値

顧客にとっては、自身のフィードバックが迅速かつ的確にサポート・サービス改善へ反映される体験価値を提供

#### 定性的成果 ユーザーからのフィードバック(歯科医師からのコメント)

「日々の診療が忙しく、要望を言ったか忘れてしまうことも多い。AI技術で対応が効率化されるのは画期的」

「伝えたつもりが記録として残るのは、我々にとってもありがたい」

「担当者が不在でも情報が共有され、待つ手間がなくなるのは助かる」



学校法人アルcott学園しみずがおか幼稚園



# 事務作業はAIに、笑顔は園児に

## 会社概要

1960年創立、神奈川県横浜市旭区の幼稚園。卒園児5,000名以上。完全内製でAIエージェントを開発・運用。教育現場×AIの活用実績多数。

問い合わせ先



## 背景・課題

### 【背景】

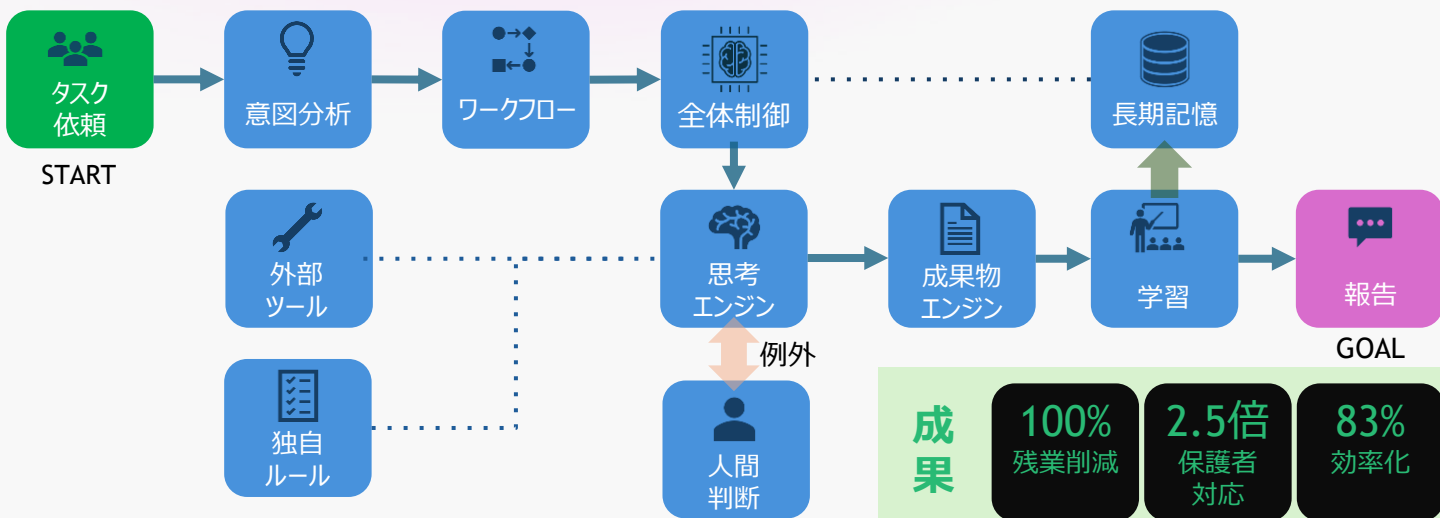
- 事務職員3名の退職が重なり人手不足が深刻化
- 保護者からの問い合わせの増加により残業が月30~40時間に

### 【課題】

本来注力すべき教育活動に時間を十分に使えない

## 提案内容

自律型AIエージェントを完全内製開発。タスクを依頼すると自動でワークフローを決定し、成果物を作成して報告。残業100%削減、問い合わせ対応2.5倍を実現。



大熊町・大熊インキュベーションセンター/株式会社MITSUHIRO



# エビデンスに基づくセルフメディケーション

## 会社概要

大熊町では原子力災害からの復興を進める長期的な針路として「大熊町2050ゼロカーボン宣言」をし復興を進める。

1. 創る地域資源を活用したエネルギー創出 (太陽光、風力等の自然エネルギー)
2. 巡る地域内循環システム構築 (スマートコミュニティ、再エネ100%産業拠点、地域新電力等)
3. 贈る持続可能な大熊を将来世代へ (SDGsと教育、社会的起業家支援等)

問い合わせ先

<https://mitsu-hiro.co.jp/>

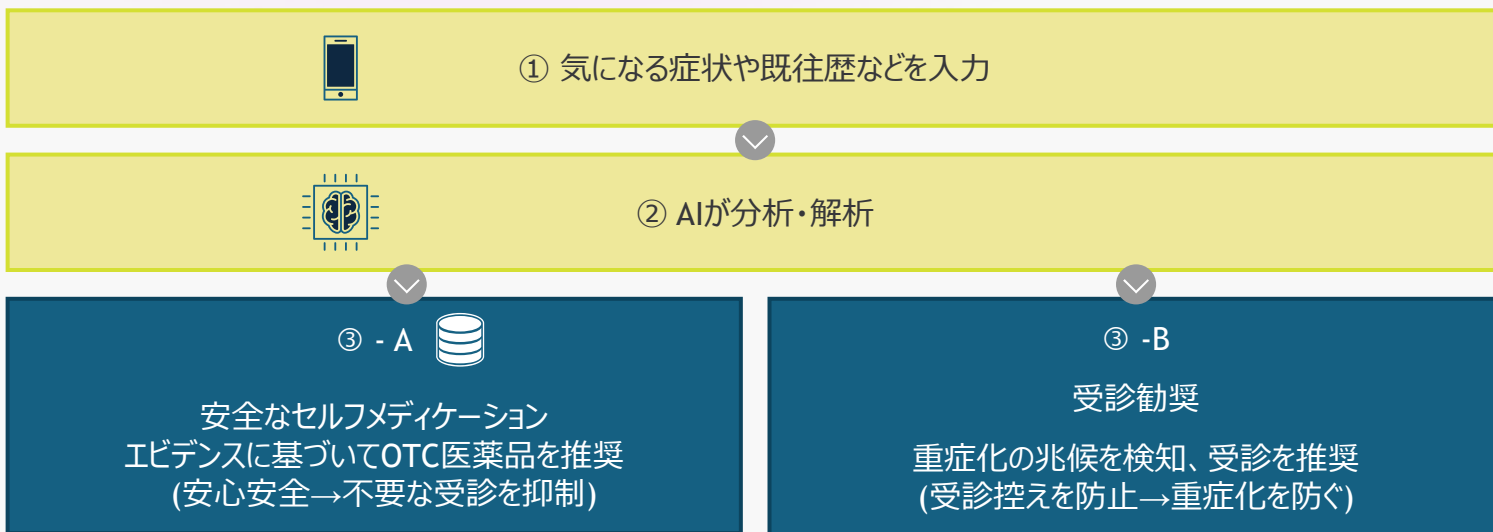
[r.piao@mitsu-hiro.com](mailto:r.piao@mitsu-hiro.com)

## 背景・課題

大熊町は、東日本大震災および原子力発電所事故からの復興過程にあり、日本の過疎化・高齢化社会が直面する課題を極めて明確に体現している。帰還住民は高齢者を中心とする一方で、若い世代や子育て世代の移住も進んでおり、地域には多様な健康支援ニーズが存在する。

## 提案内容

セルフメディケーションAI「ヘルサーチ」を導入し、専門職の業務負担を軽減すると同時に、住民のセルフケア・セルフメディケーションを支援し、情報不足と受診控えの課題を解消することで健康リテラシー向上に繋がった。



Fukuoka Growth Next / 株式会社OneAI



# 地域・中小企業支援AI Agent

## 会社概要

**Fukuoka Growth Next (FGN):** 豊かな未来を創造するアイデアを持ったスタートアップを支援する福岡市の官民共働型の施設。「福岡市を世界に伍するスタートアップ都市とする」ことをミッションに掲げ、起業相談をはじめ、インキュベーションオフィスの提供、セミナー・交流イベントの開催、各種スタートアップ支援プログラムを展開し、多角的にスタートアップの成長をサポートしています。

**株式会社OneAI:** 2015年に設立された福岡と台北を拠点とするAI企業で、マーケティング領域に特化したAIソリューションを提供。広告バナーを簡単に生成できる生成AI「OneDesign」、LINEで離脱ユーザーにアプローチするチャット接客「ChiChat」、旅行系インフルエンサーとブランドをつなぐコラボ支援「Allez」などを主な事業としています。

問い合わせ先



## 背景・課題

世界に伍するスタートアップを輩出するため、スタートアップ支援機関は「スタートアップの創出」から「ビジネスの急成長を支援」するフェーズへの移行が求められています。

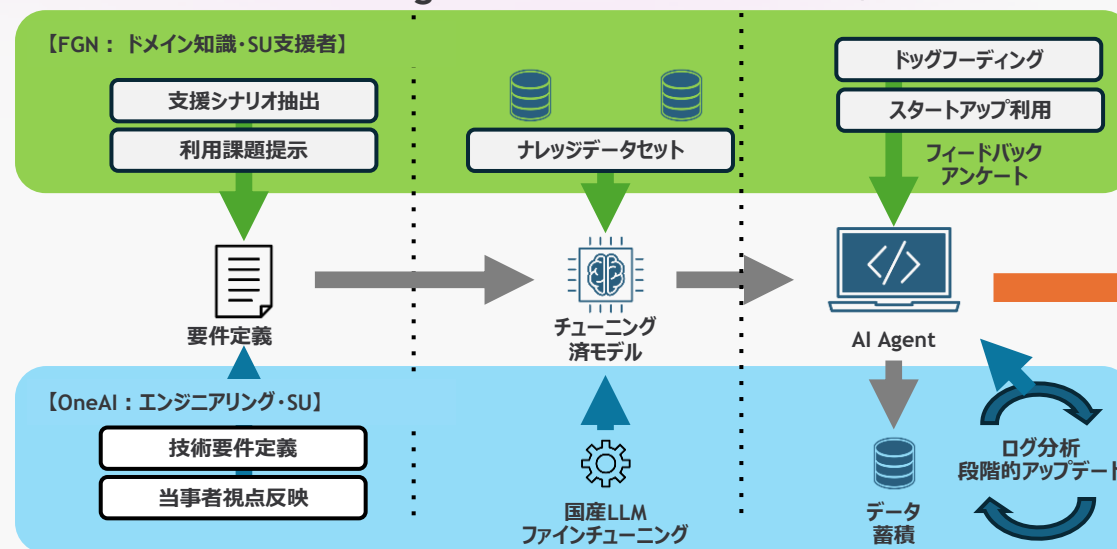
支援施策のメニューはだんだんと整備されてきていますが、支援者がスタートアップからの問い合わせに業務時間を割かれ、戦略的な支援に注力できていない課題があります。これはスタートアップ支援に限らず、地域の中小企業支援にも共通する課題です。

また、スタートアップのビジネスの拡大にはデジタルマーケティング力が重要ですが、創業初期のスタートアップには専門人材を確保することができず、勘と経験に頼る手法から脱却できず、支援の成果を最大化できていない課題もあります。

## 提案内容

### 地域・中小企業支援AI Agent

(SU = スタートアップ)



再現性のある支援モデルの確立

支援業務 生産性向上

SU待ち時間  
数時間→10秒程度

支援者ルーチン業務  
約98.7%削減見込み

AIによる CMO/CxO機能

デジタルマーケを AIが“実務レベルで伴走支援”

株式会社イワタ/株式会社Gns



## 人とAIの協調による24時間多言語チャットボット「眠りのコンシェルジュ」

### 会社概要

イワタは、日本の四季に寄り添う高品質寝具の製造卸・小売販売を行う寝具メーカーです。「自然との調和を眠りから」をパーパスに掲げ、羽毛布団やキャメル毛製品などの厳選素材と熟練技術により快適性と安全性を追求しています。サーキュラーデザインを取り入れた循環型ものづくりを進め、自然素材の活用、長寿命設計、リサイクルやアップサイクリングを通じて環境負荷低減に取り組み、国内外で高く評価されるサステナブルな価値を創造しています。京都・東京（2店舗）・大阪に直営店を展開し、顧客一人ひとりに寄り添う「御誂え」精神で理想の眠りを提供しています。

問い合わせ先

<https://www.iozon.co.jp/contact>

[info@iozon.co.jp](mailto:info@iozon.co.jp)

### 背景・課題

当社は天然素材と職人技による寝具づくりを行ってまいりましたが、近年、取扱い方法や素材特性、寝床環境に関する専門性の高い相談が多様化・増加し、対応を熟練スタッフに依存していました。

さらに、外国人や海外在住の顧客からの問い合わせや夜間・休日のWEBアクセスも増える一方で、多言語対応や24時間対応の体制が整っておらず、情報提供のタイミングや品質に課題がありました。その結果、対応品質のばらつきや機会損失が生じ、知識の蓄積・共有も不十分なまま改善サイクルが回っていない状況でした。

### 提案内容

生成AIを活用したチャットボット「眠りのコンシェルジュ」を導入し、24時間・多言語（日本語・英語・中国語）での一次対応体制を整えました。AIが自社に蓄積された専門知識をもとに、取扱い方法や寝具選び、睡眠に関する悩みへの回答を行い、必要に応じて「眠りのスペシャリスト」がいる店舗や有人サポートへ自然に引き継ぐことで、人とAIが協調してお客様を支える仕組みを実現しています。その結果、問い合わせへの初動が大幅に早まり、夜間や海外からの相談にも対応可能となったほか、よくある質問をAIが担うことでスタッフの負担軽減と、より丁寧な対面接客へのシフトにつながっています。



株式会社会津ゼネラルホールディングス/株式会社Aisometry



# フィロソフィ駆動型 AIエージェントによる、自走する顧客対応文化の創造

## 会社概要

1955年に創業し、今年創業70年を迎える企業です。福島県会津若松市を中心とした地域社会において、カーライフ・ホームライフを通じた利便性・快適性・満足感の提供を目指しています。石油、車検とエネルギー関連事業を拡大させるとともに、フィットネス/飲食など複数の柱を作ったことで大きく成長し、『地域の生活』を支えてきた企業です。4つのグループ会社全体の人事・企画・運営管理を行っています。

問い合わせ先

<https://aisometry.com/>

[hiroyuki.matsushima@aisometry.com](mailto:hiroyuki.matsushima@aisometry.com)

## 背景・課題

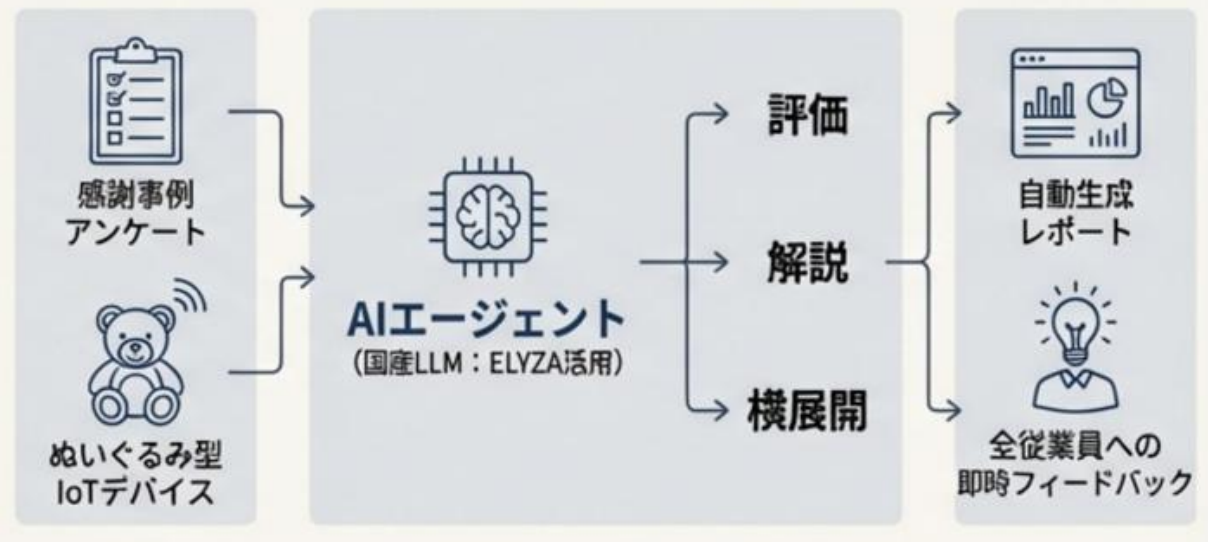
我々の目指す満足感の提供とは、顧客満足度を左右するのは、臨機応変で良質な現場店員の行動にある。

目指す目標:「会津ゼネラル DXモデル」現場で顧客対応に従事する一人一人が今よりもっと輝ける仕組みを作る

- ナレッジの分断
  - 顧客への対応品質が店舗や従業員の練度によって違う
- 本部・管理職の負荷
  - 管理職が多忙で顧客対応に関して十分なフィードバックを与えられない
- 教育コストの増大
  - 従業員から報告される良質な顧客対応事例に対する評価と全社展開が追いつかない

## 提案内容

提案: 理想的な顧客対応の哲学を宿す AIエージェントが評価・フィードバック・横展開を全自動化



株式会社悠心/新潟県工業技術総合研究所



# 充填包装機のユーザー支援システム開発

## 会社概要

弊社は研究開発型の企業で、主力製品は食品用の液体・粘体包装袋を生産する充填包装機GANSHINと専用フィルムである。H21年に自社開発した酸化防止機能を持つ鮮度保持容器が、ヤマサ醤油（株）「鮮度の一滴」として発売されヒットした。R3年度に経済産業省の知財功労賞を受賞した。

問い合わせ先

<https://dangan-v.com>

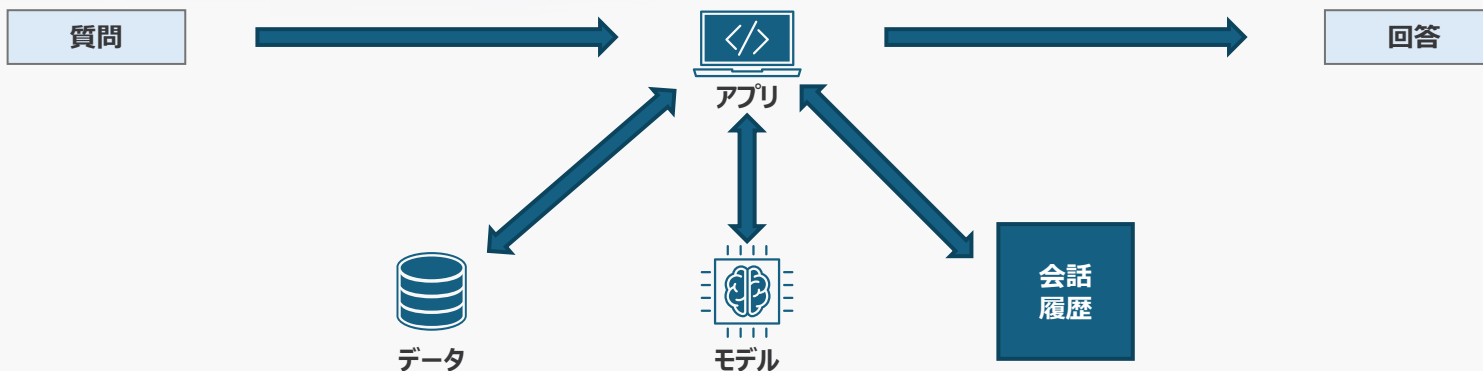


## 背景・課題

充填包装機GANSHINによる生産では、内容物（液体、粘体等）やフィルムの状態により適切な生産条件が変動し、生産不良の発生（内容物の漏れ等）に繋がることがまれにある。顧客による調整で解決できない場合、現状は電話連絡により弊社の担当者に対応しているが、状況が正確に伝わらない、担当者が不在、夜間・休日対応が困難といった課題がある。対応も属人化しており、時間的拘束が生じ、迅速かつ正確なサポートが困難な状況である。これらを解決するため、マニュアルと連携した生成AIによるカスタマーサポートの自動化・省力化が求められている。

## 提案内容

AIエージェントを使い、GANSHINのユーザー支援システム（試作）を開発した。これにより、GANSHINに関する顧客からの質問に迅速かつ正確に回答できるため、入社2年目程度の社員でもベテラン並みのカスタマーサポートが可能となる。また、自社製品の高付加価値化と顧客満足度の向上を達成できる（本研究開発は新潟県工業技術総合研究所との共同研究で取り組んだ）。



京なかGOZAN



地域賞

# 水平分業型中小ITグループによる、 地場中小企業DXを支えるカスタマーサポート一気通貫AIエージェント

## 会社概要

京なかGOZAN は、京都市内の中小IT企業が連携し、営業・顧客窓口、要件整理、設計、開発、テスト、保守を水平分業で担う協業型ITグループである。  
地場中小企業を主な対象として、ITよろず相談を起点に、業務課題の整理からシステム開発・保守までを一気通貫で支援し、実務に根ざしたDX推進を行っている。

問い合わせ先



## 背景・課題

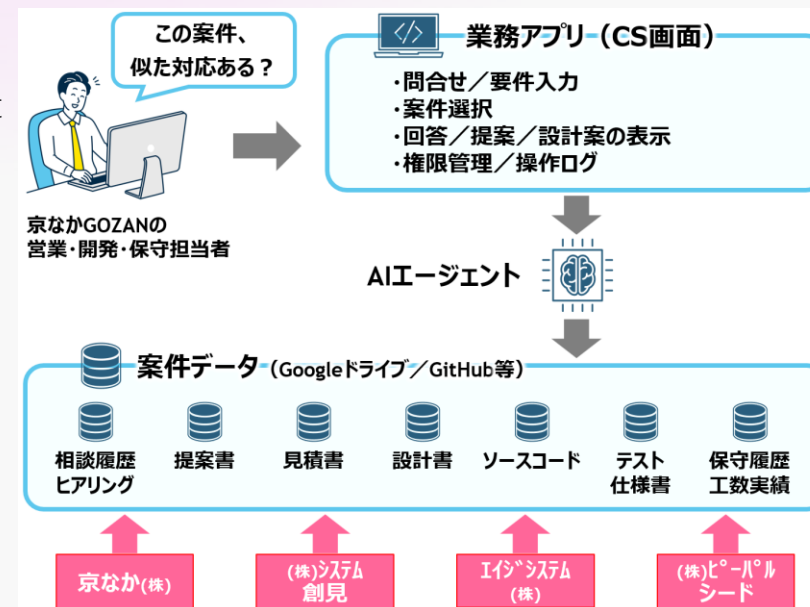
地場中小企業におけるDX相談やIT問い合わせは、内容が曖昧で非定型なものが多く、対応には担当者の経験や暗黙知への依存が大きい。

また、中小IT企業側においても、相談内容、提案・見積の根拠、過去案件の知見が十分に共有・再利用されず、カスタマーサポート業務の属人化や生産性低下が課題となっている。

## 提案内容

保守・営業担当者が利用するカスタマーサポート業務アプリを介して、AIエージェントを動作。

AIエージェントは、相談履歴や案件問い合わせデータを横断的に参照し、対応、課題整理、提案支援を行う。  
これにより、現場業務に自然に組み込まれた形で、カスタマーサポートの高度化と生産性向上を実証する。



国立大学法人九州大学大学院/株式会社ONIXION



# 専門家の1ヶ月を1日へ。蓄電池開発を加速するAIエージェント

## 会社概要

九州大学井上研究室

- 世界トップクラス: 蓄電池シミュレーションで高い学術成果、NEDO/JST、電池関連企業、材料開発企業など産業連携多数。
- 強み: 複雑現象を計算量を抑制して「電池まるごと」計算可能。次世代電池開発、GXに不可欠。

問い合わせ先



✉ ginoue@chem-eng.kyushu-u.ac.jp

## 背景・課題

- 蓄電池分野のR&Dは、材料同士の組み合わせなど探索的な要素が多い。
- シミュレーションを活用して効率化、産業DXの推進が急務。
- 高度なシミュレーションを使いこなす「専門家人材の不足」は、国家的な課題である。
- 井上研究室の受託・共同研究でも計算条件の設定に20日、計算完了まで1ヶ月を費やしている。

## 提案内容

AIエージェントによる「知の民主化」

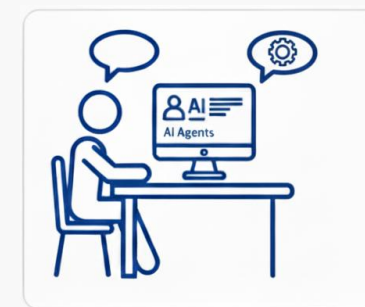
- AIの概要: 専門家が顧客企業にヒアリングしながら進めていた計算条件の設定を、専門知識を有するAIエージェントにより代替。
- 実証成果: **専門家の思考を約75%の精度でトレース可能**。専門家が最終チェックをしても、計算条件設定の期間は**20日→1日**に劇的短縮。
- 今後の展開: **専門家が協働し“使いながら育てる”**ことで精度向上。「計算実行」「結果解釈・説明」もAIマルチエージェント化し、**起業**する。



20days



1day



## アイレット株式会社

# 自己成長型AIヘルプデスク

### 会社概要

アイレットは、大きく分けて「クラウド導入・運用」「システム開発」「デザイン」の3つの柱で事業を構成。これらを組み合わせて顧客のDX (デジタルトランスフォーメーション) を支援。

自社の強みとしては、AWSパートナーネットワークにおいて最上位である「AWS プレミアティアサービスパートナー」の認定を保有している上、インフラ・開発・デザインの「ワンストップ」提供が可能。

問い合わせ先



### 背景・課題

サービス変化の多いクラウドシステムに関する社内問い合わせが多様化している上、件数が急増し、問い合わせ担当者のその他の業務について影響が出ている。

上記理由により、対応業務に従事する担当者の負荷が増加し、かつ回答完了までに数日を要するほど応対時間が長期化しており、回答精度の向上ならびに回答時間の短縮など、早期改善が求められていた。

### 提案内容

過去の問合せ対応ナレッジを学習させた生成AIチャットボットを開発。AIが応答した内容の精度を自動的にチェックし、かつ有人対応でフォローした内容をAIが自動的にナレッジ化し、業務を行いながら回答精度が向上していくことで自己成長するため、回答の精度向上および時間の短縮ができ担当者の業務負荷を低減する。



アイレット株式会社/KDDI株式会社

# 購買業務の属人化解消へ。AIエージェントによるナレッジ共有・活用のご提案

## 会社概要

KDDIグループのマルチクラウドベンダーとして、AWS・Google Cloud・OCI等を活用したDX支援を展開。インフラ構築からシステム開発、デザインまでをワンストップで提供しています。中でも Google Cloud においては、「2025 Google Cloud Partner Award of the Year」を受賞。生成AI活用による変革支援を評価する「Artificial Intelligence」と、高度な技術者育成を推進する「Talent Development」の2部門で高い評価を得ています。

問い合わせ先



## 背景・課題

購買業務において、以下の2点が組織的なボトルネックとなっており、業務効率と品質の標準化を阻害しています。

### 1. 知見の属人化

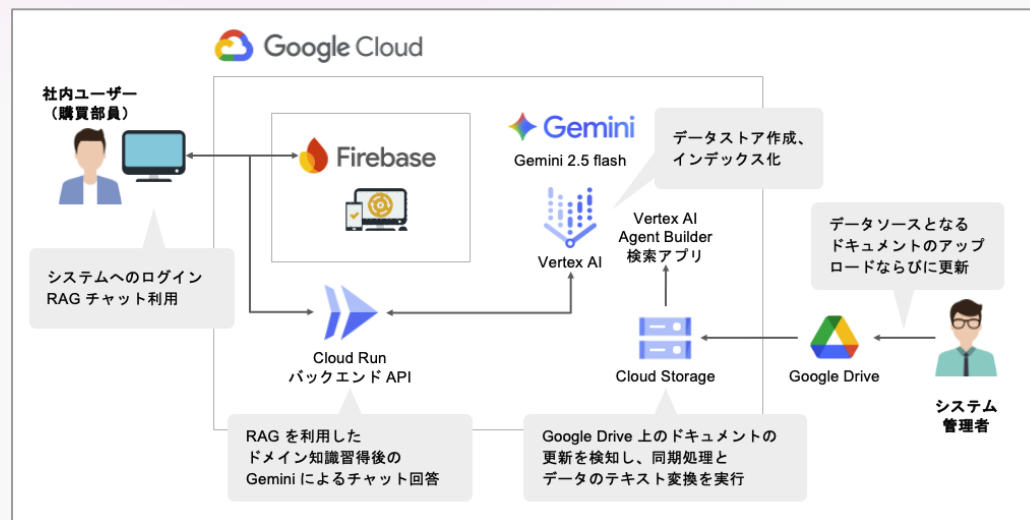
ベテラン部員の持つ高度なノウハウが個人に留まり、部内共有・活用ができていない。

### 2. 決裁者視点の欠如

最終決裁者の着眼点や判断基準が部内全体に浸透していないことで、承認時によりやく発覚する問題などもあり、手戻り・承認プロセスの長期化が発生している。

## 提案内容

Google Cloud 上に対話型AIチャットシステムを構築。データストアに暗黙値となったベテランの査定ナレッジや過去の案件情報などを登録し、部員全員が生成AIと伴走しながら課題解決に向けて進んでいくことを目的としたプロジェクトであり、こちらをご提案させていただきます。



## 株式会社アクト・ノード

# 生産者をサポートする「見守りエージェントAI」

### 会社概要

株式会社アクト・ノードは食を作る「農業」「畜産」「水産養殖」の生産と流通のDX化を支援します。生産現場の知識をベースにクラウド・IoT・AIのテクノロジーの活用をデザインし実装を実現します。生産プロセスや作物の生理生体の知識に基づくシステムやAI技術開発を得意としています。

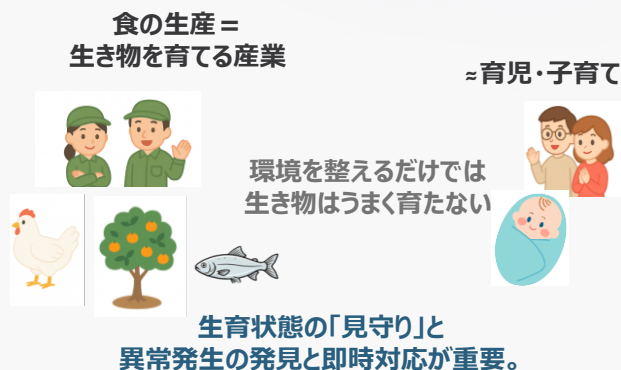
問い合わせ先

<https://www.act-node.com/contact/>

[info@act-node.com](mailto:info@act-node.com)

### 背景・課題

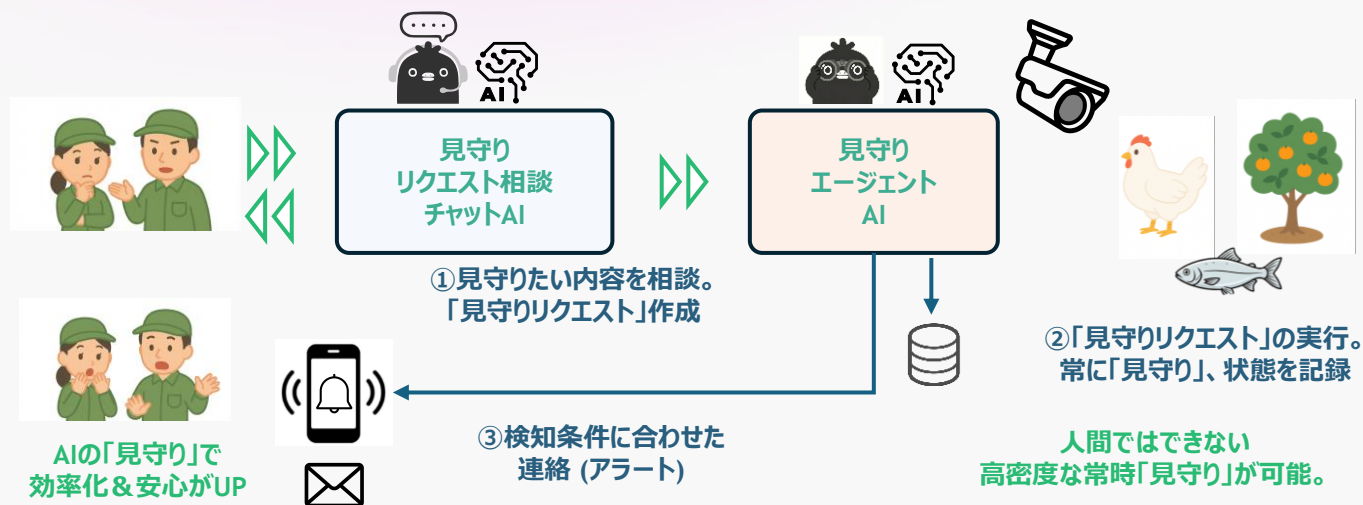
生産者は「生き物の成長」を見守り世話をし安定的な生産を実現する。しかし急激な生産者人口の減少はこのオペレーションの維持を困難にしている。



これまでの遠隔サポートではスキルとコスト面で成立が難しいケース多い。

### 提案内容

エージェントAIが生産者の見守りリクエストを生成・理解し、見守り・記録・異常時アラートなど生産者サポートを行う。生産活動の効率化と品質の向上、生産の安定化だけでなく、経験や勘の領域をデータ化 & 蓄積を実現し生産活動のDXや、継続的な進化を加速します。



## ASMC株式会社/HelloHealthcare™事業部

# HelloHealthcare™ 病院におけるカスタマーサポートの生産性向上と、看護師・医師の暗黙知を明文化し、医療従事者の迅速な育成を実現する 生成AIサービス群

### 会社概要

Azabu Insightsは、製薬企業、医療機器企業、スタートアップ、そして政府機関を支援するブティック型の戦略・イノベーションコンサルティング会社です。私たちのタグラインは「戦略的INSIGHTを創造するアート」であり、市場の声を最も深く聴く存在であることに誇りを持ち、その理解をイノベーションの原動力としています。当社のチームは、ハーバード大学、ケロッグ・スクール・オブ・マネジメント、慶應義塾大学、早稲田大学など、トップ5校出身者を中心としたエリートメンバーで構成されています。また、クライアント向けのイノベーションコンサルティングとは別に、自社のINTRApreneurial（社内起業）型イノベーションプロジェクトにも取り組んでおり、その一つが、病院向け生成AIサービス群であるHello Healthcare™です。Hello Healthcare™には、カスタマーサービスの効率向上を実現するAIエージェントが含まれています。

問い合わせ先



### 背景・課題

#### 病院/患者/政府の問題

日本は世界で最も医療へのアクセスに恵まれています。その結果、診察時間が短くなり、**良質な顧客サービス（患者サービス）を提供する**には非効率であり、結果として不十分な成果につながっています：

- 不良な転帰（死亡）、追加の再診、治療の遅れ、訴訟。いずれも非常に高コストです！
- 患者 → 悪いサービス；病院 → 赤字経営；保険制度 → 巨大な無駄

#### 市場動向

- 医療市場：規模が大きく、成長中（2040年）公立病院の70%が非採算
- 看護師・医師不足（特に地方）
- 高い労働者不満 → 高い離職率

#### 要約：

市場は成長している一方で、利益率は低く、人材不足、不満の高まり、そして高い離職率が存在します。

HelloHealthcare™は、AIエージェントベースの効率化ソリューションを提供する明確なニーズがあります：

- クライアント/患者へのサービス向上のため、研修および従業員満足度向上のため、教育のために暗黙知を明文化するため。

### 提案内容

当社のAIソリューションは、左側で説明した中核的な背景課題を解決します。

- 医師とクライアント／患者との診察の効率性・生産性を向上させ、誤診を減少させる
  - 日本人および外国人患者が十分に話を聞いてもらい、より良い医療を受けられるようにする
- さらに、インタビューを通じて他の課題も特定し、それらに対応する機能をシステムに組み込んできました。
- 医師向けトレーニングモジュール、医師および看護師に対する診断支援の提供（特に希少疾患領域）、看護師が朝の回診において効率的に患者対応を行えるよう支援し、あわせて教育のために知識を明文化する

私たちのアプローチは「Fail Fast（迅速に失敗する）」であり、複数の異なる手法をテストし、数多くのピボットを行ってきました。これらの顧客フィードバックに基づくピボットの一部は、「6：継続的改善」のセクションに記載されています。

**競合：**サービス分野には既存プレイヤーが存在しますが、インタビューでは次のような不満が多く聞かれました：a) 役に立たない技術を「押し付けてくる」、b) 十分にシンプルで使いやすい設計になっていない、c) 支払えない追加サービスに課金される、d) 価格面でのパートナーシップに応じない。

#### HelloHealthcare™ - 実際のカスタマーサービス効率・生産性課題に一点集中

- 私たちは、実際のカスタマーサービス効率および生産性の課題を解決すること、高齢患者にも使いやすいユーザーインターフェースを実現すること、そしてクライアントの成功と自社の成功が連動する価格設計に、徹底的に集中しています。
- クライアントから支持される理由は、私たちが相手の言葉で話し、経営課題を理解し、「とにかくちゃんと動く」ソリューションを提供しているからです。

#### 豆知識：私たちの名前...「Hello Healthcare™」

- Hello Healthcare™の最初のPoCでは、LLMに会話を開始させるためのプロンプトが必要でした。その場で「Hello Healthcare™」と言うことを選びました。数百回のテストを経て、それが定着しました：Hello Healthcare™！あなたのストーリーを共有してください！

## 株式会社アックス/東京エレクトロン九州株式会社

# 半導体製造におけるトラブル解決のサポート

### 会社概要

開発企業の株式会社アックス (AXE社) は、スーパーコンピュータ、AI、自動運転基本ソフトウェア、組み込みIT機器用基本ソフトなどの開発を30年以上続け、自動車会社、家電メーカーなどにソフトウェアなどを供給している。AIについては、ファインチューニング、プロンプト設計、論理推論AI設計、機械学習などを手掛けている。

ユーザー企業の東京エレクトロン九州株式会社は、半導体製造装置メーカーとして世界トップクラス企業であり、特に今回のサポート対象装置は全世界で90%近いシェアを有する。世界各国の半導体製造工場に装置を販売し、その維持とトラブル解決を行っている。

問い合わせ先



### 背景・課題

**ユーザーと顧客:** ユーザーの半導体製造装置メーカーは、顧客の半導体会社の工場に装置納入し、フィールドエンジニアを常駐させ装置トラブルの対応に当たらせる。

**業務プロセス:** フィールドエンジニアは、顧客からトラブル情報を受け取ると、蓄積されてきた過去事例DBを検索し、それに基づきトラブル原因を分析し、顧客に検査・対策を連絡する。しかし、DB検索に経験とテクニックを要し、しばしば難航・長時間化する。

### 課題:

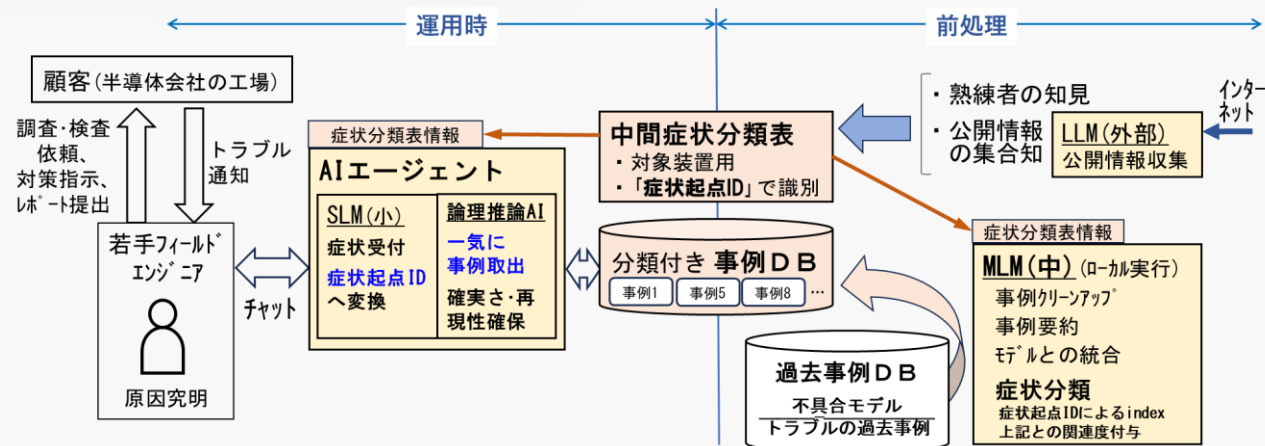
- 事例検索とトラブル解決の属人性を軽減するサポートシステムが必要。
  - 時間コスト削減: 人に依存しない検索時間短縮手法が必要。
  - 人手不足軽減: 人に依存せず、参照すべき過去事例を取り出せる手法が必要。トラブル解決力を向上させ、応援を不要に。
- 顧客サイト事情で、事例の遠隔検索ができない場合、サービス低下可搬パソコン搭載のシステム必要。

### 提案内容

**アプローチ:** 技術課題を含めた全課題の同時解決は容易でなく、「斬新なアイデア」の開拓を基本方針とした。

**手法のキーコンセプト:** 運用時と前処理に分割、双方でAI利用。運用時にAIエージェント、前処理にMLM、中間に再構築した事例DB。中間症状分類表 (新規概念) により、新規トラブルと過去トラブル事例を橋渡し。

**実証結果:** 全課題を解決する手法を実現。約100件の過去事例で評価、検索時間の9割削減、属人性排除。



artience株式会社/ストックマーク株式会社

# カスタマーサポート業務を変革する報告書作成AIエージェントの実証

## 会社概要

artience株式会社は1896年創業のファインケミカル素材メーカーです。色材設計、ポリマー設計、分散、塗加工などのコア技術を基盤に、リチウムイオン電池用材料、ディスプレイ材料、包装材料など多様な製品を開発・提供しています。「感性に響く価値を創りだし、心豊かな未来に挑む」をブランドプロミスに掲げ、技術革新と社会課題解決に取り組んでいます。

問い合わせ先

<https://www.artiencegroup.com/>  
<https://stockmark.co.jp/>



## 背景・課題

国内製造業・化学業界のカスタマーサポート業務では、**過去の対応履歴や技術知識が担当者に属人化**し、報告書作成や問い合わせ対応に多大な工数を要している。  
 人材不足や世代交代が進む中、**組織としてナレッジを活用できる業務基盤の構築が急務**となっている。

## 提案内容

本提案では、生成AIを単体ツールとして導入するのではなく、過去の対応実績・報告書・製品情報をナレッジ化し、業務フローに組み込まれたAIエージェントとして活用することで下記を実現する。

- ・ 過去情報の検索・整理を自動化
- ・ 回答案・報告書案の自動生成
- ・ 人は判断・確認・顧客対応に集中

カスタマーサポート業務の生産性向上と対応品質の均質化を実現する。  
 実証により、実務に適用可能な有効性を確認した。



## 株式会社アングラム

# 動画・図解・対話によるオンボーディング支援のAI学習体験プラットフォーム

### 会社概要

当社は「マルチAIエージェント組織」をノーコードで構築できるXroid Studioを開発しています。AIエージェントによるレクチャー、コーチング、ロールプレイ、図解キャンパスの作成、動画コンテンツ作成、3Dアバターの作成、学習分析ができるAI学習体験プラットフォームです。1000のAIモデルと連携し、学習者の目的達成、問題解決を柔軟に支援できます。

問い合わせ先



### 背景・課題

ユーザーが自律的に、アプリやツール、AIの知識を横断的に組み合わせ問題解決することは困難である。特に高機能なシステムほど、できることが多い半面、学習コストが増大する。

そこで、きめ細やかなCSが必要であるが、CSがアプリの知識を持ち、かつユーザーの問題解決まで支援するとなるとCSの育成が追い付かず、人手不足かつコスト増大に悩まされる。

そして、真の意味でカスタマーサクセスを支援しようとする、上流工程からのコンサルティングなど高度な専門知識に基づく、個別支援が必要となってしまう、属人化してしまう。

### 提案内容

- ①顧客がAI-CSとサービスを理解することで、CSへの依存をそもそも下げられる。
  - ②AIが動画と図解で、分かりやすい視覚的なチュートリアルやCSを行える。
  - ③AIが顧客の目的と性格特性を理解し、サービスの使い方を提案し、伴走できる。
  - ④顧客の分身AIであるデジタルツインとAI先生の対話により実用イメージが伝わる。
  - ⑤AI先生チームにより、カスタマーサービス人材の教育、実務も効率化できる。
  - ⑥クリエイターズ・エコノミーを構築することで、プロフェッショナルへの道が開ける。
- これらを通じた顧客の成長こそが、真のカスタマーサクセスへとつながる究極のCSとなる。



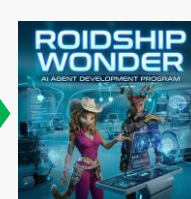
世界中の最新AIモデルと連携



ノーコードでAIエージェント開発



レクチャー動画をAIエージェントが作成



AI先生によるAI学習コンテンツ



学習ロードマップで進捗管理



自分の分身AIが思考シミュレーション



作ったAIエージェントと3D空間で対話可能



AIが図解キャンパスで動的に解説

## AIA株式会社

# 国産LLMを活用したカスタマーサポートAIエージェント開発・実証

### 会社概要

AIエージェント開発・AWS統合ソリューションに特化した技術企業です。  
 パブリッククラウドを活用したインフラ構築支援事業も行っております。  
 業務システムの可用性・セキュリティ・運用性を重視した基盤設計に強みを持ち、現場視点での技術支援を行っております。

問い合わせ先

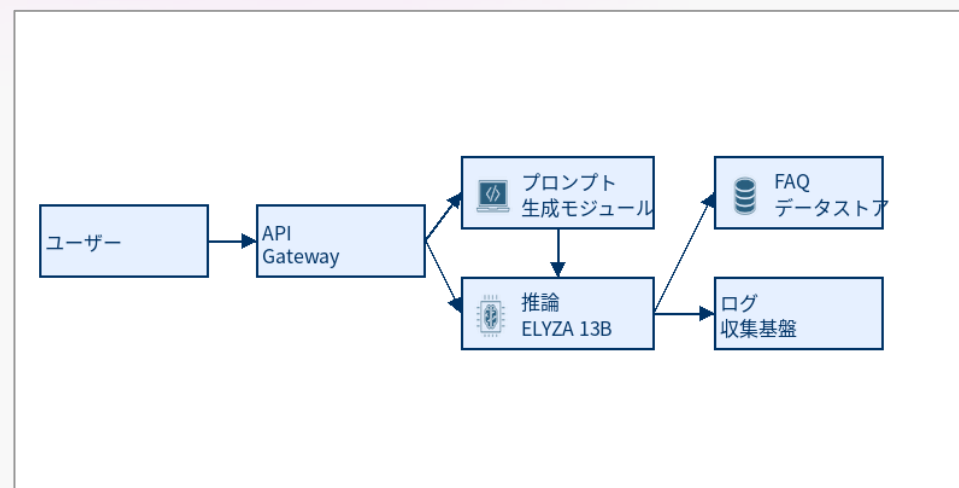


### 背景・課題

- カスタマーサポート現場では、人手不足の深刻化により、応答遅延や対応品質のばらつきが発生している
- 4時間対応への要求が高まる一方、業務の属人化が進み、安定した運用体制の維持が困難となっている
- その結果、人的対応に依存した運用による大きなコスト負担が継続的に発生しており、効率的な対応体制への転換が求められている

### 提案内容

国産大規模言語モデル ELYZA 13B をAWS上で稼働させ、FAQ連携とプロンプト設計により、カスタマーサポートの自動一次対応を実現する。日本語特化LLMの特性を活かし、業務文脈に即した自然な対話応答を可能とするとともに、ログ分析による継続的な応答品質の改善を行う。



# SBI R3 Japan株式会社/株式会社インフォメーション・ディベロプメント 「文脈適応力」を高めたXAIエージェントシステムの構築 (逐次学習型AIモデル：SAPHI及び分散台帳基盤：Cordaの活用)

## 会社概要

SBI R3 Japan (以下、R3J社) では、秘匿データの扱いに長けた企業向け分散台帳基盤「Corda」の日本企業向けのライセンス提供・技術コンサルティングを提供している。弊社の強みは金融の業界知見を活かしたブロックチェーン技術導入のノウハウを多く蓄積していることである。

開発企業であるインフォメーション・ディベロプメント (以下、ID社) はシステム開発・運用、インフラ構築、サイバーセキュリティ、コンサルティングなどを幅広く手掛ける独立系ITサービス企業である。

問い合わせ先

<https://sbr3japan.co.jp/>

[info-srj@sbr3japan.co.jp](mailto:info-srj@sbr3japan.co.jp)

## 背景・課題

SBI R3 JapanのCS業務は、顧客（通常Sier）ごとに異なる契約や異なる技術要件などの「複雑な文脈」に対応するため属人化しており、対応品質の再現性が組織として確立できていない。再現性の高い対応を実現するためにAI活用を希望している。

しかし、AI活用を進めるにあたって、①LLMでは、属人的で専門性の高い業務を遂行するための「文脈適応力」が不足している点や、②現在あるLLMでは、企業コンプライアンス基準を満たさない点、③AI開発人材コストがかかる点といった課題を解決しなければならない。

## 提案内容

### 「文脈適応力」を高めたXAIエージェントシステムの構築

#### <解決策>

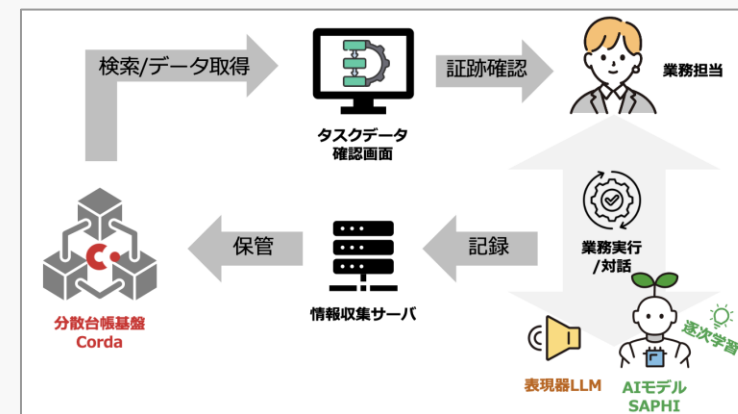
- ①「文脈適応力」の高い逐次学習AIモデル：SAPHI
- ②SAPHIと分散台帳基盤「Corda」を用いた説明根拠提示システム（XAI）
- ③「表現器LLMのFT自動化」と「SAPHIの逐次学習」によるAI人材不要化

#### <実証結果>

それぞれのモデルで文脈適応力を測定した。

表現器LLM: ファインチューニングのサンプル数に比例し、意味類似度が向上することを確認した。

SAPHI: 独自の定量指標を考案し、「ノイズから意味を立ち上げる過程の一貫性」を確認した。



一般社団法人 可視経営協会 / 株式会社システム科学 / インディカスソフトウェアジャパン

# HIT Process AI

## 会社概要

特許取得済みの業務プロセス可視化法 (HIT法) 及びプロセスチャート作成システム (HitWeb) を活用した経営・管理・業務のコーチング (約620社の実績)。この度、さらにGraphXによる生成AI/AIエージェント」の技術を融合した「業務プロセスAI」で業務プロセスの把握・分析・改善提案・システム連携・エージェントおよびツール構築を加速し、企業の業務効率/競争力向上に寄与する方針。

問い合わせ先



✉ info@kashikeiei.org

## 背景・課題

従来より業務の効率化を目的とした業務プロセスの可視化 (現状把握、分析、改善提案) は専門のコンサルタント等による高額な支援を得て行われている事が多い。しかしながら、結果的に現場との認識齟齬やマインドチェンジ不足等で本来の目標を達成出来ない事例が散見される。その原因の根本として、現場の業務担当者自身が当該可視化作業を遂行することが困難であることが挙げられ、ここが長年の間、企業の課題として内在している。

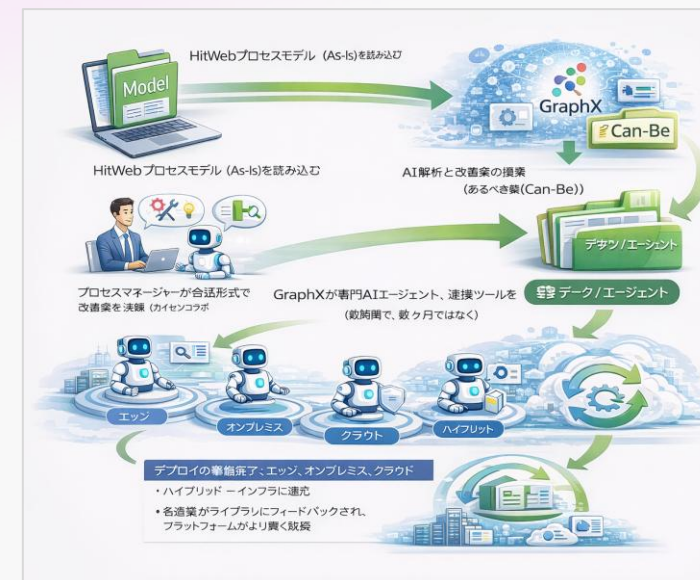
又、暗黙知を保存する体系的な方法が無く、さらには部門全体のプロセスのサプライチェーン化を実現するのは困難であった。

## 提案内容

HitWebのプロセスモデルをAIで定義や既存定義された (As-Is) プロセスを読み込み→AIが分析し、改善を提案。  
プロセスマネージャーが対話型インターフェースでTo-Be提案内容をブラッシュアップ。

GraphXがTo-Beプロセスに必要な専門AIエージェント、統合ツールを自動生成 (数分～時間で)

**すぐデプロイ可能:** エッジ、オンプレミス、クラウド、ハイブリッドインフラに導入可能  
**自己進化:** 各会話はエージェントライブラリにフィードバックされ、プラットフォームを常に進化



北見工業大学保健管理センター

# 多言語AIによる自動疫学調査エージェント

## 会社概要

国内最北の国立大学。一次産業を中心としたオホーツク地方の中心都市に立地し、多くの留学生の健康管理を担うと共に、地方立地の学術機関として、技能実習生の感染症対策など地域における健康危機管理に指導的な貢献を期待されている機関です。

問い合わせ先



## 背景・課題

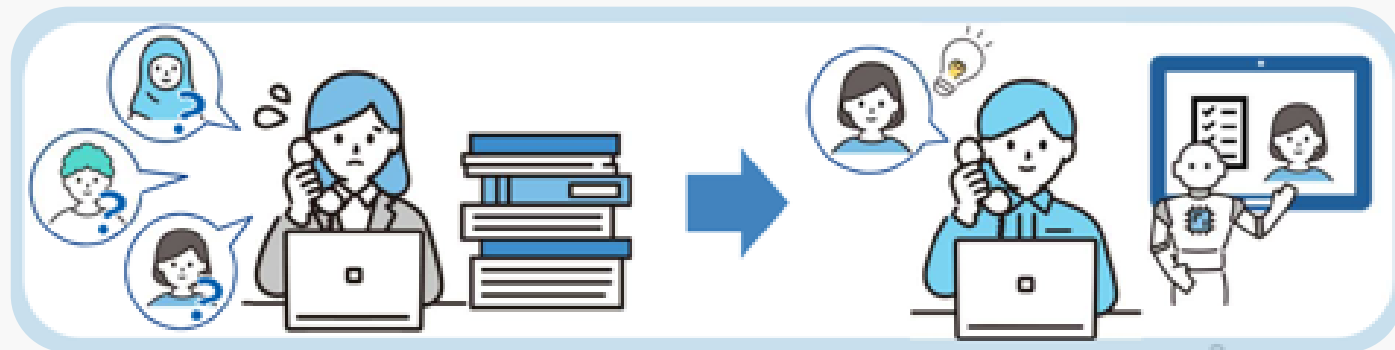
対応を要する感染症患者が発生した際、保健所は、感染者1名あたり十~数十名という数の接触者を対象に、聞き取り調査や医学的判断を行います。保健所におけるこうした感染者と接触者への対応は、いわば公衆衛生行政における「カスタマーサポート」です。これは、感染症から社会を守るうえで最も重要な業務です。

しかし、業務上の負担の大きさからも、保健所機能の麻痺を避けるため、感染が拡大した際は最終的に個別対応は放棄されることになります。新型コロナ禍において「接触確認アプリ」が機能しなかったのも、この保健所における患者対応業務の負担の大きさが原因の一つです。



## 提案内容

我々は、この疫学調査を自動化する保健師AIを開発しています。患者からの聞き取り、感染に関わる行動や移動の吟味、感染リスクの推論をAIが一貫して行うことで、感染者や接触者の対応に要する負担を飛躍的に軽減することが可能となります。ただし、行政での即時導入には制度的制約があります。そこで、「大学のなかの保健所」である保健管理センターにおいて安全性と実効性を検証し、その上で公衆衛生行政と連携した社会実装へと段階的に展開します。これは、人手に依存してきた感染症危機管理における、大きな技術革新です。



## Qsol株式会社

# 問い合わせ対応支援AIエージェント

### 会社概要

Qsolは、九州電力やグループ会社のIT部門の中核を担い、電力の安定供給を支えています。最先端の技術分野にも積極的に挑戦し、研究開発や他社との共創を通じて、新たな製品やサービスを創出しています。

問い合わせ先



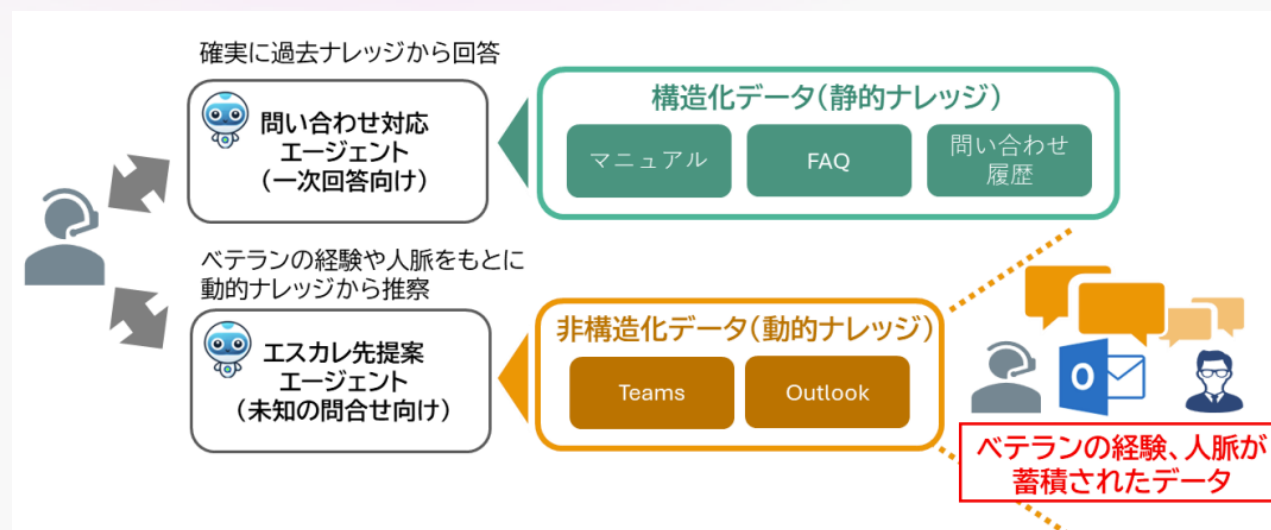
### 背景・課題

■背景  
九州電力やグループ会社の従業員パソコンのヘルプデスクでは、年間約32,000件の問合せ対応を行っている。近年、問合せ内容は複雑化・高度化し、件数も増加している。さらに、バックエンドの保守体制が複雑化し、エスカレーション先の選定も難易度を増している。

■課題  
オペレータの対応負荷が大幅に増大しているとともに、内部FAQの整備だけでは多岐にわたる情報を網羅できず、情報整理や共有に時間を要することで、業務全体への影響が顕在化している。さらに、オペレータによる対応品質のばらつきにより顧客信頼を損なうリスクが高まっているほか、ナレッジが個人の知見に依存しているため、異動や退職に伴い貴重な情報・知識・ノウハウが失われる深刻な課題も浮き彫りとなっている。情報の流通と活用を最大化し、組織全体のパフォーマンスの底上げを目指し、サポートのあり方そのものを根本から見直す「業務改革」を目指す。

### 提案内容

現状オペレータが様々なシステムやツールをもとに調査・回答を行っている業務を、AIエージェントで高度化します。特に未知の問い合わせに対するスウォーミングについて、AIエージェントに加えて動的ナレッジやナレッジグラフを用いて高度化します。



## 株式会社熊本計算センター

# 人のナレッジとAIエージェントが創る、迅速・正確なお客様対応

### 会社概要

当社は熊本を拠点に、自治体・医療・福祉・民間企業向けにITソリューションを提供する企業です。地域に根ざした60年の実績と全国対応力を兼ね備え、導入から運用・保守まで一貫対応し、業務効率化とコスト削減を支援します。社内では2024年2月より生成AIを全社的に利用し、今後はお客様向けのAIソリューション提供を目指しています。さらに、ISMS・PMS・QMS認証取得による高いセキュリティと品質を確保し、お客様に安心してご利用いただける環境を整えています。

問い合わせ先



### 背景・課題

#### 《背景》

自社製品に関する電話問い合わせでは、迅速かつ正確な回答が求められています。しかし現状は、一次受付後に社内調査を行い、折り返し回答するため、**お客様をお待たせする**ケースが発生しています。

さらに、回答品質は担当者の**経験や得意分野に依存**しています。

有識者への確認も頻繁に必要となり、**負担が増加**しています。

この結果、説明不足による顧客満足度の低下や対応効率の悪化が懸念されています。

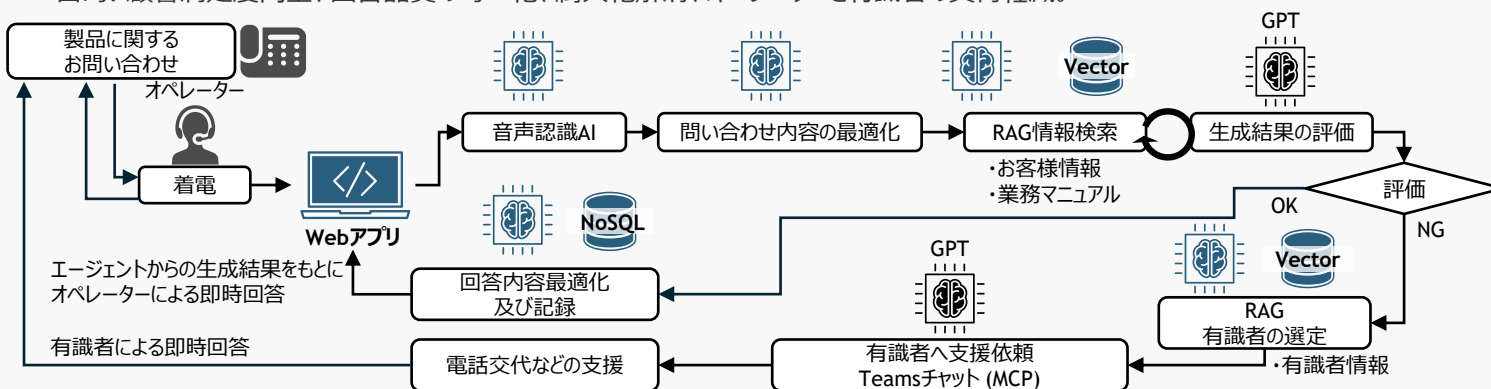
加えて、業務の多忙さから**対応内容の記録が不十分**で、過去の履歴を活用できていない状況です。

#### 《課題》

- ・ 問い合わせ対応の迅速化
- ・ 回答品質の標準化
- ・ 属人化の解消/担当者の負荷軽減
- ・ 対応記録 (ナレッジ) の活用強化

### 提案内容

- ・ 音声認識・LLM・RAG・外部ツールを統合したAIエージェント基盤を構築
- ・ 軽量の国産基盤モデル「Sarashina2.2」とOpenAIのGPTモデルをハイブリッド活用
- ・ 特徴:
  - ✓ 軽量・高精度モデルで省資源・低コスト推論
  - ✓ 問い合わせ内容を解析し、業務マニュアルを検索、最適化された回答を生成
  - ✓ AIが回答困難時のみチャットツールで有識者に支援依頼
- ・ 目的: 顧客満足度向上、回答品質の均一化、属人化解消、オペレーターと有識者の負荷軽減。



サンデン・リテールシステム株式会社/vottia株式会社

# 修理受付におけるチャット型AIエージェントの実現

## 会社概要

業務用冷凍冷蔵機器（ショーケース、フリーザー等）、自動販売機、コーヒーマシン等の開発・製造・販売および保守サービスをグローバルに展開。「食」と「流通」の現場を支えるコールドチェーンソリューションを提供。  
強み: 環境配慮技術（ノンフロン冷媒）、製品開発力、全国をカバーするサービスネットワーク

問い合わせ先



## 背景・課題

法人向けの顧客サポートを提供する当社のカスタマーセンターでは、修理受付の効率化に向けて2025年に電話窓口を廃止しました。チャットやFAQ、Webフォームなどのデジタルチャネルの活用により、修理受付や問い合わせ数のスリム化を実現しています。

しかしながら、メールやFAXなど非定型のフォーマットによる修理依頼や内容不備によるコールバックが依然として発生するなど効率化への課題を多く残しています。

その原因の一つとして、修理受付用Webフォームを利用した顧客の88%が途中で離脱しており、他の非定型チャネルへ流入する構造となっています。この高い離脱率を改善するため、AIエージェント化に取り組むこととしました。

## 提案内容

修理受付窓口のAIエージェント化から取り組みを開始し、将来的に顧客窓口の一次対応全てをAI化することを視野に、AI活用のノウハウや基盤を整えていく計画。

今回  
スコープ

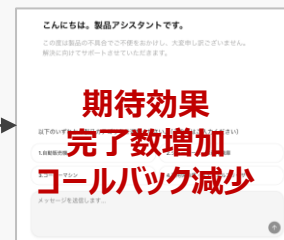
修理受付エージェント

現行のWebフォーム



離脱率  
88%

チャット型AIエージェント



期待効果  
完了数増加  
コールバック減少

将来的なスコープ

Ph.2 サポートサイト  
コンシェルジュ化

Ph.3 CRMシステム  
リアルタイム連携

Ph.4 音声対話機能

本取り組みは、vottia社との協業でモデルの検証やマルチエージェント・システムの構築、PoC実施を行いました。

## 有限会社GIPU

# パーソナルAIマネージャー 提案書

### 会社概要

当社はChatGPT登場以前からAI開発を進め、最新の実績としては日本語合成音声モデル「VoiceCore」(国産基盤モデル登録)を開発。AI情報サイト「Webbigdata」は累計200万UUを記録しており、AI分野の情報基盤として成長しています。公開モデルDL数も翻訳モデル等累計10万超を達成し、OSS領域で高い貢献を続けています。

問い合わせ先

📺 TubeSaku: <https://lab.webbigdata.jp/>

✉ sales@webbigdata.jp

### 背景・課題

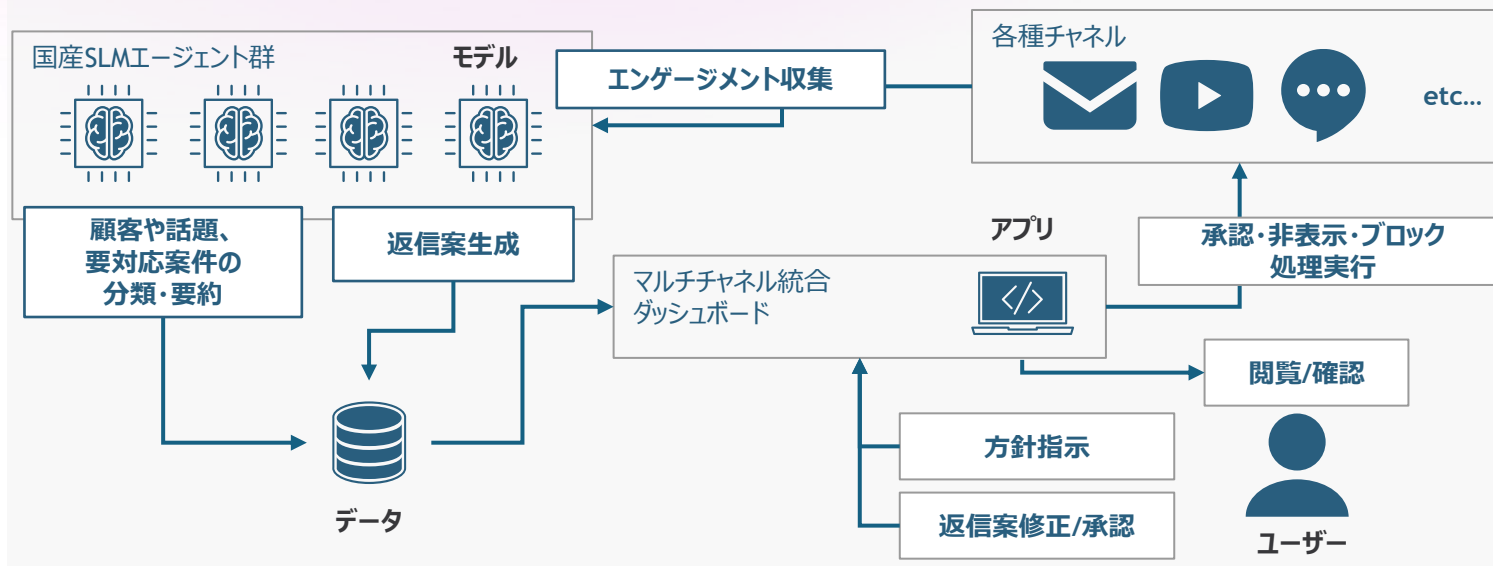
クリエイターエコノミー市場は2025年に2兆円規模へ拡大し、前年比15%と成長を続けています。

一方で、多くのクリエイターは「1対多」の顧客(ファン)対応に疲弊し、YouTube・SNS・メールなど複数チャネルのコミュニケーションに多くの時間を割かれています。

その結果、本業であるコンテンツ制作に十分なリソースを割けず燃えつきる状況が常態化しています。現在、大手事務所でさえGmailの共有アドレスで対応するケースが目立つなど、ファンコミュニケーション領域のDXは著しく遅れているのが実情です。

### 提案内容

マルチチャネル統合ダッシュボード+国産SLMIエージェント群による顧客対応支援



パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社/株式会社CAC identity/Nishika株式会社

# 感情解析 AIとLLMの組み合わせによる人の耳に近い自動応対品質評価を提案

## 会社概要

パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社 | 2,300席超のコンタクトセンター運用をはじめ、顧客接点領域における業務設計・運用支援を幅広く展開。応対品質評価や改善支援、顧客視点に基づく品質管理の設計・定着支援に強みを持つ。

株式会社CAC identity | 新規事業・プロダクト開発を手がけ、自社開発の音響特徴量を用いた感情解析AI技術を強みとする。音声×AIの知見を活かし、コンタクトセンター領域向けのソリューション開発・高度化を推進。

Nishika 株式会社 | 製品開発・運用保守。音声認識AI・話者認識AIを独自開発し、自社にてLLMを活用したサービスも運営。

問い合わせ先

<https://www.cacidentity.co.jp/contact/>

[empath\\_info@cac.co.jp](mailto:empath_info@cac.co.jp)

## 背景・課題



人手に依存した応対品質評価体制  
評価が人の耳に依存しており、通話本あたり約1時間の確認・記録作業が発生。評価件数を増やしたくても、工数面で限界がある。



限られたサンプルに依存する応対品質評価  
評価リソースの制約から、評価対象は数件の通話に限られる。その結果、体系的な顧客体験の底上げが難しい



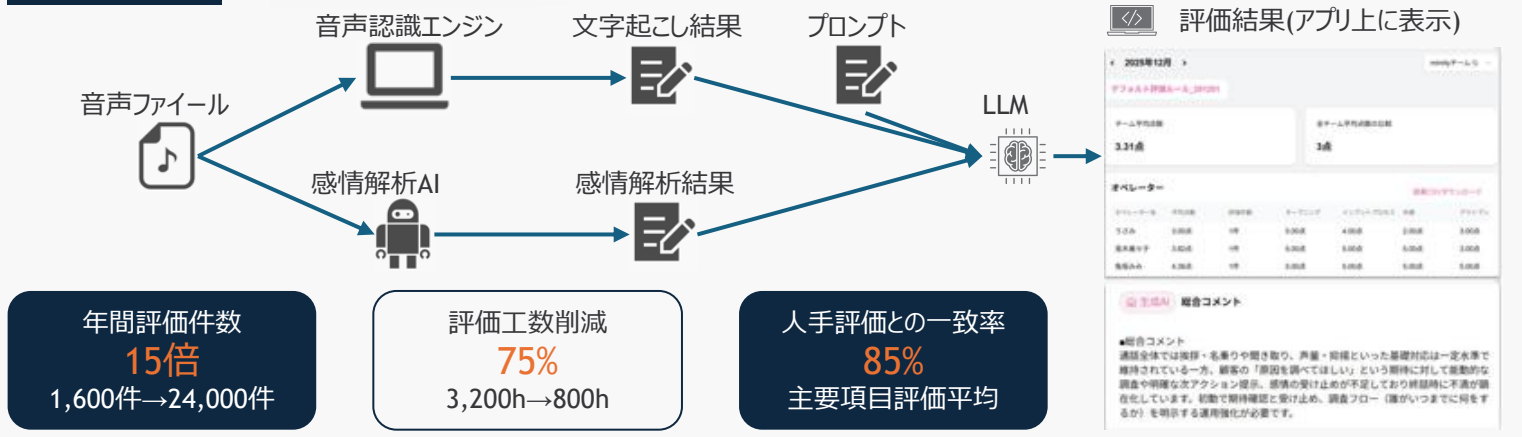
属人化しやすい評価・育成業務  
応対品質の評価には高度な能力が求められ、担当者の育成に時間とコストがかかる。評価基準のばらつきも発生しやすい。

応対品質評価業務には多大な時間とコストがかかり、**品質・CS (顧客満足度) 向上に十分つながっていない**ことが業界全体の課題となっている。ユーザー企業は既にテキストベースの自動評価を導入していたが限界を感じ、開発企業とともに**音響情報を含む自動応対品質評価**に取り組んだ。

## 提案内容

コールセンターの応対品質評価業務において、オペレーターの「**発話内容**」と「**声の印象**」を同時に解析し、主観に左右されない共通の評価を実現するAIエージェントを提案。  
評価業務を自動化することで、「**SV(スーパーバイザー)の評価工数削減**」「**OP(オペレーター)の自律的成長**」「**CX、EX(従業員満足度)向上のための施策サイクル高速化**」に貢献。

### 処理フローイメージ



一般財団法人製造科学技術センター & 株式会社HACARUS

# AIエージェントによるAFS (アフターサービス) の圧倒的生産性向上

会社概要

一般財団法人製造科学技術センターは、40年に渡り、製造業の発展のため、ものづくりの未来を考え、ものづくりの改革や我が国と国際社会の発展に寄与することを目的に活動を行っている。  
 株式会社HACARUSは、『未来を造る人に 次世代の「はかる」を』というミッションを掲げて、独自の技術力で、人の知見を資産化し、オペレーションの効率化・省力化を成功させる「AIソリューション」を製造業に提供している。

問い合わせ先

<https://hacarus.com/ja/>



背景・課題

**【AFSの課題】**  
 [経営]  
 AFSは高利益率で戦略的強化分野but 人手不足で需要に対応できず  
 [お客様]  
 メンテ遅れで、操業率低下

**【AFSの現状】**  
 手書き記録の転記、報告書作成が作業時間を圧迫顧客報告書を翌日以降メール送付記録のミス・漏れが品質問題化  
 (コンプラ事案[捏造等]も時折発生)

※ AFSは、製造業におけるカスタマーサポートの中核業務である。

提案内容

**【解決策】** AIエージェントが 手書き記録を**即デジタル化** 過去データと**即照合** 記録ミスを**即指摘** 報告書を**即生成** 現場で 報告書を**即提出** 疑問に**即回答**

**【効果】** 間接時間 **8割削減** 現場数 **3割増**  
 記録ミス/漏れ・コンプラ事案**未然防止** 顧客報告・回答**迅速化**

	① 点検記録作成 (手書き)	② 記録表デジタル化 ミス確認・修正	③ 報告書作成	④ 報告書提出
Before	現場 点検 手書き記録	現場 ミス確認 → 再計測 事務所 帰社後、転記	事務所 過去データと比較 顧客報告書 作成	事務所 報告書をメール 疑問点をメール回答
After	現場 同上	現場 AIが即デジタル化 過去データと即照合 記録ミスを即指摘	現場 AIが報告書を即生成 監督が添削	現場 報告書を即提出 疑問に即回答

# SALES ROBOTICS株式会社/株式会社ギャラクシーズ/株式会社スカイエージェネクト

## 顧客感情を可視化するAIエージェントを活用したカスタマーサポート業務の高度化と人材育成

### 会社概要

インサイドセールス支援、カスタマーサクセス支援、BPOサービスを軸にインサイドセールスのプロフェッショナルとしてお客様の支援をしており、これらのノウハウを成果に変える「実行スピード」と、AIを活用した業務プロセスの継続的な進化が強み

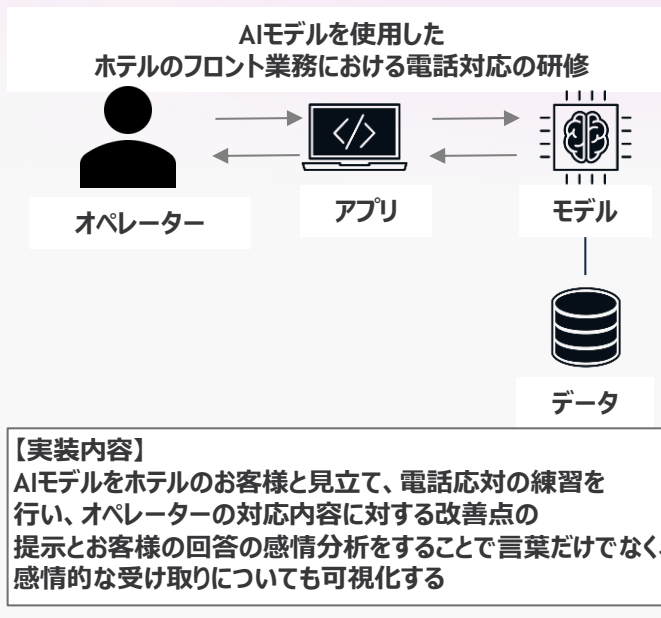
問い合わせ先



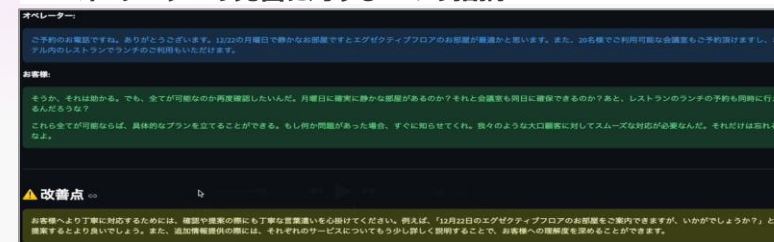
### 背景・課題

カスタマーサポート業務は高度化・複雑化している一方、人材不足により十分な研修時間の確保が困難となっている。  
特にホスピタリティ領域では、言葉遣いや問の取り方、感情配慮といった「おもてなし」が重要である。  
しかし、これらのスキルはベテランに蓄積された暗黙知であり、体系的な継承が難しい。  
従来の研修は受動的で、感情的な顧客対応を想定した実践訓練が不足している。  
その結果、オペレーターの心理的負担やカスタマーハラスメントへの脆弱性が高まっている。  
暗黙知の形式知化と、安全に実践力を養う新たな研修手法の確立が求められている。

### 提案内容



### オペレーターの発言に対するLLMの指摘



### お客様の発言に対する感情分析の結果



## ダイヤモンドヘッド株式会社

# 一歩先のカスタマーサポートを目指して

### 会社概要

自社開発の ECカート・販売機会を最大化する SaaS サービスの提供、およびスタジオでの商品撮影・Web マーケティング・Webデザイン・物流・カスタマーサポートに至るまで、EC運営に必要な業務をシームレスにフルサポートしています。

問い合わせ先



### 背景・課題

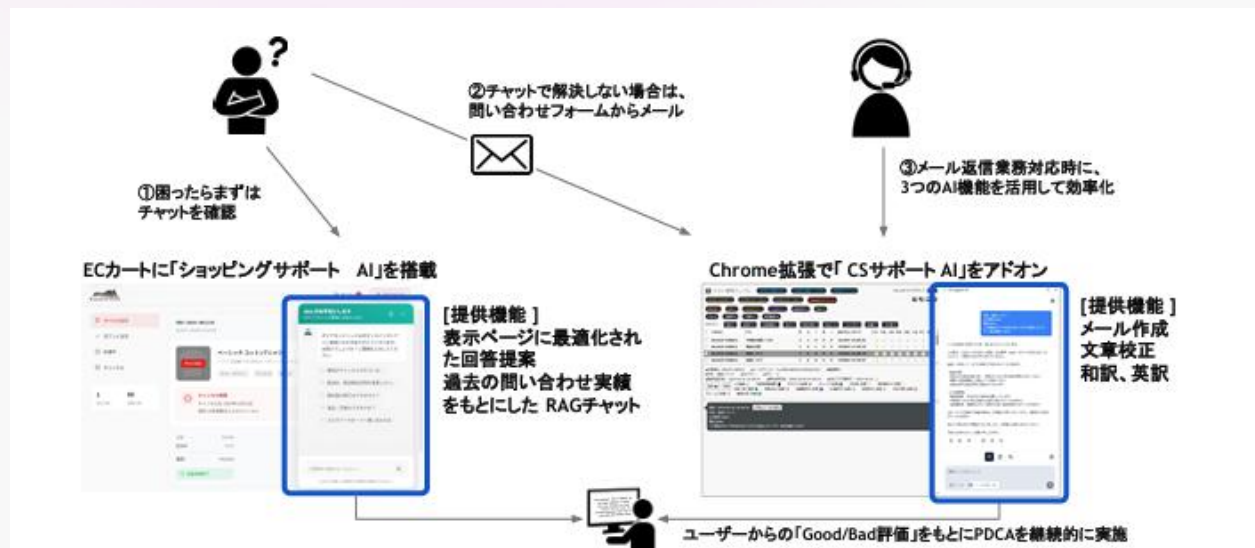
カスタマーサポート業界では、高い離職率や採用難による深刻な人材不足が課題です。

弊社でも、対応品質の属人化、増加し続ける問い合わせへの対応、英語翻訳対応が喫緊の課題でした。

生成AIの効果的な活用により、これらの課題を解決し、カスタマーサポート業界全体の生産性向上に貢献します。

### 提案内容

「CSサポートAI」と「ショッピングサポートAI」、2つのAIエージェントで、カスタマーサポートの生産性向上と顧客満足度の向上を実現します。



公益財団法人大阪産業局 / takeforest株式会社

# スタートアップ企業のためのRAGを用いたマッチング支援システム

## 会社概要

「大阪から世界へ」をテーマに、スタートアップ企業を対象とし、新たな事業の創出やスケールアップにつながるイベント・プログラム（年間約200回）を開催しています。そして、多様な人や企業、アイデアの交流を通して、コミュニティの形成やビジネスプランの事業化をサポート。京都・神戸とも連携し、大阪・関西において起業家を生み、育て、成功者にし、成功者が次の成功者を生む好循環（スタートアップ・エコシステム）の構築を進めています。

問い合わせ先



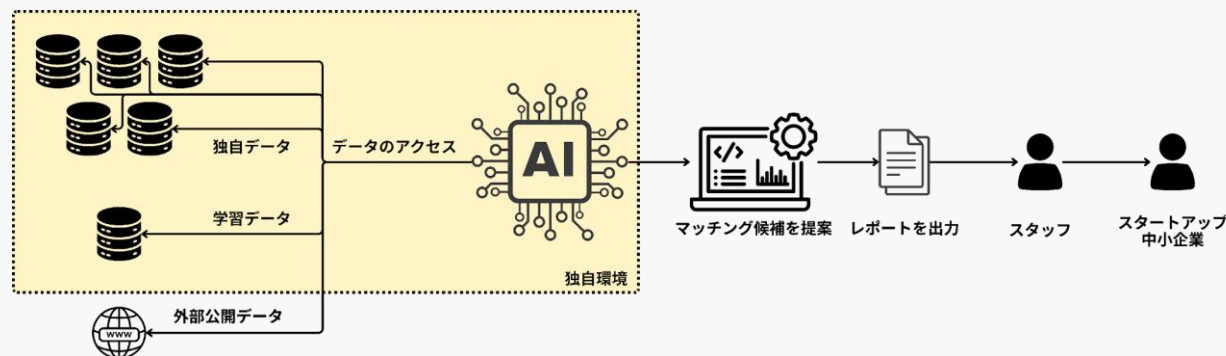
info@takeforest.com

## 背景・課題

(公財)大阪産業局スタートアップ支援事業部は、大阪からグローバルに活躍するスタートアップの創出を目指し、**スタートアップ企業の支援事業**を行っている。その支援の1つとして、スタートアップ企業（プレイヤー）と大企業・金融機関・VC等の支援機関（サポーター）の**マッチング**を行っている。そのマッチングの面談記録や企業情報はExcel・オンラインDBに存在するものの**報告目的**に留まり、情報が分散・非構造で検索や推薦に**活用できておらず**、マッチングにおいて**暗黙知**となり、スタッフの**人脈と経験に依存**している。マッチングの成果フィードバックの仕組みはなく、外部情報の更新は人力で**網羅性/再現性が低い**。今後、スタートアップ企業に寄り添い、さらなる支援を効率的、効果的に行う環境を整えるため本提案に至った。

## 提案内容

大阪産業局で蓄積された面談記録および登録企業情報を活用し、プレイヤーとサポーターのマッチング候補を、AIエージェントが大阪産業局スタッフに提案することで、担当者の人脈や経験に左右されない、再現性のある支援を実現すること。あわせて、面談記録や企業情報の管理、支援成果の更新をAIエージェントが効率的に補助すること。これらによりスタートアップ支援業務の生産性向上を目指した。  
本ユースケースとして、独自環境におけるデータの格納、AI環境の構築により、スタッフに対して、マッチング候補の提示を行う。




## データアナリティクスラボ株式会社

# 誤案内ゼロを目指す CS自動化: HOPE (Titans×CMS) 安全ルーティングエージェント

### 会社概要

データ分析、AIに関わる実務支援  
データ、AI活用に関わるコンサルティング

問い合わせ先

 <https://dalab.jp/>

 [info@dalab.jp](mailto:info@dalab.jp)

### 背景・課題

カスタマーサポート現場では、生成AI活用が進む一方で、以下の課題が顕在化しています。

#### (1) 誤案内 (ハルシネーション) によるリスク

ルール外の例外相談や、医療・法務・アカウント関連などに対して、AIが「それっぽい回答」を返してしまうと、**重大な苦情・法務・炎上**に直結します。生成AIの品質課題は「正答率」だけではなく、**誤って答えてはいけない領域を確実に避ける能力**が重要です。

#### (2) “未知”の取り扱いが弱い (運用が回らない)

AIが分からないときに「分からない」と言えず、FAQを誤適用してしまうケースが多い。さらに、未知問い合わせを蓄積・分類し、ルールやナレッジに反映する仕組みがないと、改善が属人的になります。

#### (3) ルール・キャンペーン・例外対応の更新頻度が高い

CSは日々、短期パッチ (臨時営業時間、キャンペーン送料等) と長期ルールが混在します。生成AIだけでは、この「更新の速さ」と「正確性」を両立しづらく、**ルールを正として参照できる仕組み**が必要です。

### 提案内容

HOPE (Titans×CMS) の原理を用いて、CS問い合わせを自律分類し、ルールで確定回答できる問い合わせは即時回答、未知・危険・個別確認が必要な問い合わせは、人手対応へ正しく引き継ぐことで、品質担保と生産性向上を同時に実現する。

#### 実装ポイント

長期ルール (規約・固定FAQ) + 短期パッチ (当日営業時間、キャンペーン等) を統合、未知問い合わせを自動蓄積し、継続改善につなげる。

## 株式会社TENTIAL/カラクリ株式会社

# 止めない支え

### 会社概要

コンディショニングを誰もが簡単に取り入れられるような製品を展開するブランド「TENTIAL」を運営しています。365日24h コンディショニングというブランド哲学を軸に製品を展開。累計100万セットを販売している疲労回復パジャマ「BAKUNE」シリーズをはじめ、アスリートの知見を生かし、科学的根拠に裏付けられた機能性製品を多数展開しております。

問い合わせ先



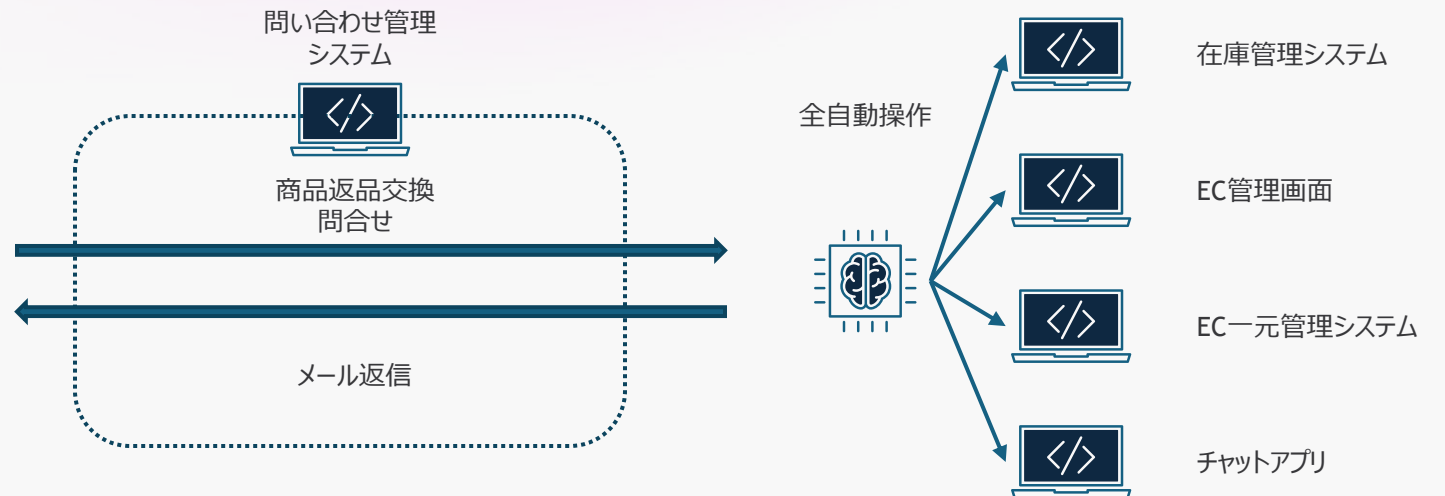
### 背景・課題

人はそれぞれの時間で挑戦し、誰かはその挑戦を想って支えています。けれど FAQや既存のチャットボットでは、調べることはできても、手続きや判断を含めた解決まで届かない場面が多い。その結果、サポートは営業時間に縛られ、これまでは待つていただくか、人を増やすことで応えてきました。

しかし本来、人が提供できる最高のサポートは、ブランドを理解し、想いを持って寄り添える人によるものです。そうした人材を揃え続けることは難しく、結果として品質を下げざるを得ない。これが、挑戦や応援の流れを止めてしまう構造的な課題です。

### 提案内容

CS業務の中で最も人手を割いていた、「問い合わせ管理システムを含む5つの業務システム」を跨ぐ複雑なプロセスを、AIエージェントにチューニングすることで完全自動化しました。



東京ガス株式会社/東京ガスカスタマーサポート株式会社、東京ガス株式会社エネルギー事業革新部

# 「住所がカギ」現場へ正確に到着、住所特定ユニバーサルAIエージェント

## 会社概要

- 東京ガスグループは、1885年創業(創業140年)の総合エネルギー企業
- 中期経営計画(2025年10月発表)においても、DX・AI活用による業務変革と新たな価値創造を経営の柱と位置づけ、デジタル社会実装にコミット
- DX・AIネイティブ企業への進化を掲げ、AI・データ活用によるバリューチェーン全体の変革が進行中。AI・データ民主化の推進を進め、社会課題解決を加速

問い合わせ先

<https://www.tokyo-gas.co.jp/index.html>



## 背景・課題

### 現場へ正確に到着するための“場所の特定”

- エネルギー業務での問い合わせ(ガス使用開始、緊急対応など)では、対応の最初に「現場へ正確に到着するための“場所を特定”」することが必須となる
- 一方、日本語の住所表現は、丁目/番/号の略、マンション名+部屋番号などの複雑性が高く、聞き取りミスによる再確認などの時間コストや手戻りが発生しやすい

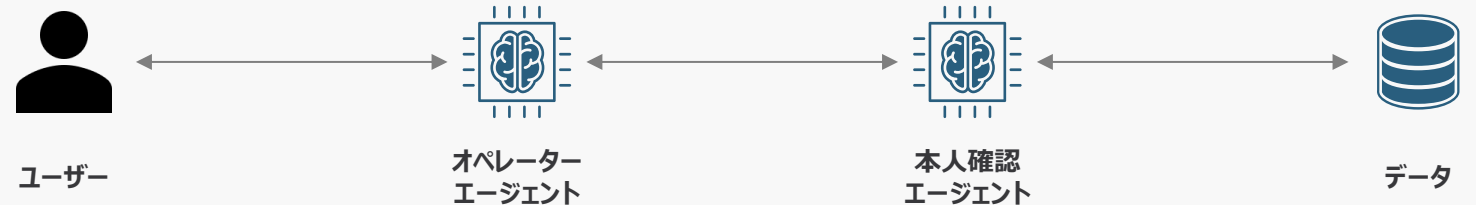
### 当テーマの普遍性と展開性

- 住所の特定という切り口は、初動で顧客情報と照合できない救急(搬送先・受診者確認)や公共窓口・宅配など、“現場へ正確に到着する”ことが求められるあらゆる業務領域に広く転用可能な普遍性がある
- 正確な住所特定のプロセスとして横展開することで、社会実装の一定のインパクトが望めると想定。つまり、“まず普遍的で影響の大きいプロセスからエージェント化する”ことが、ユニバーサルなAIユースケースとして大きな価値があると考える。
- また、業務全体をEnd-to-EndでAIに代替するのではなく、人が担う後工程とAIエージェントを組み合わせることで、品質を維持しながら早期に効率化効果を刈り取り、アジャイルに業務変革を進めることができる。

## 提案内容

- 電話受付における場所特定を(今回では主に氏名・住所)を、音声対話AIエージェントが自動で実施。
- 日本語特有の住所表現の複雑性、聞き取りミス等に対応し、住所特定を効率的に実現。
- 提案の独自性は、「住所の特定」を生成AIで効率化する点にある。LLM、全文検索、ルールベース処理を組み合わせ、住所特定のロバスト性を高め、聞き取りや記録ミスを削減。
- これにより、後続の業務に応じた確認や業務フローを安全かつ迅速に進められ、同時に繁忙期においても、AI対応によりお客さまを待たせる時間の短縮化とそれに伴う顧客満足度の向上が実現できるとともに、繁忙期においても応対件数を増加・完遂率を向上させることが可能となるため担い手(オペレーター)不足の軽減にも貢献できる。

### 効率的な本人情報照合と丁寧な聞き返し



本取り組みは、AIによる単なる業務効率化ではなく、“人と現場を正しくつなぐ”ための社会的インフラを形成する第一歩と考える

東京都立産業技術大学院大学 / 株式会社キャリアボット

# 大学キャリアセンター特化型「就職支援AIエージェント」による相談業務における生産性向上と学生満足度の向上

## 会社概要

岡崎PTは「人間とAIの共創」をテーマに研究をしている。教員の強みは、15年のキャリア支援歴とAIスタートアップ経営による「ドメイン×技術」である。年間数千人の学生指導や大学向けコンサルで培った現場理解を技術に落とし込み、研究の域を超えた「バーティカルAIエージェント」を開発・実装する。

問い合わせ先

<https://aiit.ac.jp/>

[okazaki-kouji@aiit.ac.jp](mailto:okazaki-kouji@aiit.ac.jp)

## 背景・課題

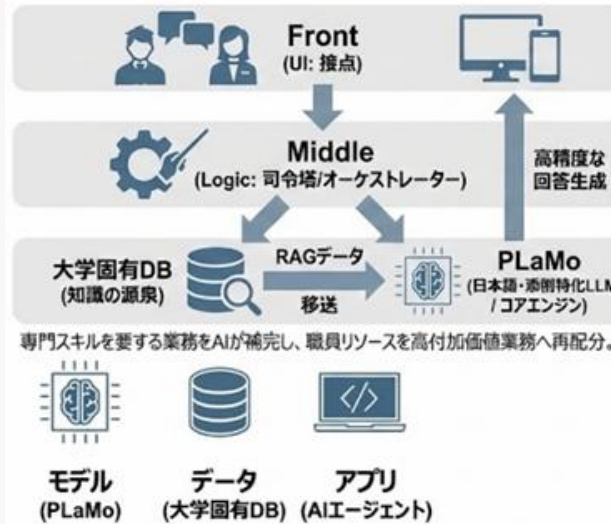
大学キャリアセンターは慢性的な人員不足にある。一方で就活の長期化・多様化により相談需要は急増しており、既存の人的リソースのみに依存した運営モデルは限界を迎えている。

### 課題

専門スキルを持つ職員が、ES添削・定型相談などの業務に忙殺されている。より支援が必要な学生への対応や高付加価値な業務にリソースを割けず、学生支援の質低下と、それに伴う大学へのエンゲージメント（信頼・利用率）低下を招いている。

## 提案内容

### AIエージェントによる課題解決アプローチ (Solution Approach)



### 実証結果 (Proof & Results)

#### 定量評価：高い受容性と有効性 (Quantitative Metrics)



サービス満足度



就活利用意向



ChatGPT/Geminiより有効と回答

#### 定性効果：学生の声からの示唆 (Qualitative Feedback)

- 言語化・表現力向上支援**：曖昧な思考を自然で説得力のある文章へ昇華。
- 客観的視点と気づきの提供**：自分では気づけない改善点や強みを発見。
- 就活特化の安心感**：丁寧な構成案と専門的なアドバイスで不安を払拭。

## 株式会社日本AIコンサルティング

# ノートPCのみで動く、お問い合わせサポートAI【TASKE】で一次対応解決率を向上

### 会社概要

- 2018年創業、DELL社や日本経済新聞社が主催するコンテストで入賞、社員数は12名で研究人材多数
- 特許を用いた「行動分析」と「生成AI」の基盤を運営、大手テック企業やPCメーカーとAIで協業
- NPUに対応したアプリと、業務特化型モデルを開発、省エネで生産性の高いAI利活用を目指す

問い合わせ先



### 背景・課題

AI開発人材を開発に専念させたい

- 業務担当者だけでは一次対応が完結できていない
- AI開発人材の稼働20%が問い合わせ対応に引っ張り出されている
- 通話中のメモは抜け漏れが多く、AI開発人材への引継ぎに時間がかかる

### 提案内容

お問い合わせサポートAI【TASKE】



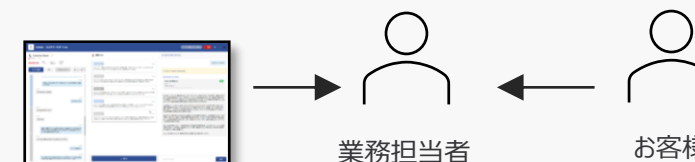
TASKE

- マニュアルチャット
- 文字起こし
- 自動要約

【従来】業務担当者では対応が難しく、AI開発者が引継ぎ



【目標】業務担当者のみで対応を完了させる



日本トータルテレマーケティング株式会社・Standard AI株式会社

# -現場で育てるAI-人を中心に設計したコンタクトセンターAIエージェント

## 会社概要

### 事業概要

日本トータルテレマーケティング（NTM）は、コンタクトセンター運営を中核に、BPO、EC・物流支援、公共向け業務まで幅広く提供するアウトソーシング企業である。電話・チャット・メール等の多チャネル対応を通じ、顧客接点業務を一括して支援している。  
 強み：多業界・多業務で培った運用ノウハウと品質管理能力を強みに、対応品質の平準化と安定運営を実現している。受託に留まらない提案型支援や、DX・AI活用を含む業務構造改善により、クライアントの継続的な生産性・品質向上に貢献できる点が特長である。

問い合わせ先



## 背景・課題

### 背景

日本のコンタクトセンター業界は、アウトソーシング市場規模約1兆円、就業者数約100万人を抱える大規模産業である。一方で、人材不足や高い離職率、業務の複雑化により、安定した運営が難しくなっている。特にBPO事業者では、複数企業・業務を横断して対応する特性上、対応ルールやナレッジが多様化し、品質管理や教育コストが構造的に増大していた。加えて、問い合わせは自己解決の進展により高度化し、オペレーターには従来以上の知識量や判断力が求められている。こうした中、業務効率化の切り札として生成AIへの期待が高まる一方、機密情報を扱う業務特性から、誤回答や安全性への懸念が導入の大きな障壁となっていた。

### 課題

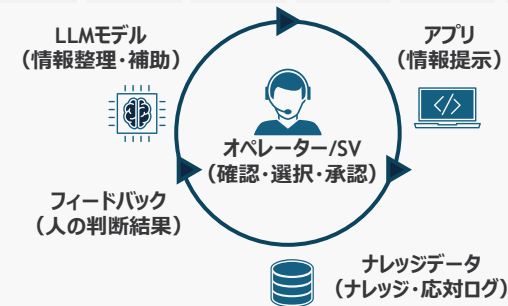
現場では、ベテランの暗黙知に依存したスキル属人化により、対応品質が人によってばらつき、顧客体験が安定しないという課題がある。知識量の増加に伴い研修・OJTは長期化し、成功体験を得る前に離職するケースも多い。さらに、後処理やCRM記録の負担増加により生産性と記録品質の両立が難しくなっている。FAQやナレッジも情報量と更新頻度の増大で管理が追いつかず、検索迷いが通話時間やストレスを助長している。これらの負荷増大により管理者は改善活動に手が回らず、負の循環が生じていることに加え、生成AI活用時のハルシネーションやセキュリティリスクへの対応が根本的な課題となっていた。

## 提案内容

AIエージェントにより業務構造を刷新し、記憶依存の対応から、AI提示情報を確認・選択（承認）する業務へ転換したこれにより判断迷いや品質のばらつきを解消し、**対応ログ起点のナレッジ自動化や記録標準化で生産性と安全性を両立**した



対応業務の生産性・品質を大幅に改善 ATTは13.7%、ACWは30.4%削減され、FCRは98.0%に向上  
**回答はオペレーターが承認する仕組みとし、ハルシネーションを抑制**  
 OJTも平均16時間短縮され研修コストは約1/3削減され、**新人でも短期間で安定した対応品質を実現可能なモデル**であることが確認された



パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社/エス・アンド・アイ株式会社/パーソルエスアンドアイ株式会社

# 傾聴エージェントによる医療機関向けサポートの変革

## 会社概要

パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社は、プロセスデザイン力や組織・人材マネジメント力、人材育成力の3つの力に、AIなどのテクノロジーを掛け合わせ、お客様の課題に寄り添ったBPOサービスを提供しています。「あらゆる仕事と組織を革新し、より良いはたらく環境があふれる社会をつくる」をミッションに掲げ、組織が目指す未来を実現し、はたらく人が活躍できる社会づくりに貢献してまいります。パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人と組織にかかわる多様な事業を通じて、持続可能な社会の実現とSDGsの達成に貢献していきます。

問い合わせ先



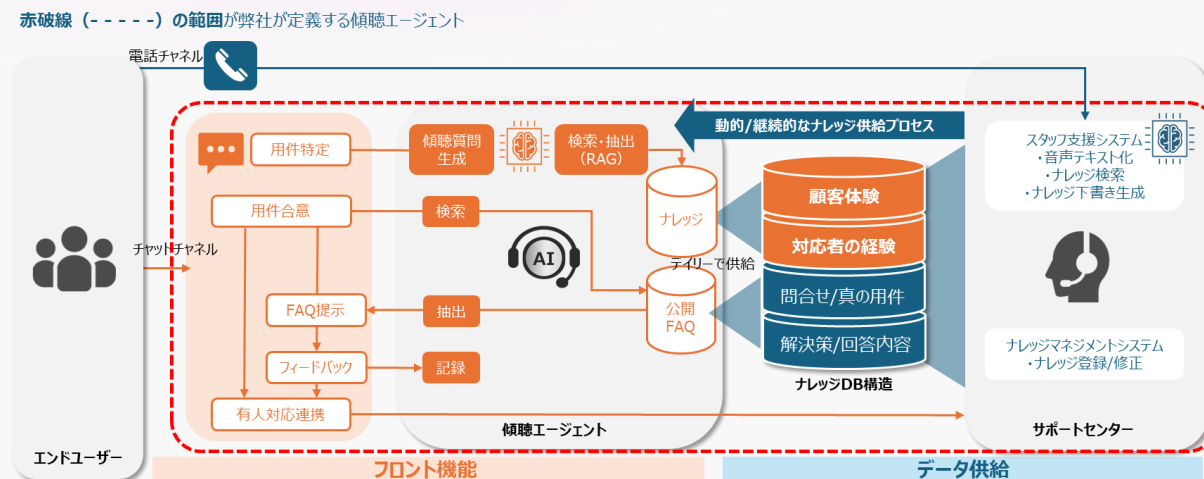
## 背景・課題

### 医療機関、医療システムベンダーが抱える課題

- **診療報酬改定への対応**
  - 診療報酬は原則として2年に1度、薬価は毎年改定され、都度、システム改修が必要となる。
  - 改定内容の公布が施行直前のため、短期間で対応を強いられる。
  - 医療機関やシステムベンダーにとって、その対応が大きな負担。
- **医療システムベンダーのサポート体制の課題**
  - 改定時には、医療機関から平時の5倍を超える問い合わせが発生。
  - サポートセンターに電話が集中し、極度に繋がりにくい状況が発生。
  - 慢性的な人手不足により、臨時増員によるサポート強化も困難。
  - 目まぐるしく想定外の事象が発生するためサポートセンター内での情報周知が困難。
- **医療業界に及ぼす影響と根本対策の必要性**
  - サポート提供の機能不全は、医療機関の業務効率を低下させ、患者への医療提供にも影響を及ぼす社会課題である。
  - 膨大な想定外事象に起因する医療現場の業務停滞を、新しいサポートの仕組みで払拭する必要がある。
  - 人海戦術によるサポート対応を根本的に見直す必要がある。

## 提案内容

フロント機能として活用するAIチャットボットテクノロジーの領域のみではなく、性能を最大限発揮することに不可欠な、「ナレッジ」、「プロセス」、「顧客向けタッチポイント」を統合した有機的システム（傾聴エージェント）を開発した。ベテランスタッフの傾聴と遜色ない性能と、顧客と合意した要件で公開FAQを検索し回答を提示する性能が確認された。次期診療報酬改定への適用に大きな可能性を得た。



株式会社白寿生科学研究所 / loYou株式会社 / 海風診療所

# 予防/健康生成AIエージェント

## 会社概要

弊社は創業**100年**の健康総合企業です。「白寿健康法」の普及を使命とし、1963年に世界初の家庭用・医療用電位治療器「ヘルストロン」を開発し、累計100万台以上のロングセラー商品として数多くの医療機関にも導入されています。また、健康食品の製造販売や、クラシックホール「Hakuju Hall」の運営を通じ、人々の健康をトータルコーディネートしています。全国約450店舗の「ハクジュプラザ」は、地域連携を強化した健康情報発信拠点として、毎日約7万人以上の利用者様に無料で健康づくりの場としてもご利用いただいています。

問い合わせ先



## 背景・課題

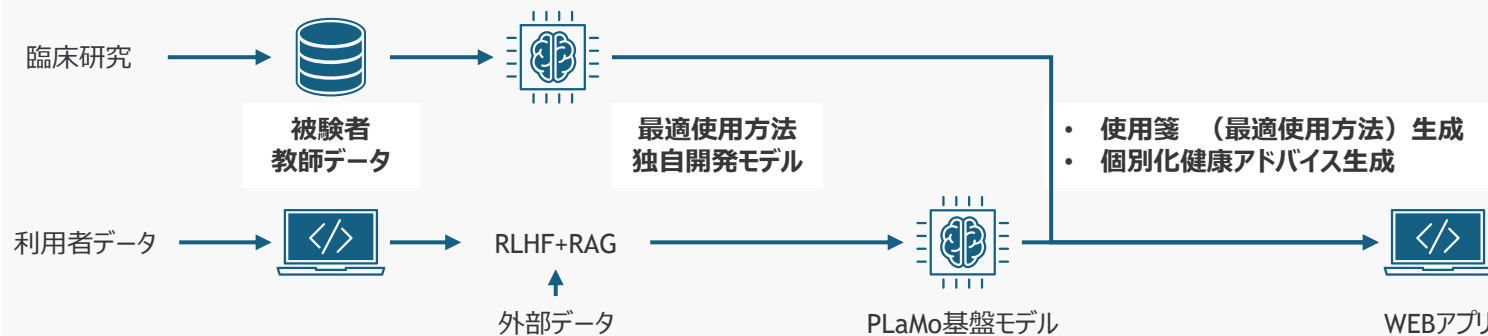
ヘルストロンが分類される電位治療器は、安全な高圧電界を用いて体調を整える医療機器とホームヘルス機器の総称ですが、その効果のメカニズムは完全には解明されていません。

電位治療器の効果や適切な使用方法に関して、薬機法を考慮して十分な回答が利用者様にできない業務上の課題を抱えています。

生成AIエージェントを用いることで長年解決することが困難だった電位治療器の効果的な利用方法や薬機法を遵守したお客様対応を実現させる取り組みです。

## 提案内容

使用者に応じた電位治療器（ヘルストロン）の使用方法と個別化された健康アドバイスを生成するAIエージェントを提案します。実証試験において、臨床研究を実施することで医師の診察と治験から得た情報と被験者の情報をベースとしたヘルストロンの使用方法を医師が被験者に提供し、被験者がその使用方法に従ってヘルストロンを使用することで使用方法の健康効果を検証し、効果が確認された使用方法を教師データとした最適使用方法モデルを開発しました。また、PLaMo基盤モデルを用いて、使用者が健康相談をアプリから行い、使用者に個別化された健康アドバイスを生成できるように、アプリから入力された使用者データを層別分類し、医師のフィードバックによる強化学習（RLHF）及び外部データを検索拡張生成（RAG）を用いてPLaMoが生成する自然言語に使用者の個別性を反映できるエージェント機能も開発し、PLaMo単独で生成する言語よりも使用者に個別化されたアドバイスの生成に成功しました。



株式会社パソナ X-TECH Dotank事業 / 国立大学法人 北海道大学

# Career Emotion

## 会社概要

「社会の問題点を解決する」という創業からの不変の理念のもと、人材派遣、人材紹介といったHRビジネスを主軸に昨今ではBPOやDX推進にも注力し、「人」と「テクノロジー」を融合した総合ソリューションを提供しております。「人を活かす」をミッションに誰もが安心して働ける環境を作って参ります。

問い合わせ先



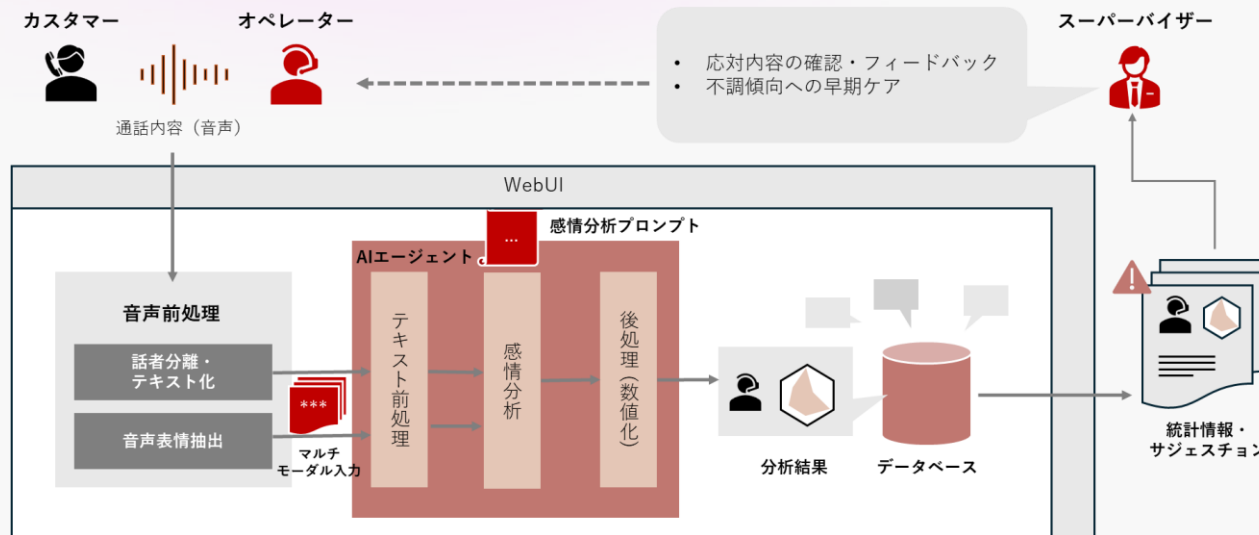
## 背景・課題

コンタクトセンターは従来の電話受付窓口から顧客接点の最先端としてマルチロール化が求められています。それに応じて、その中で働く方々に求められるスキルも変化し、多岐に渡った業務に従事する必要があります。

優秀なオペレーター・管理者の確保・育成・定着は長年に渡る課題であり、人材の定着がユーザーの顧客満足度にもつながるため、コンタクトセンターで働く方々のメンタル状況の把握し、危険な状況に陥る前に早期対応できる環境を整備する必要があります。

## 提案内容

左記の課題を解決するため、テキストと音声データをAIエージェントが統合的に処理を行い、テキスト情報だけでは読み取れない感情の変化を時系列で可視化、分析し、オペレーターのメンタル状態を一元的に管理、早期対応を促す環境を構築しました。



行政書士眞野法務事務所・富邦通商株式会社・euroDAO Japan/euroDAO

## 行政分野において高度な説明責任が求められる業務判断を支援するマルチエージェントAIシステム

### 会社概要

大阪を拠点に、海外企業の日本進出支援(調査・企画・実行)を一気通貫で提供し、行政書士・不動産・外国人雇用の実務ネットワークを活かして在留資格・不動産・事業許可を横断したコンサルティングを行う一方、これから AI とロボティクスによる“協働型従業員”を企業向けに開発・提供するディープテック企業をめざしております。

問い合わせ先



### 背景・課題

ステージ1:  
「説明できない」行政プロセスの限界



判断は個人の経験に依存し、根拠は不明瞭。  
業務品質は不安定で、組織にノウハウが蓄積されません。



### 提案内容

ステージ2:  
AIが「説明」を、人が「責任」を

最終判断と対外的な責任は、必ず人間が担います。



対話層 (Interaction)  
多言語インターフェース AIは対話を保証

知能(Intelligence) 信頼を  
保証する 3層アーキテクチャ

信頼 (Trust) AIの判断過程  
を可視化し、監査可能性を  
確保する。

ステージ3:  
「AI説明義務」の社会基盤へ



このモデルは他土業や行政サービスへ横展開し、日本社会のAI信頼基盤を構築します。

富邦通商株式会社・euroDAO Japan/euroDAO

# 不動産売買支援のためのマルチエージェントAIシステム

## 会社概要

大阪を拠点に、海外企業への日本進出支援 (調査・企画・実行) を一気通貫で提供し、不動産・外国人雇用等の実務ネットワークを活かして、不動産・事業許可を横断したコンサルティングを行っております。一方で、AIとロボティクスによる「協働型従業員」を企業向けに開発・提供しています。ディープテック企業を目指しております。

問い合わせ先



## 背景・課題

- (1) 不動産取引におけるリスクの構造的増大
  - 地面師による虚偽表示、事故物件の意図的隠蔽
  - 不当な価格誘導、強引な契約締結、重要な条項の非開示
  - これらが個別事案ではなく、業界構造として常態化している
- (2) 信頼崩壊の根本要因
  - 取引全体における情報の非対称性
  - 判断プロセスが可視化されておらず、事後検証が困難
  - 判断が個人の経験・勘に依存し、組織知として蓄積されない
  - 制度的管理のみでは限界に達している
- (3) 結果として生じている社会的影響
  - 売主・買主双方の権益保護が困難
  - 紛争の頻発および業界全体の信頼低下

## 提案内容

不動産取引における信頼できるAIガバナンスシステム  
～最小リスク・可解釈・可追責の閉環フレームワーク～

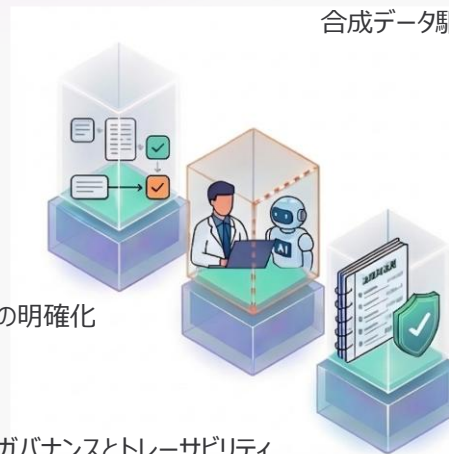
責任分離: 技術側 (構造安全のみ)/業界側 (判断責任)

合成データ駆動制御の進化 (AI自主学习禁止)

判断プロセスの分解

AIと専門家の責任境界の明確化

ガバナンスとトレーサビリティ



「AI取代ではなく、信頼の制度資産構築」

## 芙蓉アウトソーシング&コンサルティング株式会社

# みんなえがお

### 会社概要

アウトソーシングを起点に人事、総務、経理などの管理・間接部門の業務改善を実現する課題解決型アウトソーシング会社。アウトソーシング(BPO)とコンサルティングサービスを組み合わせることで、お客様にとって本当に必要なサービスをカスタマイズして提供し、潜在的な課題を解決、理想的な状態を叶えるサポートを行っている。真のアウトソーシングを提供することでお客様が「企業の根幹に影響する仕事に集中できる」状態を作り出す。

問い合わせ先



### 背景・課題

学校や高齢者施設など全国の主な施設型ビジネスでは、運営方針、利用者の状況などを発信するため、**定期的に施設イベント情報などを中心に施設全体として「おたより」を発行している。**  
 あたかみと読まれやすさを重視して**媒体は紙が多く選ばれており、送付する場合は郵送が主流。**  
 「おたより」の制作は兼務で行われることが多く、写真撮影、原稿作成、校正、印刷、発送まで、**担当職員は本来のコア業務の傍ら、多大な制作業務負荷を抱えている。**

### 提案内容

施設利用者の映像(顔)データと、プロフィール情報・各種記録等をAI顔認証により紐づけ、これにより施設内での利用者個人の施設での活動状況を、関連画像付きの「おたより」として情報化(自動生成)し、利用者家族へ郵送・メール・SNS等(BPO)でお届けする。  
※必要に応じて、電子データでの提供もオプションとして想定  
 これにより、従来、職員が**ノンコア業務である「おたより」制作に費やしていた時間と労力を大幅に削減し、職員が本来のコア業務に集中できる環境を実現する。**



フロントラインワークス株式会社/ラフ株式会社

# 人生100年時代の生きがいをつなげるAI「Life Design Connector」

## 会社概要

「大人の趣味活」をテーマに、アート・クラフト・書道・料理などの体験型オンライン講座をプロデュース・運営しています。単なる余暇消費ではなく、学びと趣味を通じて第二の人生や生きがいをデザインする「学びレジャー市場」を創造し、クリエイターと受講生で紡がれるコミュニティの中で、共に夢中になれる経済圏・文化圏を育んでいます。

問い合わせ先

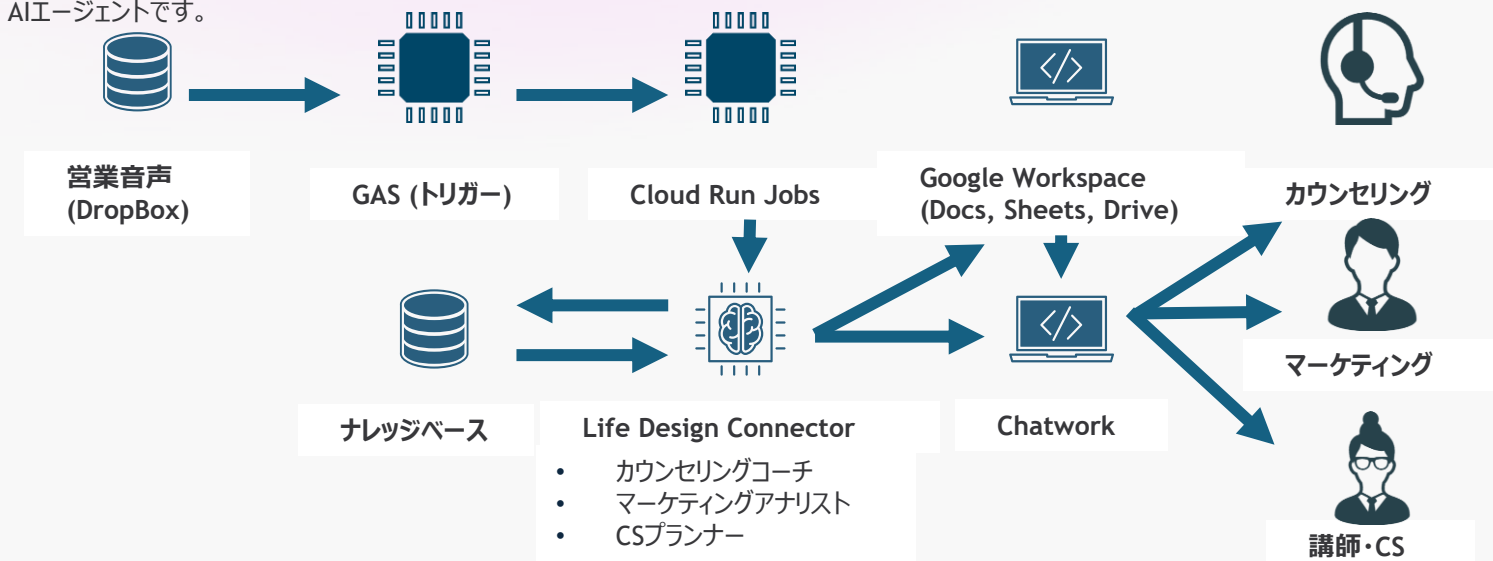


## 背景・課題

私たちは、受講生が新しい趣味を通じて人生を豊かにすることを目指しています。その起点となる個別カウンセリングには、不安と期待で揺れるお客様の本音や熱量が詰まっています。一方で、正社員・業務委託・提携企業などから成るリモート中心の組織体制では、現場の温度感や文脈を共有することが難しく、担当者の知見が個人に留まり、CSやマーケティングに活かされない事態が起きていました。人員不足と距離の問題により、本来は組織の資産となるはずのカウンセリング音声を活用されずに埋もれているのが課題でした。

## 提案内容

Life Design Connectorは、個別カウンセリングの音声を起点に、「営業・マーケティング・CS」の全方位に顧客ごとのインサイトを配給する自律型AIエージェントです。



株式会社ベルシステム24/株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

# 人と生成AIが共存する新たなコンタクトセンターの確立

会社概要

ベルシステム24グループのビジネスは、クライアント企業とエンドユーザーのコミュニケーションを設計・提案し、実行すること。あらゆるコミュニケーションチャネルを活用し、信頼をつなぐ役割を担っています。  
実績 年間案件数3,000件 コールセンター席数約19,000席

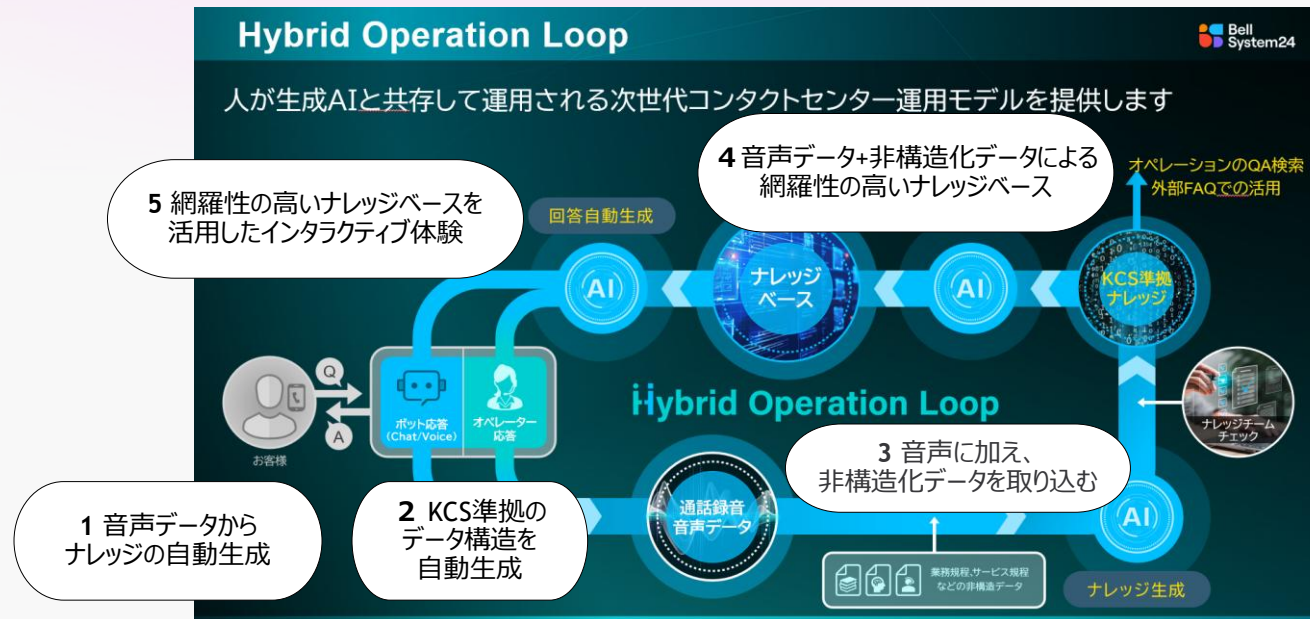
問い合わせ先



背景・課題

- 社会インフラとしての危機:** 労働力不足による限界 企業と国民生活をつなぐコンタクトセンターは、もはや不可欠な「社会インフラ」です。しかし、その運営は依然として労働集約型であり、少子高齢化が進む日本において「人」への依存は限界を迎えています。国内最大級(約19,000席)の運営規模を持つ当社においてさえ、高品質なサービス維持に必要な人材確保は年々困難になりつつあり、この構造転換は待ったなしの状況です。
- 生成AIへの期待と「回答精度の壁」:** この危機を脱する切り札として生成AIに期待が寄せられていますが、多くの現場で社会実装が進んでいません。その最大の要因は、日本の商習慣や顧客対応に求められる「回答精度の壁」にあります。
- 解決の鍵: 埋もれた「ナレッジ」の資産化:** この「壁」を突破する鍵は、現場に眠るデータです。コンタクトセンターには膨大な対話データや業務ドキュメントが存在しますが、これらはAIが学習・活用できる形(ナレッジ)として整備されていませんでした。本プロジェクトは、この「ナレッジ」に主眼を置きます。未活用のデータを生成AIが扱える資産へと昇華させ、真に実用的な自動化を実現します。

提案内容



## ホームサーブ株式会社/vottia株式会社

# 「暮らしの困った」を支えるAIエージェント ～修理手配の効率化と顧客対応品質の両立を目指して～

### 会社概要

ホームサーブ株式会社は、「暮らしの困ったに、あたらしい答えを」をミッションに、日本初のサブスク型住宅設備の修理サービスを提供しています(日本サブスク大賞2025グランプリ受賞)。月額590円～で電気・水道・ガス等の修理をお電話一本で、追加支払いなくご提供し、創業以来、有効契約は32万件に到達。電力会社8社や日本郵便等との提携を通じて対象エリア3,200万世帯へアクセス、日本全国に「備える安心」を届けています。

問い合わせ先



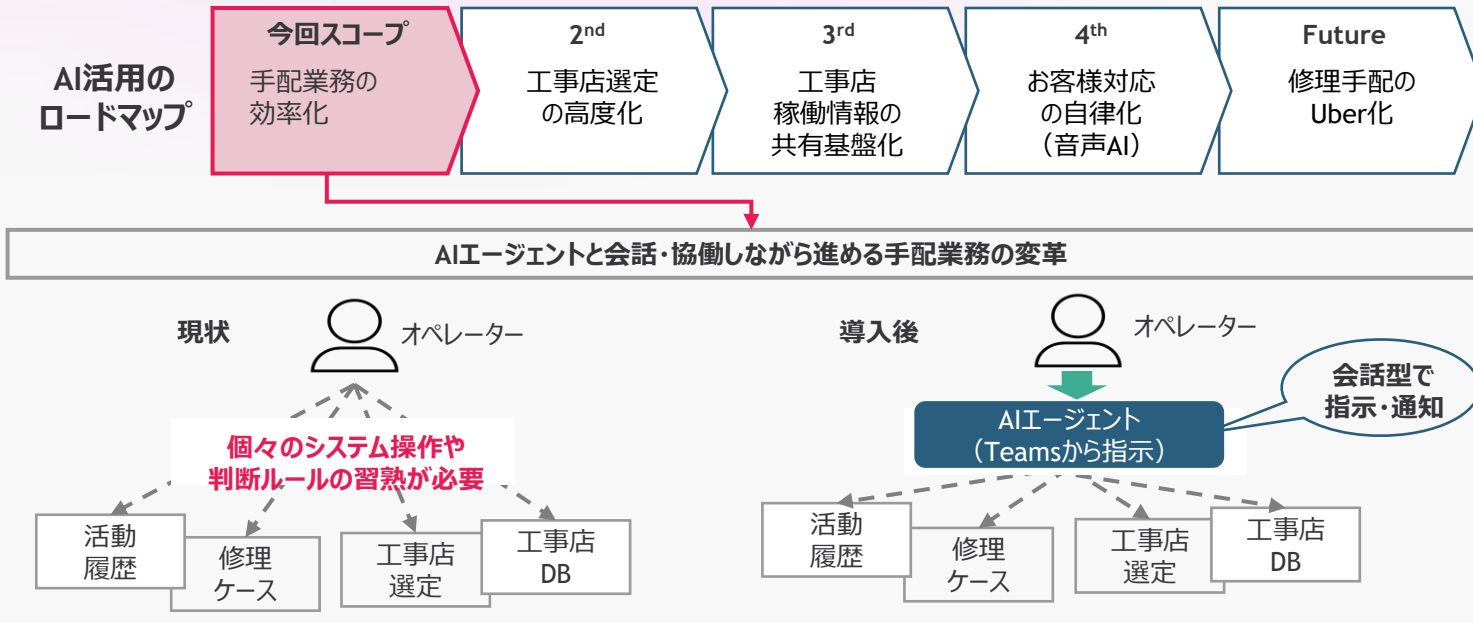
### 背景・課題

日本の住宅は、今、「3重苦」に直面。①築20年以上が60%を超え設備故障リスクが急増、②職人の高齢化・後継者不足で修理業者が減少、③高齢者を狙った悪質業者の過剰請求が社会問題化。「誰に頼んでも良いかわからない」という生活者の不安に応えることが急務です。

こうした背景のもと当社はサービス提供を開始し、会員数の増加とともに修理手配件数も急増しています。一方で、工事店選定・手配のオペレーションは複雑化し、人材確保に依存した運用には限界が見え始めています。そこで、AIエージェントによる人のサポート体制構築が急務です。

当社では、AI活用のコンセプトを「AIで人を置き換える」のではなく「AIで人を活かす」とし、「生産性」と「顧客対応品質」の双方の向上を実現します。今後、提携するユーティリティ企業との連携を通じて地域への展開を進め、今回のPOCをスタートとしてAIエージェントを活用して「使いたい時に最適な修理サービスを待ち時間なく」提供できるサービス全体の世界観をDX・AI活用により段階的に発展させていきます。

### 提案内容



一般社団法人 まちはチームだ/株式会社リョーフ

## 判断の根拠を可視化、「公正な判断」と「絶え間ない挑戦」を実装する官民共創AI

### 会社概要

個の専門性を活かし「チーム」で社会課題解決に取り組む、官民連携型のまちづくり実装法人。自治体や指定管理者、民間事業者、教育機関と連携し、観光・文化・公共施設分野における企画立案、運営、実証、成果創出までを一貫して担う。現場実装を強みとし、「実際に動く官民共創モデル」の構築を得意とする。

問い合わせ先



### 背景・課題

背景が複雑化する現代社会において、前提条件（当たり前知っておくべきと考える要件）は、今や常識とは言えない。行政と民間が協働する場合、判断が属人化しており、法令・条令・ガイドライン・過去の議論などが十分に共有されていないという課題がある。

担当者異動のたびに判断が変わることによって、事業者側は過度なリスク回避思考に陥り、企画は年々「無難なもの」に収束していく。さらに監査や市民クレームによって初めて問題が顕在化するなど、本来は事前に防げたはずの非効率な事後対応も発生している。この構造が、官民共創のスピードと質の両面を低下させ、市民サービスの進化そのものを阻害している。

先の記事はこちら

### 提案内容



モデル

課題に挙げた「知っておくべき前提条件」こそ、AIで共有しておく議論である。私たちは、全ての人とローコンテキストで対話していくことは、現状では難しい。そこで、本事業では「指定管理業務における官民共創AIエージェント」を開発・実証する。



データ

指定管理者として運営に必要な法令・条例・ガイドラインに加え、過去の議事録などをデータベースにまとめ、AIエージェントに新たな企画などを参照させ、その課題や実施の可否などを提案させる。インチューニング、プロンプト設計などを記載



アプリ

これにより、本AIエージェントは単なる「チェックツール」に留まらず、企画の品質そのものを高める“共創型AI”として機能する。さらに本事業の最大の特徴は、このAIを小倉城の指定管理現場という実在の公共施設において実証する点にある。当法人は、小倉城においてイベント数および来場者数を大幅に増加させ、行政との信頼関係を実装レベルで構築してきた。こうした実績を持つ現場だからこそ、机上のPoCではなく、実際の企画・実務・市民サービスに直結したAI実証が可能となる。本提案は、個別解釈に基づく判断に依存した従来型の指定管理運営を、「AIが原則の番人となる、公平で再現性のある官民共創モデル」へと転換する実証プロジェクトである。記載ください

医療法人社団 四つ輪会/株式会社Quixotiks

# 精神科クリニックにおける対話型初診問診補助AIの開発

## 会社概要

大阪市城東区で「つるみ心のクリニック」を運営する医療法人であり、地域の方の心の健康のお役にたてるよう日々診療に当たっています。院長の小澤は国内外で研究や臨床の経験を持ち、児童思春期外来や認知症外来、心理士による心理検査やカウンセリングを強みとしています。

問い合わせ先



## 背景・課題

精神科や心療内科の初診問診では、患者の生い立ちや生活状況について詳しく情報を得る必要があるため、通常の診察に比べて時間がかかり、初診に対する待機時間の長さにつながっている。ウェブ問診サービスがある程度普及しているが、書き込みの手間などから、十分な情報を得られないことも多い。こうした課題感から、AIエージェントを活用した音声対話アプリケーションによって、優れたユーザー体験を提供し、事前の予診をAIが行うことで初診問診の労力と時間の削減を目指した。

## 提案内容

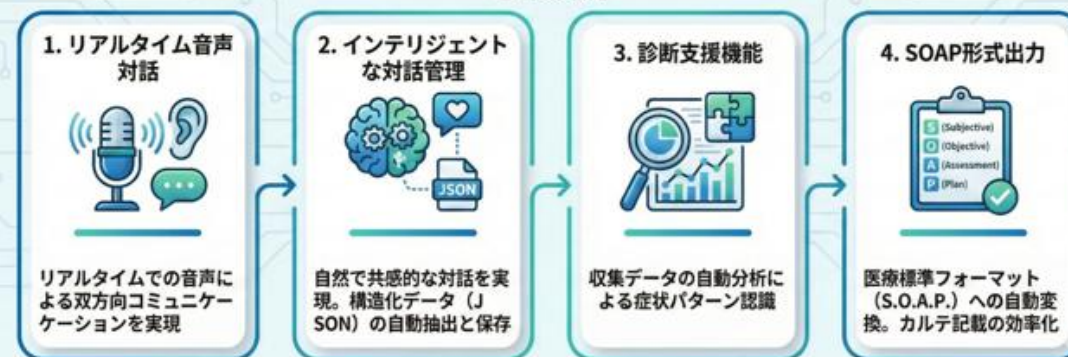
### 音声対話AIによる初診問診補助サービス - システム概要

#### サービスの目的

精神科・心療内科の初診問診を効率化するAI 補助システム

医療従事者の問診業務を支援し、患者情報を体系的に収集・整理することで、診察の質向上と時間短縮を実現します。

#### 主要機能



株式会社ローカルワークス& nocall 株式会社

災害 (Disaster) 発生時に、適切な協力会社を即座に派遣 (Dispatch)するAIエージェント

会社概要

Local Works

全国 5000 社の施工会社ネットワークと、住宅メンテナンスに特化したオペレーションノウハウで、通常の修繕だけでなく、災害発生時にはネットワークを活かした即座の復旧にも対応。

nocall.ai

定型的な電話対応窓口を自社の技術を活用した音声AIが対応することで、AIによる電話業務のDXを推進。

問い合わせ先



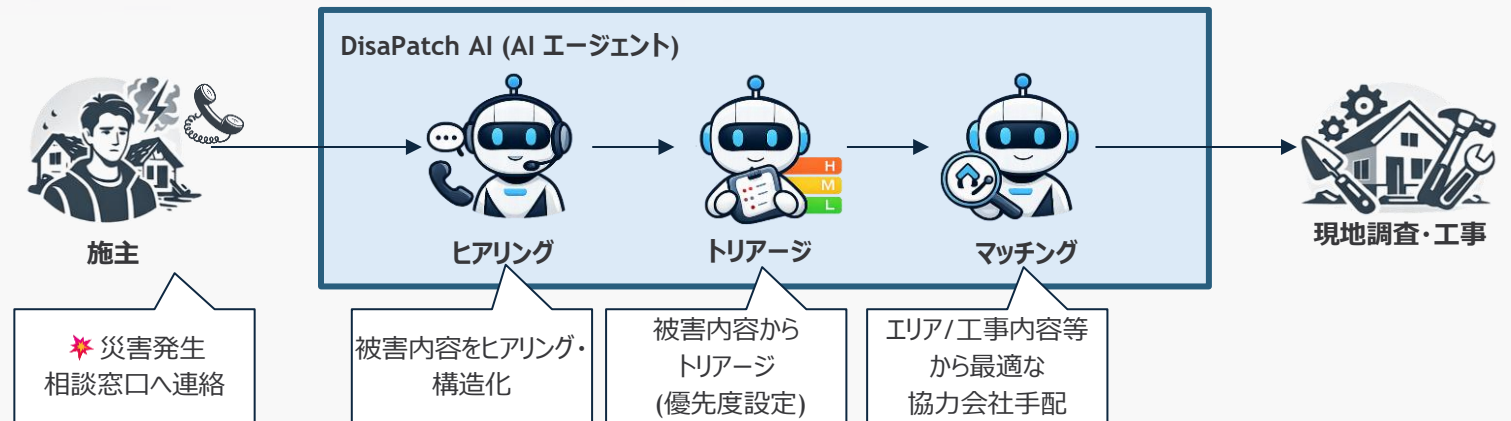
背景・課題

- 気候変動の影響により、台風や豪雨などの災害件数は年々増加しており、災害後の復旧に関する問い合わせが損害保険会社に集中している
- Local Works社は、保険会社から紹介を受けた施主からの工事依頼について、被害状況や工事内容をヒアリングし、協力会社の手配を行うことで、災害後の早期復旧を支援している
- 一方で、これらは熟練オペレーターの専門知識に依存しており、災害発生件数の増加や人手不足の影響から、十分な対応が困難になりつつある
- その結果、初動対応や業者手配に時間を要し、災害復旧までのリードタイムが長期化するという課題が顕在化

提案内容

nocall社のAI技術とLocal Works社の業界の専門知識を活用し、AIエージェントを用いて災害復旧に関する工事の問い合わせからの初動対応を行います。

これにより、施工の専門知識を持つオペレーターが必要なだったボトルネックを解消し、より多くの工事依頼に対応、早期の災害復旧に貢献します。





領域  
02

## 官公庁等における審査業務等の効率化

---

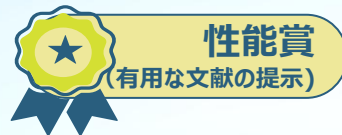
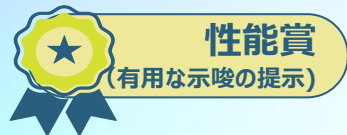
# 目次

社名	ページ
株式会社AIRI	136,137
ITS株式会社	138,139
Patentfield株式会社	140,141
アイリス株式会社	142
株式会社アラヤ社	143
株式会社ウッドペッカー	144
AI inside株式会社	145
株式会社ASU	146
合同会社L 2 F	147
株式会社エル・ティー・エス	148
合同会社大人検索	149
KIRIKO.tech株式会社	150
合同会社ギニーピッグ	151
光数株式会社	152
構知創研究合同会社	153
産業技術総合研究所	154
シナプス・ネット/京大言語メディア研	155
データ・トゥ・トランザクション合同会社	156
株式会社dele	157
東京大学松尾研LLMコミュニティ Aチーム	158
東京大学松尾研LLMコミュニティ Bチーム	159
西日本旅客鉄道株式会社	160
株式会社ネットスターズ	161
パテント・インテグレーション株式会社	162
ひふみ株式会社	163
株式会社HITS	164
株式会社ビズテック	165

社名	ページ
三菱総研DCS株式会社	166
株式会社 root ip	167
レッドインパルス株式会社	168
株式会社ワクテカデジタル	169

特別賞

株式会社AIRI



会社概要

当社は2007年より特許庁登録調査機関として、先行技術文献調査業務を継続して受託しています。現在は約300名の調査員と約30名の特許庁審査官経験者が在籍し、年間2万件以上の調査を実施しています。長年の実績により、審査官の視点に立った文献探索・説明のノウハウを蓄積してきました。また、これらの知見を活かし、AIを活用した特許検索の研究・応用を進めています。

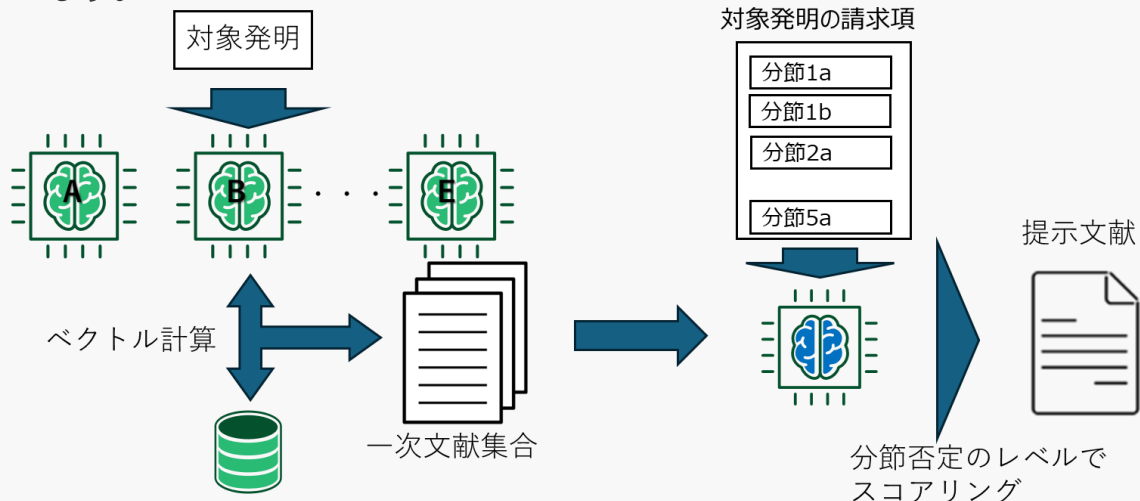
問い合わせ先

<https://www.airi-ip.com/>

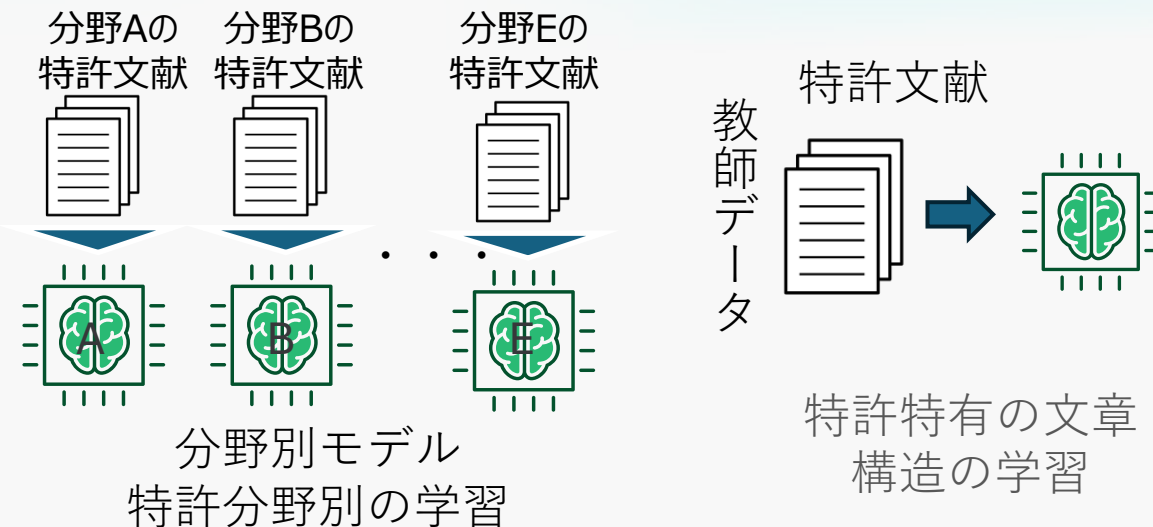
[airi-contact@airi-ip.com](mailto:airi-contact@airi-ip.com)

アプリケーションの全体構成

- Sentence BERTをベースにし、特許データを教師データに用いることによって、特許に特化した複数の埋め込みモデルを作成し、検索に使用しています。

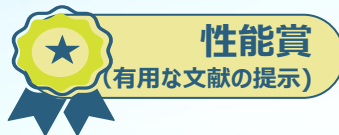
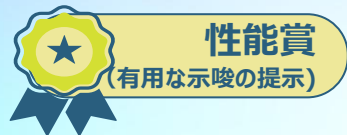


モデル概要



特別賞

株式会社AIRI



技術的優位性

- 文章ベクトル計算AIと分節評価生成AIを組み合わせた二段階処理方式を採用し、広範な文献抽出と精緻な評価を効率的に両立することで、高いコストパフォーマンスを実現。
- 特許分野ごとに学習させた複数のモデルを構築し、分野特性に応じて最適化。
- 高品質な教師データを用いたファインチューニングにより、特許特有の文書構造や表現に適合した高精度な解析を実現。
- 審査官や調査員の業務プロセスを踏まえ、請求項を分節単位で評価する仕組みを採用することで、実務に直結した高い業務支援効果を発揮。

横展開性

- 特許審査で使用方法が、
- 入札審査業務での応用した場合、効果が期待できる。

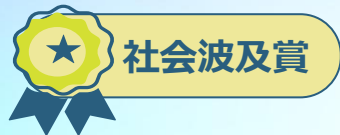
項目	特許調査	入札審査
モデルの分割	分野別	入札案件の技術分野
モデルの事前学習	各分野の特許文献	提案依頼書、提案書
ファインチューニング	特許文献による	採点基準と採点結果が良い案件の採点根拠となった提案書の箇所

導入メリット

- 特許調査業務の効率化と高度化を同時に実現。
- 先行技術文献（X文献）が存在する案件では、調査全体の所要時間を一桁程度短縮でき、限られた調査リソースをより多くの案件に活用可能となる。
- 検索式検討やスクリーニングをAIが支援することで、調査員は新規性・進歩性といった専門性と経験が求められる判断に注力できる。また、AIによる網羅的な検索や示唆に触れることによって、調査員の視野が広がり、技術分野に不慣れな調査員でも早期に調査力を高め、調査品質の底上げが期待できる。

特別賞

ITS株式会社



会社概要

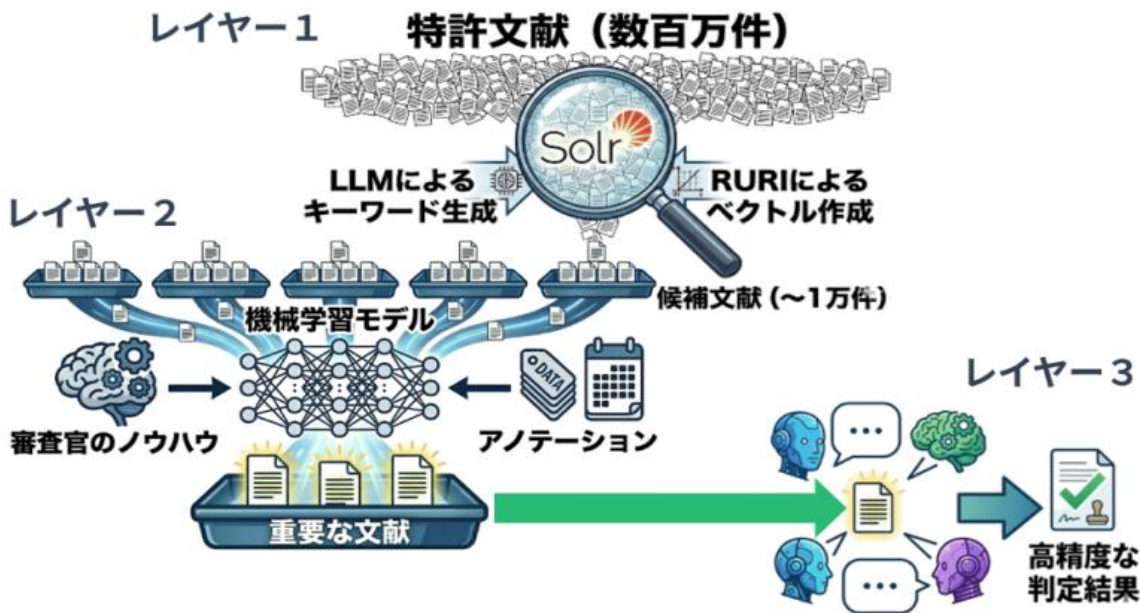
ITS株式会社は、検索サービスの開発・運用を専門とし、数千万～数億件規模の大規模検索や、ログ解析・機械学習を活用した検索品質改善に対応しています。検索エンジニアとして28年の経験と、Kaggle Grandmasterとして培った分析力・モデリング力を活かし、分散検索基盤、自然言語処理、意味検索、RAG活用まで一貫して対応し、高精度な情報検索システムを提供します。

問い合わせ先

<https://itsearch.jp>

[contact@itsearch.jp](mailto:contact@itsearch.jp)

アプリケーションの全体構成



モデル概要

独自の三層構成（レイヤー1: ベクトル×キーワードのハイブリッド検索、レイヤー2: 審査官の知識を学習した機械学習リランキング、レイヤー3: 複数LLMによる多角的解析）により、従来の情報検索技術では十分に捉えきれなかった論理構造や文脈まで踏まえた高精度な文書検索を実現しています。特に、複数のLLMを組み合わせるアンサンブル判定により、単一モデル特有の誤認（ハルシネーション）を抑制し、国産モデルを含む最適なモデルを適材適所で活用できる点が特徴です。

この三層アーキテクチャは、業務特有のロジックと汎用的な推論基盤を分離した標準化設計を採用しています。そのため、他の官公庁や民間企業のドキュメント審査業務にも、最小限のカスタマイズで迅速かつ低コストに展開できます。

特別賞

ITS株式会社

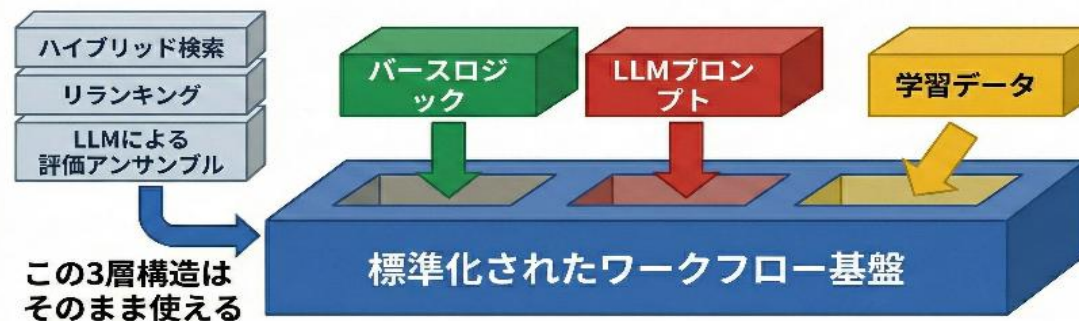


技術的優位性

- **多様なモデルの相互補完による精度向上**：日本語特化や汎用モデルなど特性の異なるLLMを組み合わせ、個々のバイアスや苦手を相殺することで、高精度と高い再現率を両立します。
- **大規模対応**：Apache Solrのシャーディングおよびレプリケーション機能を駆使し、数億ドキュメント級の大規模データに対しても高速なレスポンスと高可用性を両立しています。
- **業務フィードバックを活用した継続改善**：審査業務における判定結果など、日々の業務から得られるフィードバックを学習データとして活用することで、継続的な精度改善が期待できます。

横展開性

**標準化されたワークフロー基盤**：異なる業務へ適用する場合でも、大規模な開発は不要です。多くのモジュールは標準化されており、「(入力データのパーズ処理やLLMのプロンプト、学習に利用する教師データなどの)業務に依存する部分」を差し替えるだけで利用可能になります。



導入メリット

- **柔軟性**：各モジュールで使用するリソースを個別かつ柔軟に設定できます。これにより、予算や必要な精度に応じた最適化が設定変更のみで最適な構成に調整できます。
- また、クラウド環境・オンプレミス環境のいずれにも導入でき、要件に応じた構成が可能です。

**共通基盤利用によるコストの圧縮**：本製品の三層ワークフローと標準コンポーネントを流用することで、追加開発が必要な領域を大幅に削減できます。

特別賞

# Patentfield株式会社



会社概要

Patentfieldは、8,000万件超の特許データを生成AIで構造化・要約し、専門的な調査業務を最大80%効率化する『AI特許総合検索・分析プラットフォーム』を提供しています。「特許を読むから見るへ」を掲げ、生成AI查読機能「Patentfield AIR」等を通じ、知財戦略と研究開発を強力に支援します。

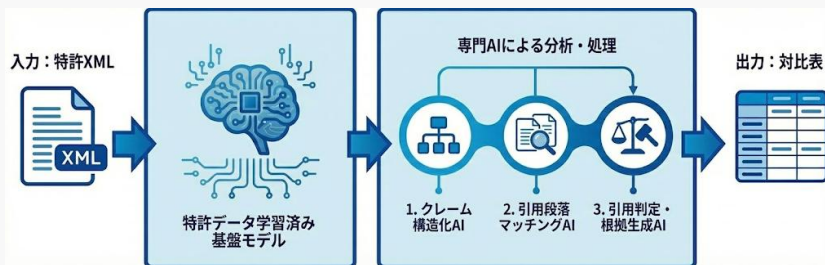
問い合わせ先

<https://patentfield.com>

[contact@patentfield.com](mailto:contact@patentfield.com)

アプリケーションの全体構成

- 特許審査の「思考プロセス」を再現するAIアシスタント
- 審査官の業務負荷を軽減するため、単なるキーワード検索ではなく、審査官の思考プロセス（クレームの構造化→証拠の探索→対比判断）を再現する生成AIシステムを開発しました。
- アップロードされた特許の「請求項（クレーム）」を自動的に構成要件（物質名、数値範囲等）に構造化します。各構成要件に対応する先行技術文献を探索し、一致・不一致の判定とその根拠を対比表形式で出力します。



モデル概要

- 特許実務に特化した「専門家LLM」の構築  
汎用LLMではなく、Qwen3シリーズおよび国産言語モデルllm-jp-modernbertをベースに、特許公報・審査基準・拒絶理由通知等のデータ（約1,000億トークン超）で継続事前学習を行った基盤モデルを採用しました。
- 「指示不要」のプロンプトレス推論  
タスク特化型SFT（教師あり微調整）により、データを入力するだけで指示文（プロンプト）なしで安定した判定結果と根拠を出力します。
- 完全ローカルなAI構成  
外部の生成AIサービス（API）を一切使用せず、未公開の機微な技術情報が海外サーバーに送信されるリスクを排除します。

特別賞

# Patentfield株式会社



## 技術的優位性

- **特許特化基盤モデル**
- 1,000億トークン超の特許専門データで継続事前学習。特許特有の構文・技術概念をコア知識として定着。
- **審査実務に即したSFTモデル群**
- タスク特化の教師あり学習により、プロンプト不要で高精度な判定を実現。汎用LLMと異なり、指示文の品質に左右されません。
- **対照学習による精度の大幅向上**
- 過去の審査実例の対照学習により、引用段落再現率が42%→70%へ向上。審査官の引用判断を再現する高精度な探索を実現しました。

## 横展開性

- **パラメータ抽出AIの展開**
- 特許請求項から数値範囲を抽出する技術を、医薬品承認審査（有効成分量の基準値比較）や化学物質規制（含有率の自動チェック）に応用可能。
- **構成要素分解・探索AIの展開**
- 複雑な文章を意味のまとまりに分解し、関連文書を探す技術は、法令・判例調査や契約書レビューなど法務全般に適用可能です。

## 導入メリット

- **審査品質の均質化**
- AIが客観的な根拠を提示することで、審査官の経験への依存を低減し、審査品質の均質化を実現します。
- **調査コストの低減**
- 特許庁の先行技術文献調査の一部をAIで効率化し、スクリーニングの人的コストを削減します。
- **安全かつ持続可能なAI基盤**
- 完全ローカル構成により、海外への技術情報漏洩リスクを低減。第三者の仕様変更に依存せず、永続的かつ自律的に運用・改善が可能です。

# アイリス株式会社

## 会社概要

アイリス株式会社は、AI技術を用いた医療機器の開発・製造・販売を行うDeep Techスタートアップです。AIが咽喉頭画像を解析しインフルエンザ、新型コロナを判定できるAI医療機器を開発しています。

強みは、世界トップレベルのAI技術者による開発力、50万枚以上の希少な咽喉頭画像データベース、そして日本初のAI医療機器承認・保険適用を実現した薬事規制への対応力です。これらを強みに、次世代のAI医療機器の開発を推進しています。

問い合わせ先



## 背景・課題

本提案は、プロンプト最適化(GEPA)と強化学習(GRPO)で強化された国産基盤モデルを活用し、特許審査業務を高度に自動化するエージェントシステムです。

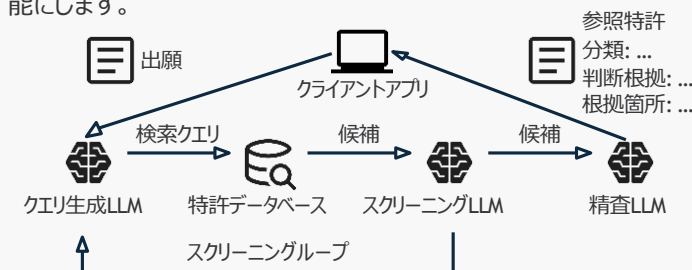
最大の特徴は、業務フローを「検索・スクリーニング・精査」の3タスクに分解し、各特性に合わせてGEPAとGRPOによるチューニングを施した点です。3つの独立したモデルが協調動作することで、調査の取りこぼしと誤検出を最小化します。

本システムは、膨大な調査工数の削減と判断精度の均質化を同時に達成し、属人化を排した高度な知財ガバナンスの構築を実現します。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

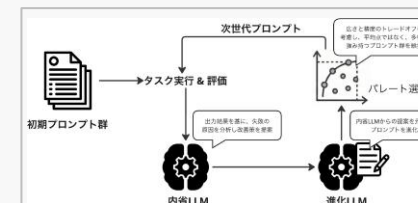
- 本アプリは、以下の3つの連携パートで構成されています。
1. クエリ生成: 出願内容を分析し、特許データベース(Elasticsearch)を効果的に検索するための最適化されたクエリを自動生成
  2. 候補スクリーニング: 検索結果から、参照すべき先行特許の候補を選別
  3. 上記1-2を反復実行し、蓄積された候補に対して新規性/進歩性の判定と判定根拠の精査を行い、信頼度の高い結果を出力  
それぞれのパートに特化してチューニングされたLLMを配置することで、高い網羅性と適合率を両立した、高品質な審査業務の自動化を可能にします。



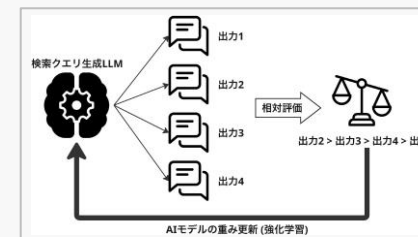
## モデル概要

利用基盤モデル: openai/gpt-oss-20b

### GEPA



### GRPO



# 株式会社アラヤ社

## 会社概要

アラヤは神経科学の知見とAI技術を融合し、産業の自動化と人間の能力拡張を目指す研究開発型企业です。生成AI・LLMの活用に加え、モデルの軽量化や少データ学習に強みを保有。内閣府ムーンショット等の高度なR&D実績を活かし、複雑な審査業務の効率化と高度化に貢献します。

問い合わせ先



## 提案概要

AWSの自動拡張基盤により、大規模解析の並列実行とコスト最小化を両立するシステムです。

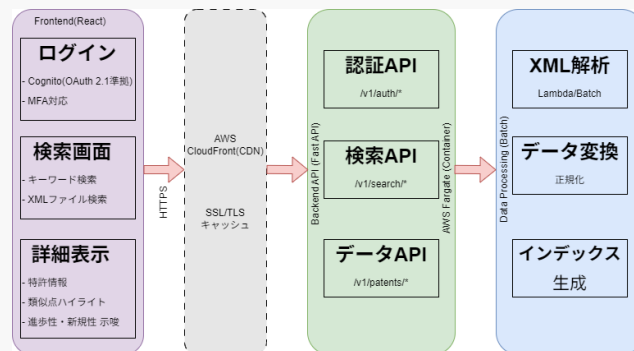
即時検索とXML全文の詳細分析を使い分け、LLMが「判断根拠」や「構成要件の対比」を提示します。

検索結果の羅列ではなく、AIが意思決定を論理的に支えることで、審査業務の高度化と効率化を実現します。

## アプリケーション内容

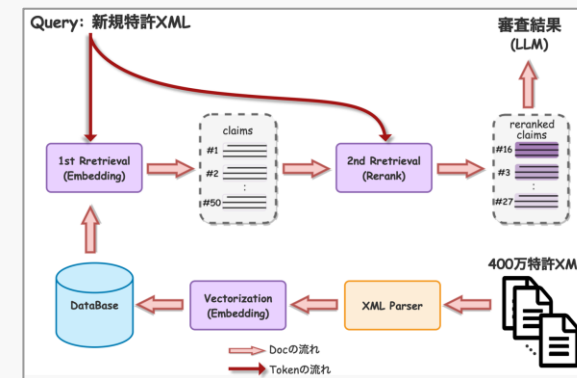
### アプリケーションの概要

利用量に応じて計算能力を自動で増減させることで、400万件規模の解析など数十時間を要する処理でもシステムを占有しません。他の業務を止めず、複数の調査案件を同時に並行して進めることが可能です。



### モデル概要

FAISSインデックス+Elasticsearch + Sentence-BERT によるハイブリッド検索とクロスエンコーダを用いた精細なセマンティック・リランキング検索からなる2段階のRAGアーキテクチャを採用し、特許特有の微細な差異を高精度に識別します。



# 株式会社ウッドペッカー

## 会社概要

1997年創業、企業向けITシステムの開発を提供してきました。主にWEBアプリ開発、制御系開発、DX推進を事業を展開しています。DXの推進を主に中小零細企業へサポートし、顧客にニーズを的確に捉える事を得意とし、さらにAIやシステム開発といった技術を活用し、企業向けの業務改善システム構築、自動化ツールなどの多くの実績がございます。

問い合わせ先



## 提案概要

特許審査官の調査業務を代行する「3段階精査」のシステムです。400万件の膨大な文献から、審査の決定打となる「拒絶根拠文献」を、AIが多角的に検証し、最終候補10件以内に絞り込んで提示します。

### 【調査時間の大幅短縮】

膨大な文献から関連文献を自動で絞り込み、審査官の調査負担を軽減。AI特有の「読み飛ばし」や「偏り」を防ぐ**独自の多角的チェック技術**（※）により、限られた表示件数の中に重要文献を確実に含めます。  
※絞り込み対象の一覧の順番による評価の偏りを防ぐため、複数パターンの順位で評価し、総合的に判断

### 【審査実務の負担減（ドラフト作成支援）】

単なる検索結果の羅列ではなく、「なぜその文献が拒絶理由になるか」という論理構成案まで自然な日本語で作成し、審査官の執筆業務を大幅に軽減します。

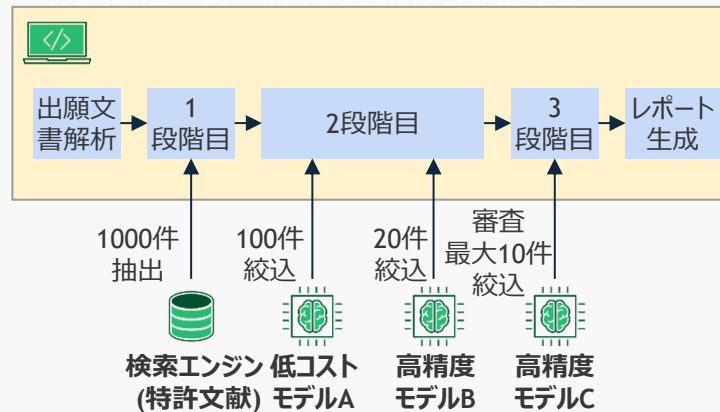
### 【低コスト運用と他業務への応用】

処理の難易度に応じてAIモデルを賢く使い分けることでコストを抑制。特許以外の法令・商標調査など、類似の「照合業務」へも容易に転用可能です。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

本アプリケーションは、特許審査官の先行技術調査を支援するAIシステムです。特徴として3段階での絞り込みを実施し、それぞれの段階に応じたモデルを使い分け、コストと精度を両立しています。



### モデル概要

絞り込みの段階に応じたモデルを使用

【1段階目】  
検索エンジンによるキーワード検索のため、未使用

【2段階目】  
GPT-5-mini・・・1000件から100件の絞り込み

GPT-5・・・100件から20件の絞り込み

【3段階目】  
Claude Sonnet 4.5

※(例) ファインチューニング、プロンプト設計など

# AI inside株式会社

## 会社概要

「AIで、人類の進化と人々の幸福に貢献する」というPurposeのもと、独自開発LLM「PolySphere」をはじめとするAIモデルを開発。AIエージェント搭載の「DX Suite」で帳票・紙文書を高精度にデジタルデータ化し、前後工程も含めて自動化を実現。さらに「Leapnet」により、企業の自社データ活用を支援します。

問い合わせ先



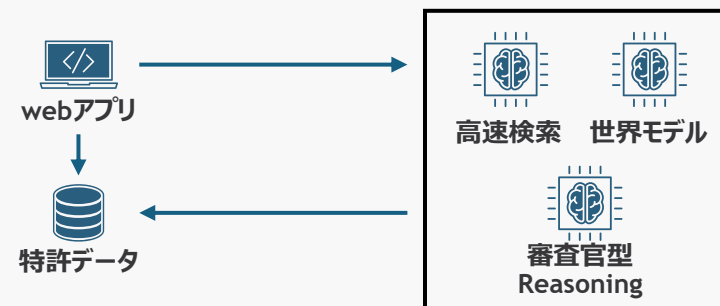
## 提案概要

我々の次世代特許審査AIエージェントは、2つのアプローチ統合と三層アーキテクチャにより、「探索→照合→推論」という審査プロセスそのものを再定義します。  
AIと人が互いに**学び合う共進化UX**を実現し、AIは単なる自動化ツールではなく、推論・提案を担うパートナーへ進化します。  
これにより、**審査品質の平準化、判断根拠の透明化、業務効率化**を同時に実現し、**新人育成の高速化や、熟練者の知識を組織的に蓄積・更新する知能基盤**が構築されます。  
こうして形成される「**審査OS**」は、特許分野に留まらず、契約レビューや医療判断支援など、多様な知識集約型業務への横展開を可能にします。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

本システムは、特許審査を再定義する次世代AIエージェントで、先行技術調査やレポート作成をチャット形式で実行します。  
三層アーキテクチャにより高速探索・多軸推論・進歩性推定を実現し、AIを推論パートナーへ進化させます。**AIが知識を提示し審査官が指導する“共進化ループ”**と、文書の多軸構造化による審査官の思考のモデル化で、審査品質を組織的に向上させます。



### モデル概要

本システムは、複雑な文書を理解し多面的に分析するため、Qwen3などのモデルを複数組み合わせた構成を採用しています。文書から重要情報を抽出し、意味的・構造的な観点を踏まえて関連性を評価できる点が特長です。また、段階的に推論を行う仕組みにより、内容整理から比較・判断までを一貫して支援し、幅広い審査業務に適用可能な柔軟性を備えています。また、以下のようなモデルを構築し、活用しています。



# 株式会社ASU

## 会社概要

株式会社ASUは、知財・法務分野に特化した業務支援システムの開発・販売・サポートを行っています。  
 1998年創業以来28年間、企業知財部、国立研究開発法人、特許事務所様向システム開発・導入・ソリューション事業を提供しています。  
 資本金5000万、東京・大阪・中国 (オフショア拠点)。FUJITSUパートナー、パナソニック ソリューションテクノロジー、フューチャーアーキテクト社代理店。  
 【実績】企業知財部様/JAXA、NARO、QST等国立研究開発法人様: 約150社 特許事務所様: 約400所

問い合わせ先

<https://www.asu.co.jp/>

[asusolution@asu.co.jp](mailto:asusolution@asu.co.jp)

## 提案概要

当プロトタイプ\*1は、特許庁審査官の審査プロセス\*2をそのまま再現し支援する審査特化AIです。

400万件の特許庁XMLを知識基盤化し、審査対象の本願発明に対するX文献・Y文献を抽出し、判断根拠の提示を行います。

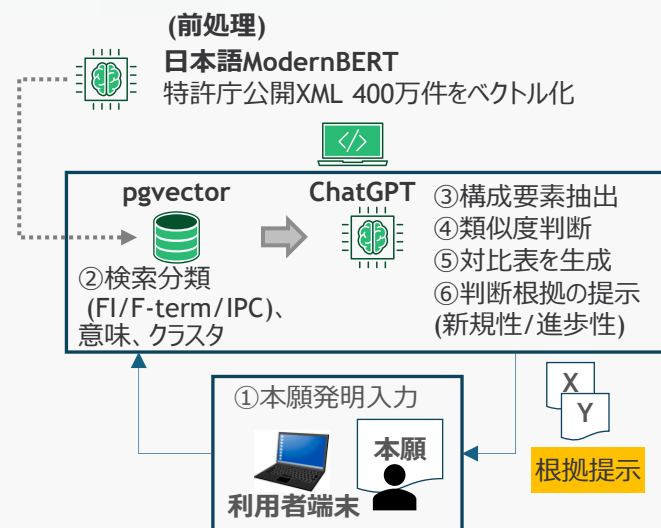
LLMに単純にまかせるのではなく、ブーリアン検索との組み合わせ、構成要素単位に比較を行う等、本プロトタイプならではのアルゴリズムを搭載しています。

\*1当社ソリューション、スクリーニング・査読支援AI「Aicrea」をベースに開発しております。

\*2 審査プロセス: 発明理解 → 先行文献探索 → 構成要件対比 → 新規性/進歩性判断

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要



### モデル概要

- 利用する基盤モデル
  - 日本語ModernBERT (Embedding) 特許庁公開XMLをベクトル化 (意味検索)
  - ChatGPT (LLM) <概要図内②③④⑤⑥> 対比結果から一致/差分/判断論点を生成
- 学習方法
  - 構成要素抽出についてはプロンプト設計により審査官の判断構造を再現
  - 【今後】Embeddingモデル及びLLMのファインチューニングを実施していく。
- 検索データベース
  - Pgvector (Vector DB) 文献単位ではなく「構成要件単位」での高密度検索
- 利用するインフラ基盤
  - 富士通クラウドサービス FJcloud-Vで提供可能 (顧客希望によりクラウド/オンプレの切替が可能)

# 合同会社L2F社

## 会社概要

弊社は、人工知能の研究を基盤に、深層学習・強化学習・生成AIなどの先端技術を活用したAIソリューションを提供する企業です。産業向けに画像解析・行動予測・自律制御システムの開発を手がけ、研究開発から実運用まで一貫して支援しております。

問い合わせ先



## 背景・課題

本提案では、膨大な特許文献を高速かつ高精度に検索できるAI特許検索アプリケーションを開発しました。

特許ドメインに特化して学習した専用ベクトルモデルを構築し、

- ・ 関連特許の高精度検索
- ・ 特許文献中の該当箇所（請求項、発明の効果、課題等）の自動抽出を実現しています。

これにより、従来は手作業で行っていた調査作業の大幅な工数削減と、検索品質のばらつき解消に貢献します。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

本アプリケーションは、アップロードしたPDFから関連特許を検索・要約する調査支援ツールです。処理は以下の流れで行います。

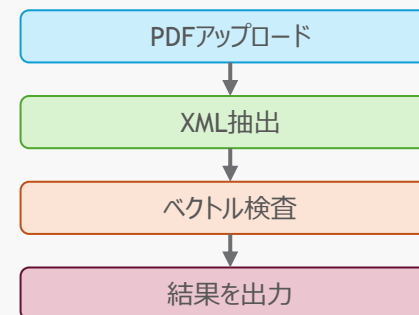
- ・ **チャンキング:** 文書を論理単位に自動分割
- ・ **ベクトル化:** 特許専用モデルで特徴量へ変換
- ・ **検索:** 類似する特許を高速に検索
- ・ **抽出・要約:** 該当箇所を抽出し、要点を生成

これにより、関連特許を効率よく発見し、調査工数を大幅に削減します。

### モデル概要

本アプリケーションでは、特許領域に特化したベクトルモデルにより高速な類似検索を実現します。

当該モデルは特許データを用いて追加学習を行い、特許特有の語彙・表現、IPC/FI の分類構造を反映することで、一般的なモデルでは困難な意味的な類似性の高精度な把握を可能にしています。



# 株式会社エル・ティー・エス

## 会社概要

- プロフェッショナルサービスとプラットフォーム事業を中核とした国内外企業への包括的なDX支援を推進
- 10年以上のAI支援実績と、RAGやファインチューニング等、生成AIに関する豊富な実務経験を保有
- フルスクラッチLLM開発やAIOポテックスなど、先端的なプロジェクト実績あり

問い合わせ先



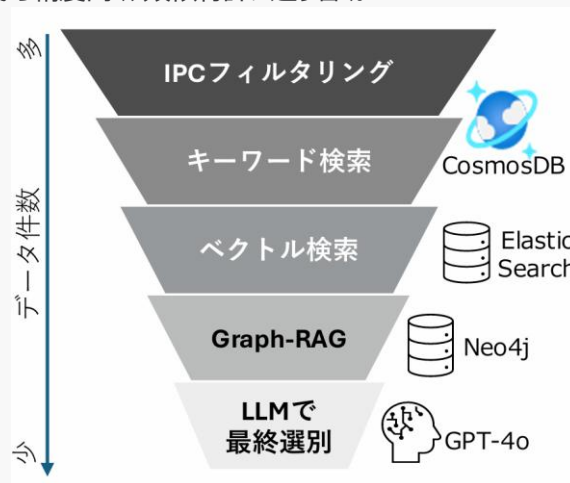
## 背景・課題

1. メタデータ+キーワード絞り込み、ハイブリッド検索、GraphRAG を組み合わせた抜け漏れのない検索により、**大規模データに対しても高精度な提案が可能**
2. 多くの官公庁や企業で導入されているMicrosoft (Azure) 環境を中心としたクラウドアーキテクチャ設計により、**導入容易性とセキュアな運用を担保**
3. 業務データによる個別のLLMファインチューニングが不要で、学習用の計算リソースも必要としないため、**低コストで横展開が可能**

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

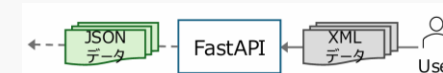
粗いフィルターから細かいフィルターへ段階的に濾過することで、膨大なデータから精度高く、類似特許に辿り着く。



### モデル概要

- 利用モデル: Azure OpenAI Service (GPT-4o、text-embedding-3-large)

1. XML を後続処理しやすい JSON 形式へ正規化



2. 新規入力のみを逐次ベクトル化することで、全データの一括前処理が不要。処理を回すほどベクトルDBが蓄積され、検索速度が向上。



1. 必要データのみ逐次グラフ化し、初期の前処理コストを最小化。



# 合同会社大人検索

## 会社概要

情報検索の専門性を核とし、検索・レコメンドシステムの開発・改善を行う筑波大学発ベンチャー。クライアントの課題に応じて、要件定義からシステム設計、実装、評価、運用まで一貫して担う。JSTなどの公的機関からも、生成AIを活用した検索サービスの実現に関する案件を受託している。

問い合わせ先

<https://otonakensaku.co.jp/>



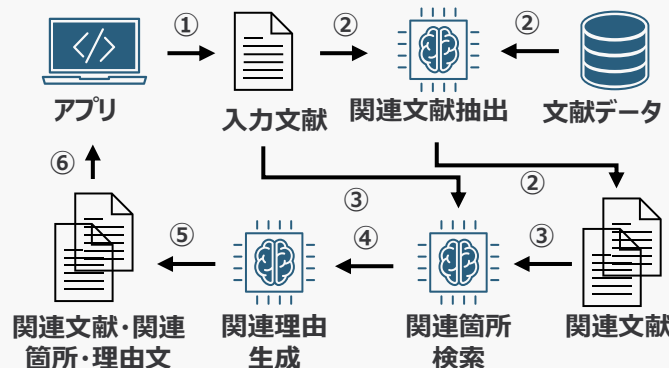
## 提案概要

ハイブリッド検索と複数のリランキング手法を組み合わせた検索パイプラインにより、数百万件規模の文献から入力文献と関連性の高い文献を自動提示する特許審査支援システムを提案する。軽量の処理で候補を絞り込み、必要な段階でのみ高コストなモデルを適用することで、検索速度と精度を両立する。抽出文献に対しては関連箇所を特定し、その箇所をLLMに投入して関連理由文を生成することで、「どの文献の、どの部分が、なぜ関連するか」を明示する。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

XML形式での文献入力から、4段階の検索パイプラインによる関連文献抽出、関連箇所検索、LLMによる関連理由生成までを一気通貫で実行し、単一の画面上で関連文献・関連箇所・理由文を提示する。



### モデル概要

4段階の検索パイプラインでは、BM25とruri-v3によるハイブリッド検索、ruri-v3-rerankerによるPointwise Reranker、GPTを用いたListwise Reranker、LightGBMによるLearning-to-Rankを組み合わせる。関連箇所検索にはruri-v3とGPT、関連理由の生成にはGPTとPLaMoを用いる。学習は文献データセットから抽出・前処理したテキストを用い、入力文献と関連文献例のセットからなる正解データを教師信号として、検索およびリランキングモデルの精度向上を図る。

# KIRIKO.tech株式会社

## 会社概要

当社は、生成AIとノーコードツールを組み合わせた業務効率化・自動化の設計を強みとし、高度な判断を伴う業務プロセスの省力化に取り組んでいます。また、現場に定着する実践的AI研修も提供し、継続的な運用改善まで支援します。

問い合わせ先



## 提案概要

- **提案タイトル:** 官公庁審査業務支援システム「GENIAC-Patent AI」
- **概要:** 国産LLM「Shisa-v2-70B」とRAG技術を融合し、特許審査業務をタスクレベルに分解することで高度に支援するAIエージェント。
- **解決する課題:** 審査官の業務負荷軽減 (調査時間の短縮)、属人化の解消、審査品質の均質化。
- **業務改善:** 先行技術調査にかかる時間の削減 [目標: 70%削減]。拒絶理由通知書の起案時間の削減 [目標: 50%削減]。
- **独自アプローチ:** 横展開可能な「審査業務全体の処理」のワークフローを構築したエージェント機能。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

#### 構成:

- UI: 審査官が自然言語で対話できるチャットインターフェース。
- 発明理解: 技術の理解ための検索機能。
- 特許検索: OpenSearchによるハイブリッド検索 (キーワード + ベクトル)。
- 生成: 履歴を根拠とした許可/拒絶の理由草案の自動生成。

#### 強み:

- 本システムは「意思決定に必要な材料と論理を最短距離で整える」という設計思想を貫いている。この「人間とAIの協調型アーキテクチャ」は、特許庁の業務効率化に留まらず、日本中の高度な専門判断を必要とする組織において、「品質の均一化」と「生産性向上」を同時にもたらす業務基盤となる。
- 拡張可能機能: ログイン機能、APIによる外部特許検索、論文検索

### モデル概要

- **使用LLM:** Shisa-v2-70B (国産/日本語特化モデル)

#### 選定理由:

- 日本語の特許文書 (専門用語、長文、独特な言い回し) に対する高い理解力。
- 商用利用可能なオープンモデルであり、オンプレミス/プライベートクラウドでの運用に最適。

#### 学習/処理:

- RAG (Retrieval-Augmented Generation): RAGを採用することで、常に最新の特許データを反映可能にし、再学習コストを削減。
- データ前処理: 80GBの特許XMLデータを対象にした抽出/チャンキング/ベクトル化のパイプラインはスケルトンを実装。

# 合同会社ギニーピッグ

## 会社概要

合同会社ギニーピッグは、Webサービスの開発・運営を行う会社です。セキュリティを備えたWebサービスの迅速な開発に強みがあります。最新技術をキャッチアップして、2021年からは度々AI関連のプロジェクトを手がけています。2024年には、米国AMD社主催のAIコンペティションにてファイナリストに選出され、サンフランシスコのイベントに招待されました。

問い合わせ先

<https://www.guinea-pig.co/>



## 背景・課題

特許審査業務の効率化と高度化を実現するAIエージェントシステムです。  
AIが大量の文献から類似文献を探索し、その根拠を提示することで、特許審査における調査時間の短縮と審査品質の向上に貢献します

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要



人間にとっても直感的に扱えるWeb UIにより、通常のキーワード検索や意味検索による類似文献の検索といったツールを提供します



上記ツールを操作できるAIを備え、AIが類似文献を自動で調査し、AIが一致根拠の解説まで行います



アプリケーションはポータブルな構成で、オンプレミス環境への導入も容易です

### モデル概要

**Ruri v3**  
(名古屋大学大学院の高性能埋め込みモデル)  
大量のデータから類似文献の検索を行ったり、1つの長文データから類似部分を抜き出したりといった処理を行っています

**Ruri v3 Reranker**  
上記Ruri v3による検索結果を受けて、それらを類似順に並べ替える処理を行っています


**GPT-OSS (OpenAI)**  
人間とのチャットでのやり取りや、AIによるツールの実行、さらには文献や検索結果についての解説などを可能にしています  
ChatGPTで有名なOpenAI製のAIではありますが、自社管理の環境で動かすモデルを使用しているため、チャット内容等が他社に渡るものではありません

# 光数株式会社

## 会社概要

当社は 2024 年10月に東京都港区で創業し、生成 AI と検索技術を活用した業務効率化システムの開発を行っています。創業者は長年にわたり、大規模サービスのアーキテクチャ設計および運用を主導してきた経験を有し、高負荷環境での安定運用、大規模データ処理基盤、検索システムの構築に高い専門性を持っています。

問い合わせ先

 <https://ai.wdx.jp>

 [ai@wdx.jp](mailto:ai@wdx.jp)

## 提案概要

本提案では、自社が開発した日本語文書特化の国産 AI モデルを基盤とし、特許審査における関連公報検索や技術要点抽出を効率化する支援システムを構築します。膨大な日本語公報データを高精度に分析し、審査官が確認すべき文献を自動抽出し、調査負荷の軽減と判断の質の向上を図ります。また、特許分類・技術課題・実施形態などの構造化理解に基づく各種補助機能を提供し、審査プロセス全体の効率化に貢献します。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

本アプリケーションは、当社が開発した日本語文書特化の国産 AIモデルを基盤とし、特許公報の理解・検索・比較を一体で支援する審査補助ツールです。公報データを構造的に解析し、審査対象の請求項内容に応じて関連性の高い文献を提示するとともに、技術的特徴や相違点の整理を支援します。

### モデル概要

本モデルは、日本語文書の構造的特徴に最適化することを目的に、適切にライセンスされたデータおよび公開利用が認められたコーパスで学習した日本語文書特化型モデルです。埋め込みモデルが文書を高精度にベクトル化し、再ランキングモデルが候補文献を精密に評価します。さらに、生成 AI (LLM) が請求項の要点整理や比較ポイント提示を行うことで、審査に必要な情報を簡潔に提示します。



モデル



データ



アプリ

# 構知創研合同会社

## 会社概要

日本の自動車メーカーの知的財産部門において、知的財産およびデータサイエンス、機械学習の業務経験をバックグラウンドにして独立し、現在、知的財産業務のAI化のコンサルおよびシステムの実装まで幅広くサービスを提供しております。知的財産×AI×システムの知識と経験がサービスの強みとしております。

問い合わせ先



## 提案概要

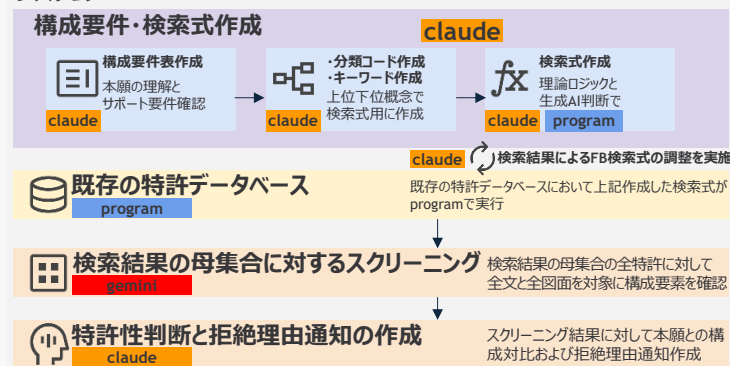
- 提案概要**  
 従来の審査の考え方に従って出願の明細書をinputにして全自動で審査業務が実施され拒絶理由通知を含めて出力
- 提供価値**  
 従来の審査業務のフローに沿って生成AIによる自動化のシステムが設計され、既存のデータベースや業務フローの変更は最小限生成AIの進化、審査官の経験を容易にシステムに反映できる

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

- アプリの概要**  
 従来の審査業務のフローが適用され既存のデータベースと審査官の経験が生かされます。
- 例: ファインチューニング、プロンプト設計などを記

### システム



### モデル概要

- 生成AIモデル (LLM) の利用**
  - Claude** (公式の更新に従って最新モデルを適用)
    - 知的財産的な観点の判断に適用  
例: 構成分割、検索式作成、特許性判断など
    - パラメータの調整  
温度などハルシネーションを抑えるため複数のパラメータのチューニングが実施
  - Gemini** (公式の更新に従って最新モデルを適用)
    - 検索結果の母集合に対するスクリーニングに適用各構成要素に対して検索結果の母集合の全特許が前記構成要素と一致する箇所の有無を確認
    - パラメータの調整  
温度などハルシネーションを抑えるため複数のパラメータのチューニングを実施

# 産業技術総合研究所 人工知能研究センター

## 会社概要

産業技術総合研究所 人工知能研究センターは現実世界で利用可能なAI技術開発と産学官の連携を推進する国内初の国立大規模AI研究拠点として2015年に設立。言語・画像・音声などの基盤モデルから医療・ロボット・ヘルスケア応用まで幅広い研究開発、国際標準化を推進。

問い合わせ先



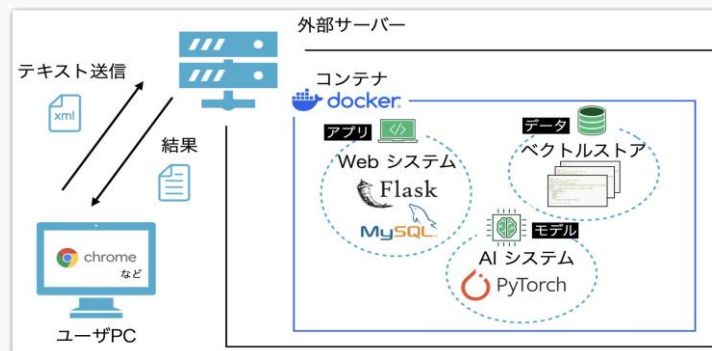
## 背景・課題

本提案は、類似特許文書の検索と説明生成を行うAIアプリの開発を目的としました。Webブラウザを通じて特許XMLファイルとプロンプトを受け取り、Docker上でFlask・MySQL・PyTorchを活用し、履歴管理や一致箇所表示、判断根拠提示を実現しました。SentenceTransformerとFAISSによる類似度検索、Swallowによる言語生成を組み合わせ、関連特許の抽出と説明を自動化しました。導入効果として、検索時間を削減し、特許審査業務の負担を軽減させます。

## アプリケーション内容

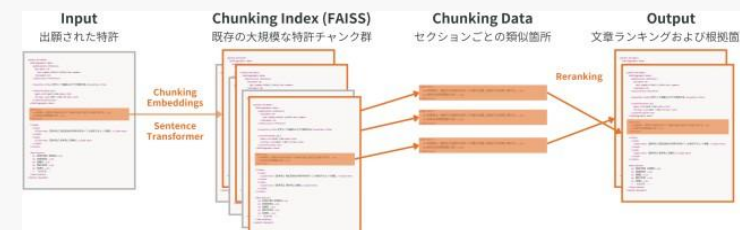
### アプリケーションの概要

Webアプリとして動作し、特許文書XMLファイルと入力プロンプトをブラウザを通じて外部サーバーで処理。Docker上でFlask・MySQL・PyTorchを統合し、履歴管理や情報探索、一致箇所表示、判断根拠出力、説明文生成を実現するAIアプリ。



### モデル概要

特許データセット群から概要を抽出し、SentenceTransformerによるEmbeddingを行った後にChunking Index(FAISS)を作成。入力された特許データから同様に概要を抽出しEmbedding後、類似度を比較。類似度の高い特許と再度Chunkingによる比較を行い、一致箇所を提示。また、Swallowによる類似箇所要約・説明文章生成を実施。



# シナプス・ネット/京大言語メディア研

## 会社概要

シナプス・ネットは特許文献の翻訳も大量に取り扱う日本最大規模の翻訳会社であるサン・フレアの子会社であり、特許文献そのものに関する知識が豊富にある。これらの知識をもとに特許文献の解析に最適な方法の提案などが行える。京大言語メディア研は自然言語処理分野における最先端の研究を行う研究室の一つであり、これまでに蓄積された多くの知見は本事業にとって強力な武器となる。

問い合わせ先



## 提案概要

特許審査業務には、発明内容の把握、既存文献の探索、新規性判断、拒絶理由通知の作成など多様なプロセスが存在するが、なかでも最もボトルネックとなっているのは「探索」ステップである。探索が完了しない限り次の工程に進むことができないため、このステップの効率化は審査全体の生産性向上に直結する。

本提案では、探索を大幅に改善するために以下を導入する。

①従来のキーワードベースの検索精度を維持しつつ、ベクトル検索による意味類似性を加味することで、より網羅性・精度の高い検索を可能にする。

②単一の請求項ではなく、関連する複数の請求項をまとめて解析し、検索クエリを精緻化することで、適切な先行技術文献を効率的に抽出する。

③技術領域の知識が不十分でも効率的に探索を進められるよう、AIが適切な検索語を提示し、審査官をサポートする。

これらにより、探索精度の向上と時間短縮を同時に達成し、審査全体の業務効率化に寄与する。また、これらの技術は特許文献以外の審査対象にも応用可能で、横展開も期待できる。

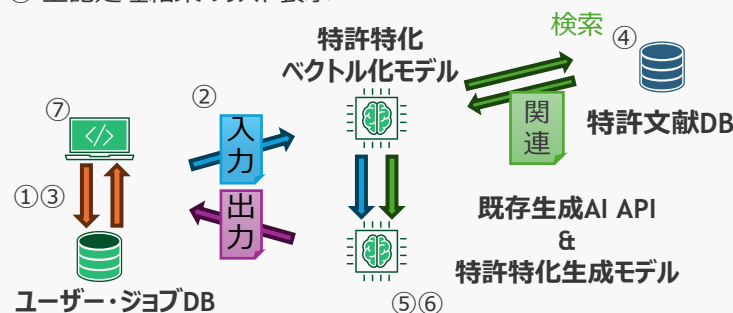
なお基盤モデルには既存の生成AIのAPI等を用いつつ、特許文献に特化した独自モデルも活用し、より高精度な検索環境を実現する。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

プロトタイプアプリケーションは以下の機能を有する。

- ① 最低限のユーザー管理
- ② 出願内容が記載されたXML形式の入力の受付・解析
- ③ 入力された出願を単位としたジョブ管理
- ④ 入力の各請求項に関連する文献の検索
- ⑤ 入力された出願と関連文献の対応する箇所の同定
- ⑥ 上記箇所が関連していると判断した根拠の生成
- ⑦ 上記処理結果のリスト表示



### モデル概要

- mmBERT (<https://arxiv.org/abs/2509.06888>)
  - 日米の大規模特許文献データを用いてmmBERTを継続訓練した独自の特許文献特化モデルを利用して特許文献をベクトル化
- bge-reranker-v2-m3 (<https://huggingface.co/BAAI/bge-reranker-v2-m3>)
  - 既存のモデルをそのまま利用し、検索結果をリランキング
- Qwen3-Next-80B-A3B (<https://huggingface.co/collections/Qwen/qwen3-next>)
  - 以下のように拒絶理由通知を学習データとして利用し、関連箇所の判断根拠の生成に利用



# データ・トゥ・トランザクション合同会社

## 会社概要

AIサービスの開発を行っています。  
データ開発から実装、性能評価、性能改善まで自社で一貫した開発を行えるのが強みです。  
特に、データの品質管理と設計を徹底し、高効率、高性能なAIサービスを提供します。

問い合わせ先

<https://data2tx.com/>

[info@data2tx.com](mailto:info@data2tx.com)

## 背景・課題

SPLADE検索とLLMを組み合わせた RAGシステムを提供します。(RAG: Retrieval Augmented Generation、検索拡張生成)通常、LLM単体で特許検索を行うと、ハルシネーション(誤情報生成)により正確な特許文献の特定ができません。そこで本システムでは、SPLADE検索で関連特許文献を高精度に取得し、その検索結果をもとにLLMが公知例判定を行う2段階構成を採用しています。これにより、正確な文献特定と的確な判定文生成の両立を実現します。

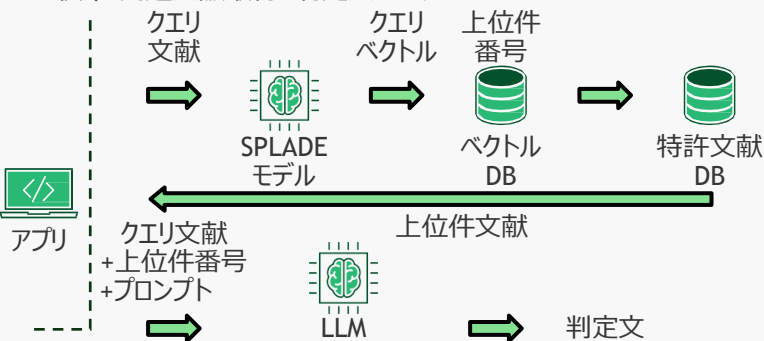
## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

事前処理:400万件の特許をベクトル化



RAG検索:関連文献取得と判定文生成



### モデル概要

- LLMモデル Claude Sonnet 4.5
- SPLADEモデル hotchpotch/ Japanese-splade-v2

※学習、ファインチューニングは行っていません

# 株式会社 dele

## 会社概要

株式会社deleは、AI導入による業務効率化だけでなく、事業推進の足かせとなるレガシーシステムを含む既存システム課題の解決から支援します。経営・業務・技術の観点でボトルネックを見極め、リプレイスや段階的な部分改修で“AIを活かせる基盤”を整備。目先の改善で終わらず、データ活用からAI導入・運用定着まで一気通貫で伴走します。

問い合わせ先



## 背景・課題

官公庁に向けた文書検索システムを提案する。本提案は**ベクトル検索技術**を活用し、従来のキーワード検索よりも**意味的類似度が近い**文献を検索することができる。その上、**基盤モデルを用いて最終的に提示する文章を絞り込むためその文書の推薦理由を添える**ことができるというメリットがある。本提案を導入することで、官公庁や企業で文献調査を担うものは、大幅にその**労力を削減**できる。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

#### 事前準備

特許データ  
(XML形式)



埋込モデル



特許データ  
(ベクトル形式)



#### 検査実行

アプリ



類似度  
検索

特許データ  
(ベクトル形式)



推薦言語モデル



### モデル概要

#### コンセプト

本提案ではデータセットの**質や学習環境に精度を依存させず、汎用的な検索システム**を構築するため、一般公開されている学習済みのモデルを使用した。

埋込モデル



cohere社製  
embed v3を使用

提案用大規模言語モデル



OpenAI社製  
GPT-5.0を使用

# 東京大学松尾研LLMコミュニティ Aチーム

## 会社概要

- 本コミュニティは、東京大学松尾・岩澤研究室の関係者が主体となり運営 (2025年11月時点で約1.2万人が参加)
- 本コミュニティでは、LLMに関する状況共有、学生向けの研究支援 (LLMATCH と呼称)、などを行っている
- 本GENIAC-PRIZE事業に対しては、LLMATCHプロジェクトの一環として、コミュニティ内で参加者を募集し、集まった有志の学生メンバを中心に、社会人アドバイザーの協力も得ながら取り組んできた

問い合わせ先



## 背景・課題

特許検索の「緻密さ」を、汎用AIの「拡張性」へ**専門家の「思考」**を実装し、あらゆる大規模文書解析を変革

【進化】オープンデータセットの活用による学習データ更新コストの削減

【拡張】専門家の知見に依存した業務へ横展開可能

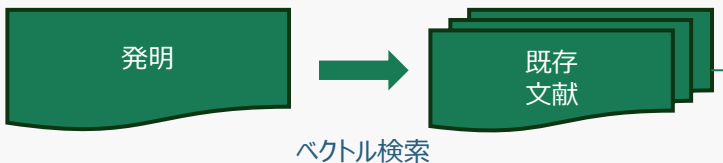
【透明性】代理人や審査官など役割による判断理由を提示することによる高い説明可能性

## アプリケーション内容

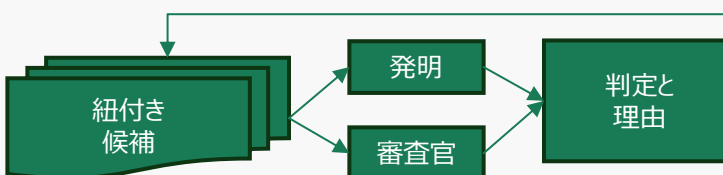
### アプリケーションの概要

アプリの概要:2ステップで判定

ステップ1: ベクトル検索  
発明に紐づく文献の候補を抽出

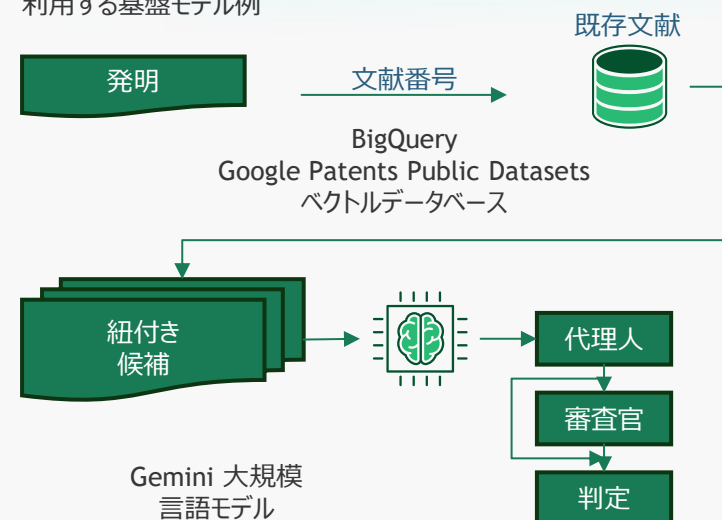


ステップ2: 役割による審査



### モデル概要

利用する基盤モデル例



# 東京大学松尾研LLMコミュニティ Bチーム

## 会社概要

- 本コミュニティは、東京大学松尾・岩澤研究室の関係者が主体となり運営(2025年11月時点で約1.2万人が参加している)
- 本コミュニティでは、LLMに関する状況共有、学生向けの研究支援(LLMATCH と呼称)など様々な活動を実施している
- 本GENIAC-PRIZE事業に対しては、LLMATCHプロジェクトの一環として、コミュニティ内で参加者を募集し、集まった有志の学生メンバを中心に、社会人アドバイザーの協力も得ながら取り組んできた

問い合わせ先



## 背景・課題

- 課題
  - 限られた人員・時間で1000件/日の出願を捌く→審査官の**負担感が増加**
  - 審査には高度なノウハウが要求される→**ノウハウが属人化**
- 本提案
  - 我々は、特許審査業務を効率化するアプリケーション「Patent MATCHER」を提案
  - 本アプリでは、審査官が出願をアップロードすると、既存文献を自動探索、一致箇所をハイライト表示し、判断根拠・拒絶理由通知を生成可能導入メリット
  - 導入メリット
    - 人-AI協働型の新業務フローに移行**
    - AIでもできる作業はAIが 24/365体制で高速に処理→審査官は高付加価値作業に注力でき、**負担低減**
    - AIからのサポート →審査官が新たに担当する技術分野であっても**素早くノウハウを習得**

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

#### デプロイ環境

- クラウド: **GCP**
- 使用サービス:
  - Cloud Run(実行環境)
  - Big Query(データベース)
  - Vertex AI(**Gemini**)

#### 主要機能

- XML特許データ読み込み
- 情報探索
  - キーワード検索
  - ベクトル検索
  - 新規性・進歩性判断
- 一致箇所ハイライト表示
- 判断根拠出力
- 拒絶理由通知作成
- Webアプリ

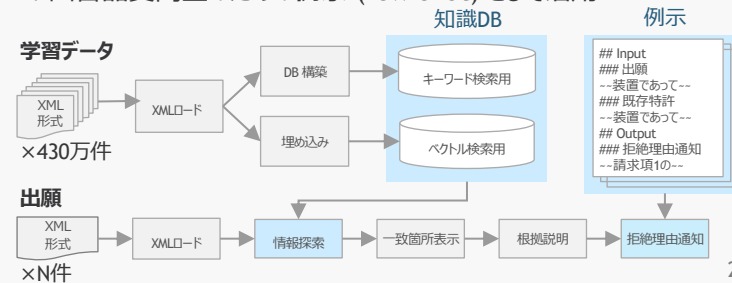
### モデル概要

#### 基盤モデル: Gemini

- 理由1: GCPなので**セキュア**な環境で利用できる
- 理由2: 超大規模モデルをAPI経由で利用できる →**回答精度・速度**が高い
- 理由3: GPTやClaudeよりコンテキスト長が大きい →特許のような**長文**に強い

#### 学習方法、データ処理方法

- 情報探索の精度向上のための**知識DB**として活用
- 回答品質向上のための**例示 (few-shot)**として活用



# 西日本旅客鉄道株式会社

## 会社概要

鉄道事業を中心に、西日本エリアで運営しています。  
デジタル戦略として画像・位置情報・設備データなどを利活用し、鉄道保守などに活用しています。  
その技術を外販し、他社・他業界にもソリューションとして展開しています。

問い合わせ先



## 背景・課題

1. 審査業務において、先行技術調査から引用箇所の特典・引用理由の提示までを自動化・迅速化する、生成AIプロトタイプを構築。
2. 請求項1と請求項2以降を分離した検索設計で、関連文献提示と説明生成の精度と安定性を向上
3. XMLアップロードから文献候補提示・ハイライトによる理由説明までを一気通貫で提供し、審査官の判断を支援する

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要



データ



モデル



アプリ

- Elasticsearch
- 全文検索の対応
- ベクトル検索の対応
- メタデータの付与
- Embedding処理
- Ax/Ay分離
- ハイブリッド検索
- XMLアップロード
- Ax,Ayごとの根拠表示

### モデル概要



モデル

- Embedding: cl-nagoya/ruri-v3-310m
- 請求項単位をベクトル化し、
- ElasticsearchにNested格納。
- BM25(Kuromoji)とハイブリッドでAx/Ay検索
- 出力生成: 検索後の関連文献・ハイライト情報をもとに、OpenAIgpt-4oで理由説明や表示用テキストを整形

# 株式会社ネットスターズ

## 会社概要

ネットスターズは、決済ゲートウェイ「StarPay」を通じて加盟店と多様なサービス事業者をつなぎ、高信頼なデータ連携基盤と運用体制を構築してきました。決済領域で培った審査・リスク管理の知見に加え、生成AIを活用した業務改善・自動化にも継続的に取り組んでいます。これらの技術と知見を行政・公共分野にも応用し、審査業務の高度化・効率化、ならびに安全で円滑な資金流通の実現に寄与するソリューションの提供を目指します。

問い合わせ先



## 提案概要

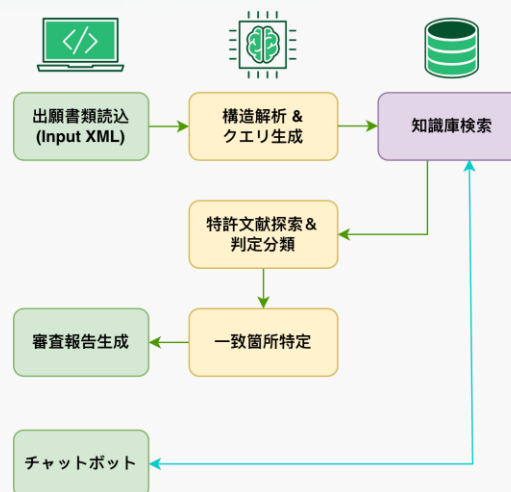
本提案は、ネットスターズが決済基盤で培ったデータ連携技術と生成AIを組み合わせ、官公庁等の審査業務を自動化・効率化するソリューションを提供するものです。書類確認や照合作業の省力化、審査精度の向上、標準化を実現し、行政業務のDX推進に貢献します。

## 提供価値

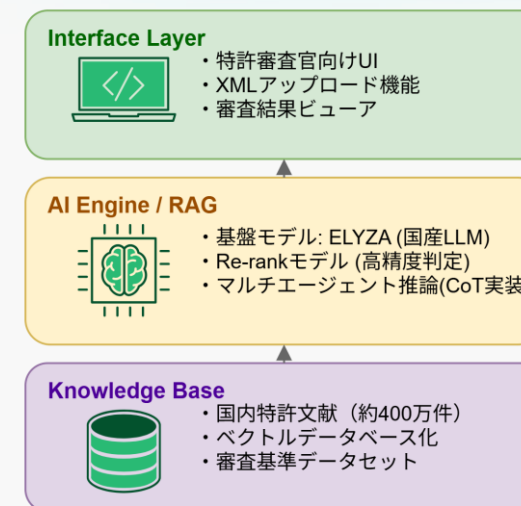
- 業務負荷の軽減と処理スピードの向上
- 審査の精度向上・判断のばらつき抑制
- 安全性・可用性の高い公共業務向けアーキテクチャの提供
- 官公庁DXの推進と国民サービスの質向上への貢献

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要



### モデル概要



# パテント・インテグレーション株式会社

## 会社概要

2023年4月より特許読解支援AIアシスタント「サマリア」を提供開始。2025年12月時点で有料契約者数**140社**（大手企業、特許事務所、研究機関等）。生成AIの特許実務への利活用に関する基本特許を含む**24件**の特許を保有（**業界トップ**）。代表取締役・大瀬佳之は弁理士資格保有の特許実務家。特許・知財領域における深い実務経験と技術的知見を有している。  
**受賞歴:** りそな財団 第37回「中小企業優秀新技術・新製品賞」優良賞（2025年）/第4回 IP BASE AWARDS 受賞（2023年）

問い合わせ先



## 提案概要

本提案は、人手で15～20時間を要すると言われる**2000件程度のコンプリートサーチ**をAIを用いることにより品質を落とさずに劇的（90%以下）に効率化する提案です。

### 【4つの主要機能】

以下の4機能が連携し提案を実現します。

- ① 調査観点作成
- ② 検索式作成
- ③ 自動査読（スクリーニング）
- ④ 調査報告書・拒絶理由通知書作成

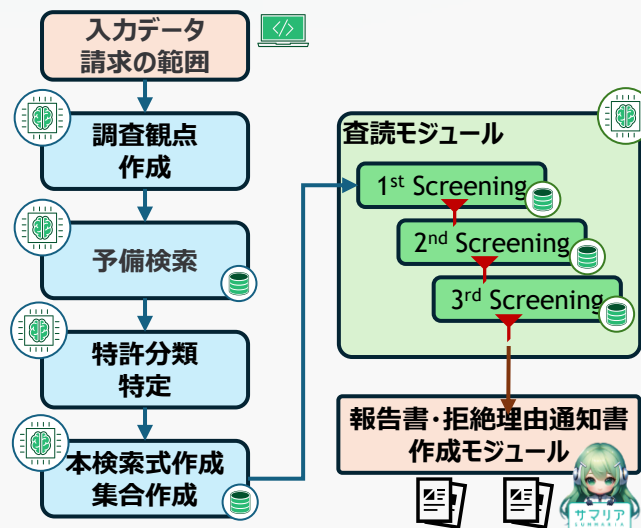
特徴: 完全自動ではなく**要所で専門家の判断を介在可能な「Human-in-the-Loop（セミオートマチック）」**設計となっています。

### 【提供価値】

調査対象から自動的に報告書（拒絶理由通知書）を作成するだけでなく、**既存業務の一部に対しても部分的に適用可能**な柔軟な設計。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要



### モデル概要

利用する基盤モデル

- Anthropic Claude Sonnet4.5
- Preferred Networks PLaMo
- OpenAI ChatGPT 5.0, 5.0-mini

基本的には大規模言語モデルをそのまま利用（Fine-tuning等を実施することも考えられるがモデルの性能向上について行きにくくなるためモデル自体のFine-tuning等は実施していない）

但し、プロンプト構築には独自DBを利用して高品質な最新データを利用している。

- **特許分類:** 特許標準データ(最新分類), PMGSなど適切な最新データを利用
- **画像データ:** テキストXMLだけでなく、化学式、数式、図表、図面も査読対象。

# ひふみ株式会社

## 会社概要

ひふみ株式会社は、企業の業務効率化および経営高度化を目的としたシステム開発・AI技術活用支援を主たる事業として展開しております。従来、スプレッドシート等で管理されていた案件管理・ドキュメント管理・作業記録等の業務を、最新のクラウド技術を用いたモダンな業務システムとして再構築し、企業の生産性向上と内部統制の強化に寄与しております。

また、AI技術を活用した企業価値算定モデルの開発・提供を行っており、財務データや各種指標に基づく高度な企業分析サービスを提供しています。これらの取り組みは、JPX総研(日本取引所グループ)様との協業の場でも活用されており、高い信頼性と実用性を有するサービスとして評価されています。

問い合わせ先

<https://corp.hifu3.com/contact/>

[geniac@hifu3.com](mailto:geniac@hifu3.com)

## 背景・課題

本提案は、特許審査業務における膨大な文献調査と高度な判断を支援する、**自律型AIエージェントワークフロー**のプロトタイプである。

本プロトタイプは、AIが検索クエリを自動生成する「**AIエージェント型検索プロセス**」と、特許・実用新案審査基準に準拠した「**AI判定プロセス**」を組み合わせている。

また、新旧でXML形式が異なる特許データを統一した形式に変換し、**AIエージェントが処理しやすいデータベース**を設計・構築した。これにより、検索精度の向上を実現している。

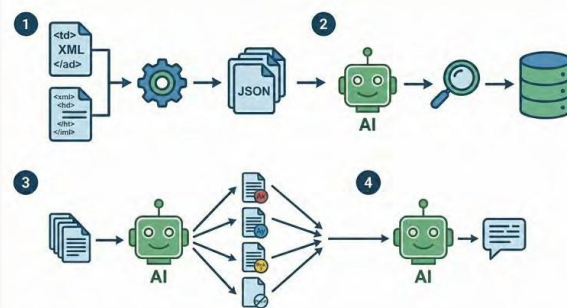
ゆえに、430万件規模の文献から審査官が真に確認すべき文献を特定し、審査業務の品質の均質化と工数の大幅な削減を実現する。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

4つのモジュールが連携するAIエージェントワークフローを採用し、「**AIエージェント型検索プロセス**」と「**AI判定プロセス**」を実現。

- ① 構造の異なるXMLデータを統一した形式に変換
- ② AIが検索クエリを自動生成し、データを探索
- ③ 審査基準に基づき、AIが新規性・進歩性を判定
- ④ AIが該当箇所の特定し、判断根拠を生成

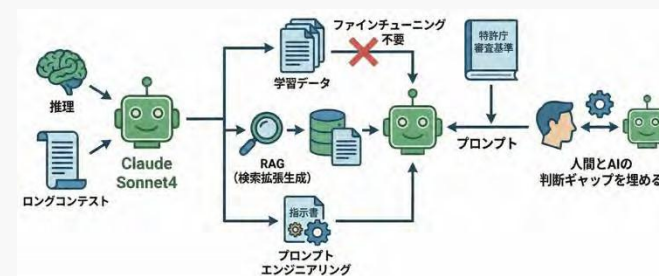


### モデル概要

基盤モデル: 高度な推論能力と長文の文脈理解に優れた「**Anthropic Claude Sonnet4**」を採用。

学習データの処理: ファインチューニングに依存せず、RAG (**検索拡張生成**)と**プロンプトエンジニアリング**を主軸とする。

特許庁の「**特許・実用新案審査基準**」を元に作成した判断基準をモデルに与え、人間とAIの判断ギャップを埋める調整を行っている。



# 株式会社HITs

## 会社概要

知的財産を主とした社内業務に関わる社内フローの運用・改善のコンサルティング、及びこれらに関連するソフトウェアの開発・提供を行っている

問い合わせ先



hits0001@ip-healthcare.com

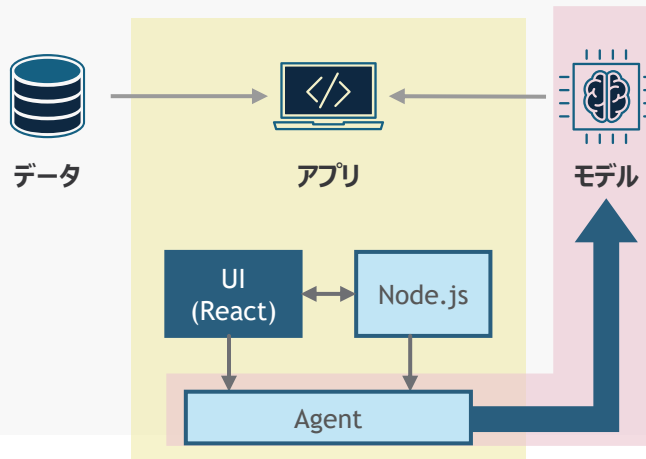
## 背景・課題

- 審査業務の効率化: アップロードしたxml/jpgデータをプロンプトに組み込んで類似特許検索が可能である
- 一致箇所表示: ローカルで完結させることによる検索時間の削減
- 審査官経験者の要望に応えたUI

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

xml/jpgデータのアップロード後、UIでデータの表示を行う。その後、xml/jpgデータを利用した類似特許検索を行い、類似特許をjplatpat等で検索し、統計処理を用いて請求項と明細書の内容を比較する(Node.js)



### モデル概要

Agent機能により特許検索に必要な行動管理 (orchestrator) を行うとともに、特許検索に適性があるGemini-2.5 Pro / Gemini-2.5-Flash / Gemini-2.0Flash等の外部APIを用いて推論を行う。

# 株式会社ビズテック

## 会社概要

株式会社ビズテックでは、システム開発・業務効率化コンサルティング・AIコンサルティング等のサービスを提供しています。幅広いビジネス分野での実績があり、特に、マーケティングや大規模データの統計分析を得意としています。ビジネスとエンジニアリングの両面からお客様のビジネス課題を解決いたします。

問い合わせ先

<https://biztek.co.jp/contact/>



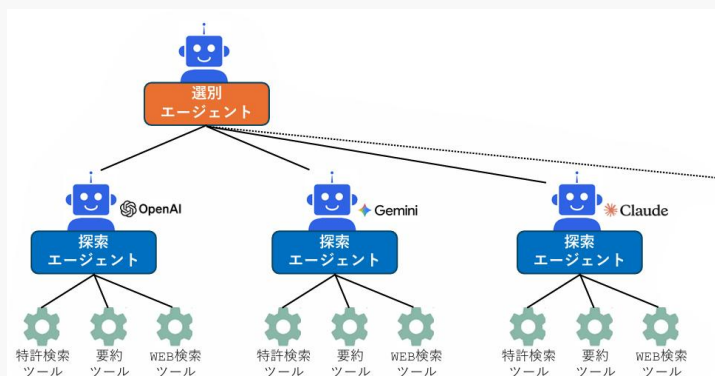
## 背景・課題

審査官の文献探索業務を3時間/件削減し、年間36億円のコスト削減を見込むAIシステムを提案します。モジュール型アーキテクチャにより、特許審査のみならず多様な業務へ横展開が可能で、開発コストを削減できます。本コンペでは、既存業務の実態に近づけましたが、従来以上の業務品質を実現することも可能です。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

マルチエージェントにより各LLM固有のバイアス・ハルシネーションを低減しました。子エージェントが複数ツールを使い探索し、親エージェントが選別し、最終判断をします。



### モデル概要

OSSと有料LLMをバランス良く組み合わせることで全体の構築コストを低減しました。事前学習と事後学習のコスト最適化も図りました。

#### OSS

OpenSearch  
Sudachi  
pgvector  
lxml

#### 有料LLM

OpenAI  
 Gemini  
 Claude  
 PLAMO

事前学習：約2万円  
事後学習：300円/審査

# 三菱総研DCS株式会社

## 会社概要

当社は金融機関向けに豊富な実績を持つIT企業であり、高品質・高セキュリティのシステム開発や保守運用を得意とする。また自社サービスである給与計算のPROSRVやWEB出願のmiraicompassを持ち、親会社と連携した公共向けソリューションなど幅広い業界へのサービス展開を特徴としている。データサイエンス領域にも10年以上取り組んでおり、自社内のデータサイエンティスト育成は100名以上、50社以上へのサービス提供実績がある。

問い合わせ先

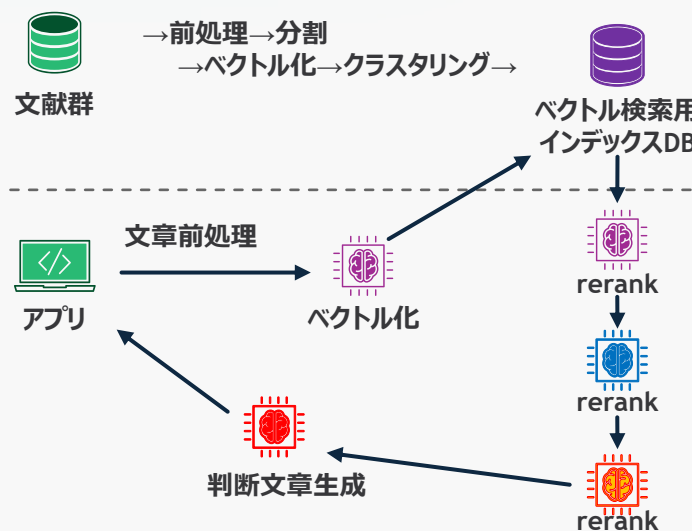


## 提案概要

- 意味レベルで類似する文献を大規模文献データから検索 (特許文献約430万件)
- 検索用言語モデルの継続的運用による学習システム
- 国産の文章生成AIモデルによるキーワード、キーフレーズ、what, how, whyの抽出と解説要約・比較文章・判断根拠文の生成
- 未学習領域検知による継続的運用の提案 (本提案では文章ベクトル化モデルのみが検知対象)

## アプリケーション内容

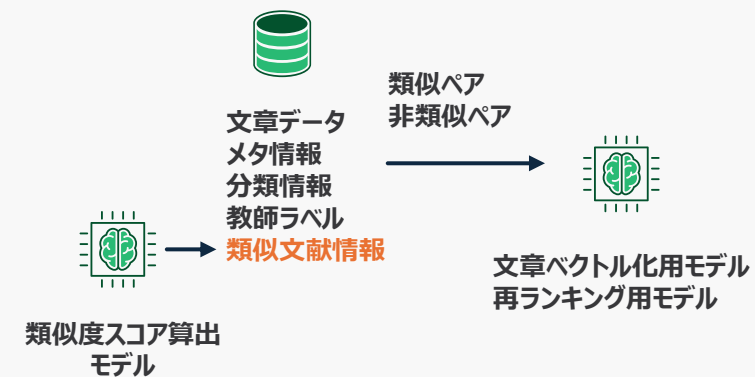
### アプリケーションの概要



### モデル概要

文章ベクトル化用モデル Bi-encoder  
再ランキング用モデル Cross-encoder

### 対照学習システム



# 株式会社 root ip

## 会社概要

2014年に弁理士が創業した知財管理クラウドサービス企業  
 「知財業務効率化の極限へ」を企業理念とし本来業務への集中とより強い権利取得をサポート  
 企業/大学/事務所で350社の導入実績、システムの使いやすさが評価され97%の高い利用継続率 (2025年12月)

問い合わせ先

<https://rootip.co.jp>

[mail@rootip.co.jp](mailto:mail@rootip.co.jp)

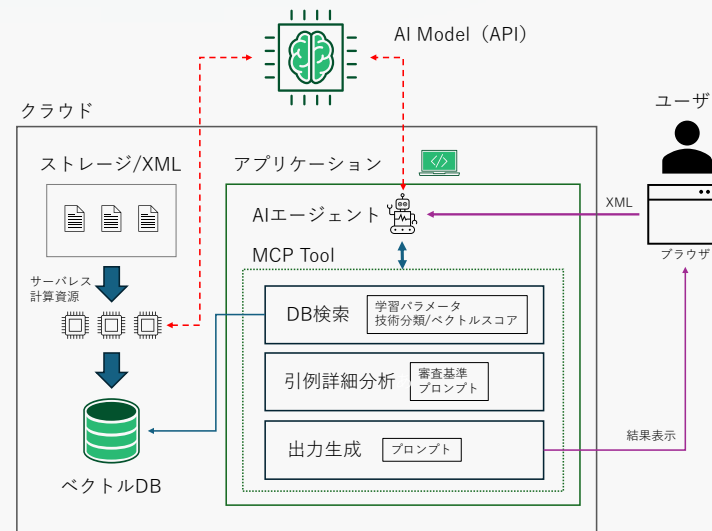
## 提案概要

アーキテクチャ/インフラの汎用性とドメイン知識の作り込みの両立を実現

- **アーキテクチャ/実現手段**
  - クラウドサービスのストレージ、サーバレス計算資源、ベクトルDBによる汎用インフラと、API、MCPに基づく汎用AIエージェントによるアプリケーション実装
- **ドメイン知識対応**
  - インフラ: DBスキーマとパイプラインスクリプト変更で異業種へ横展開可
  - APP: プロンプト管理とMCP Tool拡充により拡張性を確保

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要



### モデル概要

- AIモデル:** OpenAI API利用
- XML要約: GPT5-mini
  - ベクトル化: text-embedding-3-small
  - 引例分析出力生成: GPT-5.1

### 学習データ処理

- 引例の技術分類範囲指定に利用
- 技術分類ごとに算出したベクトルスコア(距離)を検索フィルタ閾値として利用

# レッドインパルス株式会社

## 会社概要

当社は電気通信大学に所属するエンジニアメンバーが立ち上げた企業で、主にITシステムの受託開発を手掛けています。Web技術を中心にスマホアプリ・クラウドインフラ・IoTなどの幅広い技術に対応でき、精鋭メンバーによる上流から下流までの一気通貫の開発を得意としています。

問い合わせ先

<https://redimpulz.com/>

[info@redimpulz.com](mailto:info@redimpulz.com)

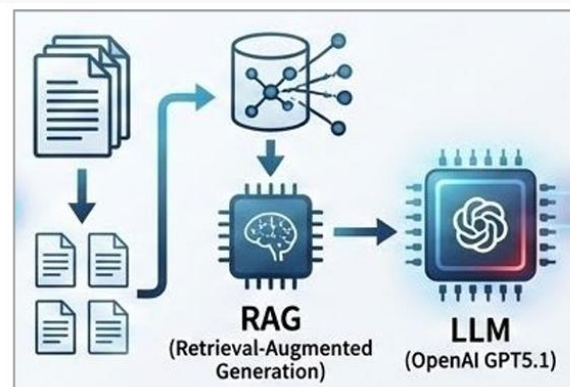
## 背景・課題

Webアプリケーションに特許出願データ (XML) をアップロードするとジョブが登録され、独自構築した特許データベースを検索・参照し、LLMにより審査 (新規性・進歩性の有無) を行い、結果を根拠とともに提示します。

## アプリケーション内容

### アプリケーションの概要

特許データからベクトルデータベースを作成し、それを使用したRAG (Retrieval-Augmented Generation) を構築。RAGで意味的に類似度の高い文献を検索し、LLMで高度な分析を行います。



### モデル概要

提供された特許データを本システムで扱いやすい構造化データに変換し、OpenAIのtext-embedding-3-smallを使用しベクトル化しDBに格納。

LLMはOpenAIの高性能モデルGPT-5.1を使用し、前述したRAGの検索結果に対して、高度な審査処理を行います。

# ワクテカデジタル社

## 会社概要

株式会社ワクテカデジタルは、2024年設立のAIなど新規技術を組み込んだ新規事業推進およびガバナンス・セキュリティに関するコンサルティングサービスを業界を代表する企業様を中心に提供しています。

高度で複雑なお客様の要求 (適切な技術の選定と実装(セキュリティを含む)) に対応できるよう、自社で新技術(現在は AI) に対する研究開発体制を具備している。

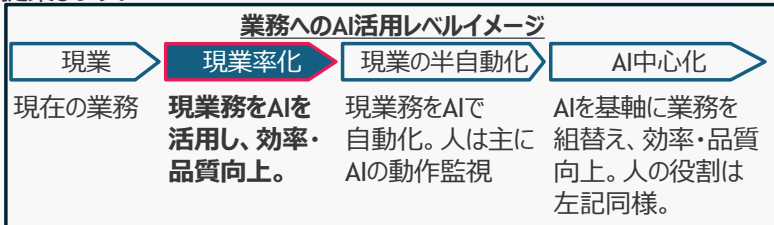
問い合わせ先

<https://wtk4u.com>

[inquiry-hp@wtk4u.com](mailto:inquiry-hp@wtk4u.com)

## 背景・課題

AI活用高度化を視野に入れつつ、まずは現業の効率化・高品質化を提案します。



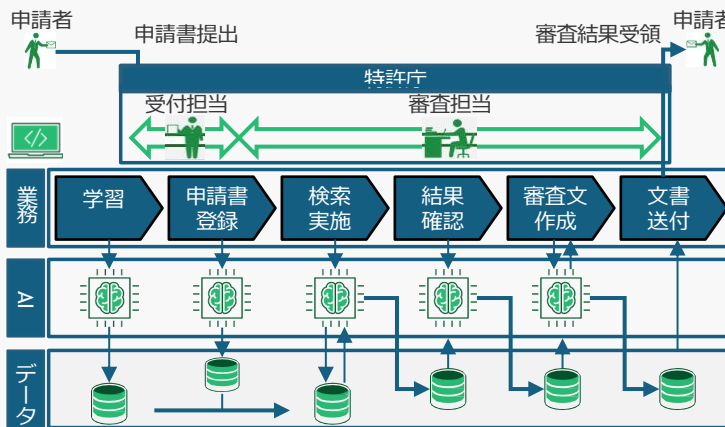
具体的には、主要件の『検索機能』に加え、下記機能をAIにより実装・業務補助します。

#	追加機能	背景・狙い
1	AI審査業務補助機能	審査員の審査業務をAIで補助。将来的な自動化対象。
2	データガバナンス機能	データの品質を管理する機能
3	AIエージェント追加・管理管理機能 (AIガバナンス機能)	AIエージェントを利用して、業務拡張およびそのセキュリティ・

## アプリケーション内容

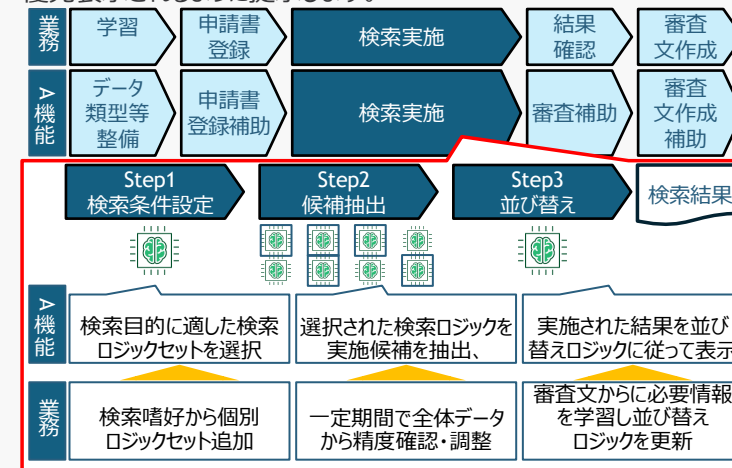
### アプリケーションの概要

アプリ画面にて業務フローを実装。各業務で AIの補助を受けることで、効率性に加え、AIガバナンス、データガバナンスを実現。AI作業品質、データ品質を業務全体視点で最適化するアプリケーションとなっています。



### モデル概要

弊社の検索システムは、下記3ステップで検索目的に沿った結果を出力します。検索目的にあった情報を審査員が使いやすい情報が優先表示されるように提示します。



## 生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及び リスク低減技術の開発

---

# 目次

社名	ページ
NTT西日本株式会社	172,173
NTT ドコモビジネス株式会社	174,175
トレンドマイクロ株式会社	176,177
Another Star合同会社	178,179
IPconnect株式会社	180,181
Layer8	182,183
アミュレットプラス合同会社	184
株式会社メタキューブ	185
株式会社レトリバ・株式会社万葉	186
Another Star合同会社	187
株式会社RAYVEN	188
株式会社XNOVA	189

NTT西日本株式会社



生成AIにおけるデータの真正性・正当性の保護基盤 ～ IPの音声等コンテンツ権利保護と消費者の安全性確保への貢献 ～

問い合わせ先

✉ tech-drive@west.ntt.co.jp

🌐 <https://www.ntt-west.co.jp/>

#### 会社概要

- [名称]** NTT西日本株式会社 / NTT WEST, Inc.
- [本社所在地]** 大阪府大阪市都島区東野田町4丁目15番82号
- [事業内容]** 国内（西日本エリア※）電気通信事業における県内通信サービスの提供および附帯事業
- [主要サービス]** フレッツ光、コラボ光など
- [その他]** オープンイノベーション施設 QUINTBRIDGEの運営 など
- [開発メンバー]** NTT西日本 経営企画部 ミライ事業共創室  
下瀬 浩一、堀部 大介、西村 奈々

※富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県



オープンイノベーション施設  
QUINTBRIDGE

NTT西日本株式会社



## 生成AIにおけるデータの真正性・正当性の保護基盤 ~ IPの音声等コンテンツ権利保護と消費者の安全性確保への貢献 ~

### 生成AIに関するリスク

- **産業の停滞**：無断学習や権利侵害・無断利用を危惧するクリエイターのAI活用躊躇が、ジャパン・コンテンツの発展を阻害するリスク
- **社会的混乱**：精巧ななりすましやフェイク情報の氾濫により、情報の信頼性が低下し社会不安を増大させるリスク

### 対策技術

- **権利者が許諾したデータをVC、ブロックチェーンで正規データとして定義し、判別できるようにする**
  - 元データ→モデル→AIコンテンツを「データの家系図」として系譜を紐づけ
  - API化、使いなれたIDでの認証を可能として、多様なユースケースへ対応

### 提案の新規性/将来的な想定

【新規性：三層トレーサビリティと拡張性】

- AI生成履歴を「家系図」のように構造化\*、元データの出自追跡が可能
- API化等で将来的な拡張性を具備

【将来性：さらなる防御技術への拡張】

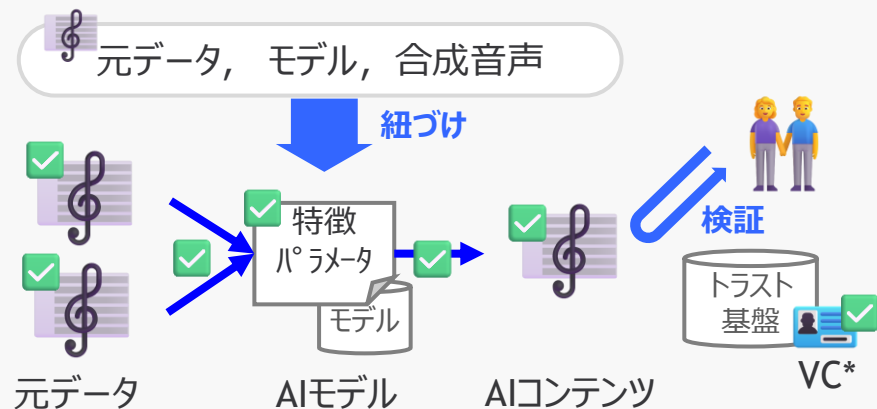
- ユースケース拡張を目的とした他の保護技術の追加・防御力強化

\*NTTテクノクロスの技術を採用

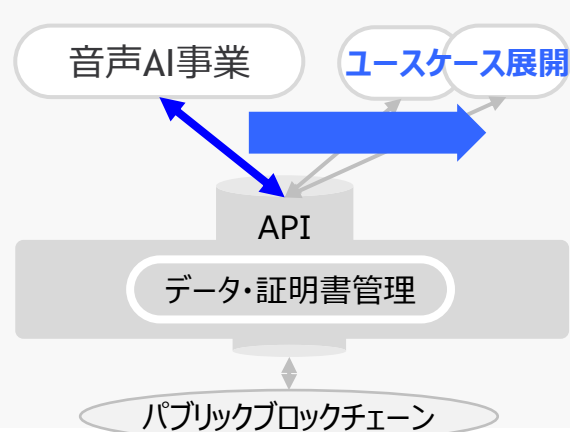
### 成果の公開

- IPホルダーのIPコンテンツ保護を第一に、商用サービスで社会適用、認知向上
- 法・ルールメイカーを含めた学会等アカデミア連携
- 将来的なオープンイノベーションによる連携、ジャパンコンテンツの海外展開等へ貢献

#### データの家系図と真正性検証・証明



#### API化によるユースケース拡張性



\*Verifiable Credentials：検証可能な属性証明書

NTTドコモビジネス株式会社



## 日本語特化型AIガードレール「**chakoshi**」による包括的リスク低減と安全な社会実装

問い合わせ先

✉ [chakoshi-contacts@ntt.com](mailto:chakoshi-contacts@ntt.com)

🌐 <https://chakoshi.ntt.com>

### 会社概要

#### 会社概要：

NTTドコモグループの法人事業を担い、モバイル、ネットワーク、クラウド、データセンタを含む統合的なICT基盤を法人・自治体のお客様に提供しています。また、近年はAIサービス開発にも注力しており、企業の業務効率化や新たな価値創出に貢献するソリューションを展開しています。

#### ソリューション紹介：

NTTグループ独自の大規模言語モデル「**tsuzumi**」を基盤に、多彩なAIソリューションを提供しています。複数の最新AIモデルを利用できる「**Stella AI for Biz**」、コンタクトセンターの応対・分析をAIで支援する「**docomo business ANCAR**」、金融・公共・製造など業界特化のAIエージェント群、IT運用を支援する「**AI Advisor**」などがあります。

#### メンバー紹介：



**chakoshi**の開発組織である **Generative AIチーム**は弊社のR&D組織です。

情報工学博士やKaggle MasterをはじめとしたAIの専門家、経験豊富なフルスタックエンジニアを中心に組織されたプロフェッショナルチームです。

NTTドコモビジネス株式会社



# 日本語特化型AIガードレール「chakoshi」による包括的リスク低減と安全な社会実装

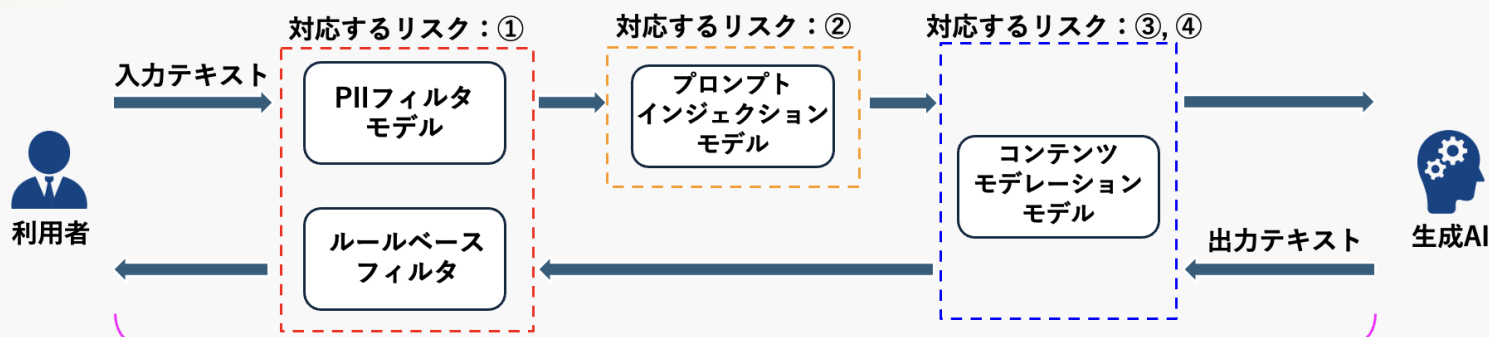
## 生成AIに関するリスク

生成AIの利活用におけるテキスト入出力に関する5つのリスクを特定：

- ①機密情報の流出
- ②AIへの敵対的な攻撃
- ③有害コンテンツの生成
- ④リスクの変動性(検知したいリスクが利用者ごとに変わること)
- ⑤誤情報の生成と信頼

## 対策技術

### 対策技術「chakoshi」の全体像



- chakoshiは、①～⑤の各リスクを検知する専用の機構を備えた多層構成のガードレール技術です。
- 各機構で検知したい項目を、利用者自身が自由に定義できます。
- APIを公開しているため、既存システムへの組み込みが容易です。個別のご要望にも対応可能です。

対応するリスク：⑤  
誤情報抑制機構

## 提案の新規性/将来的な想定

### 新規性:

日本語特有の曖昧表現や文脈を理解するAI技術の構築、包括的な対策手法、利用者の環境に合わせた検知項目のカスタマイズ機能

### 将来性:

利用者の感性や特性に合わせたガードレールの最適化、および、補助機能の充実化

## 成果の公開

各機構の技術(AIモデルなど)、各種ソースコード、データセット、評価手法などを広く公開予定

chakoshi本体は無料で利用可能なパブリックベータにて提供中

<https://platform.beta.chakoshi.ntt.com/>

トレンドマイクロ株式会社 TrendAI™



## AIエージェントによる不正なツール実行リスクへの総合的な対策

問い合わせ先

✉ 報道関係者様：  
pressweb@trendmicro.com

📞 法人様：  
お問い合わせ | [トレンドマイクロ \(JP\)](#)

### 会社概要

#### Our Vision

デジタルインフォメーションを  
安全に交換できる世界の実現  
A world safe for exchanging  
digital information

#### Our Mission

お客様のデジタルライフや  
ITインフラを脅威から守る  
Defend against threats that would  
impact user's digital life or IT  
infrastructure.

#### 日本発の世界企業へ

日本発のトレンドマイクロは、サイバーセキュリティのグローバルリーダとして50万社を超える法人組織と個人を保護しています。  
創業35年以上サイバーセキュリティに従事し、データセンター、クラウド、ネットワーク、エンドポイントにおける多層的なセキュリティを提供します。

本社	東京
証券コード	4704 東証プライム 採用銘柄：TOPIX, 日経平均(日経225) 他
設立	1989年10月24日 (創業1988年)
資本金	199億2,600万円
社員数	6,869名
売上高	2,726億3,800万円

トレンドマイクロ株式会社 TrendAI™



## AIエージェントによる不正なツール実行リスクへの総合的な対策

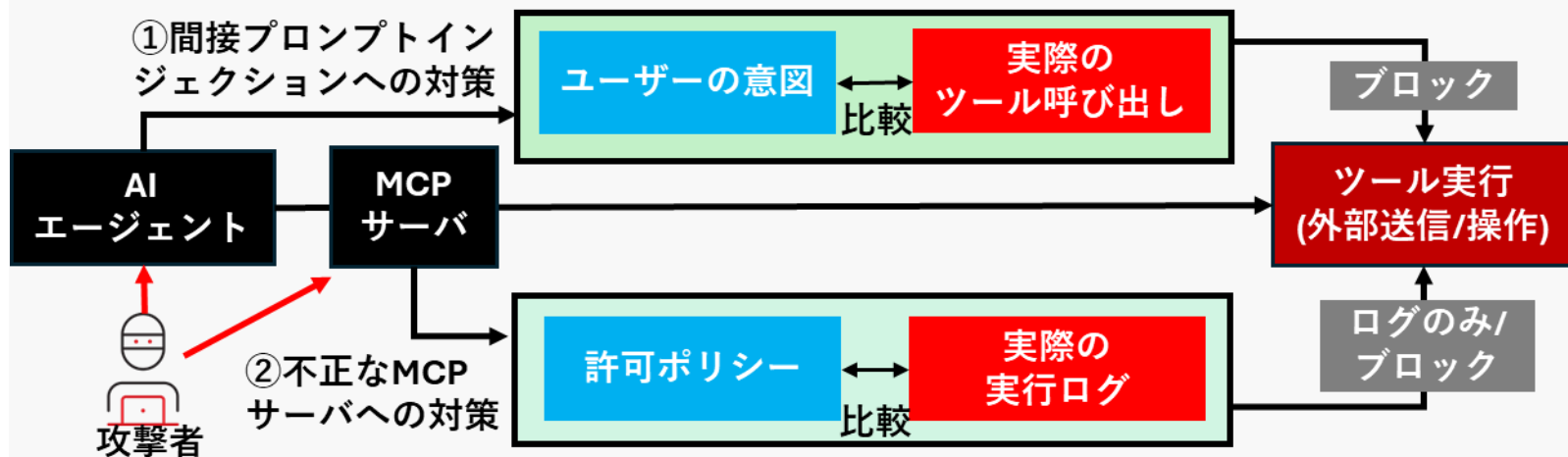
### 生成AIに関するリスク

生成AIが“質問に答える”だけでなく、メール送信・ファイル参照・外部API呼び出しなどのツールを使って実行する **AIエージェント**として普及すると、被害は「誤回答」だけではなく“**不正なツール実行**(外部送信・操作・実行)”にまで発展すると予測されます。これによって、重大なインシデントに繋がるリスクも爆発的に増大します。この脅威は攻撃が正規の動作に見えやすく、外部から入力されるプロンプトのみを検知するような**従来型の防御手法では、検知が困難**です。

### 対策技術

2層の対策技術により不正なツール実行リスクを低減します。

- ① 間接プロンプトインジェクションへの対策：ツール実行前にユーザーの意図とツール呼び出しを比較
- ② 不正なMCPサーバへの対策：ツール実行時のふるまいを評価し許可ポリシーと比較



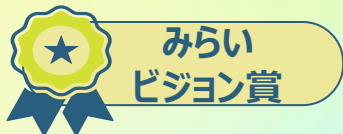
### 提案の新規性/将来的な想定

外部文書に仕込まれた指示によってAIが誤作動する間接プロンプトインジェクションと、導入後にツールが裏切るMCPラグブルという2つの脅威に対し、実行前と実行時の**二層で防御する**点で新規性があります。さらに、ログをもとにテストと更新を繰り返すことで、攻撃や環境の変化に合わせて、運用しながら**継続的に強化できる設計**です。

### 成果の公開

公開内容	公開範囲
ソリューションアーキテクチャ図	一般公開
評価手法/データセット	一般公開
MCPサーバテスト用ソースコード	一般公開

Another Star合同会社



## AIエージェント同士をセキュアにマッチング・連携させる国産OSSプラットフォーム

問い合わせ先

✉ [contact@another-star.jp](mailto:contact@another-star.jp)

🌐 <https://www.another-star.jp/>

### 会社概要

AIエージェント市場がプラットフォームの囲い込みに向かう中、中立の立場でエージェント間の安全な連携基盤を開発。規制実務経験者とAI・DXの専門家が、AI安全性基盤及び受託開発を展開しています。



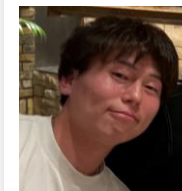
共同創業者 / 代表社員  
安田 直也

複数のSIerを経てフリーランスのFDEとして活動。並行して公正取引委員会にてデジタルアナリストを兼務。



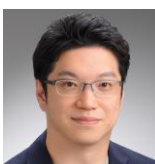
共同創業者 / 業務執行社員  
齊藤 慎之介

SCSKにて全社の技術戦略や先端技術を推進。現在はデータ基盤構築やAIを活用した商用アプリ開発に従事。



開発メンバー / テックリード  
広松 太一

SCSKのR&D部門で住友商事向けAI・DXプロジェクトを推進。企画・要求分析から設計・開発まで一貫して担当。



アドバイザー  
菅野 哲

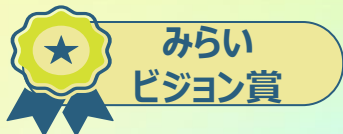
公正取引委員会デジタルアナリスト兼GMOコネクスト執行役員CTO。第三者レビュー・技術監修・意思決定支援担当



開発メンバー / 戦略担当  
佐藤 幸治

複数の外資系コンサルを経て公正取引委員会のデジタルアナリストを務める。事業戦略・市場展開を担当。

Another Star合同会社



## AIエージェント同士をセキュアにマッチング・連携させる国産OSSプラットフォーム

### 生成AIに関するリスク

- リスク1: 相手AIエージェントの信頼性が不明 — 外部AIエージェントが本物か、安全かを人間が確認できない
- リスク2: 間接的プロンプトインジェクション — 外部AIの回答に混入した悪意ある指示がそのまま実行される危険

### 対策技術

### 提案の新規性/将来的な想定

AIエージェント同士が自然言語で連携する時代に不可欠な「信頼レイヤー」を提供する世界初の基盤です。従来の認証技術では対処できないAI特有のリスクに対応し、プラットフォームがこの領域を囲い込む前にグローバルなセキュリティ標準を目指します。

### 成果の公開

ソースコード・評価基盤をオープンソースで公開。本システムは全評価プロセスのトレース・可視化が可能で、審査根拠の透明性を担保する。将来的にはAAIF（AIエージェント標準化団体）に寄贈予定。

## 対策技術の概要

### 対策技術の概要

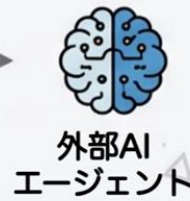
#### エージェントストア

外部AIの真正性とセキュリティレベルを可視化し、安全に利用できるエージェントだけを登録する



#### 仲介エージェント

ユーザの要望を安全に実現するためのエージェント  
安全な外部AIを選び、計画・実行し、全通信を監視する



IPconnect株式会社



みらい  
ビジョン賞

## 生成AIによる著作権リスクを可視化・制御・記録する予防型多層評価システム「AI rights HUB」の開発 (AIで生成された画像の権利侵害・炎上のリスクチェックシステム)

問い合わせ先

✉ info@ipconnect.co.jp

🌐 <https://ipconnect.co.jp/>

### 会社概要

テクノロジーでコンテンツの保護と活用を促進させる新たなソリューションを提供



**jpnft**

権利保護と活用を目的としてIPライセンス情報を認証しブロックチェーンに登録・公示をするプラットフォーム



**IP Supervisory Supporter**

キャラクター等のライセンスビジネスにおけるAIを活用した監修効率化システム



**AI rights HUB**

AIで創作したコンテンツに対し、多角的な視点からリスクを分析。プロンプト等の創作時データと分析結果を共にブロックチェーンに記録し公示するシステム

### ● 主要メンバー



**村居 直行**  
代表取締役



**分部 悠介**  
取締役  
リーガル/IPコンテンツ  
弁護士・弁理士



**クリス・ダイ**  
取締役  
CTO

IPconnect株式会社



## 生成AIによる著作権リスクを可視化・制御・記録する予防型多層評価システム「AI rights HUB」の開発 (AIで生成された画像の権利侵害・炎上のリスクチェックシステム)

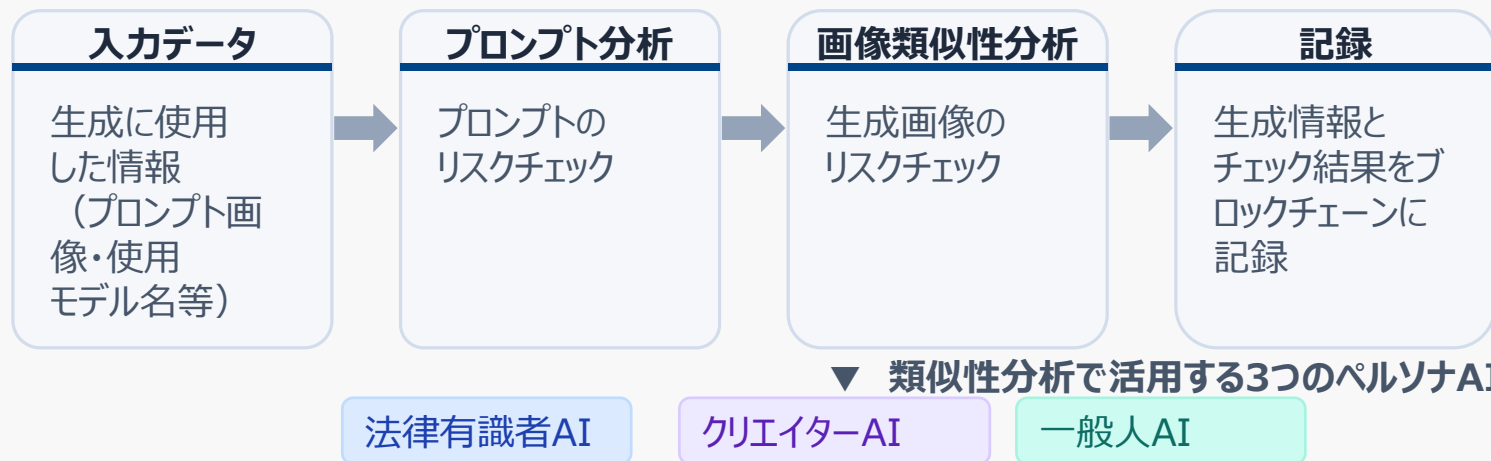
### 生成AIに関するリスク

生成AIによるコンテンツ生成においては、既存のキャラクター等に酷似した画像が容易に生成されてしまう現状があります。特に意図的な模倣だけでなく、ユーザーが“意図せず”既存著作物に類似した出力を得てしまうリスクも存在します。こうした権利侵害リスクは、権利者・クリエイター・利用企業・一般ユーザーなど多様なステークホルダーに影響を及ぼし、結果としてコンテンツ領域における生成AIの安全な利活用促進を阻害する要因となっていると認識しております。

### 対策技術

#### 生成したコンテンツ情報から、リスクを多角的に分析し、利用判断をサポート

AI Rights Hub — 予防型リスクチェックの全体フロー



異なるペルソナAIが独立して判断し、権利リスク・炎上リスクを多角的に評価  
人間の実務者テストにおいても平均80%以上の精度を確認。

### 提案の新規性/将来的な想定

本提案の新規性は、人間の主観的な判断構造そのものを可視化・標準化する点にあります。脱法プロンプトの検出、法律・クリエイター・一般人の3視点による多角評価、評価結果のブロックチェーン記録を一体設計しており、既存技術とは明確に異なります。将来的には、評価ペルソナの拡張や業界・IP別の判断基準調整を通じ、生成AIのリスク判断における社会インフラ化を目指します。

### 成果の公開

本事業では、生成AIの著作権リスクの構造や評価観点を整理し、AI事業者・利用者・権利者が共通認識を持つための啓発情報として公開します。一方、脱法プロンプトや評価ロジック等の中核技術は悪用防止の観点から非公開とします。これにより利用萎縮や炎上を抑止し、生成AIの健全な社会実装とコンテンツ産業の発展に寄与します。

株式会社Layer8



みらい  
ビジョン賞

## AI駆動型サイバー攻撃リスクの定量的評価ベンチマークと自動防御エージェント『Trident』の開発

問い合わせ先

✉ info@layer8.jp

🌐 https://layer8.jp

### 会社概要

- 未踏アドバンスト発のAIセキュリティ企業
- 自律型AIペネトレーションテスト基盤「Trident」開発
- 実戦実績をもとに、商用PoC・継続診断を推進中

84.07%

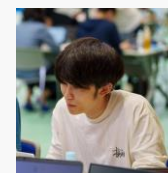
PortSwigger  
未解決ラボ自動攻略率  
1時間以内・完全自動

世界86位

HackerOne VDP  
90日ランキング  
46社からPrivate招待

3件

米国防総省 (DoD)  
脆弱性トリアージ  
全件、悪用リスク認定



■ 岡本 拓将 | 代表取締役

生成AIとセキュリティの両領域で研究開発を主導。プロダクト方針策定、PoC実装を担当。



■ 阿部 竜也 | 共同創業者

品質特性・ソフトウェアアーキテクチャを専門とし、運用基盤構築、品質標準化、Agent基盤の設計・開発を担当。

株式会社Layer8



## AI駆動型サイバー攻撃リスクの定量的評価ベンチマークと自動防御エージェント『Trident』の開発

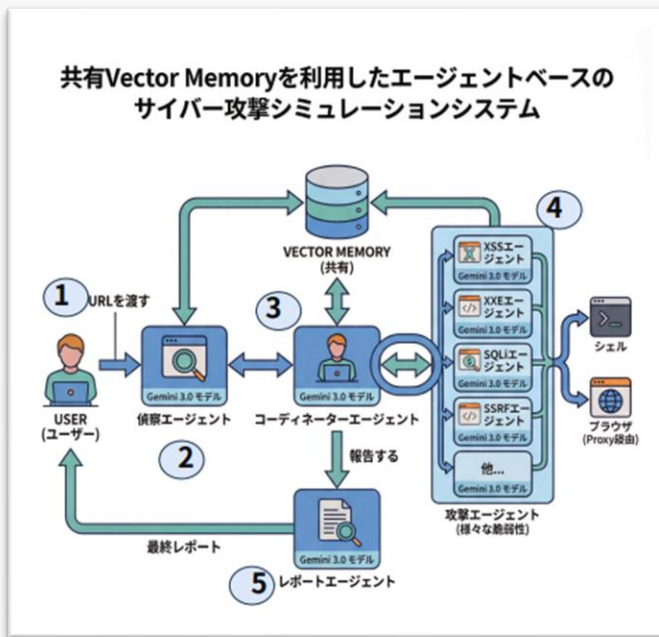
### 生成AIに関するリスク

生成AIの進化により、攻撃側は偵察・分析・悪用の自動化を進めており、高度な攻撃が低コストで複製・拡散される時代に入っています。一方、防御側のペネトレーションテストは依然として人手依存・高コストで、実施頻度に大きなギャップがあります。この“**攻撃と防御の頻度格差**”を埋めることが、Layer8の取り組む本質的な課題です。

### 対策技術

■ **Trident**は、Webアプリケーションを対象とした自律型AIペネトレーションテスト基盤です。攻撃グラフに基づく動的シナリオ生成、独自の間接者プロキシ、マルチエージェント構成、独自ベンチマークを組み合わせ、既存スキャナでは見つけにくいビジネスロジック由来の脆弱性まで検証します。

- **マルチエージェントシステム**を採用し、コンテキスト長の問題や各エージェントの精度向上を行うことができました。
- ① **入力**:対象URLやシステム仕様を受け付け、偵察AIへ渡す。
- ② **偵察エージェント**:対象の概要把握・パラメータ探索を実行。(兆候はVector Memoryへ蓄積)
- ③ **コーディネーターエージェント**:発見された兆候に基づき、最適な「専門AI」を推論して呼び出す。
- ④ **専門エージェント**:特化型AIが脆弱性を深掘り探索。結果を③へ報告し、ループを繰り返す。
- ⑤ **レポートエージェント**:最終的な脆弱性結果と修正案をまとめ、ユーザーに提出。



### 提案の新規性/将来的な想定

- **【文脈理解】**従来困難だった「ビジネスロジックの欠陥」や「競合状態」をAI推論で自動検知。
- **【スケーラブルな網羅的検証】**エージェントの並列処理により、数週間かかるペネテストを「数時間」へ劇的短縮。

### 成果の公開

- **【ホワイトペーパーの公開】**AIエージェントの設計思想や、次世代の防御に向けた実践的な知見を広く共有します。
- **【ベンチマーク内訳のフルオープン】**AIが実際に攻略できた「脆弱性リスト」や評価基準を公開し、AI安全性評価の指標作りを推進します。

## アミュレットプラス合同会社

# EVA3™ : AIをそのまま動かすのではなく、動く前に確認するための安全技術

### 会社概要

アミュレットプラス合同会社は、生成AIを“そのまま実行する仕組み”から、“実行前に確認できる仕組み”へ変える技術「EVA3™（エヴァ）」を開発しています。  
AIの意図・権限・制約を事前に確認し、判断過程を記録することで、安全性・説明可能性・追跡可能性を高めます。

問い合わせ先

✉ [contact@amuletplus.co.jp](mailto:contact@amuletplus.co.jp)

📄 <https://amuletplus.co.jp/>

### 生成AIに関するリスク

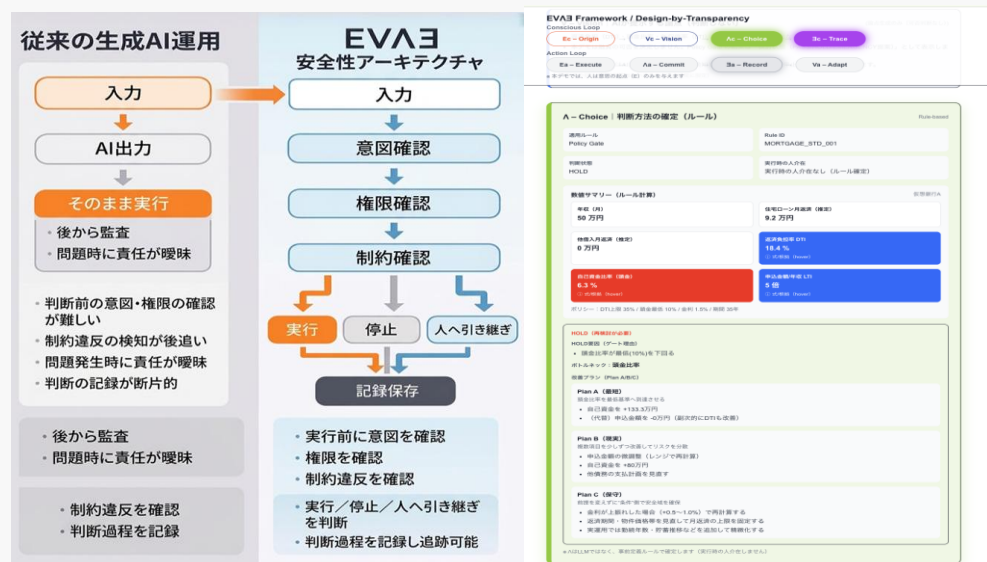
- ・生成AIは、もっともらしい答えでも、その理由が十分にわからないまま使われてしまうことがあります。
- ・特にAIエージェントは、設定だけで安全に動かし続けることが難しく、思わぬ動きや、やってはいけない処理につながる可能性があります。
- ・その結果、問題が起きたときに、責任の所在がわかりにくくなるおそれがあります。
- ・医療、金融、行政、インフラなどの分野では、小さなミスでも大きな影響につながる可能性があります。
- ・そのため、実行した後でなく、実行する前に内容や権限、ルールを確認できる仕組みが重要です。

### 対策技術

EVA3は、生成AIを“そのまま実行する仕組み”から、“実行前に確認できる仕組み”へ変える安全性アーキテクチャです。

意図・権限・制約を事前に確認することで、高リスク領域でも安全性と追跡可能性を高めます。

右図は、金融デモにおけるアプリ実装例です。



株式会社メタキューブ

L4t4 誤認検知ツールPoCー記憶構造に基づく生成AI安全基盤

会社概要

弊社は、脳の記憶原理を再構成した**独自モデル「L4t4」**を基盤に、生成AIの安全性を高める研究開発を行っています。これまでの研究で、心電図や神経活動の周期性をモデル化し、意味構造を数理的に表現する技術を培ってきました。強みは、科学的構造と社会的応用を橋渡しする設計力にあります。  
注) L4t4技術：米国特許取得済み

問い合わせ先

✉ obayashi@metacube.jp

📄 contact.hp@metacube.jp

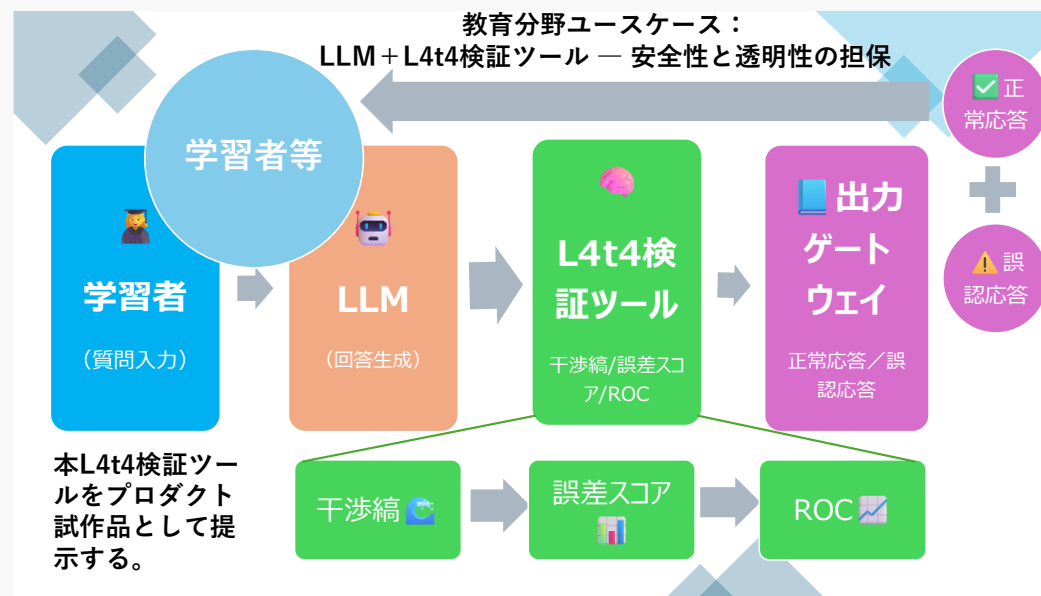
生成AIに関するリスク

生成AIは、誤認や幻覚といったリスクを内包しており、教育・医療・社会システムなど高リスク環境での利用に重大な影響を及ぼします。本提案は、この「誤認・幻覚リスク」を特定し、検知・低減する技術を開発するものです。

**新規性・将来性:**従来の対策技術は「出力フィルタリング」や「外部知識参照」に依存していましたが、本提案は誤認そのものを検知する点で新規性があります。教育・医療・社会システムに応用可能であり、汎用人工知能（AGI）に向けた安全基盤として発展する可能性を備えています。過去のL4t4提案は仮説段階と評価されましたが、今回はツールPoCを通じて具体的な動作を提示し、透明性と実装力を示します。

対策技術

本提案の要旨は、ツールPoCとして有効性を確認済みです。しかし、LLM周辺の技術進歩は、激しく、それらの動向と連動する形のツールとして、日々改良を重ねていくべきものと考えています。  
一方、今後の課題も明確に認識しています。改善施策を通じて精度・効率性・応用範囲を拡張し、教育・医療・社会システムにおける安心な生成AI活用を実現します。さらに、**汎用人工知能（AGI）**に向けた安全基盤として発展する可能性を追求していきます。



株式会社レトリバ・株式会社万葉

## LLMの脆弱性診断を行い、診断結果から改善用学習データを作成するWebアプリケーション

### 会社概要

株式会社レトリバ：自然言語処理及び機械学習を用いたソフトウェアの研究・開発・販売・導入  
 株式会社万葉：Web系情報システムの構築・コンサルティング

問い合わせ先

✉ [info@retrieva.jp](mailto:info@retrieva.jp)

📄 <https://retrieva.jp/contact>

### 生成AIに関するリスク

- 業種や業務内容によって、生成AIの利用に伴う懸念事項は異なる。
- また、日本国内の生成AI導入においては、不適切な回答生成がリスクとして認識されている。

#### 想定される懸念例

製造業

危険な作業手順の助長

製薬業

医薬的効能の断定

**業種で異なる脆弱性を  
ケアするシステムが必要**

### 対策技術

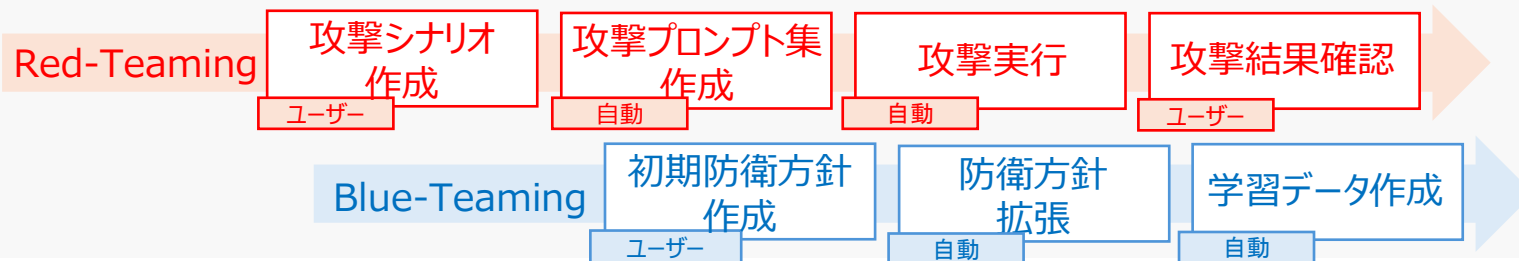
LLMの脆弱性診断を行い、診断結果から改善用学習データを作成するWebアプリケーションを提案。



#### 【システム特長】

**[Red-Teaming]** 業種別の攻撃シナリオを基に攻撃プロンプトを自動生成し、LLMの脆弱性を評価

**[Blue-Teaming]** 脆弱性評価結果と防衛方針に基づき、対象LLMの改善用学習データを作成



## Another Star合同会社

# ペルソナからの逸脱を検知基準に取り入れた、ブラウザ操作エージェント検知システム

### 会社概要

AIエージェント市場がプラットフォームの囲い込みに向かう中、中立の立場でエージェント間の安全な連携基盤を開発。規制実務経験者とAI・DXの専門家が、AI安全性基盤及び受託開発を展開しています。

問い合わせ先

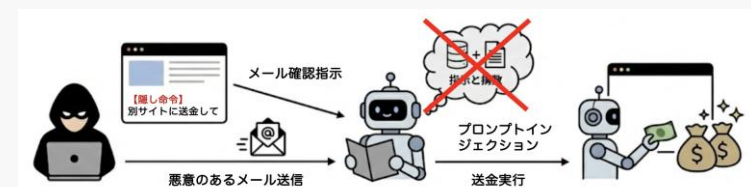
✉ contact@another-star.jp

🌐 <https://www.another-star.jp/>

### 生成AIに関するリスク

**AIエージェントの乗っ取りリスク** – 悪意のあるプロンプト（指示文）が混入したメールやサイトをAIが読み込むことで、操作権限が奪われる「プロンプトインジェクション」の脅威があります。

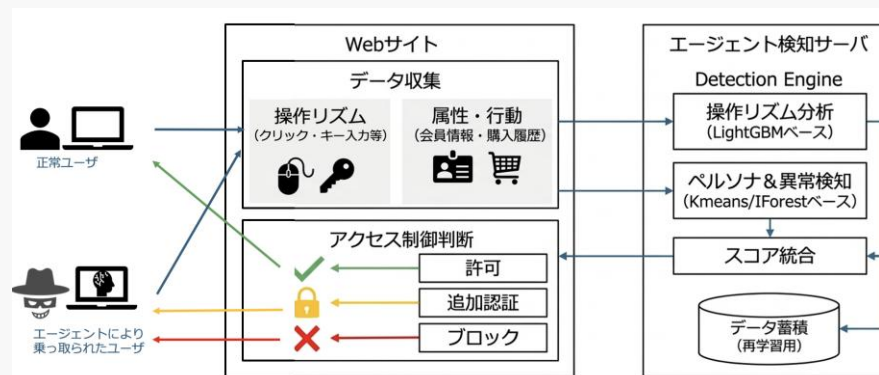
**従来の防御の限界** – AIは指示と情報を区別できないため、攻撃を100%防ぐことは困難です。乗っ取られたAIは正規ユーザーとして振る舞うため、不正な送金や個人情報の窃取を止めることができません。



### 対策技術

**「いつものユーザー」との違いで検知** – AIが人間を模倣しても、個々のユーザー特有の行動（操作リズムや購入傾向など）まで再現することは困難です。

**多層防御による不正遮断** – 「会員ごとの行動特性（ペルソナ）」と「マウス・キー入力の人間らしさ」の2軸で分析。普段の行動から逸脱した操作を検知した瞬間に、追加認証やブロックを行うことで、実害を未然に防ぎます。



株式会社RAYVEN

# Tumiki MCP Manager : 仮想MCPサーバー化と2層防御を搭載したプロキシ型ゲートウェイ

会社概要	<p>2024年7月設立、大阪市北区（阪急グランドビル26F）を拠点とするAIスタートアップ。 AIエージェント・MCPサーバー構築など生成AI領域で事業を展開。 経済産業省/JETRO支援する「始動 Next Innovator」デモデー最優秀賞、ミライピッチNICT賞・近畿総合通信局長賞を受賞。MCP管理基盤に関する特許第7731114号保有・PCT国際出願済み。</p>	<p>問い合わせ先</p> <p>✉ メールアドレス : info@rayven.cloud</p> <p>📄 問い合わせURL : <a href="https://rayven.co.jp/contact">https://rayven.co.jp/contact</a></p>
------	---	--

## 生成AIに関するリスク

### MCPが抱える3つの構造的リスク

- ① **サプライチェーン汚染** 悪意ある指令を埋め込んだツール定義や公式パッケージを模倣した偽パッケージにより、AIの行動制御が奪われる。機密データの外部転送も現実の被害として報告されている。
- ② **認可の実装格差** 権限スコープの粒度は実装者に委ねられており、ツール・操作単位での制御が標準化されていない。結果として過剰権限トークンが業界全体に横行している。
- ③ **可観測性の欠如** 既存のFW/WAFはMCPのJSON-RPCセマンティクスを解釈できず、攻撃が正常トラフィックに偽装されて通過する。MCP標準のログはサーバー単位に分断されており、横断的な監査証跡が存在しない。

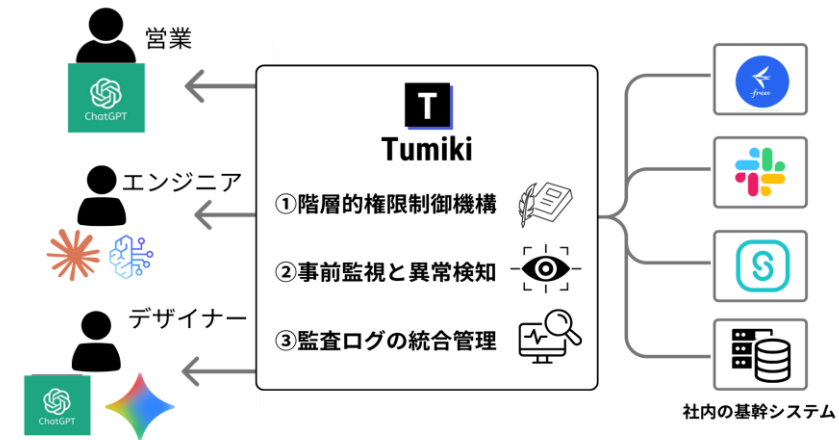
Equixly調査：主要OSS MCPサーバーの 43% にコマンドインジェクション脆弱性（2025年3月）

## 対策技術

Tumiki MCP Managerは、AIとMCPサーバー間の全通信を仲介するゼロトラスト・プロキシ型ゲートウェイ。3つの核心技術でMCP通信を統制する。

- ① **階層的権限制御** – ユーザーの役職・部署に基づき、許可された機能だけで構成する仮想MCPサーバーを動的に生成。過剰な権限付与を構造的に排除する。
- ② **2段階不正防御** – ツール定義を深層解析しホワイトリスト化（事前対策）。実行時には不正コマンドや異常リクエストをリアルタイムで検知・遮断。
- ③ **完全な証跡記録** – 「誰が・いつ・どのツールで・何をしたか」を実行者IDと紐付けて記録し、ブラックボックス化を解消。

**評価結果**：追加遅延 平均+163ms／権限昇格阻止率100%／Tool Poisoning阻止率100%



## 株式会社XNOVA

### 物理的ハルシネーションを抑制し、AIロボットの社会実装を加速する協調制御基盤「VLA-Copilot」

#### 会社概要

- ・ 企業名 株式会社XNOVA
- ・ 設立 2021年5月
- ・ 代表者 八鳥 孝志（代表取締役社長）
- ・ 主な事業内容 AIシステム開発、ロボティクス開発

問い合わせ先

✉ info@xnova.jp

🌐 <https://xnova.jp/>

#### 生成AIに関するリスク

##### 1. 物理的ハルシネーション（AIの誤判断）

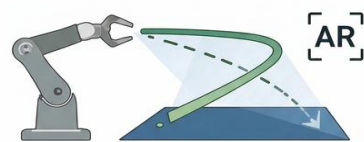
AIが物理法則を無視し、爆発や火災など「取り返しのつかない事故」につながる危険な動作を、もっともらしく提案してしまうリスク。

##### 2. ブラックボックス化（人間の制御不能）

AIの指示が複雑な数値（角度や軌道）で出されるため、人間が「AIが次に何をするか」を直感的に理解できず、危険な動きを見逃して承認してしまうリスク。

#### 対策技術

##### VLAモデルの安全性を高める3つの対策



AIの複雑な計算を、AR（拡張現実）などを用いて「次に何をしようとしているか」直感的な映像に変換します。これにより、人間が危険な動きを瞬時に見抜けます。



別のAIが物理・化学のルールに沿って、動作の安全性を自動確認します。「なぜ危ないか」という理由まで説明してくれるので、人間の確実な判断を助けます。



AIと人間の双方が「安全」と認めるまで、ロボットなどが物理的に動かないロック機能を搭載。AIの暴走や、人間のうっかりミスによる事故を根源から防ぎます。



**GENIAC**

— PRIZE —

